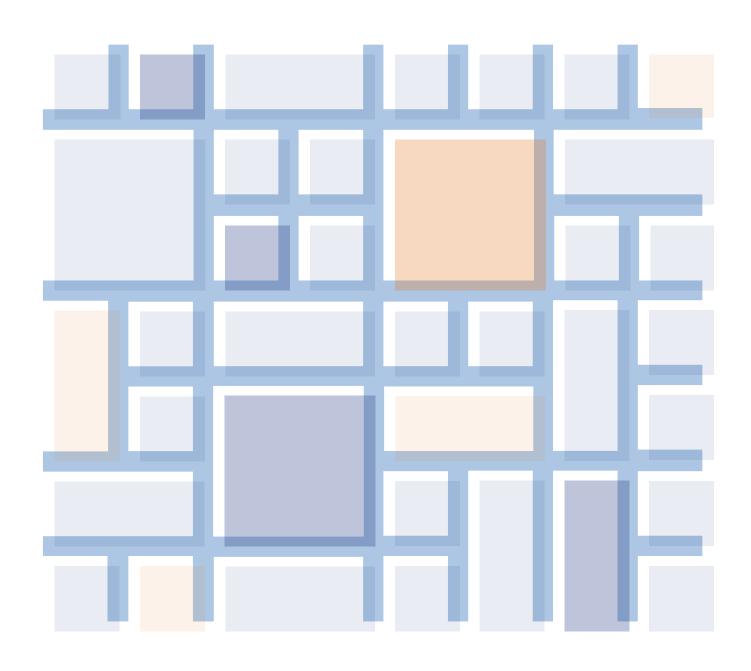
GUIDE BOOK 2022

法政大学 大学院







真理探究は プロジェクトマネジメント あってこそ

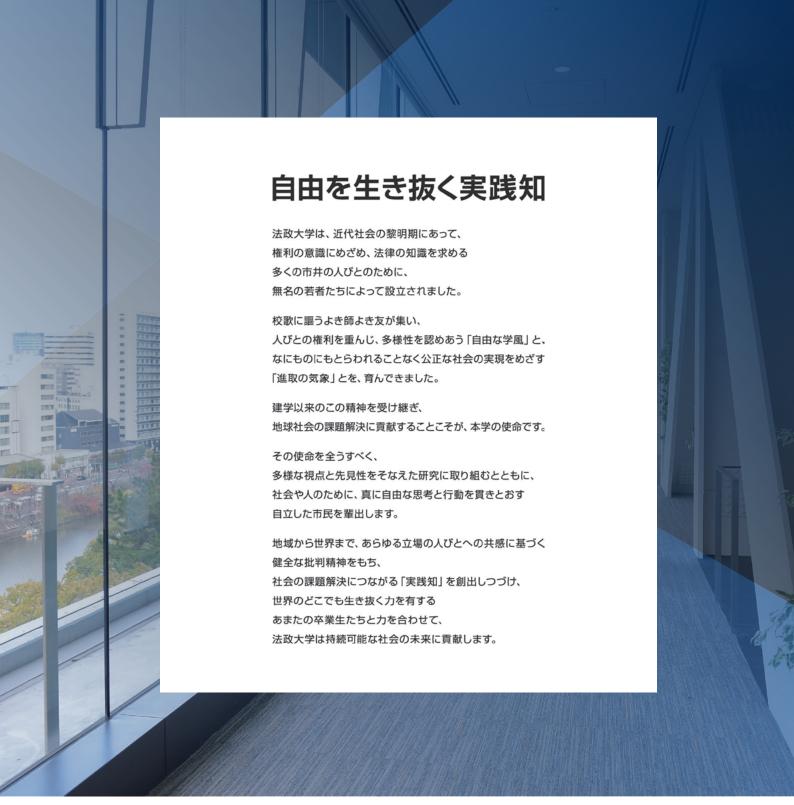
大学院とは専門を極める場所。大学院で学位を 得た人は、専門分野を掘り下げて高度な知識や技 術を身につけている。しかし、特定の専門に特化し すぎて、実社会ではかえって活躍の場が限られてし まう。現代の日本社会では、大学院修了者に対す るイメージはそんなところではないでしょうか。

このイメージは、かなり事実とかけ離れている、というのが自分自身大学院で学び、教員として大学院教育に携わってきての実感です。学問的な真理の探究は、「プロジェクトマネジメント」の裏付けがあって初めて研究成果になります。しかし、そのことが自分自身の「腑に落ちた」深さでわかったのは、大学院で学ぶ機会を得てからのことでした。大学院で何が得られるのかについての認識が、大学院経験者とそれ以外の人とで最も大きく違うのがこの点ではないかと思います。

どれほど純粋に理論的な分野であっても、また、

一人で遂行する研究であっても、真理を探究した結果を、研究論文などの成果としてまとめて発表するためには、そのためのプロジェクトを順を追って進め、順調に進まないところがあれば対応策を講じ、一定の期限内に結果をアウトプットしなければなりません。実際にやってみると、これはけっこう骨の折れることで、そんなに順調には進まないことがほとんどです。それを「何とかして(manage to)進めて」はじめて研究成果が出るのです。学位を得ることができた、ということは、どんな分野にあっても、研究というプロジェクトのマネジメントに成功したということを(も)意味しているのです。

大学院で学ぶことによって専門分野の学識を得られることは当然ですが、それ以上に、真理を探究するというプロジェクトの遂行力を身につけられることが大きな財産になります。法政大学大学院で、ぜひその力を磨いてください。



CONTENTS

法政の実践知

02 | [自由を生き抜く実践知]

04 [研究科・専攻インデックス]

06 [研究支援]

08 [それぞれの実践知]

12 設置課程/論文指導

14 人文科学分野

16 | 人文科学研究科

28 国際日本学インスティテュート

30 国際文化研究科

32 社会科学分野

34 | 経済学研究科

38 法学研究科

40 政治学研究科

44 社会学研究科

48 経営学研究科

52 人間社会研究科

58 政策創造研究科

60公共政策研究科64キャリアデザイン学研究科

66 連帯社会インスティテュート

68 スポーツ健康学研究科

70 自然科学分野

72 | 情報科学研究科

74 デザイン工学研究科

80 理工学研究科

94 総合理工学インスティテュート [IIST]

96 キャリア形成

98 進路状況 [文系就職状況/理工系就職状況]

100 科目等履修生

102 協定大学院・プログラム

104 研究所・図書館

106 キャンパス・施設

108 学費と各種助成金・奨学金制度

110 法政大学大学院ウェブサイトについて

111 入試結果

112 進学相談会・公開セミナー/ Q&A

現実から理想へ向かう道

自由を生き抜く実践知

フロネーシス

法政大学 大学憲章 約束の言葉

なにものにもとらわれることなく 公正な社会の実現をめざす

「進取の気象」

人びとの権利を重んじ、 多様性を認めあう

「自由な学風」

「自由という広場」法政大学

最先端の分野がそろう多彩な知の空間

POINT 1

多様な 研究科を設置

法政大学大学院は1951年に人文科学研究科・社会科学研究科に修士課程を設置したことに始まります。国際社会に開かれた大学院として新しい時代の最先端で活躍する人材の育成に取り組み、歴史ある研究分野から現代の社会的要請に即した研究領域まで多彩な研究科を設置してきました。現在は、15研究科・31専攻・3インスティテュートを設置しています。

POINT 2

社会を牽引する 教授陣による少人数教育

また、「社会に開かれた大学院」を 特色として打ち出し、1995年にはわ が国最初の夜間博士後期課程を開設 しました。

各研究科では、各分野をリードする一流の教授陣が指導に当たります。 授業のほとんどは少人数のゼミ形式 で、すべての学生が自分の研究課題 に適した指導教授について論文指導 を受けることになります。 POINT 3

教育の グローバル化を推進

その他、人文科学研究科国際日本学インスティテュート(修士課程)では、2019年度から上海外国語大学(中国)と共同学位(ダブル・ディグリー)プログラムをスタートさせるなど、国際的な教育・研究水準の向上を目指し、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図っています。

知の最前線であるための教学改革

経済学研究科

多様化の進展とともに、高度に専門化する21世紀のグローバル社会に対応 できる人材養成を推進するための改革の一つとして、より専門的なエコノミス トや研究者の養成を目的とした、修士課程・博士後期課程5年一貫の「博士 5年 (Ph.D.) プログラム」を2014年度よりスタートさせました。5年一貫の 博士養成課程は、日本ではあまり前例のないプログラムですが、確かな研究 基礎力を修得した上で、時間をかけて専門分野を選択できるというメリットが あり、欧米では多くの大学院で採用されています。また、2017年度からは「経 済学研究科修士課程1年制コース」を新たに設置しています。

情報科学研究科・理工学研究科

学部から大学院修士課程までの6年間を通じて専門領域を学ぶことが高度 技術者・研究者の育成に不可欠となっていることから、本大学院の工学研究 科でも、6年一貫教育を行うことのできる体制を目指し、2008年の学部再編(工 学部をデザイン工学部、理工学部、生命科学部に分割)をもとにした改組を 実施。2013年度より工学研究科から理工学研究科へ改め、学部学科を基礎 とする6つの専攻で構成しています。そして、2016年9月には情報科学研究科 と理工学研究科が協働し、理系専攻分野の先端的研究を英語で学ぶ横断型 大学院プログラム「総合理工学インスティテュート(IIST)」を開設しました。

長期履修制度

長期履修制度は仕事と面立しながら学業にじっくり取り組みたい社会人に 配慮した制度です。この制度を活用した場合、年度当たりの授業料負担を軽 減することができます。

修士課程の場合

通常の修業年限(2年)に必要な授業料を3年または4年に分納可能

博士後期課程の場合

通常の修業年限(3年)に必要な授業料を4年、5年または6年に分納可能

- 実施研究科 ■人文科学研究科(修士課程・博士後期課程)
 - ■国際文化研究科(修士課程)
 - ■社会学研究科(修士課程)
 - ■人間社会研究科福祉社会専攻(修士課程)
 - ■政策創造研究科(修士課程)
 - ■公共政策研究科(修士課程・博士後期課程)
 - ■キャリアデザイン学研究科(修士課程)
 - ■スポーツ健康学研究科 (博士後期課程)



History 法政大学大学院の歴史

- 、文科学研究科に哲学・日本文学・英文学専攻、社会科学 1951 研究科に経済学専攻の修士課程を開設
- 人 文科学研究科に国史学専攻(夜間)と社会科学研究科に 1952 私法学専攻の修士課程を増設
- 1953 人文科学研究科に地理学専攻(夜間)の修士課程を増設。 大学院専用校舎53年館竣工
- 1954 国史学専攻を日本史学専攻に変更
- 1955 哲学・日本文学・英文学・日本史学・地理学専攻、経済学・ 私法学専攻に博士後期課程を開設
- 社会科学研究科に政治学専攻・修士課程を増設 1956
- 政治学専攻に博士後期課程を増設 1958
- 社会科学研究科に社会学専攻・修士課程を増設 1964
- 工学研究科を設置し、修士課程に機械工学・電気工学・建 1965 設工学専攻を開設
- 1966 社会学専攻に博士後期課程を増設
- 電気工学専攻に博士後期課程を増設 1968
- 工学部大学院棟竣工 1985
- 工学研究科機械工学・建設工学専攻に博士後期課程を増設 1986
- 1987 工学研究科にシステム工学専攻・修士課程を増設
- 1989 工学研究科システム工学専攻に博士後期課程を増設
- 1991 私法学専攻を法律学専攻へ名称変更
- 1992 経営学事政を経済学事政から分離独立させ、経営学事政に修 士・博士後期課程を開設。経済学・経営学専攻の修士課程で昼 夜開講制を実施。大学院専用棟92年館(現大学院棟)竣工
- 1995
- 法律学専攻・修士課程に法曹コースを開設し、従来のものを研 究コースとした。政治学専攻・修士課程で昼夜開講制を実施
- 人文科学研究科・全事攻修十課程で昼夜開講制を実施 2000
 - 丁学研究科に物質化学・情報電子丁学専攻の修士・博士後 期課程を増設。電気工学専攻・修士課程に1年制のITプロフ ェッショナルコースを開設
- 社会科学研究科に政策科学専攻(昼夜開講制)修士・博士 後期課程を増設
- 人間社会研究科および情報科学研究科(ともに修士・博士 2002 後期課程)を開設
- 社会科学研究科環境マネジメント専攻修士課程および国際日 本学インスティテュートを増設。社会科学研究科経済学専攻・ 博士後期課程で昼夜開講制を実施
- 2004 法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科、人文科 学研究科国際文化専攻を増設。経済学研究科経済学専攻、 法学研究科法律学専攻、政治学研究科政治学専攻、社会 学研究科社会学専攻、経営学研究科経営学専攻、政策科 学研究科政策科学専攻、環境マネジメント研究科環境マネジ メント専攻を社会科学研究科から独立改組
- 経営学研究科キャリアデザイン学専攻、システムデザイン研 2005 究科システムデザイン専攻、イノベーション・マネジメント研 究科アカウンティング専攻を増設
- 国際文化研究科国際文化専攻を人文科学研究科から改組 2006
 - 人文科学研究科心理学専攻を増設
- 2008 政策創造研究科政策創造専攻を開設
- 2010 政治学研究科に国際政治学専攻を、工学研究科に生命機能学専攻を増設。工学研究科建設工学専攻・システムデザイ デザイン工学研究科に建築学専攻、都 市環境デザイン工学専攻、システムデザイン専攻を設置
- 2011 国際日本学インスティテュートが改組転換の上、人文科学研 究科に設置。人文科学研究科日本史学専攻を史学専攻へ名
- 政治学(夜)、政策科学、環境マネジメント、政策創造政治・ 2012 平成24年 行政プログラムの4研究科が統合、公共政策研究科として開 設。工学研究科生命機能学専攻内に植物医科学領域を設置
- 工学研究科から理工学研究科へ改組(機械工学専攻、電気 2013 電子工学専攻、応用情報工学専攻、システム工学専攻、応 用化学専攻、生命機能学専攻)。経営学研究科から独立し、 キャリアデザイン学研究科キャリアデザイン学専攻として開設
- 連帯社会インスティテュート開設
- 2016 システム工学専攻をシステム理工学専攻へ名称変更
 - 情報科学研究科・理工学研究科に横断型大学院プログラム (IIST) 開設
 - 公共政策研究科にサステイナビリティ学専攻開設
 - スポーツ健康学研究科開設
- 経済学専攻に1年制修士課程を開設 2017
- 人文科学研究科国際日本学インスティテュートと上海外国語 2019 大学日本文化経済学院との共同学位 (ダブル・ディグリー) プログラム開設
- 2021 スポーツ健康学研究科に博士後期課程を増設

研究科・専攻インデックス

大学院

	田空利夕	東 攻夕	柳市
分野	研究科名	事攻名	概要
		哲学専攻 日本文学専攻	古代ギリシア哲学、近代ヨーロッパ哲学、現代哲学、論理学などにより、西洋哲学を中心に教育研究を進めています。 古代から近代まで各時代の文学、言語、芸能を探究。文芸批評、中国・沖縄文学などの関連科目を幅広く配置しています。
人		英文学専攻	ロールプラルしよく谷时へのスチ、言語、云形を休光。ス云ル計、中国・/ 才禰スチなどの民連行日を幅広へ癿直じています。 英米文学、演劇、英語学、言語科学などの専門教育を行います。学内または提携大学院の豊富な科目も選択できます。
人 文 科	1 立初常四克利		
科学分野	人文科学研究科	史学専攻	日本・東洋・西洋史の3分野の広範な授業を開講。伝統的な研究方法を重んじながら、最前線の研究成果も取り入れています。
		地理学専攻	自然地理と人文地理の2本柱で、幅広く複合的な領域をカバーします。どちらかに重心を置きつつ、個別の研究を進めます。
		心理学専攻	知覚・睡眠・発達・発達臨床・言語・教育・行動分析・犯罪・社会・記憶・学習・音声学といった多様な領域を指導します。
		国際日本学インスティテュート	人文科学研究科を横断する形で設置・運営され、専攻にとらわれない多彩な授業が展開されています。
	国際文化研究科	国際文化専攻	文化の「国際性」と「情報性」を研究し、インターカルチュラル・コミュニケーションを探究します。
	経済学研究科	経済学専攻	経済学、統計学、経済史などの基本科目から経済地理や社会政策など幅広く選択でき、上級レベルの経済理論(ミクロ・マクロ)も開講しています。
	法学研究科	法律学専攻	現代社会の多様な問題を法的に分析し、法的な思考過程を経て最善の解答を生み出す能力を養成します。
	政治学研究科	政治学専攻	オーソドックスな政治学から、都市政策、フェミニズムやジェンダー論など新領域の独創的な科目まで幅広く解説します。
	אין	国際政治学専攻	時代の要請に応える、世界政治、国際開発、地球環境、平和構築、人間の安全保障などの諸分野の研究教育が充実しています。
	社会学研究科	社会学専攻	日本だけでなく、世界で問われている 21 世紀の社会的課題を認識し解明するために、「人間論的関心を柱にした社会問題の社会学」を中心に、隣接する諸科目を配して研究活動を行います。
社会科学分野	経営学研究科	経営学専攻	経営の基礎から応用までの理論的なアプローチに加え、現実の企業活動や社会現象を実証的に分析するためのさまざまな手法が学べます。
	人間社会研究科	福祉社会専攻	「福祉」や「まちづくり」に関する高度職業人(ソーシャルワーカー、政策立案者など)、研究者の養成を目的としています。
		臨床心理学専攻	心理臨床の分野で活躍する高度職業人 (公認心理師、臨床心理士) と、臨床心理学の実践と科学に関わる研究者の養成を 目的としています。
		人間福祉専攻	次代の人間福祉を総合的に実現するための理論的かつ実践的研究者を養成することを目的としています。
	政策創造研究科	政策創造専攻	豊かで持続可能な地域社会を実現する革新的な政策を研究・デザインし、それらを実現できる人材を育成します。
	公开办实证 办到	公共政策学専攻	グローバル化・知識基盤社会、人口減少社会における総合的な政策提言能力を身に付けた高度職業人、研究者を養成します。
	公共政策研究科	サステイナビリティ学専攻	持続可能な循環型社会の構築に貢献できる人材を養成します。
	キャリアデザイン学研究科	キャリアデザイン学専攻	最先端のキャリアデザイン学分野を体系的に学べる日本で初めての研究科です。
	連帯社会インスティテュート	連帯社会インスティテュート	新しい地域社会や国づくりの発展に貢献できる「新しい公共」の担い手を養成します。
	スポーツ健康学研究科	スポーツ健康学専攻	人文社会科学から自然科学まで、多面的なスポーツ・健康について教育研究を進めています。
	情報科学研究科	情報科学専攻	IT を通じ、情報化社会、知識社会と呼ばれる、これからの新しい時代を築く人材を養成します。
		建築学専攻	建築に関わる7つの項目の素養や能力を養い、建築と都市に関わる専門職業人、教育・指導者、研究者を養成します。
	デザイン工学研究科	都市環境デザイン工学専攻	社会基盤などを設計・建設・整備する手法を習得し、環境を保全・再生していくことのできる技術者を養成します。
,£,		システムデザイン専攻	さまざまな側面から総合的にユーザビリティを追究。複雑な社会に存在する諸問題に対応できる技術者や研究者を育成します。
自然		機械工学専攻	材料力学、熱力学、水力学などの専門科目や、機能性材料、宇宙工学、環境エネルギー工学など先端的な研究指導を行います。
科		電気電子工学専攻	電気電子工学分野に重点を置き、最新設備を利用しながら現代の科学技術を支える先端技術の基礎から応用まで研究します。
科 学		応用情報工学専攻	ICT、クラウド、ユビキタスネットワークなど高度情報化社会を支える実用的かつ高度な最先端システムを研究分野にしています。
分	理工学研究科	システム理工学専攻 創生科学系	理工学の基幹をなす物理科学、情報学の社会基盤である知能科学、融合領域の人間科学について研究を行います。
野		システム理工学専攻 経営システム系	数理、人間を要素として、これらをつなぎ、付加価値の高いシステム構築法を研究します。
		応用化学専攻	幅広い産業界において化学の専門的な知識を生かして持続的社会構築に貢献できる人材養成を行います。
		生命機能学専攻	生命機能学と植物医科学の2つの領域、ゲノム、タンパク質、細胞、生命システム、基盤植物医科、実践植物医科の6分野について研究します。
	総合理工学インスティテュート	総合理工学インスティテュート(IIST)	グローバル社会において総合理工学分野のリーダーとして活躍することができる人材を養成します。

専門職大学院

研究科名	専攻名	概要
法務研究科(法科大学院)	法務専攻	現代社会に生じる多様な法律問題に対して適正かつ迅速に対応できる、創造的応用力を備えた市民のための法曹を養成します。
イノベーション・マネジメント研究科	イノベーション・マネジメント専攻	基礎・専門・応用に分かれた高密度カリキュラムと、実践力を備え、革新を起こすことができるビジネスのプロフェッショナルを育てます。

選択できる3つの開講時間

昼間開講 授業は昼間のみで、夜間の授業はありません。昼間に通学できる方が対象です。

りません。

夜間開講 平日2~3日の夜間通学と土曜日の通学によって修了を目指すカリキュラムです。 土曜日は夜間に加え昼間授業があります。

授業時間		市ケ谷キャンパス	多摩キャンパス	小金井キャンパス
	1 時限	8:50 ~ 10:30	9:20 ~ 11:00	9:00 ~ 10:40
	2時限	10:40 ~ 12:20	11:10 ~ 12:50	10:50 ~ 12:30
昼間	3時限	13:10 ~ 14:50	13:40 ~ 15:20	13:20 ~ 15:00
	4時限	15:00 ~ 16:40	15:30 ~ 17:10	15:10 ~ 16:50
	5時限	16:50 ~ 18:30	17:20 ~ 19:00	17:00 ~ 18:40
夜間	6時限	18:35 ~ 20:15		
間	7時限	20:20 ~ 22:00		

※授業時間について変更が生じた場合は HP で発表します。

課程		授与学位		キャンパス	掲載ページ
修士課程 🔯 🕻 昼夜開講	博士後期課程 💇 昼夜開講	修士(哲学)	博士(哲学)		P 16
修士課程 ② 昼夜開講	博士後期課程 🔯 🕻 昼夜開講	修士(文学)	博士(文学)		P 18
修士課程 ② 昼夜開講	博士後期課程 🔾 😉 昼夜開講	修士(文学)	博士(文学)		P 20
修士課程 💇 昼夜開講	博士後期課程 🔯 🕻 昼夜開講	修士(歴史学)	博士(歴史学)	市ケ谷	P 22
修士課程 💇 昼夜開講	博士後期課程 💇 昼夜開講	修士(地理学)	博士(地理学)		P 24
修士課程 🚫 昼間開講 ※一部夜間開講	博士後期課程 ⑤ 昼間開講 ※一部夜間開講	修士(心理学)	博士(心理学)		P 26
修士課程 💇 昼夜開講	博士後期課程 🔯 🖰 昼夜開講	修士(学術)	博士(学術)		P 28
修士課程 🔯 🕻 昼夜開講	博士後期課程 🔯 🕻 昼夜開講	修士(国際文化)	博士(国際文化)	市ケ谷	P 30
修士課程 ② С 昼夜開講	博士後期課程 💇 昼夜開講	修士(経済学)	博士(経済学)	市ケ谷・多摩	P 34
修士課程 🜔 昼間開講	博士後期課程	修士(法学)	博士(法学)	市ケ谷	P 38
修士課程 ⑤ 昼間開講 ※一部夜間開講	博士後期課程	修士(政治学)	博士(政治学)	±1.0	P 40
修士課程 🜔 昼間開講	_	修士(国際政治学)	_	市ケ谷	P 42
修士課程 社会学コース 昼間開講 修士課程 メディアコース ⑤ 昼夜開講	博士後期課程	修士(社会学)	博士(社会学)	市ケ谷・多摩	P 44
修士課程 ② 昼間開講 修士課程 ② 夜間開講	博士後期課程 ② 昼間開講 博士後期課程 ② 夜間開講	修士(経営学)	博士(経営学)	市ケ谷	P 48
修士課程 ② 昼夜開講	-	修士(福祉社会又は学術)	_	多摩・市ケ谷	P 52
修士課程 ⑤ 昼間開講	-	修士(臨床心理学)	_	多摩	P 54
_	博士後期課程	_	博士(人間福祉又は学術)	2.13	P 56
修士課程 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	博士後期課程 で 夜間開講	修士(政策学)	博士(政策学)	市ケ谷	P 58
修士課程 で 夜間開講	博士後期課程	修士(公共政策学)	博士(公共政策学)	市ケ谷	P 60
修士課程 で 夜間開講	博士後期課程	修士(サステイナビリティ学)	博士(サステイナビリティ学)	III 7 🗗	P 62
修士課程(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_	修士(キャリアデザイン学)	_	市ケ谷	P 64
修士課程(ででででである)	_	修士(学術)	_	市ケ谷	P 66
修士課程 🔾 昼間開講	博士後期課程	修士(スポーツ健康学)	博士(スポーツ健康学)	多摩	P 68
修士課程 🔘 昼間開講	博士後期課程 🔯 昼間開講	修士(理学)	博士(理学)	小金井	P 72
修士課程 🔘 昼間開講	博士後期課程 🔯 昼間開講	修士(工学)	博士(工学)		P 74
修士課程 🔘 昼間開講	博士後期課程 🜔 昼間開講	修士(工学)	博士(工学)	市ケ谷	P 76
修士課程 🔯 昼夜開講	博士後期課程 🔯 🕻 昼夜開講	修士(工学)	博士(工学)		P 78
修士課程 🔘 昼間開講	博士後期課程	修士(工学)	博士(工学)		P 80
修士課程 🔘 昼間開講	博士後期課程 🔯 昼間開講	修士(工学)	博士(工学)		P 82
修士課程 🔘 昼間開講	博士後期課程	修士(工学)	博士(工学)		P 84
修士課程 ⑤ 昼間開講	博士後期課程 🔯 昼間開講	修士(工学)	博士(工学)		P 86
修士課程 🔘 昼間開講	博士後期課程 🗘 昼間開講	修士(工学)	博士(工学)	小金井	P 88
修士課程 🗘 昼間開講	博士後期課程	修士(理工学)	博士(理工学)		P 90
修士課程 🔘 昼間開講	博士後期課程	修士(生命科学)	博士(生命科学)		P 92
修士課程 ② 昼間開講	博士後期課程 🔯 昼間開講	所属専攻による			P 94

課程	授与学位	キャンパス
専門職学位課程	法務博士(専門職)	市ケ谷
専門職学位課程	経営管理修士(専門職)	市ケ谷

研究支援

SCHOLARSHIP

修学支援制度

大学院生の修学に対し、経済的な支援を目的とした制度です。

修士課程

法政大学100周年記念

大学院修士課程奨学金

修士課程に在籍する大学院生への修学支援として、 経済的支援を行うことを目的としています。

本制度は、修士課程学生を対象とし、応募資格を 有する申請者の中から選考の上、200,000円が支給さ れます。

博士後期課程

法政大学大学院

博士後期課程研究助成金

博士後期課程に在籍する大学院生への修学支援として、学術活動を奨励し高度な研究能力と豊かな学識を有する若手研究者を育成するため、経済的な支援を行うことを目的としています。

本制度は、より拡充され、文系研究科320,000円、 理系研究科480,000円が支給されます。

なお、本助成金は、原則として応募資格を有する申 請者全員に給付されます。

〈大学院修士課程奨学金〉を利用



大下 颯人 人文科学研究科 心理学専攻 修士課程 在学中

憧れの場で研究を続けてい奨学金制度により

中学生のとき、ドラマをきっかけに犯罪者プロファイリングに興 味を持ち、段々と犯罪心理学にのめりこむようになりました。高校 生の頃には専門書を読み漁り、犯罪心理学者として活躍される越 智啓太先生の著書に出会い感銘。学びを深めるには越智先生の おられる法政大学大学院しかないと思い、上京を決意しました。し かし、時はコロナ禍のピーク。入学前年の2月に一人暮らしのマン ションを契約したものの、対面授業が一部再開される9月まで関 西の実家に留まり、居住実態のない、いわゆる「空家賃」を払い続 けました。上京後も慣れない一人暮らしの生活や課題に追われ、 アルバイトをする余裕がなかったので、「大学院修士課程奨学金」 にはずいぶん助けられました。生活費に充てるほか、指定教科書 以外の専門書や公務員試験対策のための書籍も購入することが できました。現在の研究は、近年増加傾向にある"バラバラ殺人" で、その発生要因や犯罪者の特質を解明したいと考えています。 卒業後は知見を活かし、科学捜査研究所や法務技官といった、専 門職の公務員として社会に貢献することが目標です。

留学,研究奨励制度

本学では、学生の海外留学や学会発表による学術研究を奨励し、研究力や資質の向上を目的とした制度を設けています。

法政大学大学院

海外留学補助金

海外留学による学術研究を奨励し、資質の向上を図ることを目的とします。本制度は在籍者に加え、申請期間に入学手続きが完了している入学予定者も申請することができます。給付額は、留学期間に応じ、上限2,000,000円(留学期間:1年間)または上限1,000,000円(留学期間:6カ月間)が支給されます(留学期間の延長(1年以内)が許可された場合は、同様に支給される場合があります)。

法政大学大学院

学生論文掲載料補助

国内・国外での学術論文発表を奨励するため、200,000円 を上限にかかった費用を補助します。

法政大学大学院

学会等発表補助金

大学院における学術研究の高度化・国際化を奨励することを目的に、国内・国外で開催される学会等に係る経費を対象に、国内30,000円、国外100,000円を上限に実費を補助します。

法政大学大学院

現地調查実施費用補助

市ケ谷、多摩キャンパスで開設している研究科の学生を対象に、国内30,000円、国外70,000円を上限に実費を補助します。

法政大学大学院諸外国語による

論文等校閱補助

国内外の学会発表や研究論文を、英語をはじめとする母語以外の諸外国語で執筆する際に、外国語で執筆した研究論文などの校閲費用について、100.000円を上限に実費を補助します。

法政大学大学院

優秀博士論文出版助成金

優秀な博士論文の出版費用を補助することで、博士学位取得者の研究者としてのキャリア形成、研究実績の蓄積を支援します。 審査の上1,000,000円を上限に出版に要した費用を助成します。

〈博士後期課程研究助成金〉を利用



木暮 美菜 社会学研究科 社会学専攻博士後期課程 在学中

海 撈 外 制 0 学 度 に よ 発 ŋ 表 学 \$ に専 挑

学部生の頃から広告に興味があり、いくつかのコンペに挑戦していました。しかし「良い広告」を追求するほどに行き詰まりを感じ、しっかりと理論を学ぶ必要があると考え、大学院への進学を決意しました。修士論文では口コミサイト上における企業と口コミ発信者、口コミ閲覧者の三者の関係を、心理実験を通して分析しました。博士課程ではSNSや口コミサイトなどインターネット上で行われるコミュニケーションが、消費者心理にどう影響するかをテーマに研究を進めています。消費者心理をメディア社会学の知見によって説明できる点に研究の面白さを感じています。ただ、授業や研究に打ち込むほど、アルバイトの時間を捻出することが難しくなったため、大学院進学後の生活費は「大学院修士課程奨学金」に助けられました。また「学会等発表補助金」により、渡航・滞在費も含めて高額な費用がかかる海外の学会に挑戦できたのは、研究者として大きな糧になりました。現在は「博士後期課程研究助成金」を受給しており、引き続き学業に専念できています。

_{法政の} 実践知

それぞれの実践知



近代の中国文学はどんな風に日本語に翻訳され、どのように日本人に読まれてきたのか。1900年前後から2000年までおよそ1世紀にわたる中国文学を整理し、日本におけるその受容史を研究しています。中国文学の紹介に大きな役割を果たしたのは竹内好や武田泰淳らによる「中国文学研究会」で、中国近代文学の祖とされる魯迅の翻訳や研究にも功績を残しました。日本が近代化に向かう時期に広く読まれた魯迅ですが、竹内好は近代化とはアジアの自己喪失の過程であり、中国文学や思想を通した日本の自己認識を求めました。まさにいま中国の発展が加速するなかで、何か有益な知見が得られるのではないかと研究に没頭しています。

母国にいるときから留学中の今もシナリオライターとして中国の映画やドラマの脚本を手がけるほか、大学院在学中に小説家としてもデビュー。処女作は中国で出版されましたが、現在は日本語の小説を執筆中です。さらに日本の作家の本を中国語に翻訳することも目標です。たまたま旅行した沖縄が気に入り、「こんな素敵な国で暮らしたら良いものが書けそう」と留学を決意しましたが、その予感は間違っていませんでした。尊敬する作家の島田雅彦先生のもとで学んだ大学院生活は、かけがえのない日々になりました。

留学生 李婷

北京電影学院卒業後は脚本家として活躍。 2017年に渡日して法政大学大学院入学。

人文科学研究科

国際日本学インスティテュート 日本文学専攻博士後期課程 在学中

翻訳をめざしている愛読書



『君が異端だった頃』 (島田 雅彦 著、集英社)

夫の転勤に伴って海外に長期滞在したことから、日本の魅力 を再認識する機会が多々ありました。例えば、ビジネスにおいて 海外のパワーエリートを手本とする考え方もありますが、勝者 に報いて敗者に厳しいばかりでは決して幸せとは言い切れませ ん。一方、日本には和を重んじながら、何世紀にもわたり脈々と 続く企業が多くあります。この違いは何に起因するのか。特に日 米の働き方や、会社と従業員のあり方の違いに関心を抱くよう になり、そのキーワードとして意識したのが「三方よし」です。 「売り手よし、買い手よし、世間よし」の言葉は、近江商人の商い の精神に通じ、今もシンボルとして親しまれていますが、実は昭 和の終わりに造られたものであることがわかっています。まだ30 年ほどの歴史の中で、CSRやCSV、ESGやSDGsといったビジネ スの新しい概念の説明によく引用されるのは、「三方よし」の考 え方がいかに日本人と親和性が高いかを物語っています。「売 り手」が最初に置かれ従業員第一を示しているのも今の時代に 評価されることのひとつです。修士課程の研究では、「三方よ し」の認知が広まるにつれ少しずつその解釈が変化しているこ と、「三方よし」が理念だけでなく活動を表している可能性があ ることを突きとめました。

博士後期課程ではこの言葉が、理念や活動としてどのように働く場で活かされているか、事例調査により明らかにしたいと考えています。研究を通じて得た視点は日々の仕事に役立っていると確信しています。

研究実績

三木田 尚美 「「三方よし」の類型化 一新聞記事データを基にした内容分析―」 2019年 『消費者政策研究』 日本消費者政策学会、Vol.1、pp68-79 三木田 尚美 「企業経営における「三方よし」の概念の変遷に関する一考察 ~テキストマイニング分析を中心に~」 2020年 『経営行動研究年報』 経営行動研究学会、第 29 号、pp101-105 学会発表 「「三方よし」概念の変化に関する一考察 2020年 6月 ~類型化と共起ネットワーク分析~」 『日本マネジメント学会』 第81回全国研究大会、東京

社会人 三木田 尚美

自治体の指定管理者として男女平等参画センターや相談事業等の運営管理 を担当。修士課程の研究を引き続き博士課程で深めている。

政策創造研究科 政策創造専攻 博士後期課程 在学中(修士課程 2018年度修了)





それぞれの実践知

履修モデル(修士課程)



		1年次
月	春学期	
/ 3	秋学期	
火	春学期	
	秋学期	
水	春学期	Thesis WritingA、国際文化研究A
<i>/</i> /	秋学期	Thesis WritingB
木	春学期	多文化相関論Ⅲ、多言語相関論 I A
水	秋学期	ジェンダー論、他言語相関論 I B、国際文化研究B
金	春学期	多文化相関論 II A
AIZ	秋学期	多文化相関論 II B
土		

学部卒業生 奥山 香帆

法政大学国際文化学部国際社会コース卒業後、法政大学大学院に入学。 国際文化研究科 国際文化専攻 修士課程 在学中 学部生のとき韓国に留学し、ギニア出身の留学生と親しくなったのが今に続く研究の端緒です。彼女から故郷ギニアの話を聞き、勧められて観た映画でアメリカ公民権運動において大きな存在感を示した、ストークリー・カーマイケルという人物を知りました。人種差別と闘い、ブラック・パワーを提唱したカーマイケルのアメリカ時代の軌跡はよく知られていますが、後年、ギニアに移住してからの活動は不透明です。そもそもなぜ彼はギニアに向かったのか。卒業論文では消化しきれない思いが残ったことから、大学院に進んでさらに研究を深めています。アフリカ帰還運動やディアスポラ(民族離散)たちの拠点づくり、パン・アフリカ主義といったさまざまな視点から「アフリカのカーマイケル」に迫り、現在もブラック・ライブズ・マター運動として続く黒人の闘いに新たな方向性を見出したいと考えています。

もともと海外の文化を学ぶことに興味がありましたが、大学院では予想以上に豊富な知見を得ることができました。指導教授の知識量や見識はそれこそ無限と思えるほどで、未熟な自分を恥じることもありますが、学ぶことの楽しさに魅せられ、大げさに言えば人生を救われた者として、修了後は学びの普及・発展に寄与したいと思っています。

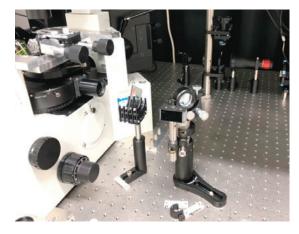




学部卒業生 石田翼

法政大学生命科学部生命機能学科卒業後、法政大学大学院に入学。 理工学研究科 生命機能学専攻 博士後期課程 在学中

独自に改造した顕微鏡



細菌の運動器官であるべん毛は、自身の回転を環境に合わせて自在に調節することが可能な、極めて洗練された分子機械と言われています。べん毛の根元にはモーターがあり、自ら回転する際の負荷を感知して自動的に回転エネルギーを調節していますが、その仕組みを分子レベルで解明するのが現在の研究の目的です。ナノサイズである回転モーターを観察するため、目的に応じた特殊な顕微鏡を独自に構築し、さらに遺伝子工学技術と組み合わせることで目的を達成しています。ものづくりの醍醐味も充分に味わえますし、見えなかったものが見えるようになった瞬間は、何度経験しても嬉しい成功体験です。

研究の成功とは、すなわち世界で初めての達成を意味します。課題解決に向けて試行錯誤を繰り返しながら少しずつ前進し、最終的に成功したときは大きな興奮と感動を味わうことができます。その達成感に魅せられ、卒業後も引き続き研究職に従事したいと考えています。

法政大学大学院では研究計画から実践、考察、外部への 発表まで、すべてを自分で遂行する力を身につけられました。 研究者として大きな自信になっています。

設置課程

本学大学院では、修士課程(博士前期課程)と博士後期課程の正規学生のほか、特別学生の受け入れを行っています。 また、首都大学院コンソーシアムをはじめとした国内の多くの大学院との相互聴講や海外大学院への留学などにより、 より広い範囲での研究が可能となる道も開かれています。

正規学生

▶ 修士課程(博士前期課程)

広い視野に立って、精深な学識を授け、専門分野における研究 能力、または高度な専門性を要する職業に必要な能力を養うこ とを目的としています。

受験資格 原則として、大学卒業見込みの者、大学を卒業した 者、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本 学大学院に認められた者が対象となりますが、詳細 は各研究科により異なります。必ず最新の入試要項 でご確認ください。

(参考)

修了要件 修士課程の修了には、2年以上在学し、指導教員の 指導のもとに授業科目より30単位(専攻により最低 修得単位数は異なります)以上を修得し、修士論文 の審査ならびに最終試験に合格しなければなりませ ん。その他、専攻により修了要件が異なりますので、 詳細は本学大学院ホームページでご確認ください。



▶ 博士後期課程

専門分野について、研究者として自立した研究を行い、またはそ の他の専門的業務に従事するに必要な高度な研究能力および その基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

受験資格 原則として、修士課程修了見込みの者、修士の学位 を有する者、修士の学位を有する者と同等以上の 学力があると本学大学院に認められた者が対象とな りますが、詳細は各研究科により異なります。必ず最 新の入試要項でご確認ください。

(参考)

修了要件 博士後期課程の修了には、3年以上在学し、指導教 員の指導により各専攻に示された授業科目を履修 または単位を修得し(専攻により修了所要単位数は 異なります)、かつ必要な研究指導を受けた上で、 博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなけれ ばなりません。その他、専攻により修了要件が異なり ますので、詳細は本学大学院ホームページでご確認 ください。

> ※経済学研究科では2014年度より修士課程、博士後期課程5 年一貫の博士5年 (Ph.D.) プログラムを導入しています。修了要 件は経済学専攻ページ (P.34) をご確認ください。



特別学生

▶ 科目等履修生

詳細は、P.100、101をご覧ください。

本学大学院では正規の学生の学修を妨げない限り、選考の上「科 目等履修生」として修士課程の科目を履修することができます。履 修できる単位は年間12単位までとなっています。

また、科目等履修生として単位修得後、正規学生として入学した場 合、本人の申請に基づき、教授会の承認により、15単位(研究科に より異なります)を上限に正規学生の修了所要単位として認められ ます。

出願期間/3月中旬・7月下旬の2回

案内配布 / 12月下旬頃大学院HPに情報を掲載 (シラバス・時間割は3月中旬)

▶ 研修生·委託研修生·特別研修生

学士の学位を得た方が大学院の授業科目の履修および特定の主 題による研究指導を希望するときに受けられる制度です。

※在留資格「留学」を有する外国人留学生の場合、週10時間以上 の履修が求められます。

研修生

大学卒業後に本学大学院修士課程への進学を目指 し、その準備教育として入学を希望する方が対象で す。研修生試験の結果から各研究科の基準に従って 選考します。

期間は1年です(1年に限り延長可)。

委託研修生 公共団体またはその他の機関から委託を受け、各研 究科で審査を行います。

特別研修生 国外の大学との協定などにより、修士課程への入学 を許可され、事前研修を義務付けられた方を受け入 れる制度です。

▶ 研究生・研究員

修士の学位を有する方が対象です。指導教員による個別指導が中 心となります。いずれも期間は1年です(1年に限り延長可)。

研究生

修士の学位を得た方で本学大学院博士後期課程の 進学を目指し、その準備教育として入学を希望する 方、または博士後期課程を退学した方で、さらに研 究を継続し、本学の施設の利用を希望する方が対象

研究員

国内外の大学・研究所その他の機関から特定のテー マによる研修を委託された方が対象です。

論文指導

大学院の学びにおいて、論文を作成することは最も重要な目標の一つです。具体的な進め方や内容は各研究科・専攻、指導教員によって異なりますが、一般的に以下のようなプロセスを経て、修士課程であれば在学中の2年間で1編以上の論文を完成させます。論文作成では、高度な専門知識に加え、文献の検索方法、論文の解析など、作成に必要な知識も自ら獲得していくことが必要となり、論理的思考力やプレゼンテーション能力の向上に加え、海外文献も含む専門書を読みこなすことで身に付く読解力、語学力、論述するための文章表現力も身に付けます。より充実した論文作成のためには、指導教員とコミュニケーションを取りながら進めていくことが大切です。



人文科学分野

A研究室の場合〈参考〉

指導教員と相談しながら修士1年次の7、8月頃までに研究テーマを決定します。冬休み前までに同テーマにおける先行研究をまとめ、年明けから第一調査を行います。1年次修了までにそれをまとめ、2年次からは第二調査を実施。それまでの成果を、夏に開催される学会で発表することを目指します。その後、1月の論文提出時期までに約半年をかけて論文を執筆します。2年間を通じて毎月1~2回、指導教員のもと、研究室の修士課程と博士後期課程の学生全員でミーティングを実施。その他にもメールや空き時間を利用した学生からの質問や相談に、指導教員が随時対応。きめ細かな指導に努めています。



社会科学分野

B研究室の場合〈参考〉

入学直後、新入生ガイダンスと同日に行われる2年生対象の修士 論文構想発表会に参加し、論文執筆に向けた準備過程などを学 びます。そこから授業を通した学習を踏まえ、11月に行われる第1 回修士論文構想発表会で、修士論文のテーマ・研究方法を発表。 その上で、12月下旬頃までに研究テーマと指導教員を決定しま す。決定した指導教員の指導のもと、構想をさらに練り上げ、修士 2年次4月の第2回修士論文構想発表会で発表します。以降、演 習を通じた論文指導を受け、9月の第3回修士論文構想発表会で 研究の目的・方法・分析結果・結論の概要を発表。引き続き指 導教員からの指導を受け、論文完成を目指します。3回の修士論 文構想発表会はいずれも、プログラムごとに専任教員と学生が一 堂に会し、各自の発表への質問・コメントをもとに議論を行います。



人文科学分野

Humanities Field



大学院学生数/専門職大学院学生数

法政大学ホームページ:情報公開(修学上の情報)
URL https://www.hosei.ac.jp/hosei/disclosure/acquire/

人文科学研究科

16 哲学専攻

18 日本文学専攻

20 英文学専攻

22 史学専攻

24 地理学専攻

26 心理学専攻

28 国際日本学

インスティテュート

国際文化研究科

30 国際文化専攻

※各専攻ページに掲載の「開講形態」は原則として修士課程に特化した内容です。

※各専攻の「アドミッション・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「ディプロマ・ポリシー」は要約したものです。年度により変更となる場合がありますので、最新の情報は大学院HPをご参照ください。



人文科学研究科

哲学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程15名/ 博士後期課程2名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

教育関係、情報通信、公 務員、出版関係など

長期履修制度有 (修士·博士後期課程)

(C

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



知の探究 知の根源から知の最先端へ

古代ギリシアから、近代を経て現代に至るヨーロッパ(ドイツ、フランス、イギリス)の哲学全般を網羅する科目群が設置されています。哲学一般、さらに、論理学、倫理学、美学・芸術学などを通じて、真善美など哲学知の根源を探究することができます。また、現象学・解釈学、心の哲学、言語哲学、科学哲学、法哲学、社会哲学、比較思想など、知の最先端の研究を通じて、現代社会の諸問題に哲学的な仕方でアプローチすることができます。昼夜開講制により、社会人院生を含む各院生は、それぞれの研究目的、スケジュールに合わせて柔軟な研究計画を立てることができます。また、「修士論文構想発表会」、「博士後期課程在籍者発表会」そして『大学院紀要』(年2回発行)など研究成果の発表の場はもちろん、留学制度や海外大学との連携も充実しています。

■研究室紹介



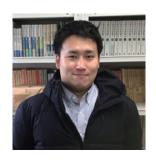
内藤 淳 教授

法哲学研究

人間本性と「正しい社会」

立憲的憲法をはじめとする社会的な規範や制度の正当化根拠を探る研究を進めています。今年度の授業ではオンラインでのツールを使いながら、西洋の「人間本性」観の歴史や特徴に関する英語の論考を精読し、それを踏まえた社会規範のあり方についての議論を行っています。古典的・基本的な哲学理論を踏まえつつ、進化理論、ゲーム理論などの現代的な知見も取り込んだ多角的な検討を行うのが特徴で、受講生には、広い視野に立って学問的な洞察を深めてほしいと思います。

■ 学生・修了生の声



服部 悠 博士後期課程 在学中

研究における対話を通じて、 一方だけでなく多角的な視野の下、 ものごとを考える姿勢が養われました

私の研究

研究テーマ

哲学研究は多くの観点に触れることが大切。 ヘーゲル哲学における行為の概念をテーマに学んでいます。

へーゲル哲学における行為の概念をテーマに研究しています。授業は、先生方からの問いやアドバイスを踏まえて、学生がお互いの解釈を検討し合う対話ベースです。論文を書くには哲学書と自分ひとりで向き合う熟考も必要ですが、そのための力が授業の場で得られると実感しています。一方で、十分に熟考した上で臨めた時ほど授業での対話が腑に落ちることが多く、そうした連動を日々感じながら学んでいます。

学んだこと・身についたこと

自分の中での常識を疑うようになりました。大学院ではさまざまな時代や国、 地域の哲学者の書物を歴史的、思想史的な文脈を踏まえて読んでいます。そ うした文脈の知識を拡げ深めることで、同じ書物を読んだとしても以前の自分 とは異なった捉え方をするようになりました。この学びのおかげで日常生活を 送る上で人や社会の文脈をよく捉えようという姿勢が育まれましたね。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
安孫子 信	教授	フランス哲学・フランス思想史	人間と科学技術、オーギュスト・コント、ベルクソン研究	科学哲学研究 1・2/ 1・2
安東 祐希	教授	数理論理学	証明論(演繹体系における正規化手続き)	論理学研究 I 1 ⋅ 2
奥田 和夫	教授	古代ギリシア哲学	現在の持続的テーマはプラトンの政治哲学	古代哲学史研究 1・2/ 1・2
笠原 賢介	教授	ドイツ近・現代思想、比較文化	20世紀ドイツ哲学・思想、18世紀ドイツ思想、近代日本思想 の再検討	比較思想研究 1・2、哲学ドイツ語研究1・2
酒井 健	教授	ジョルジュ・バタイユ研究、ゴシック文化史、西洋美術史	ジョルジュ・バタイユ研究、芸術論、西欧美術史	近代フランス哲学史研究 1・2/ 1・2、 哲学フランス語研究 1・2
菅沢 龍文	教授	カント哲学、西洋近代思想	近代ドイツ思想、カントの道徳哲学	近代倫理学史研究 1・2/ 1・2
内藤 淳	教授	法哲学	人権や憲法の基礎についての研究、進化心理学に基づく人間本性の研究	法哲学研究1·2
中釜 浩一	教授	言語哲学·科学哲学	言語哲学・科学哲学・イギリス経験論	言語分析哲学研究 1・2/ 1・2
山口 誠一	教授	ドイツ近現代哲学 (特にヘーゲルとニーチェ)	ヘーゲルからニーチェにいたるドイツ近現代哲学	実践哲学研究 I 1·2
君嶋 泰明	専任講師	現象学、解釈学	ハイデガーの西洋哲学史観の批判検討	現象学研究 1 · 2
西塚 俊太	専任講師	日本思想史、日本近代哲学、 倫理学	京都学派の哲学研究、日本倫理思想の研究	日本思想史研究 1・2/ 1・2

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 言語分析哲学研究 | 1 · 2 / || 1 · 2 (各 2)
- 形而上学研究 | 1·2/|| 1·2 (各2)
- 古代哲学史研究 | 1·2/||1·2(各2)
- 論理学研究 | 1·2/||1·2 (各2)
- 近代倫理学史研究 | 1·2/|| 1·2 (各2)
- 実践哲学研究 | 1 · 2/ || 1 · 2 (各2)
- 日本思想史研究 | 1·2/||1·2(各2)
- 近代ドイツ哲学史研究 | 1 · 2/ || 1 · 2 (各 2)
- 現代哲学研究 I 1 · 2 (各 2)
- 科学哲学研究 | 1 · 2/|| 1 · 2 (各2)
- 比較思想研究 | 1·2/|| 1·2 (各2)
- 近代西洋哲学研究 I 1·2 (各2)
- 近代フランス哲学史研究 | 1・2/|| 1・2 (各2)
- 超越論哲学研究 | 1 · 2/ || 1 · 2 (各 2)

- 現象学研究 I 1 · 2 (各2)
- ヨーロッパ精神史研究 | 1 · 2/ || 1 · 2 (各2)
- 法哲学研究1・2 (各2)
- 哲学ドイツ語研究1・2(各2)
- 哲学フランス語研究1・2(各2)
- 哲学基礎研究 I/II (各2)

博士後期課程

- 哲学特殊研究1/2 (各2)
- 言語分析哲学特殊講義1/2(各2)
- 古代哲学史特殊講義1/2(各2)
- 論理学特殊講義1/2(各2)
- 近代倫理学史特殊講義1/2(各2)
- 実践哲学特殊講義1/2(各2)
- 近代ドイツ哲学史特殊講義1/2(各2)
- 科学哲学特殊講義1/2(各2)
- 比較思想特殊講義1/2(各2)
- 近代フランス哲学史特殊講義1/2(各2)
- 超越論哲学特殊講座講義1/2(各2)
- 法哲学特殊講義1/2 (各2)
- 現象学特殊講義1/2(各2)
- 日本思想史特殊講義1/2(各2)

- 機械論に抗うベルクソン
 - 『試論』における因果性と自由の議論を中心に-
- ■ジョルジュ・バタイユの言語表現について
- ■カントの最高善と信ー最高善を促進する義務の根拠
- ■プラトン『国家』におけるディアノイアの対象ー教育とのかかわりー
- デカルト哲学における神の観念の認識についての考察
- ■マックス・シェーラーの倫理思想における愛と人格について ー自己と他者との相互性をめぐってー
- 様相論理S5における自然演繹体系とヒルベルト流体系との同等性
- 力への意志をめぐって ーナチス政権下におけるニーチェー

人文科学研究科

日本文学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程20名程度/ 博士後期課程2名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

学術・教育関連(教員)、 出版編集など

長期履修制度有 (修士·博士後期課程)

♦

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



日本文学を中心に、 豊かな教養と高度な研究能力を修得

古代から現代までの各時代の文学・言語・芸能に関する科目を中心に学びます。また、文芸批評・中国文学・沖縄文学・国語教育などの関連科目を幅広く配置しています。

2011年度より「文芸創作研究プログラム」を創設。実際に創作を行い、その作品を修士論文の代替として提出できます。プログラムでは、文芸作品が社会で評価されるまでの仕組みを「社会と表現」「編集理論」などの講座で学習。また、「文芸創作研究」「作家特殊研究」などの講座では文芸創作そのものについて学んでいきます。このほか、能楽研究所と連携した「能楽研究者育成プログラム」では、能楽に関する最高水準の大学院教育で展開しています。また、国際日本学インスティテュートとの合同科目を多く開設し、外国人留学生と学ぶ場が多いのも本専攻の特徴です。本専攻では、研究者や教員、学芸員、文芸創作に関わる専門家、専門能力をさまざまな分野で生かせる社会人の育成を幅広く行っています。

■研究室紹介

文学表現を支える社会的事象について研究します



中沢けい教授

年度により研究テーマを選んでいます。

2019年度は「フェイクニュースと言論形成」をテーマといたしました。IT技術の登場はグーテンベルク以来の大改革と言われました。従来の活字からデジタル技術によるネット配信への変化は、言論形成や文学表現の分野にも大きな変化をもたらしています。この変化を日常的な報道から拾い上げ検討を加えて行きました。2020年度のテーマは「文化政策」でした。受講生の希望で修正変更もあります。

学生・修了生の声

研究を進める中で、柔軟な思考力が養われました。 近年のテレビ番組などへの関心も深まります



杉本 裕樹 博士後期課程 在学中

学んだこと・身についたこと

研究テーマ 戦間期日本における モダニズム文学としての探偵小説

研究を進め、日本文学への知識を深めたことで、現代のテレビドラマやラジオ番組の構成やストーリー展開にも関心を持つようになりました。文豪が近年のドラマを執筆したらどうなるかといったアプローチ方法を思考するなど、柔軟な手法を考えられるようになりましたね。

大学院の魅力

法政大学大学院は学費やアクセスなど入学への様々な敷居が低く、先生方も親身になって指導してくださいます。研究資料が豊富に揃っており、学びやすい環境です。能楽作品研究や文芸創作研究、日本近代文芸演習Iといった講義も多く、研究の幅が多角的に広がりました。

作家特殊研究紹介

「作家特殊研究」は文芸創作研究プログラムの基幹科目で、毎年、現代文学の最前線で活躍する気鋭の文芸創作家を招聘し、受講生が本人を前にしてその作家の作品について研究するという、きわめてユニークな科目です。どの作品について研究するか、どんなことを作家に語ってもらうかは、学生たちと作家が対話することによって、毎年違うかたちで展開されていきます。そこでは作家についての理解を深めるだけではなく、文学研究全般についての新しい視点を手に入れる学生もいれば、自らの文芸創作への貴重なヒントをもらう学生もいます。

また、そうして学んだ研究の成果は、秋学期に冊子として まとめます。毎年、目次にはオーソドックスな作品研究・ 作家研究のみならず、図像や表を駆使した文学研究から 文芸創作にいたるまで、多様な記事がならびます。こうし て受講生が授業を通して学んだことを言語化した冊子

は、その作家についての最新 の研究成果であると同時に、 手に入れた文学的な知につい ての実践的な報告になります。 さまざまな興味・関心をもつ 学生たちと作家の出会いに よって、つねに清新な現代文 学の息吹が感じられる授業 です。



専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
阿部 真弓	教授	中世文学	日記文学、物語、和歌	日本中世文芸原典研究A・B
伊海 孝充	教授	中世文学(特に能楽)	古典演劇の能研究(能の作品研究・謡本研究)	日本中世文芸演習A·B
尾谷 昌則	教授	言語学	認知言語学から見た意味拡張、文法化、構文ネットワーク	日本言語学演習IA·B
加藤 昌嘉	教授	古代文学(後期)	平安時代の物語(『源氏物語』など)	日本古代文芸演習A·B
小秋元 段	教授	中世文学	軍記物語、史論、説話、お伽草子、近世初期出版文化	日本文芸特殊研究IIA·B
小林 ふみ子	教授	近世文芸	大田南畝・江戸狂歌を中心とする近世中期文学・文化研究	日本近世文芸原典研究A・B、日本文芸特殊研究 IIIA・B
坂本 勝	教授	古代文学(前期)	『古事記』『万葉集』を中心とする上代文学研究	日本文芸特殊研究 I A·B、日本古代文芸原典研究A·B
スティーヴン・ ネルソン	教授	日本音楽史学	雅楽・仏教音楽・平家語り、古典文学作品と音楽	日本文芸特講 I A・B(文芸と音楽)、日本文芸特殊研究IV A・B
田中 和生	教授	近・現代文学、文芸批評	日本の近代文学の特質を明らかにすること、そこから現代文学 の条件を考えること	日本文芸批評史A·B
中沢 けい	教授	文芸創作	小説、評論、随筆の執筆	日本文芸特講 II A・B (アートマネジメント研究)
中丸 宣明	教授	近・現代文学	明治・大正の作家・作品研究	日本近代文芸原典研究A·B
藤村 耕治	教授	近·現代文学	昭和以降の文学、特に戦後文学およびその継承者による現代文 学の作家・作品研究	日本近代文芸演習IA·B
間宮 厚司	教授	日本古典語学	『万葉集』や『おもろさうし』などの語学的研究	日本言語学原典研究A·B
宮本 圭造	教授	芸能史	能の歴史研究、中世芸能史	能楽資料研究A·B
山中 玲子	教授	能楽研究	能の作品研究・演出研究、能の所作研究	能楽作品研究A·B、現代能楽論
遠藤 星希	准教授	中国古典文学	主に唐詩、唐代伝奇および幕末期を中心とした日本漢詩の研究	中国文学A·B
王安	准教授	言語学	対照言語学、現代中国語文法、認知言語学、形容詞、感情表現	日本言語学演習IIA・B

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 日本文芸学A·B(各2)
- 日本文芸批評史A・B(各2)
- 日本古代文芸原典研究A・B(各2)
- ■日本古代文芸演習A·B(各2)
- 日本中世文芸原典研究A・B(各2)
- 日本中世文芸演習A・B(各2)
- 日本近世文芸原典研究A・B (各2)
- 日本近世文芸演習A・B(各2)
- 日本近代文芸原典研究A・B (各2)
- 日本言語学原典研究A・B(各2)
- 日本言語学演習 | A・B/|| A・B (各2)
- ■日本語学特講A・B(各2)

- 沖縄文芸史A・B(各2)
- 中国文学A・B(各2)
- ■日本文芸特講 | A·B (文芸と音楽) (各 ■日本語・日本文学の基礎A・B (各2) 2)
- 日本文芸特講 II A・B (アートマネジメント研究)(各2)
- 国語と文芸教育法A・B (各2)
- 女性文学A・B(各2)
- 文芸と視聴覚芸術A・B(各2)
- - 文学と風土A・B (各2)
 - 能楽作品研究A・B (各2)

- 能楽資料研究A・B (各2)
- 現代能楽論(2)
- 歴史と文学論A・B(各2)
- 表現と社会(2)
- ■編集理論(2)
- 作家特殊研究A・B(各2)
- 文芸創作研究A・B (各2)
- ■日本文芸特殊研究IA·B/IIA·B/ IIIA・B/IVA・B (各2)
- 日本文学・国際日本学基礎演習(2)
- 日本文学·国際日本学論文作成 基礎実習(2)

博士後期課程

- 日本文学特殊演習A・B(各2)
- 日本文芸学特殊研究A·B(各2)
- ■日本文芸批評史 特殊研究A・B(各2)
- 日本古代文芸特殊研究A・B (各2)
- 日本中世文芸特殊研究A・B (各2)
- 日本近世文芸特殊研究A・B (各2)
- 日本近代文芸特殊研究A・B (各2)
- 日本言語学特殊研究A・B (各2)

- ■現『伊勢物語』本文形成過程
- ■古活字本『保元物語』本文考
- ■『方丈記』の文末表現研究
- ■世阿弥作夢幻能における脇役の工夫

- ■澁澤龍彦後期小説論
- 視覚表現 (漫画)と文章表現 (小説)の違い
- ■カタカナ表記語の語用論的特徴

人文科学研究科

学

詳細はこちら



募集人員

修士課程20名/ 博士後期課程2名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

学術・教育関連(教員 等)、製造など

長期履修制度有 (修士・博士後期課程)

♦

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



少人数教育による、 文学・言語科学の専門的訓練

英米の文学、英語学、言語科学などの専門教育を行います。

教育の目標は「英米文学・英語学・言語科学の研究者の養成」「言語関連の幅広い知見を生かせる中学・ 高校英語教員の養成と、科学的訓練による再教育」「幅広い学歴・職歴・年齢層の人への再学習機会の提 供」です。そのため社会人入試も実施しています。

開講科目はすべて、少人数のゼミ方式の授業であり、学生のニーズに応えて柔軟かつ丁寧な指導に努めてい ます。また、自由度の高いカリキュラムも大きな魅力です。専任教員と相談しながら、専攻内・研究科内・学内 または提携大学院(2020年時点、11校)の豊富な科目の中から、自分独自のカリキュラムを編成することが できます。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

研究のために科学的思考を養いたいと考 える人です。社会人は、基本的な思考力 という形で積極的に受け入れています。ま た、基礎学力と勉学意欲、日本語と英語 の能力がある外国人学生も積極的に受け 入れています。一般入試に加え、本専攻の 専任教員の推薦を得た人 (学内者とは限 らない)を推薦入試という形式で積極的 ます。 に受け入れます。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

興味を持つ人、外国語教育や言語理論の を生かしたきめ細かい指導を実施し、学 生各自の興味やテーマについて、当該する 専門分野の研究会や学会で一定レベル どの方法論やスキルの入門講座を実施し ます。各自の研究テーマに必要なスキルに ついては、個々の授業科目において習得し

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

入学が期待されているのは、文学に強い 文学系の教育課程では、少人数制の強み 修士の学位は、各自の選んだ研究テーマに 必要な研究方法論を身に付け、そのテーマ の成果や結果についての知識を十分に習得 したと、修士論文によって判断された場合に があれば勉学意欲のある方を社会人入試 の研究発表ができるよう指導しています。 授与します。博士の学位は、修士の授与基準 言語系の教育課程では、修士に入学した に加えて、当該分野に新たな知見を加え、そ 段階で、科学方法論・統計学・実験法な の研究分野に独自の貢献をしたと、博士論 文によって判断された場合に授与します。

研究室紹介

第二言語習得理論と英語教育学の関連性



ブライアン・ ウィスナー 教授

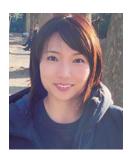
第二言語学習者への効果的な指導法を探る

本研究室では、第二言語習得理論と英語教育学の関連を研究しています。第二 言語習得理論から得るヒントを教育現場でどのように応用するのか、効果的な英 語の指導法とは何なのかにフォーカスしています。私の最近の研究対象は、メタ 言語的知識や個人の言語適性などが第二言語の手続き的知識の習得において 果たす役割についてです。このような研究には、心理言語学・認知科学・言語学・ 教育学などの知見も欠かせませんが、それぞれの分野が相互協力することで研究 面での相乗効果が得られ、第二言語の習得過程や効果的な外国語教育法がよ り明らかになっていくと期待されています。

※本専攻には、このほかに英米文学や英語学・言語学などの分野を扱う、全部で10の研究室があります。

■ 学生・修了生の声

多彩な言語学を学べる環境で バイリンガリズムの知見を広げています



川口 世志子 博士後期課程 在学中

私の研究

研究テーマ

第二言語習得、バイリンガリズム

海外生活と、外資系企業での多文化、多国籍環境での仕事が長かったことから、 自然と第二言語習得とバイリンガリズム (二言語併用) に関心を抱くようになりまし た。授業では第二言語習得のさまざまな理論を学ぶほか、研究データの実践的な 分析法、言語学関連の文献精読・発表と、興味のある科目を柔軟に選択できます。

英文学専攻の魅力

最終的には、バイリンガルの障害児の脳の行動機能に与える影響について研究 を進めていきたいと考えており、そのために現段階ではバイリンガリズムと行動機 能の関係について調べています。第二言語習得と言語科学方法論により視野が 広がったほか、教授陣がとてもフレンドリーで質問もしやすく、いろいろなアドバ イスがいただけることが魅力です。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
石川 潔	教授	理論言語学(統語論·意味論)、心理言語学(音声知覚、 文理解)	音素や音節の知覚、アスペクトの実時間処理など	言語科学方法論A、言語学特殊研究(理論言語学-認知科学)B
ブライアン・ ウィスナー	教授	応用言語学 (第二言語習得理論、英語教育学)	第二言語習得におけるメタ言語的知識の役割、言語テストの 妥当性など	言語科学方法論B、理論言語学·認知科学A
川﨑 貴子	教授	理論言語学(音韻論、第二言語習得理論)	第二言語習得による母語への影響、第二言語学習者の音韻 習得など	言語学演習(応用言語学) A/B
椎名 美智	教授	英語学・日本語学(文体論、語 用論、社会言語学、コミュニ ケーション論)	近代英語期口語表現の歴史語用論的研究	英語学特殊研究第一 (英文法·文体論·語用論) A/B
丹治 愛	教授	イギリス文学	19世紀および20世紀イギリス小説	英米文学演習第三 (British Fiction) A/B
利根川 真紀	教授	アメリカ文学	アメリカ南部文学、女性文学、ジェンダー研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
日中 鎮朗	教授	ドイツ文学、比較文学	比較文化、F.カフカ、P.オースターの文学、文学理論、比較芸術	比較文学研究A/B
福元 広二	教授	英語学、英語史	英語史における形態・統語・意味の変化、初期近代英語期に おける文法化・主観化	英語学演習(英語史・言語変化理論) A/B
宮川雅	教授	アメリカ文学	アメリカ文学史と宗教と神秘学、小説の語りと技法	英米文学演習第二(American Fiction) A/B、文学方法論A/B
小島 尚人	専任講師	アメリカ文学	米国リアリズム小説の勃興と展開、小説の歴史と理論	米文学特殊研究第二(小説論) A/B

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 英文学思潮研究第一(文学方法論)A/B(各2)
- 英文学思潮研究第二(文化研究)A/B(各2)
- 米文学思潮研究第一(American Drama)A/B(各2)
- 米文学思潮研究第二(American Poetry)A/B(各2)
- 英文学特殊研究第一 (British Fiction) A/B (各2)
- 英文学特殊研究第二 (British Drama) A/B (各2)
- 米文学特殊研究第一(文学史)A/B(各2)
- 米文学特殊研究第二(小説論)A/B(各2)
- 英米文学演習第一 (Shakespeare) A/B (各2) ■ 英米文学演習第二 (American Fiction) A/B (各2)
- 英米文学演習第三 (British Fiction) A/B (各2)
- 英米文学演習第四 (British Poetry) A/B (各2)
- 英語学演習 (英語史・言語変化理論) A/B (各2)

- 言語学演習(応用言語学)A/B(各2)
- 英語学特殊研究第一 (英文法・文体論・語用論) A/B (各2)
- 英語学特殊研究第二 (英語リーディングの科学)A/B(各2)
- ■言語学特殊研究
- (理論言語学・認知科学) A/B (各2)
- 英語教育学研究A/B(各2)
- 英語発音法A/B (各2)
- 英語表現演習A/B (各2)
- Fiction演習 I A/B (各2)
- Poetry演習 I A/B (各2) ■ Drama演習 I A/B (各2)
- 文学方法論A/B(各2)

- 英語音声·応用研究A/B(各2)
- 理論言語学・認知科学A/B (各2)
- 応用言語学・理論研究A/B (各2)
- 英語科教授法・教材研究A/B(各2)
- 言語科学方法論A/B (各2)
- 音声言語科学特論(2)
- 音声言語科学演習(2)■ 比較文学研究 A/B (久2)
- 比較文学研究A/B (各2)
- Issues in Japanese Studies 1/II (各2)
- Academic English (Effective Writing) A • B (各2)
- Academic English (Oral Presentation) A · B (各2)

博士後期課程

- 英米文学特殊演習 I A/B (各2)
- 言語学特殊演習 I A/B (各2)
- 文学方法論特講A/B (各2)
- 言語科学方法論特講A/B (各2)
- 英米文学特講 I ~ VA/B (各2) ■ 言語科学特講 I ~ VA/B (各2)

- Re-visioning the Ending of *The Secret Garden*:
 The Author's Dream-Fulfilled World
- Aspects of Madness in *Guliver's Travels*
- Investigating the Influence of Bilingualism on Self-Assessed Cognitive Flexibility
- A Relevance-Theoretic Approach to Impoliteness
- The Relationship Between Self-Regulated Vocabulary Learning Strategies and Vocabulary Size
- Willa Cather's *My Ántonia*: In Memory of Her Precious Past
- Nineteen Eighty-Four から読みとるユートピア (ディストピア) と モダニズムの関連ー矛盾対立する概念の共存

- The Effects of Test Anxiety on Japanese University Students' Phonetic Knowledge and Performance
- 言語間における非対格性の普遍性-日英語の比較を通じて
- The Maxson Family's Struggles in *Fences*
- Nella LarsenのPassingにおけるヒロインの正体ーパッシングによって失ったもの
- 第二言語における読みにくさと学習効果の関係性について
- The Effects of Listening Repetition and Word Categories on L2 Dictation

人文科学研究科

史学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程15名/ 博士後期課程2名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

教員、公務員など

長期履修制度有 (修士·博士後期課程)

(b)

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



日々進化する歴史学。あなたの眼で歴史を発見しよう

日本史(考古学・古代史・中世史・近世史・近現代史の5領域)、東洋史、西洋史の3分野にわたる多彩な授業を展開しています。歴史学は長い伝統を持ち、日々、学説の前進・更新・進化が続く学問です。近年、歴史学は人類史的視点により一層進化しました。本専攻は、史資料批判を通して自ら歴史像を再構成するという伝統的な研究方法を重んじ、同時に最新の研究方法・成果も取り入れています。そして、歴史学の発展に寄与することを目指しています。本専攻の修了者は、大学・高校・中学の教員、博物館の学芸員、資料館・文書館の専門職員(アーキビスト)、図書館の司書、都道府県史・市町村史の編纂員、文化財保護事業の専門職員などの諸分野で活躍しています。

■研究室紹介



小倉 淳一 教授

日本考古学、特に東日本の弥生時代社会の研究

物質資料に語らせる考古学の魅力

研究室には先史考古学から歴史考古学までさまざまな時代と資料を研究する院生が所属し、発表や議論を行っています。考古学資料はそれ自身では情報を発しませんが、さまざまな角度から光を当ててやることで、知られざる側面をいくつも見せはじめます。その手法や手続きについて相互に検討し、資料に物語らせながら立論することで自己研究を深めていくことを期待しています。私自身は弥生時代社会に関する研究を土器や集落の面から進めており、文献史料に表れない人間集団の選択や動向をつかんでいくことを目指しています。研究室では所蔵する資料の整理も実習的に進めており、考古学資料からいかに情報を引き出しまとめるかについて、実践的な検討も行っています。

※本専攻には、日本考古学から日本近現代史、あるいは東洋史や西洋史分野を扱う、全部で11の研究室があります。

▋学生・修了生の声



小野 清楓 修士課程 2019年度修了/ 株式会社出版文化社

往時の人々に記憶される 藩祖の姿の研究が アーキビストとしての原点

私の研究

研究テーマ

藩祖の記憶

一会津藩祖 保科正之を事例に一

徳川将軍家の血筋を引く保科正之は、会津藩の初代藩主として、その基礎を築き、藩祖として顕彰されてきました。19世紀に編纂された藩史『会津藩家世実紀』にも、彼に関する数多くの記述があります。修論では、藩史から彼の記述を全て抽出し分析を加えることで、後年において記憶され、折に触れて想起される藩祖像を浮かび上がらせました。

現在の仕事

大規模な記録や資料を集積するアーカイブの整備を行なう部署に所属し、見習いアーキビストとして企業や学園、病院などさまざまな業種の資料整理や電子化作業、資料の管理および活用の提案等を行っています。アーカイブの必要性がお客様に伝わったときや、幅広い資料を見ることができるのがこの仕事の醍醐味です。社会人の方々と共に学んだ大学院時代の経験も活かされています。

	専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
	小倉 淳一	教授	日本考古学	日本考古学、特に東日本の弥生時代社会の研究	日本考古学演習 / 、日本考古学特殊研究 / V
	小口 雅史	教授	日本古代史、東アジア比較法制史、日本北方史	日本古代社会経済史、日中比較律令法(土地法) 史、蝦夷論、敦煌·吐魯番学	日本古代史演習I~IV
日本史分野	大塚 紀弘	准教授	日本中世史	中世の対外関係および仏教に関する研究	日本史学原典研究 / 、日本中世史演習 / 、日本古文書学研究 /
	松本 剣志郎	准教授	日本近世史	近世都市論	日本近世史演習 / 、日本近世史料学研究 /
	長井 純市	教授	日本近現代史	日本近現代史における政治指導、明治国家における地方制 度整備をめぐる政治過程	日本近代史特殊研究 / 、日本近代史演習 / 、日本近代史研究 /
	塩沢 裕仁	教授	中国史・物質資料学	漢・魏晋南北朝・隋唐の都城考古学	東洋史学特殊研究1/11
東洋史分野	齋藤 勝	准教授	中国史・文献史料学	唐代の社会・民族・文化の研究	東洋史学演習 / 、東洋古代史研究 /
	宇都宮 美生	准教授	東アジア交流史・水利史	前近代中国の都市の水利・交通	東洋中世研究1/ 、文書管理研究1/
	後藤 篤子	教授	西洋古代史	ローマ帝国の歴史と社会および西洋古代末期における社会・ 文化の連続と変容	西洋史学演習1/ 、西洋古代史研究1/
西洋史分野	高澤 紀恵	教授	西洋近世史	近世フランス社会史・都市史	西洋史学演習III /IV、ヨーロッパ近現代政治 史研究 I / II
	大澤 広晃	准教授	西洋現代史	イギリス帝国史	西洋史学演習V/VI

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- ■日本史学研究1/Ⅱ(各2)
- ■日本史学原典研究1/Ⅱ(各2)
- 日本古代史特殊研究 I/II (各2)
- 日本中世史特殊研究 I ~ IV (各2)
- 日本近世史特殊研究 I ~ IV (各2)
- 日本近代史特殊研究 I ~ IV (各2)
- 日本考古学特殊研究 I ~ IV (各2)
- 日本古代史演習 | ~IV (各2)■ 日本中世史演習 | /II (各2)
- ■日本近世史演習1/Ⅱ(各2)
- ■日本近代史演習1/Ⅱ(各2)
- ■日本考古学演習1/II(各2)

- 日本古文書学研究 I/II (各2)
- ■日本古代史研究1/Ⅱ(各2)
- 日本古代史料研究(2)
- 日本中世史研究(2)
- 日本近世史料学研究1/Ⅱ(各2)
- 日本近代史研究 1/11 (各2)
- 日本近八又別九1/11 (台2
- 沖縄学入門 | / || (各2)
- 東洋史学特殊研究 I ~ IV (各2)東洋史学演習 I ~ VI (各2)
- 東洋古代史研究1/Ⅱ(各2)
- 東洋中世史研究 I/II (各2)
- 東洋近代史研究 | / || (各2)

- 西洋史学特殊研究 I ~ VI (各2)
- 西洋史学演習 I ~VI (各2)
- 西洋古代史研究 | / || (各2)
- 西洋中世史研究 I/II (各2)
- ヨーロッパ近現代政治史研究 | / || (各2)
- アーカイブズ学 | / || (各2)
- 文書館管理研究 | / || (各2)
- ■記録史料学研究1/Ⅱ(各2)
- ■記録史料学演習1/Ⅱ(各2)
- 外書講読 | / || (各2)

博士後期課程

- 史学特殊演習A |/||·B |/||(各2)
- 日本史学特殊講義A I/II~ E I/II (各2)
- 東洋史学特殊講義A |/||・B |/|| (各2)
- 西洋史学特殊講義A I/II~ C I/II(各2)

- スウェーデン福祉国家形成に関する考察 - 19世紀後半から20世紀前半を中心に-
- 大正末~昭和初期の宮中
- 19世紀ロシア帝国の海峡問題
- 弁護士と人権擁護の闘い一労農弁護士団事件を中心に一
- 礼法要項研究
- 近代最後の礼法書の成立過程と特質-
- ペリクレスの市民権法が神官の選出方法に与えた変化と ゲノスの変質に関する考察
- 宮号舎人の騎兵軍事力と馬飼集団 ー信濃国の金刺舎人・他田舎人を例としてー

- 幕末朝廷の政治行動について -御内慮と御直達のあいだ-
- 日露両国の領土概念と認識 ー千島列島をめぐってー
- 敦煌初盛唐窟と興福寺の八部衆像の研究 -東アジアの仏教美術における位置づけ-
- 吉田路線の形成過程
 - -新日本建設と伝統継承-
- 敦煌籍帳の四至に見られる「自由」の再検討 一日本古代公田賃租の経営と自田の経営を比較して一
- 幼年期における仮親習俗の日中比較研究 -日本高知県と中国山東省、河南省の比較を中心に-

人文科学研究科

地理学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程15名/ 博士後期課程2名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

教育関連(教員)やコン サル分野など

長期履修制度有 (修士·博士後期課程)

♦

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



世界の多様さ、自然環境の多様さ、人間社会の多様さを科学的に解明

自然地理と人文地理の2本柱でカリキュラムを構成しています。その幅広く複合的な領域をバランス良くカバーする教育体制が整っています。地理学は地域の科学、あるいは空間の科学ともいわれます。地理学でいう地域(空間)とは、身近なミクロの範囲から、国・大陸・地球規模と、さまざまな規模を含んでいます。地球規模の環境問題に直面する現代、現場のフィールドワークをもとに、地表付近で起こる時空間的現象にアプローチする地理学は、社会的にもその重要性を増しています。本専攻では、学生は自然地理・人文地理のどちらかに重心を置きつつ、個別の研究テーマを設けて研究を進めます。養成する人材は、地理学研究者、中学・高校教員、公務員、社会に貢献する人材などです。また、社会人入試制度により現職の教員や有職者の再学習にも力を注いでいます。

■研究室紹介



山口 隆子 准教授

気候学・生気象学

気候変動から 身近な気候現象の実態解明まで

自然地理学の中でも、気候学・生気象学を専攻し、気候変動が人間や自然環境に及ぼす影響を研究しています。生気象学は ヨーロッパを中心に研究が行われていますが、日本では数少ない研究室の一つとなっています。

現在、在籍している院生は、「温暖な地域における風穴の実態解明」を研究テーマとし、四国にある複数の風穴において観測を行っています。現地研究では、韓国密陽近郊のオルムゴルや、鹿児島・宮崎県内にある複数の風穴において気象観測を実施しました。桜島では、これまで学術的な調査が未実施の風穴を発見し、学会で発表するなど、幅広く研究に取り組んでいます。

また、ヒートアイランド現象をはじめとした都市気候や都市緑化技術、熱中症などの研究や東京の自然環境 (多摩部や島しょ)、気候景観に関する研究も行っています。

大学院修了生は、大学院での学びを活かし、教員や環境コンサルタント会社において技術者として活躍しています。

■ 学生・修了生の声



吉原 圭佑 博士後期課程 在学中

研究意欲の高い院生や留学生との交流が大きな刺激に。 恵まれた環境がビジネスや海外への関心を 広げてくれた

専攻の魅力

研究テーマ

航空旅客・航空貨物ネットワークからみる 世界都市システムの変遷

学内・学外を問わず例えば経済地理学分野における第一人者の教授方から教授して頂け、少人数のゼミ形式での講義では院生からの疑問に議論の中でお答えくださいます。修士論文・博士論文に関しては指導教員か否かを問わず厳しく鋭い指摘をしてくださいます。また、研究意欲の高い日本人院生や留学生と交流でき、全く色の異なる各々の研究テーマや異文化から大きな刺激や新たな視座を得られます。

学んだこと、身に付いたこと

恵まれた環境で研究に邁進できています。具体的には、一流の教授方や豊富な蔵書、研究補助金、専攻室、他大学院との単位互換制度を擁しており、キャンパスは都心に立地するため国立国会図書館や現地調査へも至便です。普段から留学生や社会人院生と共に学び研究し、現地研究では海外に赴くこともあるため、日本人院生同士での交流では生まれない刺激を受け、ビジネスや海外へも関心事の範囲が拡大しました。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
伊藤 達也	教授	経済地理学、資源・環境研究	水資源研究、環境問題研究、地域経済·地域社会研究	人文地理学研究 / 、人文地理学演習 /
米家 志乃布	教授	歴史地理学、江戸東京のツーリズム、 日本北方・ロシア地域研究	蝦夷地・北海道の歴史地理学、シベリア・極東の地図史研究、江戸東京の名所研究	歴史地理学研究 ・ 、歴史地理学演習 ・
中俣 均	教授	文化地理学、島嶼の地理学	沖縄地域研究	文化地理学研究 / 、文化地理学演習 /
前杢 英明	教授	自然地理学、地形学、第四紀学	地殻変動および環境変動に関する地形・地質学的研究	地形学研究1/II、地形学演習1/II
吉田 智	教授	原子核物理学	平均場理論による原子核構造の研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
小原 丈明	准教授	都市地理学、都市開発論	都市開発の空間的・社会的意義、土地所有から見た都市形成・変容	社会経済地理学研究I・II、社会経済地理学 演習I・II
小寺 浩二	准教授	自然地理学(水文学)、海洋陸水学、 地域環境情報解析	水循環に伴う物質循環に関する研究、地域環境問題、河川 流域の水環境保全と管理に関する研究	水文学研究1/II、水文学演習1/II
山口 隆子	准教授	自然地理学、気候学・生気象学	都市気候研究、都市緑化研究、自然地誌研究	気候学研究1/II、気候学演習1/II

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 地形学研究 1/11 (各2)
- 地形学演習 | / || (各2)
- 気候学研究 I/II (各2)
- 気候学演習|/||(各2)
- 水文学研究 | / || (各2)
- 水文学演習 | / || (各2)
- 第四紀学研究 I/II (各2)
- 自然地理学文献講読 | / ||(各2)
- 自然地理学特殊講義 I/II (各2)

- 人文地理学研究 | / || (各2)
- 人文地理学演習 | / || (各2)
- 一 八文地连于换目1/11(台2)
- 社会経済地理学研究 I/II (各2)
- 社会経済地理学演習I/II(各2)
- 文化地理学研究 I/II (各2)
- 文化地理学演習 | / || (各2)
- 地域社会論研究 | / || (各2)■ 地域社会論演習 | / || (各2)
- 歴史地理学研究 | / || (各2)

博士領

- 歴史地理学演習 I / II (各2)■ 也記■ 空間構成論研究 I / II (各2)■ 自名
- ■人文地理学文献講読 | / ||(各2)
- 人文地理学特殊講義 | / || (各2)
- 地理情報システム研究 | / || (各2)
- 地理学現地研究 | / || (各1)

博士後期課程

- 地理学特別演習 | / || (各2)
- 自然地理学特別講義 I ~IV (各2)
- 人文地理学特別講義 I ~ IV (各2)
- 地誌学特別講義 I ~IV (各2)

- 2014年9月27日御嶽山噴火前後における山体周辺の水質変化
- 東京首都圏における北西方向への気温の縦断分布とその季節的変化
- 新潟県上越市・十日町市における体験教育旅行受け入れの展開と地域住民の受容ー「越後田舎体験」の民泊世帯を中心に-
- クリプトテフラの同定による南海トラフ大地震に伴う津波発生年代の解明
- 台風通過に伴う関東地方の降水量分布と地形との対応
- 外国人技能実習生導入に伴う農家の変容と実習生の来日要因と意識
- 中国都市観光における観光客満足度調査 -重慶市・洪崖洞を事例として-

- 半乾燥地域における塩湖及び集水域諸河川・地下水の水文化学特性 ー中央アジア・キルギス: イシククル湖を事例に一
- 近現代中国における纏足女性の社会生活の変化 -雲南省通海県六一村と長河村の事例を通して一
- 中国における使用済み自動車の解体業に関する研究 -重慶市における解体企業の考察を中心に-
- 現代の不安定居住者層集中地域の特性による影響 一大田区蒲田を中心に一

詳細はこちら



募集人員

修士課程10名/ 博士後期課程3名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

教職、公務員(家庭裁判 所調査官、各県心理職、 各県警科学捜査研究 所、法務省)、企業(発達 支援、情報通信(ICT)、 リサーチ会社、出版社な ど)、博士後期課程への進 学、大学や研究機関など

長期履修制度有 (修士・博士後期課程)

昼間開講

(一部夜間開講)

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



心の機能を認知と発達を柱に考える

心理学のさまざまな領域を学びます。知覚・睡眠・発達・発達臨床・学校心理・言語・教育・行動分析・犯罪・ 社会・記憶・学習・音声学・スポーツ・健康・精神保健といった多岐にわたる領域のエキスパートが勢揃いしてい ます。指導は特定の分野の教員だけではなく、集団指導体制によって、いずれの領域の教員からも指導を受けるこ とができます。年に数回の発表会やイベントなどもあり、フレンドリーな交流を大切にしています。実験・心理検査・ 面接・調査・統計など、心理学の研究法に関する技術を十分に習得できるようにカリキュラムが編成されています。 さらに、高度なコンピュータ・リテラシー、文章表現力、プレセンテーション能力、カウンセリングの基本スキルなど も身に付けることができます。所定の条件を満たすことにより、学校心理士あるいは学校心理士補の受験資格を取 得することもできます。大学院特定課題のライフスキル教育研究所とも連携しており、エビデンスに基づいた研究 実践を社会に展開し、貢献する機会も得られます。

主なアドミッション・ ポリシ・

(学生受け入れ方針)

- ○心理学研究への強い意欲と心理学の各 ○年に3回の研究発表会では専任教員全 分野における学部卒業レベルの知識。
- ○修士論文・博士論文研究の実施と論 文執筆のために必要となる英文読解力 や批判的読解力、論理的思考力、デー タ分析力、プレゼンテーション能力、お よびITリテラシー。

主なカリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

- 員で集団指導。
- 活用する課題の設定。

主なディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

- ○観察・実験・調査を通して、人の認知や発 達について科学的に理解できる。
- ○グループ討論や発表機会、情報技術を ○国内外の先行研究や社会的要請をふま え、自ら課題を設定できる。
 - ○研究・学習目標を達成するために他者と協 働でき、成果を的確に他者に伝えられる。

▋研究室紹介

心はどのように発達していくのか一胎児期から高齢期までの生涯発達を探求する



渡辺 弥生 教授

感情リテラシーの発達の解明と対人関係の トラブルを予防するアプローチの開発

研究室では、喜怒哀楽だけではなく、「ワクワク」「マッタリ」といった多様な感情 に焦点を当て、感情の理解、感情の表出、感情のマネジメントなどの感情リテラ シーがどのように獲得されるかについて探求しています。円滑な対人関係を営む には、言葉だけでなく、表情や声といったノンバーバルなコミュニケーションを通 して、他人の気持ちを理解し、感情を適度に調整することが大切です。同時に適 度なモラルやソーシャルスキルを獲得することも必要です。こうした感情、社会性、 モラルに関して、それぞれ発達のアウトラインを解明し、対人関係の葛藤で悩んで いる人たちが前向きに生活できる教育支援策を開発、そして学校などで展開して います。社会に役立つ研究と実践を目指しています。

*写真は、高校生を対象に、ムードメーターという教材で日常で用いている言葉の背景にある「感情」を探っているところです。

■ 学生・修了生の声

指導教授の手厚いサポートのおかげで 洗練された論文をめざせる学びのプロセス



髙野 愛子

博士後期課程 在学中

専攻の魅力

学習履歴による強固な行動の制御と行動変容の端緒となる 環境変数の実験的探索

ヒトを対象とする行動分析に関して、理論・基礎を中心に応用まで見据えた知識・ 技術の獲得ができると考えたことから行動分析学の研究室を選びました。集団指 導体制が充実しており、専攻内の研究発表会では自身の研究に関して他領域の先 生方から直接アドバイスをいただけるほか、様々な専門領域の先生方と交流する機 会も多く、領域横断的な視点も取り入れることができます。コロナ禍で対面による 実験実施が困難な状況でしたが、指導教授の手厚いサポートのおかげで、データ 収集も順調に進めることができています。

学びの魅力

指導教授のゼミでは、論文の執筆や学術雑誌への投稿に関して丁寧なアドバイス をいただけています。また、副指導教授のゼミでは、さまざまな視点から論理的に文 章を洗練させる手法を学んだほか、実験データを論文化する際のアピールポイント について具体的な提案をいただきました。論文執筆が思うように進まない時など精 神的にもとても励まされています。こうした先生方の支えにより、より一層前向きに 研究に取り組めています。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
高橋 敏治	教授	生理心理学、睡眠科学、精神保健学	時差症候群とシフト勤務に関係する精神作業能力やP300の変化、サーカディアンリズム睡眠障害	精神保健特論、精神生理特講、精神生理特殊講義
渡辺 弥生	教授	発達心理学、発達臨床心理学、 学校心理学	社会性や感情、道徳性の発達メカニズムの解明、いじめなどの対人関係の問題の予防と心理教育プログラムの開発・展開、ソーシャルスキルトレーニング	発達心理特論、学校カウンセリング演習、発達心 理学特殊講義
福田 由紀	教授	言語心理学、教育心理学	浅い処理から見た文章理解モデル、コミュニケーションにおける言語活動の役割、読みと感情	言語心理特論、言語心理演習、言語心理学特殊講義
島宗 理	教授	行動分析学、産業組織心理学	パフォーマンス・マネジメント、インストラクショナルデザイン、 組織行動マネジメントや消費者行動に関する研究	発達行動特論、学校コンサルテーション特論、行動分析学特殊講義
藤田 哲也	教授	認知心理学、教育心理学	人間の記憶を中心とした認知メカニズムに関する基礎研究 と、学習場面における動機づけと学習方略との関連を中心とし た教育への応用研究	学習心理特論、学習指導特論、認知学習過程演習、大学教員心理学基礎講座
越智 啓太	教授	犯罪心理学、社会心理学	犯罪心理学、特に犯罪捜査における心理学の応用についての 研究、デートバイオレンス、プロファイリング	社会心理特論、犯罪心理特論、犯罪心理学特殊講義
田嶋 圭一	教授	言語心理学、音声学、言語学、認知科学	音声言語の産出と知覚、言葉のリズムや韻律的特徴の分析、 外国語学習(特にスピーキングやリスニング) に関する実証的 研究	音声言語科学演習、音声言語科学特論、心理学 英語論文作成指導
荒井 弘和	教授	スポーツ心理学	アスリートに対するメンタルサポート、ソーシャルマーケティン グによる生涯スポーツの普及	スポーツ心理特論

^{*2022}年度に新任教員が着任する予定です。

■主要な研究設備

- NIRS (脳血流量測定装置):全脳型1台、前頭型2台。
- 脳波計:据置型1台、携帯型2台、P300 などの事象関連電位測定。
- ポリグラフ: 脳波、筋電図、呼吸運動、心電図、指尖脈波、耳栓型温度、皮膚活動電位などが測定可能。
- 観察室、心理検査など各種。
- その他、サーモグラフィー、アイカメラ、呼吸代謝測定機器、事象関連電位や周波数、3次元動作や自律神経系の解析ソフト、防音室など。

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 心理学研究法演習 I/II (各1)
- 学習心理特論(2)
- 音声言語科学特論 (2)
- 社会心理特論 (2)
- 読書心理特論 (2)
- 教育心理特論 (2)
- 犯罪心理特論 (2)
- 学習指導特論(2)
- 知覚運動論演習(2)
- 音声言語科学演習(2)
- 精神生理特論(2)
- ■認知学習過程演習(2)
- 臨床心理特論(2)
- 発達心理特論(2)

- 障害児心理特論(2)
- 人格心理特論(2) ■ 言語心理特論(2)
- 言語心理符論 (2)
- 精神保健特論(2)
- 学校カウンセリング演習 (2)
- 発達行動特論 (2)
- 生徒指導特論 (2)
- 言語心理演習(2)
- 学校コンサルテーション特論 (2)
- 心理教育アセスメント特論(2)
- 心理教育アセスメント演習(2)
- スポーツ心理特論 (2)
- ■健康心理特論(2)
- 心理研究法特論(2)

- 応用心理統計 | / || (各2)
- 言語分析哲学研究 II 1 · 2 (各2)
- 古代哲学史研究 II 1・2 (各2)
- 近代倫理学史研究||1·2(各2)
- 科学哲学研究 II 1・2 (各2)

■ 超越論哲学研究 II 2 (2)

博士後期課程

- 心理学特殊研究1/Ⅱ(各2)
- 大学教員心理学基礎講座 (2)
- 心理学英語論文作成指導(2)
- 知覚認知心理学特殊講義(2)
- ■精神生理学特殊講義(2)
- 発達心理学特殊講義(2)
- 言語心理学特殊講義(2)■ 行動分析学特殊講義(2)
- 犯罪心理学特殊講義(2)

- 不安喚起の差異からみた入眠期の脳波・自律神経活動による精神生理学的検討
- 子どもの発達に関する知識が育児ストレスに及ぼす影響
- 人物同定再認における幸福顔優位性の生起因 - 再認の二過程説による検討 -
- 漢字・ひらがな・カタカナの書き分けと印象の違いについて 一日本語表記に関する実証的研究-
- 音響的な特徴が音声による羞恥感情の程度と種類の認知に及ぼす影響 ーピッチと時間に着目して一
- 商品名に含まれる音相の違いが購買意欲、商品画像の選択に与える影響
- オノマトペの感覚関連性および表記形態が意味理解に与える影響 - 感覚情報を測定する評価用語への応用を目指して-
- パートナーに対する暴力のメカニズム ーDark Triad と生活史戦略による個人差に対するアプローチー
- アニメーションによる物語理解過程の心理学的検討
- 児童期における感情リテラシーの発達と共感性との関連

人文科学研究科

インスティテュート 国際日本学

詳細はこちら



募集人員

修士課程14名程度/ 博士後期課程5名程度

キャンパス

市ケ谷

入学後は人文科学研究 科のいずれかの専攻(心 理学専攻を除く)に在籍 することになります。

長期履修制度有 (修士·博士後期課程)

♦

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



「学際」と「国際」―学問領域の枠を超え、 国境を超え、世界の中の日本を視る

国際日本学インスティテュートは、哲学・日本文学・英文学・史学・地理学の5専攻が共同で開設する、日本研究に特化した教育研究プログラムです。思想・サブカル・芸術・文学・言語・歴史・民俗・生活文化・地理・環境・経済などを切り口に、日本について深く探究することを目指します。一言で「日本」といっても、そこには多様な側面が存在しています。例えば、沖縄からアイヌ民族、そして在日外国人とともに作り上げてきた日本文化や、これまで必ずしも学術的な対象として捉えられてこなかったサブカルチャーなど、日本研究の領域には広がりがあります。従来の分野に収まりきらないテーマや広い視野で日本を研究したいと願っている学生や社会人、外国人留学生にとって最適な専攻です。国際日本学インスティテュートでは「学際性」と「国際性」を重視して研究を進めます。一つの学問領域を研究しているだけでは得られない知見を、専攻横断的なカリキュラムを通じて獲得することができます。また、世界各国の留学生と日本人が集まり、交流する場として、海外からの視点や比較の視点による研究も実現することができます。多様な日本を、多様な背景と関心を持った仲間が学び合う、新たな知的探究の場がここにはあります。

■研究室紹介



スティーヴン・ネルソン 教授

東アジアとの関係を踏まえた、日本の音楽・古典芸能に関する歴史的研究

日本の音楽や古典芸能を、東アジアという枠組みの中 で捉え、その歴史的な変遷を考察

日本の音楽文化は、海外(主にアジア大陸)からの影響を受ける時期と、それを消化し日本的なものに変容させていく時期との推移の中で形成されてきました。こうした歴史的経緯を踏まえて、音楽史学の方法論的可能性を考えながら研究しています。

狭義の音楽文献史料 (楽譜や楽書) に加え、一般的な文献史料 (日記などの記録) や文学作品の中の音楽描写場面にも着目し、音楽史を探る材料として読み解きます。楽器などの物的史料も、また日本に豊富に現存する音楽・古典芸能の生きた演奏伝承も研究対象とします。文化における音楽の不変性と可変性を探りながら、「日本的なもの」を明らかにしていきます。

■ 学生・修了生の声



丁維那 修士課程 2018年度修了/ サムスン電子ジャパン株式会社

日本と韓国の「ドキドキ」を研究。 常に問い続ける力や 課題発見・解決力を磨きました

専攻の魅力

研究テーマ

「ドキドキ」に関する一考察

一韓国語の「dugun-dugun」との比較を中心に一

言語学をはじめ思想から歴史、サブカルチャーまで、多岐にわたる切り口で学際的な研究ができる点が魅力です。私はかねてから言語学という学問をきちんと学びたいと思い、社会人10年目にして夢を叶えました。パフォーマンスを発揮する仕事と違い、大学院での研究は勉強と発表、つまりインプットとアウトプットの繰り返しです。仕事との両立は大変でしたが、教授の指導のもとバランス良く、多くの気づきを得ながら研究ができました。

私の研究

日本人女性がよく使うオノマトペ、「ドキドキ」に着目し、その用法の変遷を明らかにするとともに、統語的・意味的特徴を韓国語でドキドキを表す「dugundugun」と比較しました。共通点も多い一方で相違点も見られ、それぞれの言語文化について理解を深めました。研究を通して常に問い続ける力や課題を明確にする力、また解決に向けて行動する力を培ったことが大きな成果です。私自身の知見を広げ、仕事や今後の人生の原動力になっています。

	TITAL S. Lee: 12. A Lace / Active / Act								
	専任教員		専門	研究テーマ	主な担当科目				
哲学専攻	安孫子 信	専担教授	思想史	ヨーロッパと近代日本	国際日本学演習 / 、 日本の思想・西欧の思想 /				
	西塚 俊太	専担講師	日本思想史·日本近代哲 学·倫理学	京都学派の哲学の研究・日本倫理思想の研究	国際日本学演習 /				
日本文学専攻	伊海 孝充	専担教授	日本文学	能楽を中心とした古典芸能・民俗芸能	国際日本学演習 /				
	小秋元 段	専担教授	日本文学	日本中世文学、中世・近世初期出版文化、和漢比較文学	国際日本学演習Ⅰ/Ⅱ				
	小林 ふみ子	専担教授	日本文学	江戸時代文化、文芸(漢文戯作や狂詩含む)、絵本、浮世 絵など	国際日本学演習 / 、江戸の文芸と文化 /				
	坂本 勝	専担教授	上代文学	古事記・万葉集を中心とする上代文学研究	国際日本学演習 / 、神話と歌 /				
	島田 雅彦	専担教授	創作、小説論、文学史、戦 後史、サブカルチャー	日本学、比較文化学、サブカルチャー諸ジャンル	国際日本学演習 /				
	スティーヴン・	ネルソン 専担教授	日本音楽史学	音楽・古典芸能の歴史、古典文学作品と音楽	国際日本学演習 / 、 国際日本学論文作成実習(英語) /				
	遠藤 星希	専担准教授	中国文学	中国唐代文学、江戸・明治期を中心とした日本漢文学	国際日本学演習1/11				
	尾谷 昌則	専担教授	言語学	若者言葉、意味論、文法論、認知言語学	国際日本学演習 /				
	間宮 厚司	専担教授	言語学	日本語の意味・表記・流行語の変化	国際日本学演習 / 、日本語の歴史と現在 /				
	王 安	専担准教授	言語学	対照言語学、現代中国語文法、認知言語学	国際日本学演習 /				
英文学専攻	川﨑 貴子	専担教授	言語学	言語習得、音韻論、心理言語学、学習者に注目した第二言 語教育	国際日本学演習 /				
	椎名 美智	専担教授	言語学	日本語の語用論、社会言語学、文体論、談話分析	国際日本学演習 /				
史学専攻地理学専攻	小口 雅史	専担教授	古代日中比較文化論、日 本古代中世北方史	日中比較律令法史·土地法史、蝦夷論、日本古代社会経済史	国際日本学演習 / 、東アジアの律令文化 /				
	謝 荔	専担教授	中国漢族社会の 文化人類学的研究	中国・日本社会の生活文化の比較	国際日本学演習 /				
	水野 和夫	専担教授	マクロ経済学、現代日本経済論、資本主義経済史	デフレ・ゼロ金利下における日本経済の課題、資本主義経 済の課題と将来展望	国際日本学演習 /				
	松本 剣志郎	専担准教授	日本近世史	城下町江戸の空間と社会	国際日本学演習 /				
	髙田 圭	専担講師	社会学·現代史	市民社会と社会運動、グローバリゼーションと社会変動、 現代社会論など	国際日本学演習 /				
	伊藤 達也	専担教授	地理学、地域社会·地域 経済研究	日本から東アジアにかけての水資源問題、環境問題	国際日本学演習 / 、日本の環境論 / 、国際日本学合同演習				
	米家 志乃布	専担教授	日本の歴史地理学、日本と ロシアの地図史	画像史料を用いた日本研究、日本における歴史的町並み 保存	国際日本学演習 / 、地図の文化誌 /				
	小原 丈明	専担准教授	地理学、都市に関わる社 会的・経済的な事象	日本における都市の形成・変容および開発に関する研究	国際日本学演習 / 、日本の都市と産業 /				

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

【必修科目·国際日本学演習】

- 国際日本学演習 | / || (各2)
- 国際日本学合同演習 I/II (各1)
- 【国際日本学基幹科目】
- 世界の日本論と日本学 I/II (各2) ■ アジアと日本 1/川(条2)
- 国際日本学論文作成実習
- (英語) |/||(各2)
- 日本語論文作成実習 | / ||(各2)
- 日本語論文作成基礎A I ~IV (各1) 日本語論文作成基礎B I ~IV (各1)
- 日本語の性格 I/II (各2)
- 伝統文化と民衆世界 I/II (各2)
- 日本の思想・西欧の思想 I / II (各2)
- 日本の思想 | / || (各2)
- 史料から読む琉球とアジア I/II (各2)
- 戦後沖縄と対外関係 | / || (各2)

- 仏教思想と仏教美術 I/II (各2)
- データ分析法 1/Ⅱ (各2)
- サプカルチャー論 I/II (各2)
- 【国際日本学関連科目・文学と言語】 ■ 日本文学·国際日本学基礎演習(2)
- 日本文学・国際日本学論文
- 作成基礎実習(2) 近代の文芸批評1/Ⅱ(各2)
- 神話と歌 | / || (各2)
- 平安時代の物語 I/II (各2)
- 書誌学と文献学 | / || (各2)
- 能と楽劇 | / || (各2)■ 江戸の文芸と文化 | / || (各2)
- 江戸の思想史 I/II (各2)
- 日本語の歴史と現在 I/II (各2)
- 現代日本語のしくみ | / || (各2) ■ 沖縄文芸史 | / || (各2)

- 中国文学 I/II (各2)
 - 女性文学 I/II (各2)
 - 文学と映画 | / ||(各2) ■ 文学と風土 I/II (各2)

 - 表現と社会(2)
 - 編集理論(2)
 - 英語発音法 | / || (各2)
 - 行動科学方法論1(2) ■ 西欧比較文学 I / II (各2)

 - Issues in Japanese Studies I/II (各2) 【国際日本学関連科目・歴史と思想】

 - 西欧の思想 | / || (各2)
 東北アジアの文化伝播
 | 1・2/|| 1・2/|| 1・2 (各2)
 東アジアの含含文化
 - |1・2/||1・2(各2)
 - 王権の政治文化 I/II (各2)

- 天皇制と政務・儀礼 | / || (各2)
- 日本の歴史と宗教 (2)
- 古文書から読む江戸社会・入門編 | / || (各2)
- 江戸の地方文化1/II (各2)
- 日本文化と西洋文化1/II (各2)■ 日本の近代と国際社会1/II (各2)
- 沖縄学入門I/II(各2) ■ アーカイブズ学 1/11 (各2)
- 文書館管理研究 I/II (各2)
- 記録史料学研究1/II(各2)
- 記録史料学演習1/II (各2)

【国際日本学関連科目・風土と民族】

- 日本の環境論1/II(各2)
- 日本の都市と産業 I/II (各2)
- 日本の農業と農村 I/II (各2) ■ 地図の文化誌1/II (各2)

博士後期課程

- 国際日本学研究 I/II (各2)
- 国際日本学特殊講義 AI·JI·KI(各2)
- 国際日本学特殊講義 B~H、LI/II(各2)

- 映画を通じて日本の百合文化の現状について考察する
- ■中国における死を主題とする絵本 -日本から受容された作品と中国の作品との比較-
- ■オペラ《蝶々夫人》における東洋的表象 ■「やばい」の意味と用法の変遷についてー「すごい」との比較を通じてー
- 形容詞 「痛い」の多義性と意味拡張について
- 天気表現のメタファーに関する日中対照研究
- 広東語母語話者による日本語リズムの習得

- 現代における妖怪文化の伝承に関する考察 ーサブカルチャー作品に登場するキャラクターを中心にー
- 現代日本社会における孔子祭祀の様相 - 湯島聖堂と多久聖廟の事例を中心に-
- 横浜みなとみらい21 地区におけるオフィス立地の変容 -経済的中枢管理機能を中心に-
- 都市における水辺空間と地域住民の意識 - 杭州市銭塘江流域を中心に-

国際文化研究科

国際文化専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程15名/ 博士後期課程3名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

研究職、教員、公務員、 旅行業界、出版印刷業 界、広告業界、青年海外 協力隊など

> 長期履修制度有 (修士課程)

(C

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



異文化との交流によって成立する 「国際文化」を探究

グローバル化・情報化が進展する世界を、既存の主権国家の枠組みだけではなく、異文化間の理解と交流によって成立する「国際文化」として捉え研究することが本専攻の目的です。そのため、本専攻では主に3つの研究領域に科目を配置しています。第一に「国際社会に存在する多様な地域文化間の相関関係」を扱う「異文化相関関係研究」、第二に「多文化・多民族社会での共生」を扱う「多文化共生研究」、第三に「様々なメディアが介在する情報化社会における文化交流・認識」を扱う「多文化情報空間研究」です。

様々な文化が共有する問題と構造に関する重層的な研究や文化を中心に政治・経済も加えた広い視野による国際社会の考察、どのような文化にも存在する「内なる他者」「内なる異文化」の解明、国際文化における日本文化の相対化、更には情報空間に成立する文化に対する国際文化学としての理解などに取り組んでいます。

異なる文化がせめぎ合い、かつ多様な文化情報がインターネット等を通して行き交う国際社会において、そこから生じる諸問題を主体的、自立的かつ創造的に研究し、問題解決につなげられる柔軟な知性としての「実践知」を備えた人材を育成します。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

修士課程 入試を通して、研究に必要な外国語(非母語)能力、研究の基盤となる学問分野の基本文献の理解、文献への論理的で批判的な思考力、文化や情報のあり方を主体的に研究・実践する意欲、自文化の枠にとらわれず通文化的かつ複良的な視点を備えている方を受け入れます。

博士後期課程 上記の修士課程の条件に加え、研究基盤となる知識と方法論を備え、 先行研究の体系的理解と批判的に評価でき、一次資料を発掘し、その結果を論理的 に伝えることができる独創性を有している 方を受け入れます。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

修士課程「国際文化研究」「国際文化共同研究」を必ず履修し、国際文化学の学際性・専門性・方法論を身につけます。3つの研究領域の科目を横断的に受講し、毎年研究発表を一度以上行い、異なる研究領域の教員の指導を受けます。異文化間の理解や交流に関わる実務的な課題に取り組む科目によって実践知が身につきます。文献講読や議論を中心にする科目により、クリティカル・リーディングの能力も備わります。

博士後期課程 2017年度導入のコースワーク を通して、独立した研究者としてだけでな く教育者としての研鑽を積みます。国内外 の研究発表を強く奨励します。外国人学 生は日本語論文指導も受けることが可能 です。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

修士課程修了時 3つの研究領域の基盤的な 知識と方法論を十分備え、異文化間で生じ る課題に対して、先行研究・事例を批判的に 評価する一方、現実の問題発見や実務的な 問題解決に結びつけられるようになります。 質的・量的調査を通して一次資料を発掘し、 独創的な視点を見出すことができ、研究結果 を口頭表現や文章表現、あるいはICT等を活 用して論理的に伝えられるようになります。

博士後期修了時 最先端の専門知識と方法 論を身につけ、研究成果を単著として発表で きる独立した研究者、また実践知を尊重する 後進を育成できる教育者となります。外国語 を用い、研究の成果を的確に伝達するための プレゼンテーション能力やコミュニケーショ ン能力が身につきます。

▋研究室紹介



松本 悟 教授

■学生・修了生の声



金 瑞蘭 修士課程 2020年度修了/ ソウル市庁

開発や国際協力の研究は深くて楽しい!

「それ以外でもありえる」知=フロネーシスの醍醐味

この研究室の特徴は3つのismです。Academism—私は学部で経済学、修士で地理学、博士で国際協力学を修め学際的な研究を重視しています。Activism—NGO職員として、東南アジアでの草の根協力や調査に基づくアドボカシー活動に15年余り関わってきました。Journalism—放送記者として5年余り、警察、行政、選挙、農業、原発、アイヌ民族、旧ソ連などを取材しました。これらの経験をもとにフロネーシス(実践知)を大切にする研究室です。

修士課程では広い意味での開発や国際協力を、博士課程では特に開発や国際協力の機能に着目した研究を志す院生を歓迎します。その上で、方法論を重視し、事象を多角的に分析できる力を備えた高度職業人や研究者を育てます。

韓国の文化遺産を国際的な枠組みから捉え直し「ソウル漢陽都城」の世界遺産登録をめざす

私の研究

研究テーマ

朝鮮時代漢陽のシティプランニング

-世界遺産登録基準から見たその価値-

ソウル市では2016年「ソウル漢陽都城」のユネスコ世界遺産登録を推進しましたが、評価の結果が「不登録」になり戦略の全面的な修正を迫られました。ソウル市庁の学芸員として登録に関わった私は、韓国の文化遺産を国際的な視点から再検討し、その価値と独自性を導き出すためにこの研究に取り組みました。

将来の目標

世界遺産を異文化の視点から深く研究するため日本に留学。修了後は再びソウル市庁に復帰し、世界遺産チームのリーダーとして登録推進業務を担っています。 法政大学大学院での学びや知見を活かして世界遺産を広い枠組みで見直すことにより、 漢陽都城がいつか必ず世界遺産に登録されるよう力を尽くします。

専任教員			専攻	研究テーマ	主な担当科目
粟飯原	文子	准教授	アフリカ文学	アフリカ現代文学(特に小説)、およびアフリカの映画・音楽を 中心とする文化の研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
浅川	希洋志	教授	心理学、人間発達学	フロー経験(flow experience)と精神的健康・Well-beingとの 関連について	※今年度は、特定の科目を担当しません
石森	大知	准教授	文化人類学、オセアニア地域 研究	オセアニア地域を主な対象とし、宗教運動、植民地主義、グローバル化と文化変容、開発現象、地域紛争などに関する研究	国際文化研究A、ナショナリズム/エスニシティ 論A・B
和泉	順子	准教授	インターネット上の情報流通に 関する研究	主にITSや移動体通信などが扱う実空間情報を軸にしたインターネット上の情報流通と、情報技術の普及や社会性に関する問題に取り組む	多文化情報ネットワーク論A・B
今泉	裕美子	教授	国際関係学、太平洋島嶼国際 関係史、ミクロネシア研究、沖 縄研究	アジアや太平洋島嶼を中心に世界諸地域の植民地政策、そこでの人々のくらし、社会、諸運動、移動、脱植民地化を分析し、現代世界の諸問題との関係性を追究する	国際文化共同研究B、異文化社会論IA·B
大嶋 .	良明	教授	ディジタル・メディア処理、音声 情報処理	我々の知的活動や芸術的表現の手段、媒体としてコンピュータ やインターネットを取り上げ、諸問題を検討する	※今年度は、特定の科目を担当しません
大中 -	一彌	教授	政治学、政治思想史 (近現代のフランスを中心に)	ヨーロッパ連合地域の政治·経済·文化を公共空間とグローバル化の関係を軸に検討する	多言語社会論A·B
大野	ロベルト	、准教授	日本文学	古典文学およびその受容と翻訳の研究、日本文学に通底する 詩学の研究、文学と権力の関係性をめぐる研究	多言語相関論IIA·B
甲 洋	介	教授	ヒューマンインターフェース	道具の使いやすさ(usability)を実現するための設計方法論、 日常生活を豊かにする情報空間と人工物のデザイン	※今年度は、特定の科目を担当しません
熊田	泰章	教授	テクスト論、文化記号論	文化の表出原理を、言語と言語以外のテクストについての理論 的考察を通して解明する	多文化相関論IIA
輿石	哲哉	教授	英語学、言語学	英語の形態論、英語史、辞書学、対照言語学。英語の語を中心とした領域が他の領域にどのように関わるか、さまざまな角度から検討する	国際文化共同研究A、多言語相関論IIIA・B
佐々木	一惠	教授	歴史学、ジェンダー研究、異文 化接触論、帝国主義研究	20世紀初頭のアメリカにおける帝国的国民主義と歴史意識とジェンダーの関係	多文化相関論川、ジェンダー論
佐藤 ·	千登勢	教授	20世紀ロシア文学、文学理論、 ロシア(ソ連)映画	日常批判・社会批判の装置として、また人間の内的世界の縮図として、文学や映画のテクストを捉え直し、その多義性・重層的 構造を分析する	多文化芸術論Ⅰ
重定	如彦	教授	情報科学	ユビキタスコンピューティング、分散OS	国際文化研究B、多文化情報メディア論II
曽 士	才	教授	文化人類学、中国民族学	華南少数民族のエスニシティ、日本華僑の文化の再構築とアイ デンティティ	マイノリティ社会論A・B
髙栁 ′	俊男	教授	朝鮮近現代史、在日朝鮮人史研究、伊那谷地域研究	在日朝鮮人(広義)の歴史や文化を多面的に描き出し、新しい 時代に合わせた等身大の在日像と、日本社会のあるべき姿を考 察すること	多民族共生論ⅡA·B
廣松	勲	准教授	フランス語圏文学、文学理論	カリブ海域文学およびハイチ系ケベック文学に関する、ポスト・ コロニアリズム論およびメランコリー論に基づいた地域研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
松本	悟	教授	開発研究、国際協力、東南アジ ア地域研究	国際協力が引き起こす諸問題について、関わる主体(国家、国際機関、NGOなど)に着目して社会科学的な分析をする	多民族共生論IA·B、国際協力論
森村	修	教授	現代哲学、現代アートの哲学、応用倫理学、近代日本哲学	現象学研究、「こころ・魂・身体」の哲学研究。「死者」と「亡霊」 を含む「他者」概念に基づく、現象学的他者論の構築	多文化情報空間論IA·B

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 国際文化研究A/B (各2)
- 国際文化共同研究A/B(各2)
- 多言語相関論 | A · B / | | A · B / | | | A · B (各2)
- 多文化相関論 |A・B/||A・B/|||(各2)
- 多文化芸術論 | / || (各2)
- 異文化社会論 |A・B/||A・B(各2)
- ナショナリズム/ エスニシティ論A/B(各2)

- マイノリティ社会論A/B (各2)
- ジェンダー論(2)
- 多言語社会論A/B (各2) ■ 多民族共生論
- IA·B/IIA·B(各2)
- トランスナショナリズム論(2)
- 国際ジャーナリズム論(2)
- 国際文化交流論 I/IIA・B (各2)
- 比較宗教文明論(2)
- 多文化情報空間論IA·B/IIA·B(各2)
- 多文化情報メディア論 | A・B/II (各2)
- Thesis WritingA/B (各2) Oral Presentation (2)
- 国際協力論(2)
- 国際人権論(2)
- 多文化情報 ネットワーク論A/B (各2)
- 国際文化研究 日本語論文演習A/B/C(各2)
- 修士論文演習A/B(各2)

博士後期課程

- 博士論文演習 |A・B/||A・B/|||A・B (各2)
- 博士ワークショップ IA・B/IIA・B/IIIA・B (各1)

- イメージとしての「アフリカ」 『朝日新聞』 「飢えるアフリカ」を通して -
- 張芸謀の映画から見る封建社会における女性像
 - ー 『菊豆』と 『紅夢』 を例にして-
- 中国における「国民統合」と「弱者救済」に関する考察 - 北京における内地新疆班を事例として-
- 版権時代の字幕組に関する研究 ーオンライン言説の分析を中心として
- 映像のナラトロジーで読み解く作品構造 - タルコフスキー映画 『鏡』 は自伝であるのかー
- グギ・ワ・ジオンゴのWizard of the Crowにおける翻訳の政治性と手法の分析
- アルゼンチン・ブエノスアイレスにおける沖縄移民社会の形成と社会団体 - 「在亜沖縄県人連合会」の設立までを中心に(1908-1951)-

- アイダ・B・ウェルズとニグロ・フェローシップ・リーグから見る革新主義期シカゴの人種 とジェンダー
- 大江健三郎『個人的な体験』の英訳出版および受容と評価に関する分析・考察
- ■「未識別民族」のアイデンティティはどう構築されてきたのか - 貴州省織金県の穿青人を例に-
- コンピュータ黎明期の日本における技術の受容と発展 -IBMジャパンの日本化路線を中心として
- モバイルゲーム『FATE / Grand Order』のユーザーはゲーム中にどのような経験をして いるのか~フロー理論の視点から~
- 川崎の在日韓国・朝鮮人にみる多文化共生発展の現代史的考察
- ■「承認をめぐる闘争」の宗教哲学的考察

社会科学分野

Social Science Field



大学院学生数/専門職大学院学生数

法政大学ホームページ:情報公開(修学上の情報) URL https://www.hosei.ac.jp/hosei/disclosure/acquire/

経済学研究科

34 経済学専攻

法学研究科

38 法律学専攻

政治学研究科

- 40 政治学専攻
- 42 国際政治学専攻

社会学研究科

44 社会学専攻

経営学研究科

48 経営学専攻

人間社会研究科

- 52 福祉社会専攻
- 54 臨床心理学専攻
- 56 人間福祉専攻

政策創造研究科

58 政策創造専攻

公共政策研究科

- 60 公共政策学専攻
- 62 サステイナビリティ学専攻

キャリアデザイン学研究科

64 キャリアデザイン学専攻

連帯社会インスティテュート

66 連帯社会インスティテュート

スポーツ健康学研究科

68 スポーツ健康学専攻

※各専攻ページに掲載の「開講形態」は原則として修士課程に特化した内容です。

※各専攻の「アドミッション・ボリシー」、「カリキュラム・ボリシー」、「ディプロマ・ボリシー」は要約したものです。年度により変更となる場合がありますので、最新の情報は大学院HPをご参照ください。



経済学研究科

経済学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程50名/ 博士後期課程10名

キャンパス

市ケ谷

(例外的に多摩で開講 される科目もあります)

主な進路

専門研究者(大学・シン クタンク)、金融、商社、 製造、公務員など

♦

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



QE (博士論文研究基礎力審査)を導入した

世界標準のカリキュラムで専門研究者、応用エコノミストを養成

経済学専攻は、1951年の創立以来、一流の教授陣のもと、多くの優れたエコノミスト、研究者を輩出してきました。1992年には他大学に先駆けて夜間社会人大学院を設置し、2003年には博士後期課程を昼夜開講制にするなど、常に時代や社会の新しいニーズに応え続けてきました。2014年度からは、多様化の進展とともに高度に専門化する21世紀のグローバル社会に対応できる人材養成をこれまで以上に推し進めるために、昼夜開講制の「修士(M.A.)プログラム」と「博士5年(Ph.D.)プログラム」に抜本的に制度変更し、より質の高い教育プログラムを提供しています。また2017年度より、「経済学研究科修士課程1年制コース」も併せて設置されています。

修士 (M.A.) プログラム

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

教育目標に掲げる人材の資質に適合する、旺盛な勉学意欲と研究志向を併せ持つ人材の国内外、学部新卒・社会人からの受け入れ。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

国際的に通用する質保証制度を伴った 教育課程をコアに、修士課程の教育目標、ディプロマ・ポリシーの実現を目指 す科目編成と教育内容・方法の実践。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

各々の分野における「応用エコノミスト」「高 度職業人」「高度教養人」としての経済学の 研究基礎力と自立的研究能力の達成。

博士5年 (Ph.D.) プログラム

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

教育目標に掲げる国際社会に発信力のある 専門研究者の資質に適合する、経済学に対す る非常に旺盛な勉学意欲を持ち、経済学の 諸分野についての強い研究志向を持つ人材 の国内外、学部新卒、社会人からの受け入れ。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

国際的に通用する質保証制度を伴った 教育課程をコアに、先端的研究遂行能 力を含めた博士後期課程の教育目標・ ディプロマ・ポリシーの実現を目指す科 目編成と教育内容・方法の実践。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

国際社会に発信力のある新たな知的創造 のために必要な研究遂行能力の達成。

研究室紹介

開発ミクロ経済学

池上 宗信 教授

東アフリカ乾燥地におけるインデックス型家畜保険

開発ミクロ経済学は、ミクロ経済学・計量経済学の理論・手法に基づいて、開発 途上国の家計・企業などの経済主体の意思決定・行動を分析し、有効な経済政 策を模索する経済学です。当研究室は、その開発ミクロ経済学への貢献を目指す 研究室です。教員の研究テーマは、干魃などのリスクや、貧困の罠が存在しうる経 済における、家計行動、経済政策、貧困指標です。より具体的な経済政策として、 東アフリカ乾燥地における干魃対策としてのインデックス型家畜保険を取り上げ、 家計の保険需要、家計への経済効果を研究しています。

学生・修了生の声



王 威 博士後期課程 在学中

より良い未来のために社会保障を研究。

社会科学の中枢として多岐にわたる領域を扱う経済学は、 旺盛な好奇心と探究心を満たしてくれる

専攻の魅力

研究テーマ

社会保障、労働経済学

経済学は社会科学の中枢として、日常の局所的なものから国の政策に関わる全域的な研究まで多岐にわたることが魅力です。経済成長の基盤は社会の安定であり、社会安定に繋がるものは個人の社会保障です。出稼ぎ労働者の社会保障の研究を通して、中国における社会保障制度のより良い方向性を考えたい、これは自分自身の未来も繋がるので、研究テーマとして選びました。

良かったこと

学部が他の専攻で、経済学の基本知識や常識が不足していた私にとって、経済学専攻の懇切丁寧な授業はとても理解しやすく、負担なく一から学ぶことができました。教授陣は日本だけでなく、アメリカや東南アジアなど世界各国の経済事情に精通されているので、自分が知りたい知識を即座に吸収できる環境です。

修士(M.A.)プログラム

出願時に選ぶことができます。

© (*

昼夜開講

「修士(M.A.)プログラム」は、経済学研究科修士課程の教育目標である「新しい経済社会を創り出す知性と意欲を持った『応用エコノミスト』や『高度 職業人』、また生涯学習における『高度教養人』を養成する」ための修士課程プログラムです。プログラムの履修要件を満たし、修士論文を提出して口述 試験に合格することで修士号が授与されます。

※修士(M.A.)プログラムでは、指導教員の指導・了解の下、「リサーチペーパー」をもって修士論文に代えることができます。その場合、34単位以上が修了要件となります。
※修士課程|年間で修了所要単位をすべて修得し、修士論文を提出して口述試験に合格することで修士号が授与されるプログラム、すなわち「修士(M.A.)プログラム | 年制コース」も

修士(M.A.)プログラム 修了要件

M 1 (修士1年) -------「導入科目群」(リカレン

「導入科目群」(リカレント教育用科目)または 「基本科目群」から履修 M2(修士2年) 研究テーマ・目標に合わ

研究テーマ・目標に合わせて「基本科目群」「専門科目群」から履修

修士論文 口述試験

「修士ワークショップ」にて 修士論文中間発表

博士5年(Ph.D.)プログラム

\$(:

昼夜開講

「博士5年(Ph.D.)プログラム」は、経済学研究科博士後期課程の教育目標である「国際社会が直面する諸問題の解決に挑戦する意欲的な専門研究者養成」のための修士課程・博士後期課程5年一貫の教育プログラムです。プログラムの履修要件(修士課程分)を満たし「博士論文研究基礎力審査Qualifying Examination(QE)」に合格することで博士後期課程に進学し、研究プロジェクトと内外での研究発表・公表を進め、博士論文を執筆します。

※QE合格により修士号が授与されます。 ※「修士 | 年制コース」では、| 年で修士取得+3年の博士後期課程で「博士4年プログラム」になります。

博士5年(Ph.D.)プログラム 修了要件 —

※QE筆記試験(2科目)、QE口述試験の合格が、修士課程修了と博士後期課程進学に必要となります。

博士後期課程

♦€

昼夜開講

本研究科のM.A.プログラムを修了*、または、他大学の修士課程などを修了した学生は、博士後期課程入試で「外国語」**とQE筆記試験と同等の「専門科目(2科目)」を受験し、修士論文に相当する論文***を提出して口述試験を受験し、合格すると、博士後期課程に進学することができます。修了要件は、博士5年(Ph.D.)プログラムの3-5年目と同じです。

*M.A.プログラム修了後すぐに進学する予定の方は、Ph.D.プログラムの履修を勧めます。

- **「外国語」筆記試験は外部試験のスコアによって代替することができます。
- ***リサーチペーパーは、修士論文に相当する論文とは認められません。

 博士論文 研究基礎力 審査(QE) 筆記試験 (2科目合格)

M2 (修士2年)

専攻分野コースワークから履修 専攻分野コースワーク1 分野6科目12単位 以上GPA「2.7」以上、研究計画書の提出判定

> 「修士ワークショップ」にて 「研究計画書」中間発表

博士論文 研究基礎力 審査(QE) 口述試験

QE筆記試験は 2年次にも チャンスがあります。

「博士ワークショップ」にて 博士論文中間発表 博士論文 口述試験

Þ

転プログラム(M.A.→Ph.D./ Ph.D.→M.A.)について

- ・入学時、オリエンテーション後に転プログラムが可能です。両方のプログラムの特徴について理解した上で、変更の判断をしてください。
- ・年度途中のプログラム変更はできませんが、2月末には(M.A.→Ph.D./ Ph.D.→M.A. どちらとも)変更の申請が可能です。なお変更に際しては、必ず指導教員と相談してください。

経済学研究科博士後期課程修了者対象助教採用制度

博士号取得者には、経済学部助教採用(4年任期)の可能性があります。 ※経済学部の採用枠内の募集によります。採用には教授会による審議・承認が必要となります。

- 地域貿易協定における原産地規則の影響ーテキスタイル及びアパレルにおける考察ー
- 不完備契約による中国高齢者福祉の研究
- 中国遼寧省における大学生の留学志向に関する要因分析
- 中国における資本流出の決定要因について VARモデルを用いる検証
- 国有企業における品質向上のための研究開発競争と政府規制に関する分析 ー中国石油企業を例として
- 高年齢者雇用安定法改正が高年齢者の就業と健康に与える効果

- 成長性の差異による企業のR&D投資と企業価値との関係 -日本製造業における実証分析
- 暗号資産プロジェクトの情報の非対称性に関する実証研究 ~シグナルを明らかにする~
- R&D拠点立地が地域の生産性に与える影響
- 地産地消による経済波及効果ー沖縄市産業連関表を用いた分析ー

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
阿部 俊		受 統計科学	角度統計、非対称モデル、推測理論、データ解析	統計学 A/B
池上宗	₹信 教持	受 開発経済学	家計の異時点間の意思決定と貧困動学、東アフリカ乾燥 地におけるインデックス型家畜保険	実証経済学基礎A、開発経済論A
梅津 亮	§子 教持	受管理会計、原価計算論	マネジメント・コントロール、コスト・マネジメント	※今年度は、特定の科目を担当しません
奥山 利]幸 教持	受 理論経済学	景気循環・経済成長の動学・ミクロ・ゲーム理論分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
小黒-	-正 教持	受財政学、公共経済学	人口動態と政治経済の相互作用や世代間問題の分析	財政学 A/B
小沢 和]浩 教持	受情報処理論	ソフトコンピューティングによるデータ解析手法	※今年度は、特定の科目を担当しません
河村 哲	打二 教持	アメリカ経済論、世界経済論、 理論経済学	現代アメリカ経済とそのグローバル・インパクト―パックス・アメリカーナの再編と転換	※今年度は、特定の科目を担当しません
河村	真 教	受産業組織論	産業やマクロ経済のデータを用いた統計学的分析	実証経済学基礎B
岸 牧	又人 教持	受監査論	企業財務と公認会計士監査	※今年度は、特定の科目を担当しません
後藤 浩	告子 教	受 イギリス社会思想史	社会思想におけるリプロダクション	※今年度は、特定の科目を担当しません
小林 克	E也 教持	地方財政論・ミクロ経済学の 応用	政府間関係の分析や政府組織についての理論分析	ミクロ経済学B、応用ミクロ経済学B
近藤 章	5夫 教持	経済地理学、都市・地域経 済学	都市・産業集積と経済発展、立地と分業の国際比較、イノ ベーションの空間経済分析	経済地理学A
酒井	正教技	受 労働経済論	社会保障制度と就業との関係についての実証分析	労働経済学A/B
佐柄 信	i純 教持	受 数理経済学、函数解析学	最適成長論、一般均衡理論、協力ゲーム理論	※今年度は、特定の科目を担当しません
ジェス・ダ	イヤモンド 教技	マクロ経済学、ファイナンス、 労働経済学	投資、インフレーション、コーポレートファイナンス	※今年度は、特定の科目を担当しません
篠原 隆	全介 教	受 公共経済学・ミクロ経済学	公共財、外部性、交渉、メカニズムデザイン	※今年度は、特定の科目を担当しません
胥	鵬教技	受 金融ファイナンス、法と経済学	企業金融、国際金融、企業統治	金融ファイナンス論A/B
進藤 理	里香子 教持	ドイツ近現代史、西洋経済史、 ヨーロッパ経済政策	ドイツ近現代史、東プロイセン史、ヨーロッパ社会経済史	※今年度は、特定の科目を担当しません
菅 富美	美枝 教	受 民法(契約法)、消費者法	契約当事者間における交渉力の格差や非良心的取引をめ ぐる法的諸問題の分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
菅 斡	}雄 教持	受 経済統計	ビジネスレジスター、経済センサス、産業連関表、観光 統計	統計学基礎B(2020年度以前入学者用)
菅原 琢	₹ 磨 教持	社会保障論、社会政策、医療 経済	医療・福祉・介護政策、医療品・医療機器産業の分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
杉浦未	₹樹 教持	受 世界経済史	繊維製品や飲料のグローバルな流通、商品マーケティン グ史、都市史、女性史	経済史B
鈴木	豊 教	契約理論、企業の理論、制度 の契約理論分析	ガバナンスの比較セクター分析:ゲーム理論·契約理論によるアプローチ	※今年度は、特定の科目を担当しません
砂田	充 救	受 産業組織論、企業経済学	企業経済学の実証的研究	企業経済学A
高橋 秀	手朋 教持	受 ファイナンス	株式市場の効率性の検証、マーケット・マイクロストラク チャー	※今年度は、特定の科目を担当しません
竹口圭	輔教	受 財務会計論	ストック・オプションを中心とする株式報酬の会計	※今年度は、特定の科目を担当しません
武田 浩	一 教	受 金融論	金融の応用ミクロ経済分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
武智 -	- 貴 教 教	受 国際経済学	距離と貿易コストの関係の実証分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
田中優	養希 教	受 財務会計論、環境会計	企業の環境情報開示	※今年度は、特定の科目を担当しません
田村晶	引子 教	受 国際経済学、マクロ経済学	国際経済の理論と実証分析	国際貿易論A/B
長原	豊教	経済史、日本経済史、経済理 論、経済学方法論	日本経済史、経済理論、経済学方法論(「レント資本主義 論」を主題にしています)	※今年度は、特定の科目を担当しません
西澤 栄	——郎 救±	受 環境政策論	欧米の環境政策、環境保全型農業・農村の構築	※今年度は、特定の科目を担当しません
朴 倞	宗玄 教持	受 都市地理学	文化産業と企業行動のグローバル化と国際的都市シス テム	※今年度は、特定の科目を担当しません
			開発途上国の自動車産業創始の諸条件、自動車産業の	

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
原 伸子	教授	社会経済学、経済学史、ジェ ンダー経済学	福祉国家の変容と家族、ジェンダーの政治経済学	社会経済学A/B
平井 俊行	教授	ゲーム理論、ミクロ経済学、公 共経済学	情報財取引や公共財供給の協力ゲーム分析、マッチン グ理論	ミクロ経済学A、応用ミクロ経済学A
廣川 みどり	教授	社会選択論、公共経済学	制度の形成についてのミクロ経済学的基礎	※今年度は、特定の科目を担当しません
ブー・トウン・カイ	教授	国際マクロ経済学の理論と実証	アジア諸国の経済成長、貿易、為替制度	※今年度は、特定の科目を担当しません
牧野 文夫	教授	日本経済、経済発展	日本と中国の経済発展の比較、経済発展と所得・資産 分配	経済史A
馬 欣欣	教授	中国経済論、労働経済学	中国社会保障政策の経済分析、中国労働市場の分断化 の実証研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
松波 淳也	教授	環境経済学	循環型社会形成に向けた社会経済システム	環境経済論A/B
宮﨑 憲治	教授	計量経済学、マクロ経済学	マクロ経済学の計量経済学	マクロ経済学B、応用マクロ経済学B
宮脇 典彦	教授	経営統計学、経営科学、デー 夕解析	経営分析と情報、統計学とその応用	※今年度は、特定の科目を担当しません
明城 聡	教授	実証産業組織論、計量経済学	消費者および企業行動に関する構造推定、規制産業における競争政策の評価	計量経済学A、応用計量経済学A
八木橋 毅司	教授	マクロ経済学、国際マクロ経済 学、応用計量経済学	公的機関におけるマクロ経済モデルの活用、 消費・余暇選択・健康投資に関する家計行動分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
湯前 祥二	教授	ファイナンス	リスク管理、コンピュテーショナル・ファイナンス	※今年度は、特定の科目を担当しません
倪 彬	准教授	国際経済学、開発経済学、応 用計量経済学	国際貿易、外国直接投資、開発経済、環境経済	※今年度は、特定の科目を担当しません
濱秋 純哉	准教授	公共経済学、応用計量経済学	家計行動のミクロ計量分析	計量経済学B、経済政策B
平瀬 友樹	准教授	経済理論形成史	戦間期におけるマクロ経済分析の再評価	※今年度は、特定の科目を担当しません
森田 裕史	准教授	マクロ経済学、時系列分析	金融財政政策の効果に関する実証分析	マクロ経済学A、応用マクロ経済学A

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

【導入科日群】

- ●リカレント教育用科目
- 経済学基礎A/B (各2)
- 実証経済学基礎A/B (各2)

【基本科目群】

- ●研究基礎力
- (OF 筆記試験コースワーク科目)
- 社会経済学A/B (各2)
- 経済中A/B (各2)
- ミクロ経済学A/B (各2)
- マクロ経済学A/B (各2)
- 計量経済学A/B(各2)

【専門科目群】

- (専攻分野コースワーク科目)
- ◆歴史・思想・制度
- 応用ミクロ経済学A/B(各2)
- 応用マクロ経済学A/B(各2)
- 統計学A/B (各2)
- 日本経済論A/B (各2) ■ ジェンダー経済論A/B (各2)

- 法と経済学A/B (各2)
- 経済学史A/B (各2)
- 金融ファイナンス論A/B(各2)
- 財政学A/B (各2) ■ 開発経済論A/B (各2)
- 地域経済論 | A/| B(各2)
- 地域経済論|| A/|| B (各2)
- ◆金融・企業
- 応用ミクロ経済学A/B(各2)
- 応用マクロ経済学A/B(各2)
- 統計学A/B (各2)
- 金融経済学A/B (各2)
- 実証ファイナンスA/B (各2)
- 企業経済学A/B(各2)
- 経済と会計A/B (各2)
- 国際金融論A/B (各2)
- ◆政策・環境
- 応用ミクロ経済学A/B(各2)
- 応用マクロ経済学A/B(各2)
- 統計学A/B (各2)
- 環境経済論A/B (各2)

- 環境政策論A/R (各2)
- 経済政策A/B (各2) ■ 財政学A/B (各2)
- 公共経済学A/B (各2)
- 社会保障論A/B (各2)
- 都市経済政策論A/B(各2)
- 経済地理学A/B (各2)
- 労働経済学A/B (各2)
- ◆国際・地域
- 応用ミクロ経済学A/B (各2)
- 応用マクロ経済学A/B(各2)
- 統計学A/B (各2)
- 金融ファイナンス論A/B(各2) 国際貿易論A/B(各2)
 - 国際金融論A/B (各2)
 - 開発経済論A/B (各2)
 - 経済地理学A/B (各2)
 - 地域経済論 | A/ | B (各2)
 - 地域経済論|| A/|| B (各2)
 - 日本経済論A/B(各2)
 - ◆応用ミクロ・応用マクロ・計量
 - 応用ミクロ経済学A/B(各2)
 - 応用マクロ経済学A/B (各2)

- 統計学A/B (各2)
- 上級ミクロ経済学A/B (各2)
- 上級マクロ経済学A/B(各2)
- 応用計量経済学A/B (各2)
- 労働経済学A/B (各2)
- 日本経済論A/B (各2)
- 法と経済学A/B (各2)
- 企業経済学A/B (各2)
- 経済と会計A/B(各2)
- 公共経済学A/B (各2)

【研究指導科目群】

- 経済学演習 | A/| B(各2) [1年次]
- 経済学演習|| A/|| B(各2)[2年次]

■ 特別講義 I A/B ~IV A/B (各2)

【留学生向け科目】

- 日本語 | A/ | B (各1)
- 日本語 || A/|| B(各1)
- 日本語III A/III B (各1)

博士後期課程

【研究指導科目群】

- 経済学演習 Ⅲ A/Ⅲ B (各2) [1年次]
- 経済学演習 IV A/IV B (各2) [2年次]
- 経済学演習 V A/V B (各2) [3年次]

【専門科目群】

■ 修士課程と合同で行われます

なお、単位にはなりませんが、 ワークショップでの報告(修士2回、博士後期3回)が修了要件 となります。

「修士 (M.A.) プログラム・履修科目例 (A/Bは省略)

「公共政策」「社会保障」をテーマにして、修士論文を執筆する方の履修科目例					
	「経済学基礎」「実証経済学基礎」				
M1 (修士1年)	「ミクロ経済学」「マクロ経済学」				
	「経済学演習 」				
M2 (/5) - 5	「公共経済学」「社会保障論」				
M2 (修士2年)	「経済学演習Ⅱ」修士ワークショップ				

※修士ワークショップにおいて修士論文中間発表

「博士5年(Ph.D.)プログラム」修士課程・履修科目例 (A/Bは省略)

「金融」「ファイナンス」を研究テーマにして博士後期課程を目指す方の履修科目例

並は、ファイノンス」を明元ノーマにしては工技物課任を目指す力の機修符目的					
	「実証経済学基礎」				
Ph.D.1 (修士1年)	「マクロ経済学」「計量経済学」				
	「経済学演習」				
Ph.D.2 (修十2年)	「応用マクロ経済学」「金融経済学」「実証ファイナンス」				
FN.D.Z (修士2年)	「経済学演習 」修士ワークショップ				

※修士ワークショップにおいて「研究計画書」中間発表 ※この履修例は「修士 (M.A.) プログラム」の履修要件も満たす

※「プログラム・とは、履修上の区分であり、修士課程のみで修了しようとする方は「修士(M.A.)プログラム・に沿った履修を、修士課程から博士後期課程に進学しようとする方は「博士5年(Ph.D.)プログラム・に沿った履修を行います。 ※修士課程入学前に科目等履修生として、導入科目群」あるいは「基本科目群」のいくつかを履修することも可能です。科目等履修生として履修した科目は、修士課程入学後、申請・審査の上、単位認定されます。 認定可能単位数は入学時にご確認ください。

法学研究科

法律学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程20名/ 博士後期課程5名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

公務員、金融、情報通信、 サービスなど

(

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



高度な専門性と柔軟な法的思考

少子高齢化・グローバル化など、私たちを取り巻く環境が大きな転換期を迎えた今日、大学院における法律学研究の社会的な意義や役割もまた、多様化の時代を迎えています。

かつては、やがて法律学の研究者・教育者として巣立っていくことを目指す人たちの学びの場としての機能が大半を占めていました。しかしながら今日では、社会人経験を持つ方が実体験の中から獲得した法律上の疑問点等について考究する場として、あるいは外国からの留学生の方が母国の法と日本法との比較法研究を行った上で、母国や日本で両国の架け橋となるような研究や仕事に就くための学びの場としても機能することが、大いに期待されるようになっています。私たちはこのような多様なニーズに応えるべく、一般入試に加え社会人入試や外国人入試を実施し、幅広い学生を受け入れています。

その上で、コースワーク科目によって外国文献の読み方・理解の仕方の修得や、各法分野の専門的・体系的知識の獲得を促す一方、リサーチ科目によって各自の研究テーマ・問題関心の深化を図るとともに、法律学論文を執筆するための様々な手法・作法等を教授しています。本専攻での学びを通じて、物事を多様な観点から法的に分析し、説得力のある法理論に基づいて法律を解釈し、あるいは法制度設計を行う能力を身につけていただくことを、教員一同心から期待しています。

▋研究室紹介



大澤彩教授

現代社会における民法・消費者法の役割

契約の適正化と民法・消費者法

現代社会では事業者と消費者、大企業と中小企業といったように、当事者の情報・交渉力・経済力に格差がある当事者間での契約が多く見られ、もともと対等な当事者間による契約を念頭に置いた民法典では、契約当事者間の格差の是正や契約の適正化を図る上で限界がある。そこで、消費者契約法などの消費者法分野において不当条項規制のルールが設けられているが、このように当事者間の格差を前提にしたルールを民法典にも設けるべきか否かが債権法改正(2020年4月より施行)にあたって議論された。本研究室では以上の問題意識に基づいて、民法と消費者法の関係が盛んに議論されているフランス民法・消費法を比較対象として研究を行っている。

■ 学生・修了生の声



小林 文子 博士後期課程 在学中

日本特有の「私道をめぐる私人間の争い」を減らし 不動産法分野の発展に貢献したい

私の研究

研究テーマ

反射的利益による通行利益と共存する土地所有権の保護

「私道をめぐる私人間の争い」は身近な問題であるが、法学の分野ではマイナーなイメージがある。本問題は表面的には「私人間の争い」、本質的には日本特有の制度の問題と考えるが、根本的な解決を目指すには所有権及び建築基準法上の道路を理解する必要があると考えた。研究では、判例及び裁判例ならびに先行研究をまとめ、海外の判例も調査している。データベースに掲載されない判例等は、各地の裁判所で判旨を閲覧、係争地の調査をするなど、精力的な情報収集を行っている。

将来の目標

戦後の日本は、営利を優先するあまりに曖昧なことが多く、大切なものをないがしろにしてきた。長年にわたり解決できないこの問題を根本的に解決するには、部分的ではあるが一度リセットする必要性もあると思う。新たな知見を加え様々な政策提言を行い、学界に貢献できるような博士論文を完成させたい。制度の本質、判例を知らない人にも、それらが理解できるような活動に取り組み、広く不動産法分野の発展に貢献したい。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
青柳 由香	教授	経済法	国家の競争中立性(国家補助規制、調達と競争政策)、独 占禁止法と知的財産権法	※今年度は、特定の科目を担当しません
荒谷 裕子	教授	商法、金融商品取引法	金融商品取引法上の諸問題の研究。株式会社の機関に関 する研究	商法演習Ⅲ/IV、商法論文指導 I ~IV
大澤 彩	教授	民法、消費者法、医事法	消費者法との関係から見た現代における民法典の意義、フランス契約法・消費法研究	民法特殊講義V/VI、民法論文指導I~IV、民事法特殊研究Ⅲ/IV
大野 達司	教授	法哲学	法の妥当性、法の動態、自治、ドイツ法・国家思想	法律学原典研究(独語) / 、法哲学特殊講義 /
小山田 朋子	教授	英米法	医療をめぐる法規制を中心とした日米比較	英米法特殊講義 /
金子 匡良	教授	憲法、人権政策	国及び自治体の人権救済制度、国内人権機関	憲法特殊講義Ⅲ/Ⅳ
神谷 髙保	教授	会社法・商法・海商法・保 険法・信託法・法と経済学	取締役の責任・内部統制など、利得禁止原則・新保険法、 共同海損など、信認法・医療と法など、商事法制史、法学 (大学・古典)教育	※今年度は、特定の科目を担当しません
川口 由彦	教授	日本法制史	日本近代の土地法制、日本近代法史の通史、村落制度と 行政村の関係について	法制史特殊講義Ⅰ/Ⅱ、法制史論文指導Ⅰ~Ⅳ
川村 洋子	教授	民法の所有権法と契約法	契約損害賠償制度を軸とする日本民法の約束保障制度の 比較法研究	民法演習 / 、民法論文指導 ~ V、民事法特殊研究 / 、民法特研演習 ~ VI
倉部 真由美	教授	民事訴訟法・倒産法	民事再生手続や会社更生手続のような再建型倒産手続に おける担保権の処遇	倒産法特殊講義 /
國分 典子	教授	憲法、韓国法	アジアの比較憲法思想史的研究、アジアの違憲審査制度 についての研究	憲法演習1/
杉本 和士	教授	民事手続法・倒産法	民事実体法と手続法の交錯、倒産手続における優先権の 処遇	※今年度は、特定の科目を担当しません
須藤 純正	教授	刑事法	民商事と交錯する刑法犯、犯罪収益の剥奪と犯罪被害の 回復、事前規制型から事後チェック型社会への移行と罰 則対応	刑法論文指導I~IV
高 友希子	教授	西洋法制史	エクイティ研究。英国法の日本民法典への影響	法制史特殊講義Ⅲ/Ⅳ
髙橋 滋	教授	行政法、環境法	行政法、環境法	行政法特殊講義Ⅱ、公法特殊研究Ⅱ
武生 昌士	教授	知的財産法	先使用概念/先使用権制度に関する研究	知的財産法論文指導I~IV
建石 真公子	教授	憲法	憲法と条約の関係、フランスの基本権に対するヨーロッパ 人権条約の影響、「家族形成権」と「生命に対する権利」に おける「個人の尊重」	憲法特殊講義 / 、憲法論文指導 ~ V、公法特殊研究 / V、憲法特研演習 / V
橡川 泰史	教授	商法・会社法・有価証券 法・決済取引法	決済取引の法的問題	商法特殊講義 / 、商法演習 /
西田 幸介	教授	行政法	行政計画、私人間の協定、土地法、アメリカ土地利用法	行政法特殊講義 、行政法演習 / 、行政法論文指導 ~ V、公法特殊研究 、行政法特研演習 ~ VI
沼田 雅之	教授	社会保障法、労働法	有期労働契約、労働者派遣、非正規労働者の社会保険加 入など、非正規労働者の労働法・社会保障法上の課題研究	労働法演習1/II、社会保障法演習1/II、労働法論文指導1~IV、社会法特研演習V/VI
浜村 彰	教授	労働法	労働者代表制、労働者派遣法、労働契約法など	労働法論文指導 I~IV、労働法特研演習V/VI
潘 阿憲	教授	会社法、保険法、金融商 品取引法	会社の運営管理機構等に関する研究	商法特殊講義III/IV、商法演習V/VI、商法論文指導 I ~IV、民事法特殊研究 I/II、商法特研演習V/VI
藤本 茂	教授	労働法	雇用平等法、労働契約法	労働法特殊講義 /
宮本 健蔵	教授	民法	契約責任の研究、安全配慮義務、付随義務違反と契約の 解除	民法特殊講義 I / II、民事法特殊研究 III / IV、民法特研演習 III / IV
森田 章夫	教授	国際法	国際コントロール、国際海洋法、国家管轄権の域外適用	国際法特殊講義 / 、公法特殊研究 / 、国際法特研演習 /
和田 幹彦	教授	民法 (特に親族・相続法)・ 民事法立法史・法と遺伝学	家族法解釈学・立法史、法と生命倫理、法と遺伝学、法と 進化生物学・進化心理学	※今年度は、特定の科目を担当しません
佐藤 輝幸	准教授	刑事法	危険犯論、社会的法益に対する罪	刑法特殊講義III/IV
佐野 文彦	准教授	刑事法	刑事責任論、刑罰論	刑法特殊講義 /
田中 佐代子	准教授	国際法	国際法上の緊急避難、自衛権	国際法演習Ⅲ/Ⅳ

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- リーガル・リサーチ(2)
- 法律学原典研究 (英語) | / || (各2)
- 法律学原典研究 (独語) | / || (各2)
- 法律学原典研究
- (仏語) | / || (各2)
- 法律学特殊講義A~C(各4)
 法哲学特殊講義 | / || (各2)
- 法制史特殊講義 I ~ IV (各2) ■ 比較法特殊講義 | / || (各2)
- 英米法特殊講義 I / II (各2)
- 基礎法特殊講義A/B(各4)
- 憲法特殊講義 | ~|V(各2)
- 行政法特殊講義 | ~ | V (各2) 国際法特殊講義 | / | I (各2)
- 国際人権法特殊講義 | / || (各2)
- 公法特殊講義A ~ C(各4)■ 民法特殊講義 I ~ VI(各2)
- 商法特殊講義 I ~VI (各2)
- 経済法特殊講義 | / || (各2)
- 知的財産法特殊講義 | / || (各2)
- 民事訴訟法特殊講義 | / || (各2)

- 倒産法特殊講義 | / || (各2)
- 国際私法特殊講義 I / II (各2)
- 民事法特殊講義A~C(各4) 労働法特殊講義 I~IV(各2)
- 社会保障法特殊講義 | / || (各2)
- 教育法特殊講義 | / || (各2)
- 社会法特殊講義A/B(各4)
- 刑法特殊講義 | ~ IV (各2) 刑事訴訟法特殊講義 | / II (各2)
- 刑事政策特殊講義 I / II (各2) ■ 刑事法特殊講義A~C(各4)
- 法哲学演習 | / || (各2)
- 法制史演習 | ~ |V (各2)

 英米法演習 | / || (各2)
- 法哲学論文指導 l ~IV (各2) 法制史論文指導 l ~IV (各2)
- 英米法論文指導 I ~ IV (各2)
- 憲法演習 | ~IV(各2)
- 行政法演習 | / || (各2)
- 国際法演習 | / || (各2) 憲法論文指導 | ~ |V (各2)
- 行政法論文指導 I ~ IV (各2)
 国際法論文指導 I ~ IV (各2)

- 民法演習 I ~VI (各2)
- 商法演習 I ~VI (各2) ■ 経済法演習 | / || (各2)
- 紅月広漠首 | / || (各2)
 知的財産法演習 | / || (各2)
 民事訴訟法演習 | / || (各2)
 倒産法演習 | / || (各2)

 - 民法論文指導 l ~IV (各2)■ 商法論文指導 l ~IV (各2)
 - 経済法論文指導 I ~ IV (各2)

 - 知的財産法論文指導 I ~IV (各2) 民事訴訟法論文指導 I ~IV (各2)
 - 倒産法論文指導 I ~IV (各2) 労働法演習 I ~IV (各2)

 - 社会保障法演習 | / || (各2) 労働法論文指導 | ~ |V (各2)
 - 社会保障法論文指導 I ~ IV (各2)
 - 刑法演習 I ~ IV (各2)■ 刑事訴訟法演習 I / II (各2)
 - 刑事政策演習 I / II (各2) 刑法論文指導 I ~ IV (各2)
 - 刑事訴訟法論文指導 I ~ IV (各2)
 - 刑事政策論文指導 I ~ IV (各2)

博士後期課程

- 基礎法特殊研究 I ~IV (各2)
- 基礎法特殊研究A~C(各4)
- 公法特殊研究 I ~ IV (各2)
- 公法特殊研究A~C(各4)
- 民事法特殊研究 I ~ IV (各2)
- 民事法特殊研究A~C(各4) ■ 社会法特殊研究 I ~ IV (各2)
- 社会法特殊研究A~C(各4)
- 刑事法特殊研究 I ~ IV (各2)
- 刑事法特殊研究A~C(各4)
- 法哲学特研演習 I ~ VI (各2)
- 法制史特研演習 I ~ VI (各2)
- 英米法特研演習 I ~ VI (各2)
- 基礎法特研演習 I ~ VI (各2)
- 憲法特研演習 I ~ VI (各2)
- 行政法特研演習 I ~VI (各2)
- 国際法特研演習 I ~VI (各2) ■ 公法特研演習 | ~VI(各2)

■ 民法特研演習 | ~VI(各2)

■ 商法特研演習 I ~VI (各2)

■ 倒産法特研演習 | ~VI (各2)

■ 経済法特研演習 I ~ VI (各2)

■ 民事法特研演習 | ~VI (各2)

■ 労働法特研演習 | ~VI (各2)

■ 社会法特研演習 I ~VI (各2)

■ 刑法特研演習 | ~ VI (各2)

■ 民事訴訟法特研演習 I ~VI (各2)

■ 知的財産法特研演習 I ~VI (各2)

■ 社会保障法特研演習 I ~ VI (各2)

- 刑事訴訟法特研演習 I ~ VI (各2) ■ 刑事政策特研演習 I ~VI (各2) ■ 刑事法特研演習 I ~ VI (各2)

政治学研究科

政治学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程10名/ 博士後期課程5名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

教育関連(教員)、公務、 出版、商社、金融、進学 (博士後期課程)など

(

昼間開講

(一部夜間開講)

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



今日の政治問題を規範的かつ経験的に解明

【私たちが目指すもの】

政治学専攻は、人間の共存の技術としての政治を、空間的な広がりと時間的な流れに留意しながら、規範的かつ 経験的に研究できる能力を持った研究者の養成とともに、政治的現実に働きかける実践を担うことのできる人材 の育成を目指している。この理念の下、第一に規範論的な研究を追求し、第二に、こうした規範論を踏まえつつ、 具体的な現実政治に即した実証研究を行う。すなわち、政治思想史・政治理論、政治史・政治過程論などのアプローチに複合的に取り組む。

みなさんへの要望

本学大学院出身の専任教員 明田川融教授からのメッセージ

私はこの大学院で、何より権力に対する批判精神と、より自由になるための構想力こ そ政治学の生命線であることを教わりました。それから四半世紀がたち、研究者となったいまでも、その教えが研究活動の駆動力であることに変わりはありません。 政治とは何かを自問自答しながら、 自らの政治的関心を主体的に探求してください。



研究室紹介

政治学史、政治思想史

犬塚 元 教授

現代政治の理論的・思想的前提を探る

政治学にはさまざまなテーマやアプローチがあります。政治学史、政治思想史と呼ばれる分野を担当する本研究室は、現代政治の理論的・思想的前提を分析しています。現代政治の制度や慣行は、さまざまな歴史的な積み重ねによって生まれたデリケートなバランスのうえに成り立っています。その積み重ねの層をひとつひとつ丁寧に解明するのが、本研究室の役割です。この研究には、政治学としてのミッションと、過去を正しく理解するという歴史学としてのミッションがありますので、この2つの要請をどのように折り合わせるかという方法論の検討も不可欠です。大学院教育では、外国語文献を正確に読むトレーニングを重視しています。

学生・修了生の声

授業以外にも研鑽の機会が豊富。 研究に打ち込むのにこれ以上ない環境です



松尾 隆佑 博士後期課程 2016年度修了/ 宮崎大学 講師

専攻の魅力

研究テーマ 現代デモクラシー理論

専攻の教授陣は、研究・実践の最前線で活躍されている先生方ばかりと言っても過言ではなく、実際、私も指導を仰ぎたい先生がいたことから同専攻を選びました。授業はもとより、指導教員の先生を囲む読書会などもあり、狭い意味での政治学に留まらず、さまざまな知見に触れる機会が豊富です。専攻の学びは私にとって貴重な財産になりました。

大学院の魅力

政治学専攻の大学院生が集まり、頻繁に読書会や研究会を開いて研鑽を積んだことが思い出です。また、年に1回は院生の手による学術雑誌を刊行し、編集作業に悪戦苦闘しつつも、自らの研究成果を世に発信する喜びを仲間とともに分かち合いました。院生への支援制度も充実しており、研究に打ち込むのにこれ以上ない恵まれた環境だと思います。

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
明田川融 教	授 日本政治史	在日米軍基地および日米地位協定をめぐる政治史、琉 球・沖縄政党政治史	日本政治史研究 1/2
油本 真理 数	授 比較政治学・地域研究	現代ロシア政治	※今年度は、特定の科目を担当しません
犬塚 元 教	授 政治学史、政治思想史	西洋政治思想史、思想史方法論	政治思想史研究 1/2
木村 正俊 数	授 国際政治とその歴史、現代中 東政治	中東における国家形成と国際政治システムの形成・変容、パレスチナ問題	※今年度は、特定の科目を担当しません
河野 有理 数	授 日本政治思想史	江戸・明治期を中心とした政治思想史	※今年度は、特定の科目を担当しません
新川 敏光 数	授 比較政治学	福祉国家再編論・ポスト福祉国家の政治に関する比較 研究	博士論文演習II A/B
杉田 敦 教	授 政治理論	権力論、デモクラシー論	政治理論研究 1/2
塚本 元 教	現代台湾政治、近代中国政治 授 外交史	現代台湾の選挙・中台関係	※今年度は、特定の科目を担当しません
中野 勝郎 教	授 アメリカ政治史・思想史	建国期の政治思想、戦後アメリカの保守主義	※今年度は、特定の科目を担当しません
細井 保 教	授 政治体制論	政治体制を制度と理念の両面から考察	政治史研究 I/2
山口二郎	授 政治過程論	現代政治、議会政治、政党政治	政治過程研究 1/2
山本 卓 教	授 福祉国家史	社会政策(史)、スコットランドの社会保障	※今年度は、特定の科目を担当しません

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 政治学特殊演習1/2(各2)
- 政治理論研究1/2 (各2)
- 政治理論演習1/2(各2)
- 政治制度研究1/2(各2)
- 行政学研究(2)
- 政治史研究1/2(各2)
- 日本政治史研究1/2 (各2)
- 政治思想史研究1/2 (各2)
- 政治思想史演習1/2 (各2)
- 公共哲学研究1/2(各2)
- コミュニティ論研究1/2(各2) ■ フェミニズム研究1/2(各2)
- マスコミ研究1/2(各2)
- 公共政策研究1/2 (各2) ■ 国際刑事裁判研究1/2 (各2)
- 政治過程研究1/2(各2)
- 行政理論研究1/2 (各2) ■ 政策学研究1/2(各2)

- 都市思想史1/2 (各2)
- 権力論(2)
- 政治と科学技術(2)
- 政治権力論(2)
- 比較政治論1/2(各2) ■ 連帯社会とサードセクター (4) ■ 市民社会論 (2)
- 立法学研究1/2(各2)
- 公共事業研究1/2 (各2) ■ 自治体研究1/2 (各2)
- 行政改革研究(2)
- 自治制度研究(2)
- 公務員制度研究(2)
- 都市政策特別セミナー 1/2 (各2) 国際政治理論研究 1/2 (各2)
- 高齢社会の政治と政策1/2(各2) 国際開発政策研究1/2(各2)
- 雇用・労働政策研究(2)
- 政策法務論(2)
- 防災危機管理研究(2)
- 市民自治と憲法(2)

- ■情報政策研究(2)
- ジェンダー政治研究1/2(各2)
- 自治体福祉政策論(2)
- 自治体議会論(2)
- NPO 論1/2 (各2)
- シンクタンク論(2)
- 公共政策と非営利セクター (2)
- 社会運動論 (2)
- 国際NGO 概論(2)
- 国際政治の基礎理論1/2(各2)
- Asian and Global Politics (2)
- 国際政治史研究1/2 (各2)
- 政治体制論研究1/2(各2)
- 外交政策研究1/2(各2)
- 国際地域研究1/2(各2)

- 東アジア政治研究基礎 1/2(各2)
- アメリカ政治研究1/2 (各2)
- アメリカ外交研究1/2 (各2)
- 日中関係政策論 1/2 (各2)
- 平和軍事研究1/2(各2)
- 国連·平和構築研究1/2 (各2) ■ 自治体国際政策研究1/2(各2)
- 安全保障政策研究(2)
- 国際情報論1 (開発とメディア)(2)
- 国際情報論2 (援助とメディア)(2)
- 国際情勢分析論1/2 (各2)
- 国際行政研究1/2 (各2)

博士後期課程

- 博士論文演習 IA・B/IIA・B/IIIA・B(各2)
- 政治学特別講義 1/2 (各2)
- ■国際政治特別講義1/2 (各2)

- ■ステークホルダー・デモクラシーのモデル構築
 - ーポスト政治期における多元的統治の民主的統御に関する規範理論研究ー
- 延辺朝鮮族自治州から見る中朝関係-「1966-1969年」を中心に
- ■冷戦後日本の中央アジア政策と戦略
 - 「ユーラシア外交」から「中央アジア+日本」対話を中心に-

- 中国朝鮮族の現状と課題に関する一考察一延辺と東京に焦点を当てて
- 林達夫論-関東大震災への応答-
- ■ドイツ連邦共和国成立に対する英外交の史的考察-1948年~1954年-
- ■『中華人民共和国反家庭暴力法』の立法過程研究-女性団体の参加を中心に-
- 戦後革新勢力の対立と分裂

政治学研究科

国際政治学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程10名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

教育関係、金融、建設業、 進学(博士後期課程)など

 \Diamond

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



国際政治の本質を見極められる 冷静な国際人を養成する

世界の至るところで、グローバリゼーション(世界標準の伝播)とジオポリティクス(個別特殊性の発揮)のせめぎあいや対立が見られます。新しい時代には、これに見合う問題解決とコミュニケーションの能力が求められます。国際政治の諸分野における専門性に裏打ちされた構想力・交渉力・実行力を持つ人材の育成が緊急課題です。国際政治学専攻は、こうした時代の要請に応える、国際政治、開発協力、地球環境、平和構築、人間の安全保障、グローバル・ガバナンスなどの分野において優れた研究・教育実績を持つ専任教員を有しています。留学生や社会人も積極的に受け入れており、多様性に富んだ大学院生を対象にして、国際的に通用する高度専門職業人や研究者の養成を行っています。

「 アドミッション・ポリシー **]**

- 1. 国際政治に関する専門知識や英語力を身につけ、国際的に通用する高度専門職業人、あるいは国際政治を専門とする研究者を目指す強い意欲が具体的に認められる人材を求める。
- 2. 大学学部レベルの政治学ないし関連諸学についての既修・未修は問わない。大学における学部教育の未修者であっても、社会的経験と問題意識ないし学問的意欲において大学卒と同等かそれ以上の学力が認められる人材を求める。
- 3. 上記の条件を満たしているかどうかを入学試験により判定する。一般入試においては、専門科目の筆記試験、研究計画等についての口述試験、そして提出書類の審査により、外国人入試においては、専門科目の筆記試験、研究計画等についての口述試験、そして提出書類の審査により、社会人入試においては、研究計画等についての口述試験、そして提出書類の審査により判定を行う。

研究室紹介



宮下 雄一郎 教授

ヨーロッパ国際関係史―「戦争と平和」をめぐる政治

大国間の権力政治と 国際秩序の変動

国際関係論(国際政治学)といっても、その内実は様々な学問分野の「寄り合い所帯」であり、研究を遂行するにあたっての方法論も多岐にわたる。政治学、歴史学、哲学、そして経済学はもちろんのこと、知識人などを研究対象とする場合には文学などの素養も求められる。研究テーマを設定し、それに取り組むための方法論を見つけるには、相応の知見が求められる。

本研究室では、歴史的なアプローチに基づき、ヨーロッパの国際関係に関する様々な問題を扱う。歴史上の出来事から「政治」を抽出し、それを分析することが目的である。外交文書などの一次史料を渉猟し、そこから戦争と平和をめぐる問題を探るための材料を抽出しなければならない。

学生・修了生の声

奨学制度によりダブルディグリーを取得。 日・英で得た知見を日韓交流に活かしたい

高 民志

修士課程 2018年度修了/ 駐日大韓民国大使館内 韓国国際交流財団(KF) 東京事務所 勤務

専攻の魅力

研究テーマ

米韓のTHAAD配備と中国の経済報復 一中国の対応変化を中心に一

大学の卒業論文から続く研究テーマを修士レベルに深化する上で、本専攻の多彩なカリキュラムにより研究の視点が広がったと思います。論文の構想発表会やドラフト批評会でも、院生や教授たちによる鋭い指摘が参考になりました。また、イギリスの大学院でも修士を取得するダブルディグリーを目指していた私にとって、英語での授業や留学に役立つ講座などが充実している点もありがたかったです。

将来の目標

現在は、学術や文化の面で日本と韓国の交流を活性化するほか、韓国の公共外交の推進に携わっています。法政大学の海外留学奨学金制度を利用してイギリスに留学し、現地の大学院でも修士号を取得できました。日本とイギリス、両国の学びにより培ったグローバルな視野と姿勢を磨きながら、支援事業や業務を通して、次世代の友好な日韓関係の一助を担いたいと思います。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
浅見 靖仁	教授	比較政治学、開発学、東南アジ ア研究	東南アジアの政治経済、開発研究、アジア諸国の社会福 祉制度	国際地域研究(東南アジア)(1)/(2)
熊倉 潤	准教授	中国研究、旧ソ連研究	中国とソ連の民族政策、中国と旧ソ連諸国の国際関係	国際地域研究(中国)(1)/(2)
権 鎬淵	教授	平和軍事研究、政軍関係	日本の防衛政策、日本の対外政策、東北アジアの安全保障問題	国際地域研究(朝鮮半島)(1)/(2)
坂根 徹	教授	国際公共政策、国連研究、行政学等	国際公共政策、国連システムの調達行政、国際行政等	国際公共政策(1)/(2)、国際公共調達研究(1)
高橋 和宏	教授	日本外交史、経済外交論、国際関係史	冷戦期の日米関係、国際経済秩序をめぐる日本外交	日本政治外交研究1/2
福田 円	教授	国際政治、中国外交、中台関係	中国と台湾の関係史および現状分析、中国外交と国際環境の相互作用	※今年度は、特定の科目を担当しません
本多 美樹	教授	国際関係論、国際機構論、伝統的・非伝統的安全保障研究、国連研究	国際社会による平和のための協働と確執、アジア太平洋 地域の安全保障	非伝統的安全保障研究、地球規模課題政策研究
溝口 修平	教授	比較政治学、旧ソ連地域研究	旧ソ連諸国の政治体制、現代ロシア政治外交	ロシア政治外交研究1/2
宮下 雄一郎	教授	国際関係論、国際関係史、戦争史	フランス外交史、日仏関係史、ヨーロッパ統合論	国際地域研究 (ヨーロッパ) (1) / (2)
森 聡	教授	国際政治、アメリカ外交	アメリカの対外政策、インド太平洋における安全保障、先 端技術と国際政治	国際政治理論、アメリカ外交史、アメリカの対外政策、戦略と政策
弓削 昭子	教授	国際開発と平和構築	国連システムの国際開発活動と平和構築	※今年度は、特定の科目を担当しません

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- ●基礎理論科目
- 国際政治理論(2)
- アメリカ外交史(2)
- 政治理論研究1/2 (各2)
- 国際政治史研究1/2 (各2)
- アジア国際政治史(2)
- 国際公共政策研究1/2(各2)
- 国際協力政策研究1/2(各2)
- 非伝統的安全保障研究(2)
- ●国際政治専門英語科目
- Academic Reading (初級) (2)
- Academic Reading (上級) (2)
- Thesis Writing (初級) (2)
- Thesis Writing (上級) (2)
- Presentation & Debate (初級) (2)Presentation & Debate (上級) (2)

- ●グローバル・イッシュー科目
- 国連·平和構築研究1(国連組織)(2)
- 国連・平和構築研究2(平和構築)(2)
- 国際公共調達研究1/2(各2)
- 持続可能な開発のための教育(ESD)(2)
- 国際食糧資源エネルギー政策 (2)
- 地球規模課題政策研究(2)
- ●アジア国際政治科目
- アジア比較政治(2)アジア統合論(2)
- アジア平和軍事研究(2)
- 戦略と政策(2)
- アメリカの対外政策 (2)
- 対外政策研究(中国)(1)/(2)(各2)
- 対外政策研究 (朝鮮半島) (1) / (2) (各2)
- ロシア政治外交研究1/2(各2)
- 国際地域研究(中国)(1)/(2)(各2)
- 国際地域研究(朝鮮半島)(1)/(2)(各2)
- 国際地域研究 (ロシア・中央アジア)(1)/(2)(各2)
- 国際地域研究 (東南アジア) (1)/(2)(各2)
- 国際地域研究 (ヨーロッパ) (1)/(2)(各2)
- 日本政治外交研究1/2(各2)

●実践講座科目

- グローバル政治経済特別セミナー(2)
- 開発援助運営論: JICA 講座 (2)
- 国際機関講座(2)
- 総合講座・外交総合講座 (2)
- 総合講座・国際協力講座(2)

- An Analysis of Police Actions during Communal Riots in India using the Theory of Street-Level Bureaucracy
- 1950年代から1960年代までの中ソ関係 (権力闘争の 視点を中心に)
- ■中国の高齢者福祉制度の展望ー日本の介護保険制度からの示唆
- 日本の国際人道支援における人的被害のリスク許容度 -NGOへの渡航制限と世論の関係に着目して-
- 申国現代少数民族のアイデンティティに関する研究−五峰県の土家族 (トゥチャ族)を例として−
- Japan's re-posture in the South China Sea security and implications for Vietnam
- 日本の対ベトナム政策支援型援助の有効性を問う ー石川プロジェクトにおける国営企業改革支援事業を 事例に一
- 国際連合安全保障理事会改革における日本の外交戦 略と戦術の分析
 - 冷戦後における日本の対国連政策を中心に-
- Kennan and Japan: An Assessment of George Kennan's Occupation Policy toward Japan
- 技能実習制度を利用した建設に係わる技術移転に関する研究
- Formerly Abducted Girl Soldiers in a Post-Conflict Country: A Case of Northern Uganda
- ロシアの戦術核兵器に関する考察

社会学研究科

社会学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程20名/ 博士後期課程5名

キャンパス

市ケ谷・多摩

主な資格

専門社会調査士

主な就職先および勤務先

教育、医療福祉、情報通信、出版、印刷など

長期履修制度有 (修士課程)

社会学コース

 \bigcirc

昼間開講

メディアコース

♦

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



「社会学コース」と「メディアコース」 現代社会の諸課題に応える知的技法の修得

人間は一人で生きることができません。そして、人間が集まると社会が生まれます。その人間と社会をめぐるさまざまな営みが、社会学という学問の対象です。とはいえ、人間も社会も常に変化しています。インターネットの普及、グローバル化が進み人々は国境を越えて移動、家族や夫婦の形も急速に変わりつつあります。社会学専攻では、「社会学コース」と「メディアコース」の2コースにおいて、社会学、メディア論、国際社会論をはじめ、隣接する人文・社会諸科学の成果を学ぶことによって、現代社会の諸問題を系統的に認識・解明する高度な学術研究の遂行能力を有する人材の育成を目指します。

「社会学コース」では、院生が調査研究を行う中心的な土台に社会学を据え、その他の社会科学諸分野の知見も取り入れながら多様な社会問題に取り組む研究者を養成します。「社会学コース」は多摩と市ケ谷の2キャンパスで昼間授業を開講します。「メディアコース」では、メディア分野の高度専門職業人や研究者に求められる、メディア理論と調査法、メディアの歴史と思想、そして調査報道やメディアテクノロジー等の実践までを学ぶことができます。「メディアコース」は土曜日や夜間にも市ケ谷キャンパスで授業を開講し、社会人も学びやすい環境を用意しています。社会学専攻の修了生は、大学など研究機関をはじめ、国内外の様々なメディア企業・国際機関・一般企業で活躍しています。

修士課程

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

修士課程では、社会学、隣接する社会諸科学、人文諸科学の分野に強い学問的関心を持つ、つぎのような人材を広く求める。

- 1.社会学、メディア論、国際社会論の領域で、社会の諸問題をめぐって独立した研究能力を形成する意欲のある人材。
- 2.社会についての豊かで深い学識を備 え、メディア企業・国際機関・一般企業 などで働く専門的職業人を目指す人材。
- 3.社会人としての経験をもとに、社会をめぐる豊かで深い学識を形成し、実践的に 課題の解決に向かおうとする人材。

このため、入学試験では、社会学、メディア にのため、入学試験では、社会学、メディア 論、国際社会論の領域における専門的知 識と語学力が一定水準に達しているかが 判定される。また「社会人入試制度」を設 けて、社会人を積極的に受け入れる。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

修士課程では、社会学の課題領域に応じて社会 学コースとメディアコースとにわけ、各領域の学問的 成果の蓄積と将来の方向性を大学院生が適切に 学べるようにするとともに、院生各自の研究テーマに 沿ってゼミナール形式で学べるつぎのような教育を 行う。

- 1.各コースの領域に対応した「基礎演習」を複数開講し、それぞれの領域に即した学習とともに、院生相互の研究交流も促進させる。
- 2.コースごとに「総合演習」を設置し、修士論文の問題構成と構想から執筆に至るまでの過程を、教員全体で集団的に指導する。
- 3.院生各自の研究テーマに結びつくかたちでの調査能力、実践的研究能力の向上を図るために、 方法系科目群として「専門社会調査士」資格の取得につながる科目や「取材文章実習」、「調査報道実習」といった科目を設置する。
- 4.関東圏の社会学系大学院の単位互換制度に 加入し、23の大学院での開かれた履修機会を 用意する。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

社会学研究科は、所定の単位の修得、および学位論文の審査によって、つぎに示す能力を有すると認められる者にたいして「修士(社会学)」の学位を授与する。

- DP1.各コースの領域に即した基本的な 研究遂行能力。
- DP2.各コースの領域における理論的な成果を的確に理解し、自らの研究に それを生かせる能力。
- DP3.各コースの領域における様々の個別なテーマについて的確に理解し、分析する能力。
- DP4.学際的なテーマについて的確に理解し、分析する能力。
- DP5.院生各自の研究テーマに応じた高度な調査能力。
- DP6.院生各自の研究テーマに応じた外 国語能力。
- DP7.院生各自の研究テーマに必要な学 識や方法を身につけ、論理的かつ説 得的な議論を展開できる能力。

博士後期課程

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

博士後期課程では、社会学、メディア論、国際社会論の領域で学術的研究をさらに 深く追求しようという意欲を持つ次のような 人材を広く求める。

- 1.博士論文執筆に必要な高度な学識と 思考力、および分析力を持つ人材。
- 2.博士論文執筆に向けて自立して研究を 遂行しようという強い意欲を持つ人材。
- 3.研究遂行に必要な英文読解力を持つ 人材。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

博士後期課程では、院生に対し「学位論文までの 里程標」を示し、博士学位取得に必要な研究が適 切に遂行できるように指導するとともに、すべての設 置科目を単位化し、とくにつぎのような研究指導を進

- 1.各セメスターに、博士学位取得に必要な研究を 適切に遂行できるように指導する科目として「博士 論文指導」を配置し、指導教員がゼミナール形式 の論文指導を行う。
- 2.査読を経て掲載される学術誌などの投稿論文 の執筆を指導する科目(「社会学総合演習A」)、 教員全体で博士学位申請論文の執筆を指導す る科目(「社会学総合演習B」)を設置する。
- 英語による学術論文の執筆を指導するための科目 (「社会学研究 (Academic English Writing Skills for the Social Sciences)」) を設置する。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

社会学研究科は、所定の単位の修得、 および学位論文の審査によって、つぎに 示す能力を有すると認められる者にたい して「博士(社会学)の学位を授与する。

- DP1.諸先行研究の成果を十分に理解 し、批判的に再構成し、自らの研究 テーマに即して応用できる能力。
- DP2.自らの研究テーマに即した高度に 専門的な調査能力。
- DP3.博士の学位にふさわしい専門的な 学術論文を、問題構成から執筆に 至るまで自立して研究を遂行し、当 該分野の学術的発展に貢献でき る能力。



津田 正太郎 教授

プロパガンダはなぜ「失敗」するのか

近代化または現代化の過程において、メディアは重要な役割を果たしてきました。国民形成や戦争プロパガンダの手段と して、メディアはいまも活用され続けています。ただしそれは、メディアが人びとを自由自在に操れるということではありませ ん。様々な歴史的、社会的要因により、統合や説得の失敗もまた頻繁に生じます。つまり、メディアの内容や技術だけをみ るのでは不十分なのであり、その役割や限界を理解するためには社会の文脈にも目を向ける必要があるのです。本研究科 でメディアを学ぶ人には、そうした幅広い問題関心をもって研究に取り組んでほしいと思います。

学生・修了生の声 研究を深め、大変ながらも有意義な学究生活



兼子 諭 2018年9月 博士学位取得

私の研究

社会学理論 文化社会学 市民社会論 研究テーマ

コミュニティや市民社会のあり方について学修し、将来的にも社会学的な研究に従事したいと考えたことから大学院に進学し ました。現在は、法政大学社会学部の兼任講師を勤めています。大学院生時代を振り返ると社会学だけでなく、社会科学や 社会思想、哲学についての研究にも努めていました。法政大学大学院では、現代社会における諸現象に関して、理論だけでな く実証も視野に入れているため両面からの研究アプローチが可能であり、研究を深めるには適切な環境が整っています。大変 ながらも楽しく、有意義な学究生活を送ることができました。

柱となる2コース

- ・2つのコースにはそれぞれ基礎演習を入り口に個別領域のテーマにつながる講義・演習があります。
- ・これらの科目の多くは半期2単位科目ですから、修士課程2年間の間に計画的に履修できます。
- ・指導教員による論文指導のほか、総合演習を通じて複数の教員が修士論文作成に向けてアドバイスします。

社会学コース

昼間開講

「社会学基礎演習」で社会学理論・社会問題の基本概念を修得したあと、「理論社会学」でより深く個別の社会学理論を学びます。また、 環境、家族、階層などに関する社会学研究の広がりを学び、実習を通じ社会調査の方法論を身に付けてもらいます。

社会学 基礎演習

社会学の研究法に 関する基本的 知識の修得

理論的基礎

理論社会学

(ミクロ・マクロアプローチ、 学説史、認識論的基礎)

個別領域

社会学特殊研究

(都市、産業、労働、家族、 環境、福祉、医療、文化 などに関する社会学研究)

方法

統計分析法 社会調査実習 調査研究法 質的資料分析法

専門社会調査士資格 〈(社) 社会調査協会認定〉が取得できます。

ただし、社会調査士資格未取得の場合には、他専攻科目 として開講されている科目を履修する必要があります。

メディアコース

O 昼夜開講

「メディア社会学基礎演習」では基礎的なメディアの理論と歴史を学び、「メディア理論」で歴史・倫理・テクノロジーに関する理解を深め ていきます。「メディア特殊研究」では広告、ソーシャルメディア、メディア文化などの個別領域を研究するとともに、「取材文章実習」、「調査報 道実習」などでメディア分野の実践知を高めていきます。

メディア社会学 基礎演習

基礎的なメディアの 理論と歴史、 メディア産業論、 オーディエンス論の修得

理論

メディア理論

(歴史・倫理・テクノロジー)

個別領域

メディア特殊研究

(広告、知的財産、メディア 経営、ソーシャルメディア、 メディア文化)

方法

取材文章実習 調查報道実習 オーディエンス調査実習

	[2021 4	F度] ※年度により授業を持たない場合が		24.10 W N D
専任教員		- 専攻 	研究テーマ	主な担当科目
青木 貞茂	教授	広告論、ブランド論	効果的なブランド広告表現の開発・立案方法について	メディア特殊研究1
荒井 容子	教授	社会教育学	社会教育実践研究、社会教育法制度研究、成人教育・社 会教育運動研究、公民館研究	社会学特殊研究2
稲増 龍夫	教授	メディア文化論	現代メディア文化とコンテンツ産業の分析	メディア社会学特殊研究2
宇野 斉	教授	組織行動科学、社会ネットワー ク論、経営学	社会ネットワーク論、組織論、意思決定論	学際研究4
大﨑 雄二	教授	現代中国における国民統合・ 民族政策	現代中国 (東アジア) 地域研究	社会科学研究法1/2
岡野内 正	教授	社会理論、国際政治経済学、 平和学、国際開発学、中東研究	国際社会の人権・平和問題とベーシック・インカム研究	理論社会学4
金井 明人	教授	認知科学・人工知能と映像の 修辞学	映像に関する情報物語論	※今年度は、特定の科目を担当しません
菊澤 佐江子	教授	家族社会学	家族とライフコースに関する計量社会学的研究	社会学基礎演習1/3
小林 直毅	教授	メディア文化研究、テレビ・アー カイブ研究	メディア環境における「記録と記憶」の研究	メディア社会学基礎演習2、メディア理論1、社会学原典購読(修士)、社会学原典研究2(博士)
斎藤 友里子	教授	理論社会学・数理社会学・社 会意識論	ただしさの社会学	統計分析法(修士)、社会調査法2(博士)
佐藤 成基	教授	社会学理論、比較ナショナリズ ム研究	ナショナリズムと国民国家の歴史と現在(ドイツを中心にして)	※今年度は、特定の科目を担当しません
愼 蒼宇	教授	近現代史	朝鮮近現代史、日朝関係史、植民地研究、在日朝鮮人史研究	学際研究3
鈴木 智之	教授	社会学理論、文化社会学	物語言説の社会学的分析。特に自己と他者をめぐる語り とその社会的条件の研究	理論社会学2
鈴木 宗徳	教授	社会学史、理論社会学	現代における批判的社会理論の課題	※今年度は、特定の科目を担当しません
武田 俊輔	教授	文化社会学、地域社会学	地域社会における文化、民俗、メディア、地方都市社会論	社会学特殊研究3
田嶋 淳子	教授	国際社会学、移民・エスニシティ研究	中国系移住者をめぐる文化的市民権と移住第二世代	質的資料分析法(修士)、社会調査法3(博士)
津田 正太郎	教授	マスコミュニケーション論、政 治社会学	近現代社会におけるメディアの役割に関する政治社会学 的研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
徳安 彰	教授	社会システム論	社会現象を人間と社会システムの2つの視点から見る	理論社会学基礎1/2
樋口 明彦	教授	社会政策論	福祉国家論	社会学特殊研究2
平塚 眞樹	教授	教育学、若年移行期研究	若者支援におけるyouthworkとsocial pedagogyの意味	※今年度は、特定の科目を担当しません
藤代 裕之	教授	ジャーナリズム論、ソーシャル メディア論	ソーシャルメディア時代のジャーナリズムやメディアのあ り方/Entrepreneurial Journalism	調査報道実習1
藤田 真文	教授	コミュニケーション論、メディ ア論	マス・メディア(テレビ)のテクスト(内容)分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
二村 まどか	教授	国際関係論、平和構築論	紛争後の社会における正義追求のあり方について(移行 期正義・国際刑事裁判)	※今年度は、特定の科目を担当しません
別府 三奈子	教授	ジャーナリズム規範の国際比 較研究、写真研究	負の遺産とジャーナリズムの記録の連関に関する調査と 分析	メディア理論3

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
堀川 三郎	教授	環境社会学、都市社会学	歴史的環境保存の日米比較、まちづくり、住民運動、公害被害地の追跡調査	社会学特殊研究1
三井 さよ	教授	臨床社会学、ケア・支援論	医療・福祉をめぐる社会問題への相互行為論的アプローチ	※今年度は、特定の科目を担当しません
諸上 茂光	教授	消費者心理学、計算論的脳 科学	市場における消費者の心理及び行動の分析とモデル化	※今年度は、特定の科目を担当しません
吉村 真子	教授	アジア研究、東南アジア地域 研究	国際社会 / 東南アジア(マレーシア)地域研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
惠羅 さとみ	准教授	産業社会学、国際社会学	グローバル社会と産業・労働研究、移住労働者と社会統合	※今年度は、特定の科目を担当しません
堅田 香緒里	准教授	社会福祉学、福祉社会学	貧困研究、批判的社会政策論	※今年度は、特定の科目を担当しません
高 美哿	准教授	映画·表象文化研究	日本映画におけるマイノリティ、ナショナリズム、多文化、 ジェンダー表象、アダプテーション映画	※今年度は、特定の科目を担当しません
白田 秀彰	准教授	情報法、知的財産権法	情報化社会と情報発信についての研究	メディア特殊研究3
鈴木 智道	准教授	歷史社会学、教育社会学	教育の歴史社会学、歴史社会学方法論	社会学特殊研究4
多喜 弘文	准教授	社会階層論、教育社会学、比較社会学	教育・労働の格差に関する比較社会学的研究	社会学基礎演習2、理論社会学1
土倉 英志	准教授	社会心理学、認知科学、質的心理学	創造性、経験による学習・創造による学習、コミュニティデザイン	※今年度は、特定の科目を担当しません
土橋 臣吾	准教授	メディア論、コミュニケーショ ン論	デジタルメディアの実践的研究	メディア社会学基礎演習1/3
橋爪 絢子	専任講師	ユーザ工学、ユーザ中心設計	実文脈におけるユーザの状況や行動の調査と分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
李 舜志	専任講師	人間形成論	メディアによる人間形成および記憶継承	※今年度は、特定の科目を担当しません

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 社会学基礎演習1~3(各2)
- メディア社会学基礎演習1~3(各2)
- 理論社会学1~5(各2)
- メディア理論1~5(各2)
- 理論社会学基礎1/2(各2)
- 社会学特殊研究1~6(各2)
- メディア特殊研究1~4(各2)
- メディア社会学特殊研究1/2 (各2) 調査報道実習1/2 (各2)
 - 学際研究1~5(各2)
 - 統計分析法 (2)
 - 社会調査実習(4)
 - 調査研究法 (2)
 - 質的資料分析法(2)
 - 取材文章実習(2)

- オーディエンス調査実習(2)
- メディアテクノロジー実習(2)
- 社会科学研究法1/2(各2) ■ 外国書講読1/2 (各2)
- 社会学原典講読(2)
- 論文指導1/2(各2)

博士後期課程

- 社会学総合演習A/B (各2)
- 社会学研究1~3(各2)
- 社会調査法1~3(各2)
- 社会学原典研究1/2(各2)
- 博士論文指導 I A/B (各2)
- 博士論文指導 || A/B (各2)
- 博士論文指導IIIA/B (各2)

- ■「聖地」奈良への勤員ー"建国神話の体現者たち"ー
- 本屋大賞のブランディング分析
- 日本の新聞における中国の環境問題報道
- 戦後台湾における戸籍制度とナショナル・アイデンティティ
- 原発震災と「3月ジャーナリズム」の課題と可能性
- 「普通である」ための技法 ーセクマイ・コミュニティと「当事者である/ない」ことをめ ぐってー
- 近代朝鮮における教育改革と書堂 (1876-1905) - その重層的把握への試み-
- 日本の外国人労働市場と組合メンバーシップ ー組合形態別にみた組織化と労使関係

- 在日本朝鮮労働総同盟の組織と闘争 -「二重の課題」を視座にして-
- 新聞販売店の諸課題と地域メディア化の可能性
- 新本格ムーヴメントとその社会的背景 「ミステリ場」を通じた考察 -
- 来日中国人留学生の社会的ネットワークとその機能 -2008年以降に来日した20人の事例をもとに-
- インターネットの発展によるコミュニケーションの変容 ー口コミサイトにおける中間領域行動を中心に一
- 総合雑誌『世界』における「慰安婦」をめぐる言説と表象
- スポーツにおける不祥事を伝えるメディアに関する考察 ~不祥事をメディアはどのように伝えたのか 2017年11月 の大相撲横綱暴行事件に見る~
- テレビドラマに描かれる若者– 『ゆとりですがなにか』が描く「ゆとり世代」
- 日本のテレビ・ドキュメンタリー制作者が伝える「中国」 一制作会社テムジンを中心に
- 原爆記憶の継承に関する社会学的実証研究 - 長崎における記憶空間の形成と継承実践
- 市民社会の文化社会学 -Alexander市民圏論の検討を中心に-
- 技能実習制度の性格とその変化の方向
- 日本のテレビにおける「八月ジャーナリズム」 一戦後70年を中心に一
- 集団就職の新聞報道から読み解く戦後日本の経済成長

経営学研究科

経営学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程60名程度/ 博士後期課程10名程度

キャンパス

市ケ谷

入学者の職域

製造、情報通信、金融、 不動産、技術サービス、 教育、医療福祉、サービ スなど

昼間コース

 \bigcirc

昼間開講

夜間コース

C

夜間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



よい循環づくりで経営と経営学の人材を養成

経営学研究科では、企業組織及び企業の諸活動、企業とそれを取り巻く環境との関連を研究しています。修士課程、博士後期課程ともに、昼間コースと夜間コース(社会人向け)を設けて、学問と実務のよい循環をつくりつつ、多様な人材を育成しています。特に、日本の私立大学の中でも設立の早かった社会人向け修士課程は、1992年設立以来、1,000名を超える修了生を輩出しています。現実と理論との相互作用を図る多様な授業が用意されています。たとえば、企業の第一線で活躍される多様なゲストスピーカーをお招きして、現場の生の情報、最新の企業経営動向、最先端の事業動向をお聞きし、ディスカッションする「ワークショップ」を各コースで提供しています。また、現実と学問との間の流れを理解し、現実の問題がその知的な流れのどこに位置するかを把握し、理論と鋭い知見をもって企業経営の現実を分析する能力を徹底的に鍛える種々の授業も提供しています。

修士・博士論文の執筆を通じ、本格的な学術論文を作成する機会も設けられています。論文指導では、指導教員は丁寧な指導を 心がけており、少人数教育の強みを最大限生かして、教員と学生間に濃密なコミュニケーションが行われています。

なお、経営学研究科では、教員と在学生だけでなく修了生も加わったよい循環づくりをめざしています。修了生がワークショップ授業のゲストスピーカーとして登壇して、生の情報や経験談を在学生と共有したり、教員になった修了生が在学生に知的な還元を行ったりする例も少なくありません。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

経営学研究科では、専門知識と経営 学研究への意欲を有し、次のキャリ アビジョンを持つ人材を広く求める。 昼間・修士課程においては、優れた 成果を上げられる研究・教育職、国 際職業人の人材を求める。夜間・修 士課程においては、企業やその他団 体等で高度な経営課題に応えられる 経営管理職・専門職の人材を求め る。博士後期課程においては、研究 者養成のための修士課程だけでな く、高度職業人養成のための修士課 程の修了生を含め、独創性に富む専 門研究者をめざす人材を求める。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

昼間・修士課程では経営学 (関連分野を含む)の研究に必要な方法論等を自主的により深く学べることまた修士論文を作成できるようにすることを配慮して開講科目を設定する。夜間・修士課程では、複数の専門分野別のコースを設け、それぞれの専門分野にふさわしい独自の選択必修科目群を設置する。また、学生のバックグラウンドやニーズが多様であることから、経営学および関連分野の基礎的な科目を設置するとともに、他コースの科目も自由に履修できるようにする。さらに、少人数制による論文指導、コースレベルでの集団指導等を行い、実務経験と適切な理論、方法論を融合した修士論文作成をめざす。博士後期課程では、ステップ制を運営、実施すると共に、指導教員・副指導教員による研究指導と博士コースワークショップを充実化する。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

所定の単位の修得により、以下に示す水準に達した学生に対して「修士 (経営学)」、あるいは「博士 (経営学)」を授与する。修士課程では、経営学分野 (関連分野を含む)の多様な授業と、個別指導及びコース別集団指導に基づく修士論文の準備・作成によって、経営学分野 (関連分野を含む)の研究能力、または高度の専門性を要する職業等に必要な能力を有する。博士後期課程においては、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を十分備えている。

研究室紹介

会計データモデルとXBRLを応用した電子開示システムに関する研究



坂上 学 教授

事象アプローチに基づく会計ディスクロージャーの拡張

現代における会計ディスクロージャーは、電子開示システムが大きな役割を果たしています。しかし旧来の紙ベースでおこなわれていた会計情報の開示内容をそのまま電子化しただけでは、その情報を十分に生かすことはできません。データを再利用しやすい形で提供するためには、会計システムのインブット側である仕訳データやアウトプット側である財務諸表データを対象としてデータモデリングをおこない、その結果を何らかの記述言語で表現するという地味な作業が必要となります。このデータモデリングについては、データベース理論に関する知識が必要となりますし、記述言語についてはXMLをベースとするXBRLというコンピュータ言語に関する知識が必要となります。わが国における電子開示システムには、金融庁のEDINETや東京証券取引所のTDNetなどがありますが、いずれもXBRLが導入されており、財務諸表の雛形としてのタクソノミが開発されることになります。このタクソノミは会計制度の変更に対応すべく、常に改訂がなされていますが、まだまだ改善の余地があります。現行の電子開示システムをどのように改善すべきか、日々研究を続けています。

学生・修了生の声

マーケティングの理論と実践を体系的に習得。 新たな仕事の創出にも結びつきました



関舞奈 修士課程 2019年度修了

専攻の魅力

研究テーマ

ユーザー創造製品表示がもたらす影響 一消費者のブランド認識による調整効果-

現職のマーケティング業務に活かしたいと大学院に入った私にとって、専攻の授業は役に立つものばかりでした。「マーケティング論」では基礎を体系的に学び、「マーケティング・リサーチ」では統計ソフトの操作を習得。他にも「流通システム論」や「サービスマネジメント論」などを通して、アカデミックな考え方や論理的な文章構成力が身につきました。

変化した点

以前は仕事の参考にとビジネス書を流し読むくらいでしたが、本や論文を熟読して自分の考えをまとめる習慣が付きました。またさまざまな業界で活躍されている院生の方々から刺激を受け、私自身もさらに前向きに仕事に取り組むようになりました。仲間としての関係が発展し、実際に自社の仕事の創出につながったこともあります。

Lecture 理論とケースを 発表・討論を交えて学ぶ

Workshop

実務家をゲストに迎えて 現実のビジネスを事例として学ぶ

Thesis

教員のきめ細かな指導に 基づく研究活動

MBA 教育の柱

○ 昼間コース

経営学の基礎から応用までの理論的なアプローチに加え、現実の企業活動や社会現象を実証的に分析するためのさまざまな手法が学べます。また、個別指導を重視した教育を行っています。組織、人事、戦略、アカウンティング、ファイナンス、国際経営、マーケティング、経営史など企業経営の諸側面について幅広く研究できます。また、経済学や統計学に関する科目も開講。総合的に企業経営を捉える視点を養うことが可能です。高度な知識・理論を講義やディスカッションを通して習得、さらに、細やかな個別指導のもとで質の高い修士論文や博士論文を作成します。

(き 夜間コース

経営学専攻夜間コース(法政ビジネススクール:略称HBS)は、日本におけるビジネススクールの先駆けとして1992年に設置。実務に関するさまざまな理論が学べる5つのコースがあります。他コースや他専攻、他研究科の科目も履修可能。専門性と幅広い知識を同時に習得できます。

HBSでは、理論と実証に必要な知識を基礎から応用まで、少人数・双方向型の講義で習得。また、ゲストスピーカーを交えたワークショップで、企業経営の最先端の動向と実践的な知識やスキルを身に付けられます。修士論文の作成が必修であることもHBSの大きな特徴です。これまでの実務経験やHBSで学んだ知識は、修士論文を書き上げる過程で、真に学生の血となり肉となっていきます。

コース制(夜間コースのみ)

企業家養成コース

創業を志す人、社内企業家、後継経営者、企業家の支援に携わる人の養成を目的としたコースです。多彩な科目のほか、実際の企業家を招いてのワークショップを開講。企業や事業を起こして直面した経営上の問題点や課題、その解決方法などをお話しいただき、その後は、教員や学生を交えて活発なディスカッションを展開しています。

人材・組織マネジメントコース

人事と組織に関わるトピックスを幅広く学べます。また、実証研究を重視し、組織のデータの発掘や職場の事例研究、面接調査、企業・従業員などへの聴取、アンケート調査や統計データの解析など研究目的に応じた研究手法を指導します。実務家による講義、ケーススタディーも行っています。

アカウンティング・ファイナンスコース

2つのサブ・コースを立てて、企業会計とファイナンスの先端的知識を体系的に学びます。アカウンティング・サブコースでは、経理人の再教育とレベルアップを主眼に会計とその関連領域を学びます。ファイナンス・サブコースでは、企業財務および証券投資に関する理論とその応用手法を学びます。

国際経営コース

国際的な観点から経営の理解を深めたいビジネスパーソンを対象としたコースです。国際経営論・国際金融論・国際物流論・国際人事・国際マーケティング・国際会計論などの科目や、アジア・アメリカ・EUといった地域研究の科目を開講。国際ビジネスの第一線で活躍する実務家を招いた講義では、国際経営に関する具体的な事例を学ぶことができます。

マーケティングコース

講義と討議を中心としたマーケティング理論の学習と、実習を併用した定量的・定性的なデータ分析手法の習得をバランス良く配置。他大学院には見られない独自性があります。マーケティングの全体像を知るためのプログラムとして、また、現場体験と実務的知識を再構築する機会として活用できます。

詳細は、経営学専攻(夜間)HP

http://hbs.ws.hosei.ac.jp/をご参照ください。

- 海外子会社のマネジメントに関する研究 ーフィリピンにオフショアリングしている企業を事例としてー
- ファミリー企業の後継経営者についての研究 - 経営者と補佐役との関係を中心に
- 心臓カテーテル治療チームの多職種協働プロセス
- ムードメーカーの残存効果:グループの創造性の影響に関する実験
- 選挙マーケティングにおける投票行動
- 不動産仲介会社における顧客満足の規定要因 -顧客アンケートデータを用いた実証分析-
- 日本の上場企業における"リキャップCB"発行の決定要因に関する一考察

- 顧客関係性に基づく収益管理の研究 - 食品製造企業の事例-
- 申国における自動運転システム開発企業の戦略的なパートナーシップ選定 ーネットワーク構造における市場優位分析−
- 現地従業員の視点による日系企業の現地化 -インドでの調査を通じて-
- The Financial Growth of Multinational Upstream Oil and Gas Companies:
 M&A, Functional Currencies, and Impairment Losses

	専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
	稲垣 京輔	教授	経営組織論、事業創造論	企業家活動と組織変革に関する研究	企業家養成演習、ワークショップ(企業家養成)
^	金容度	教授	日本経営論、日本経営史、企 業間関係論	企業システムの歴史の国際比較、企業間関係に関する研究	企業家養成演習、博士演習IIIA・IIIB
企業家養1	近能 善範	教授	イノベーション・マネジメント	企業間関係とイノベーション	企業家養成演習、イノベーション・マネジメント概論、経営学原理
成コーフ	福島 英史	教授	戦略的意思決定論	企業戦略と組織、技術革新に関する研究	企業家養成演習、経営学基礎
ス	吉田 健二	教授	経営戦略論	経営戦略の策定と実行に関する研究	経営戦略論
	二階堂 行宣	准教授	日本経営史、日本経済史	日本経営史・日本経済史	企業家養成演習、企業家史
	安藤 直紀	教授	国際経営戦略論	海外子会社の経営戦略、新興経済での経営戦略	経営学演習、国際経営論、ワークショップ (国際経営)、博士演習IIA・IIB
国際	髙橋 理香	教授	国際経済学、理論経済学	貿易政策に関する理論および実証研究	国際経営演習
際経営コ	洞口 治夫	教授	国際経営論、経営戦略論	日本企業の海外直接投資	※今年度は、特定の科目を担当しません
ー ス	横内 正雄	教授	金融史・国際金融論	英国系海外銀行の発展に関する研究	国際金融論、国際経営演習、博士演習IIIA・ IIIB
	李 瑞雪	教授	ロジスティクス論、国際経営論	新興国市場における日本企業のロジスティクス戦略、 新興国物流企業の経営戦略	※今年度は、特定の科目を担当しません
	小川 憲彦	教授	経営管理論、組織行動論、 キャリア論	組織社会化、組織と個人の適合	人材・組織マネジメント演習、キャリアマネ ジメント論
	奥西 好夫	教授	労働経済学、人事・組織の経 済学	雇用・人事制度の統計分析、国際比較	人材・組織マネジメント演習、組織経済学
人材	岸 眞理子	教授	経営情報論、経営組織論	組織と情報、組織コミュニケーション	人材・組織マネジメント演習、経営情報論
組織	佐野 哲	教授	労働市場論、雇用政策、経営 社会政策	労働力需給調整システム、社会政策	※今年度は、特定の科目を担当しません
マネジメン	佐野 嘉秀	教授	人的資源管理論、産業社会学	人材マネジメント、雇用システム	人材・組織マネジメント演習、人的資源管 理論
トコー	長岡 健	教授	組織社会学、経営学習論	職場学習、組織エスノグラフィー	経営学演習、人材・組織マネジメント演習、 ワークショップ (人材・組織マネジメント)、 博士演習IIIA・IIIB
ス	西川 真規子	教授	組織行動論、経済社会学	ジェンダーと労働、仕事と生活	人材・組織マネジメント演習、組織行動論
	戎谷 梓	准教授	国際人的資源管理論	異文化間マネジメント、国際チームマネジメント、グロー バル人材	経営学演習、国際人事
	永山 晋	准教授	組織論	組織の創造性、社会ネットワーク	経営学演習、人材・組織マネジメント演習
	木村 純子	教授	サービス・マネジメント論	農作物マーケティング、地理的表示保護制度、地域活性化	経営学演習、マーケティング演習
	竹内 淑恵	教授	マーケティング論、広告論	広告コミュニケーション効果、ブランド・マネジメント、消 費者行動	経営学演習、マーケティング論、マーケティング演習、マーケティング特論
マー	田路 則子	教授	製品開発論	製品開発イノベーション、ハイテク企業の成長戦略	経営学演習、マーケティング演習、製品開発論、博士演習IIIA・IIIB
ケティ	新倉 貴士	教授	消費者行動論	消費者行動、ブランド・マネジメント	消費者行動論、博士演習IIIA·IIIB
ングコー	西川 英彦	教授	マーケティング・リサーチ論	デジタルマーケティング、ユーザーイノベーション	博士演習IIA·IIB、博士演習IIIA·IIIB
Ż	横山 斉理	教授	流通システム論	日本型流通システム、商業まちづくり	流通システム論、マーケティング演習、経営学演習、博士演習IIIA・IIIB
	猪狩 良介	准教授	経営統計学、マーケティング・ サイエンス	消費者行動の統計分析、広告効果測定、ベイズ統計デー タ分析	統計データ解析、マーケティング演習
	長谷川 翔平	准教授	マーケティング・サイエンス	購買履歴データの統計分析、マーケティング・サイエンス	経営学演習、マーケティング演習
ア	神谷 健司	教授	財務会計	中小企業の会計基準のあり方、会計教育プログラムの研究、学校法人会計基準の研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
アカウンティ	川島 健司	教授	財務会計	資産の時価測定に関する実証的研究、資産評価の会計 基準分析、時価主義会計の学説研究	アカウンティング・ファイナンス演習
ング・	岸本 直樹	教授	ファイナンス	オプション等のデリバティブの価格理論、資産の証券化 に関する経済学的分析、住宅ローンの期限前償還、ビジ ネス教育の研究	コーポレート・ファイナンス
ファイナン	金 瑢晋	教授	ファイナンス	企業の財務行動	実証ファイナンス入門、博士演習IIIA・IIIB
ンスコー	倉田 幸路	教授	財務会計、国際会計	現代会計理論、EU会計論	財務会計論
- -	坂上 学	教授	財務会計	XBRLと財務ディスクロージャー、財務数値の分布特性に 関する研究、機械学習を応用した会計不正の発見	※今年度は、特定の科目を担当しません

	専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
アカ	高橋 美穂子	教授	経営分析	会計数値に基づく企業価値評価	※ 今年度は、特定の科目を担当しません
ウンテ	筒井 知彦	教授	会計政策論	企業会計と利益計算	会計学基礎
ィング・フ	福田 淳児	教授	管理会計論、原価計算論	MCSの設計と組織学習、スタートアップ企業におけるMCS の発展	管理会計論
アイナ	福多 裕志	教授	経営分析	日米企業の財務位相分析	経営分析
ンスコ	山嵜 輝	教授	ファイナンス	金融テクノロジー、資産価格理論	基礎ファイナンス
ス	北田 皓嗣	准教授	管理会計、社会環境会計	CSRマネジメント	※ 今年度は、特定の科目を担当しません
	大木 良子	教授	産業組織論、法と経済学	競争政策の経済分析	産業組織論
	児玉 靖司	教授	教育工学、ソフトウェア工学	データマイニング、大規模授業配信のビジネスモデル	情報学特論
	入戸野 健	教授	計算機科学、ネットワーク技 術、シミュレーション	ネットワークと知識に関する技法、確率的シミュレーショ ンモデル	※ 今年度は、特定の科目を担当しません
ース共通	平田 英明	教授	日本経済論	日本の景気変動、日本の金融システム、期待形成と経済政策	※ 今年度は、特定の科目を担当しません
	宮澤 信二郎	教授	企業金融論、産業組織論	企業の資金調達と競争に関する戦略の相互作用について	ミクロ経済論
	片桐 満	准教授	金融論	金融政策の理論分析、コーポレートファイナンス	金融論
	高橋 慎	准教授	統計学、計量ファイナンス	金融時系列データの統計分析	※ 今年度は、特定の科目を担当しません

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 経営学原理 (4)
- 経営管理論(4)
- 経営組織特論(4)
- 組織認識論(4)
- 人的資源管理特論 (4·2)● 交通経営論 (4)
- 組織行動特論 (4)
- 経営戦略特論 (4)
- 経営史(4)
- 国際経営特論(4)
- マーケティング特論(4) ■ 消費者行動論特論(4)
- 会計理論 (4)
- 財務会計特論(4)
- 管理会計特論 (4)
- 原価計算論(4)
- 原価管理論 (4)
- 監査論(4)
- 会計政策論 (4)
- アメリカ会計学 (4)
- 国際会計基準論 (4)
- 租税法(4)
- ミクロ経済論(4)
- マクロ経済論 (4)
- 組織経済学(2)
- 金融論 (4)
- 財政論(4) ■ 国際経済学(4)
- 国際金融論特論(4)
- アメリカ経済論(4)
- ヨーロッパ経済論 (4)
- 産業組織論(4)

- 産業集積論(4)
- 流涌システム論特論(4)
- 日本経済特論 (4)
- 企業間関係論(4)
- 統計学(4)
- 計量経済学(4)
- 経営学演習(4)
- 産業経済演習(4)
- 会計学演習(4)
- 企業家養成演習(2)
- ワークショップ(企業家養成)(4)
- 企業家活動(4)
- 企業家史(4)
- 経営戦略論 (4)
- ベンチャー・ファイナンス論 (4)
- イノベーション・マネジメント概論(4)
- 企業家養成特殊研究(2)
- ベンチャー・ビジネス監査論(4)
- 国際経営演習(2)
- ワークショップ (国際経営) (4) ■ 国際経営論(4)
- 地域経済研究 (アメリカ) (4)
- 地域経済研究(EU)(4)
- 地域経済研究 (アジア) (4)
- 国際人事(2)
- 国際マーケティング論(2) ■ 国際物流論(4)
- 国際会計論(4)
- 国際金融論 (4)
- 国際経営特殊研究 (4·2)

■ 人材・組織マネジメント演習(2)

■ 財務会計論 (4)

■ 税務会計論(4)

■ 会計情報論 (4)

● 企業評価論(4)

特殊研究(4.2)

■ 経営学基礎 (4・2)

■ ファイナンス入門 (2)

■ 会計学基礎 (2)

■ 経済学基礎 (2)

■ 日本経済論(4)

■情報技術特論(2)

■ e- ビジネス論 (2)

■ 日本語経営学(4)

特殊研究(4・2)

特殊講義1/2(各2)

■ 外国語経営学

■ 外国語経営学

■ 企業法 (4)

■ 統計データ解析 (4)

■ 産業基礎(2)

■ 基礎ファイナンス (4)

■ 実証ファイナンス入門 (4)

■ インベストメント理論(4)

■ コーポレート・ファイナンス (4・2)

■ アカウンティング・ファイナンス

■ 経営分析 (4)

- ワークショップ (人材・組織マネジメント)(4)
- 人的資源管理論(4)
- 人材育成論(4)
- キャリアマネジメント論(4)
- 人事制度論(4)
- 労働市場論(4)
- 労使コミュニケーション論(4)
- 経営組織論(4)
- 組織行動論(4)
- 経営情報論 (4)
- 組織と情報(4)
- 人材・組織マネジメント 特殊研究(4.2)
- マーケティング演習(2) ■ マーケティング・
- サービスマネジメント演習(2)
- サービスマネシメント演習(2) 日本経済基礎(2) ワークショップ(マーケティング)(4) 情報学特論(2)
- マーケティング論 (4)
- 消費者行動論(4)
- マーケティング・リサーチ論 (4)
- 製品開発論 (4)
- マーケティング・サイエンス論 (4)
- サービス・マネジメント論 (4・2)
- 流通システム論 (4)
- 物流政策論(4)
- マーケティング特殊研究 (4・2)
- アカウンティング・ファイナンス演習(2)
- ワークショップ (アカウンティング・ファイナンス)(4)
- 管理会計論(4)

博士後期課程

- 博士演習 | A・| B/||A・||B/ IIIA・IIIB (各2)
- 博士コースワークショップ | A・| B/||A・|| B/|||A・|||B (各1)

人間社会研究科

詳細はこちら



募集人員

修士課程15名程度

キャンパス

多摩/市ケ谷

主な進路

独立行政法人、福祉関連 機関、まちづくり財団、N PO法人、民間企業、進学 (博士後期課程)など

長期履修制度有

♦

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



社会福祉やコミュニティマネジメントの専門 知識と実践能力を修得

「社会福祉」や「コミュニティマネジメント」に関する高度専門職業人(ソーシャルワーカー、政策立案者、コミュニティ プランナーなど)、研究者の養成を目的としています。社会福祉、コミュニティマネジメントの幅広い課題に応えるた めに、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系の3領域の科目群を設置。また、社 会人が学びやすいようにさまざまな制度を整えています。

授業は、昼間は主に多摩キャンパスで木曜、金曜に開講(一部土曜を含む)。夜間は市ケ谷キャンパスで月曜、火曜 に開講。単位互換制度を利用した福祉系13大学の授業の履修も可能です。生活する人の視点に立ち、Well-being 社会の創造に寄与する多様な観点やアプローチによる研究に取り組んでいます。

アドミッション・ ポリシ-

(学生受け入れ方針) 〈入学前に修得しているべ

【AP1知識】4年制大学で学

ぶ社会福祉と地域づくりに

関わる知識を修得している

【AP2英文読解力】専門領

域に関わる英語力を有して

【AP3思考・判断】研究テー

マに関して、論理的に思考

【AP4意欲・関心】研究テー

マへの強い研究意欲をも

ち、実践的な関心を有して

し、判断できる

き能力〉

いる

いる

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

〈教育課程の編成方針〉本専攻の学位授与方針を達成す るために、以下の通り教育課程を編成する。

修士(福祉社会)【CP1】DP1専門知識、DP2読解力を養 成するため、コースワークとして、研究方法を修得する「専 門共通科目、社会福祉の課題と理論を3つの領域から学 ぶ「専門展開科目」をおく【CP2】DP2読解力とりわけ専 門英文読解能力養成のため、「原書講読研究」をおく 【CP3】DP3表現力とりわけ専門英文表現力養成のため、 「学術英語」をおく DP3表現力、DP4実践能力、DP5研 究力を養成するため、リサーチワークとして、修士論文に 収斂するよう個別指導を行う「演習科目」をおく

修士 (学術) 【CP4】 DP6専門知識、DP7読解力を養成す るため、コースワークとして、研究方法を修得する「専門 共通科目」、地域づくりの課題と理論を3つの領域から学ぶ 「専門展開科目」をおく【CP5】DP7読解力とりわけ専門 英文読解能力養成のため、「原書講読研究」をおく【CP6】 DP8表現力とりわけ専門英文表現力養成のため、「学術 英語」をおく DP8表現力、DP9実践能力、DP10研究力 を養成するため、リサーチワークとして、修士論文に収斂 するよう個別指導を行う「演習科目」をおく

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

福祉社会専攻では、福祉社会の形成に関わる専門知識と 研究方法を習得し、それらにもとづく基礎的な研究力を、高 度な職業活動や実践的な研究において生かすことが可能 な、以下の知識と能力を有する院生に「修士(福祉社会)」 あるいは「修士(学術)」を授与する。

修士(福祉社会)

【DP1専門知識】社会福祉分野に関する必要な専門知識 を有する【DP2読解力】内外の先行研究を正確に読み取る ことができる【DP3表現力】文章および口頭により、自身の 考えを他者に論理的に伝達できる【DP4実践能力】職業 人もしくは研究者として必要とされる実践を行なえる【DP5 研究力】自発的に研究課題を設定し、計画的、系統的に研 究を遂行できる

修士(学術)

【DP6専門知識】地域づくり分野に関する必要な専門知識 を有する【DP7読解力】内外の先行研究を正確に読み取る ことができる【DP8表現力】文章および口頭により、自身の 考えを他者に論理的に伝達できる【DP9実践能力】職業 人もしくは研究者として必要とされる実践を行なえる 【DP10研究力】自発的に研究課題を設定し、計画的、系統 的に研究を遂行できる

研究室紹介

SDGs時代に求められる企業責任とイノベーション



土肥 将敦 教授

企業の経営活動と 我々の消費活動そのものを問い直す

土肥将敦研究室の研究テーマは、社会のさまざまな問題を企業やNPO/NGOがビジ ネスの手法で解決に結びつける「ソーシャル・イノベーション」です。ソーシャル・イノ ベーションとは、「社会的課題の解決に取り組むビジネスを通して、新しい社会的価値 を創出し、経済的・社会的成果をもたらす革新」を意味します。ソーシャル・イノベーショ ンの調査・研究はまだ始まったばかりですが、土肥研究室では、理論研究を充実させ るとともに、さまざまな社会的課題に対して「どのような解決策を提案できるのか?」と いう実践的な側面も重視しています。企業活動がグローバル化し、その社会的責任 (CSR)が問われる中で、企業や消費者が果たすべき役割は何かを考えています。

学生・修了生の声

移住者が地域社会と共存するには。 問題の本質を見極める視角を開拓



何 振航 修士課程 在学中

私の研究

観光まちづくりにおける移住者とローカル・ルールの変容過程の分析 研究テーマ - 社会的オヤの視点から-

「なぜ地域住民は移住者を観光まちづくりの担い手として認めないのか」という問題意識 からスタートし、地域社会に存在するローカル・ルールに着目。いかに地域の秩序を維持 しながら移住者の定着を両立させるかを研究しています。問題の本質を見極めるなかで地 域社会に潜む「見えないもの」を発見するプロセスは知的興奮で一杯でした。

専攻の魅力

人々の幸せを考えるには、多種多様な視点から問題の本質を見極めることが大事です。 福祉社会専攻には多岐にわたる分野の教授陣が揃っており、さまざまな領域の知識を 吸収することができるので、自分なりの新たな視角を開拓することが研究の醍醐味であ り、人生の糧にもなります。フィールドワークでは生活者と真摯に向き合い、興味深い気 づきや感動を得られました。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
伊藤 正子	教授	社会福祉方法論、異なる民族・ 文化的背景を持つ人々への社会 福祉援助	社会的排除とソーシャルワーク、多文化ソーシャルワーク	ソーシャルワーク理論研究特論、地域共生社会 特論、論文研究演習、実践研究演習
岩崎 晋也	教授	社会福祉原論	社会福祉原理・思想	論文研究演習、実践研究演習
岩田 美香	教授	児童・家族福祉論、教育福祉論	子育ち・子育での社会的困難に関する研究、貧困家族に 対するソーシャルワーク	児童福祉特論、福祉社会研究法、論文研究演習、実践研究演習
髙良 麻子	教授	ソーシャルワーク論	ソーシャルアクション、地域包括ケア	ソーシャルワーク特論 II、地域共生社会特論、論 文研究演習、実践研究演習
佐藤 繭美	教授	ソーシャルワーク論 (特に終末期 ケアを中心として)、当事者および 家族への支援	当事者・家族への支援、死別ケア	ソーシャルワーク特論 I、福祉社会研究法、論文研究演習、実践研究演習
眞保 智子	教授	障害者福祉論、精神保健福祉、 若者支援、就労支援、障害者の キャリアデザイン	若者就労支援、障害者雇用、企業における精神科ソーシャルワーク	障害者福祉特論、地域共生社会特論、論文研究 演習、実践研究演習
図司 直也	教授	農業経済学、農山村政策論、地 域資源管理論	農山村における地域マネジメント、外部人材と協働する地域づくり	地域空間学特論、福祉社会研究法、論文研究演 習、実践研究演習
髙取 康之	教授	異文化コミュニケーション、英語 教育、経営学 (マーケティング)	多文化混在社会の今後	※今年度は、特定の科目を担当しません
土肥 将敦	教授	ソーシャルイノベーション、社会的 企業家、CSR	ソーシャルイノベーションの創出と普及、社会的企業家研究、CSR研究	地域経営特論、論文研究演習、実践研究演習
中村 律子	教授	高齢者福祉論、老いの比較文化論	高齢者施設処遇史研究、高齢者福祉制度の比較研究	高齢者福祉特論、福祉社会研究法、論文研究演習、実践研究演習
布川 日佐史	教授	公的扶助論、雇用政策論	就労支援と生活保障の日独比較、生活保護自立支援プログラムの検証	ソーシャルポリシー特論、地域共生社会特論、論 文研究演習、実践研究演習
水野 雅男	教授	都市住宅政策論、市民活動運 営論	地域木造住宅保全システム研究、被災地復興地域づく り研究、創造都市研究	都市·住宅政策特論、福祉社会研究法、地域共 生社会持論、論文研究演習、実践研究演習
宮城 孝	教授	コミュニティソーシャルワーク、 地域包括ケアなどの地域福祉方 法論	コミュニティソーシャルワーク方法論、超高齢化地域に おける包括的な支援策	※今年度は、特定の科目を担当しません
保井 美樹	教授	都市・地域計画論、計画行政、 自治システム研究	欧米の都市環境システム論、官民連携による地域再生研究、コミュニティ・イノベーションやエリアマネジメント に関する研究	論文研究演習、実践研究演習
山本 五郎	教授	コーパス言語学、英語学、辞書 学、英語教授法 (TESOL)	コーパスを用いた英語の語法研究、英和辞典の項目執 筆・校閲	学術英語
岡田 栄作	准教授	福祉疫学、ヘルスプロモーション	介護・医療関連情報の見える化、保健事業・介護予防の 一体的な実施	保健医療福祉システム特論、論文研究演習、実践研究演習
佐野 竜平	准教授	アジアの障害インクルーシブな 国際協力・開発	アジアにおける持続可能で循環・双方向型の国際協力・ 開発実践、障害者の暗黙知、障害者権利条約	アジア地域開発特論、地域共生社会特論、論 文研究演習、実践研究演習
野田 岳仁	准教授	環境社会学、地域社会学、観光 社会学	現場に暮らす生活者の立場からの地域づくり、地域ツー リズムの探究	地域環境特論、地域共生社会特論、論文研究 演習、実践研究演習
服部 環	(科目担当)	教育心理測定学、心理データ解析	項目反応理論と心理データ解析に関する理論と応用	データ分析法、福祉社会データ解析

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 福祉社会研究法(2)
- 地域共生社会特論(2)
- 社会福祉学特論(2)
- ソーシャルワーク特論 | / || (各2) ■ ソーシャルワーク理論研究特論(2)
- ソーシャルワーク実践研究特論(2)
- 高齢者福祉特論(2)
 - 障害者福祉特論(2)
 - 精神保健福祉特論(2)
 - 生活問題特論(2)
- 地域福祉特論(2) 社会リハビリテーション特論(2) 児童福祉特論(2)
 - ソーシャルポリシー特論(2)
 - 保健医療福祉システム特論(2) ■ ケアマネジメント特論(2)
 - 福祉経営特論(2)
 - 地域経営特論(2)
- 都市・住宅政策特論(2)
- 地域空間学特論(2)
- 地域マネジメント特論 (2)
- 地域環境特論(2)
- アジア地域開発特論(2)
- 原書購読研究(2)
- 学術英語(2)
- データ分析法 (2)
- 福祉社会特論 (2) ■ 福祉社会データ解析 (2)
- 論文研究演習 | / || (各4)
- 実践研究演習 | / || (各2)

- 外国人介護職員に対する支援のあり方について - 定住外国人介護職員を長年受け入れている施設の取り
- 子ども・若者の「居場所」に関する研究 -食事を涌した関りに着目して-
- 社会的養護が目指す施設と学校との連携に関する一考察 - 児童自立支援施設を中心に-
- 在宅で生活する知的障害者の孤立に関する研究 -家族を失った知的障害者に対する支援事例から-
- 東日本大震災からみるコミュニティ再生に向けたソーシャ ルワークのあり方に関する研究 ー自治会会長へのインタビュー調査からー
- 大学ミュージアムの今日的役割 -大学と地域社会との関係性に着目して-

- 社会的に責任あるグローバル・サブライチェーンの構築 ーサブライチェーン・モニタリングシステムとステイクホル ダー・エンゲージメントの考察から一
- 特別養護老人ホームのエンドオブライフ・ケア (高齢者の 終末期ケア) における本人の意思決定支援、家族の意思 推定支援に関する研究
- 意向確認の実践を通して-
- 認知症高齢者グループホームのケアの質に関する一考察 ー「認知症ライフサポートモデル」の有効性と課題ー
- 大都市における生活困窮者の生活支援と就労支援について ~「ふるさとの会」のケア付き就労を中心に~
- 外国人に対する生活保護進用の不安定性 ー史的変遷からの考察

- 中・軽度知的障害者の青年期における親子依存関係から の脱却に向けた要因と支援のあり方
- 主介護者による在宅介護におけるリスクの構造とリスクマ ネジメントに関する研究
- 仮設住宅の収縮期における居住者の生活の現状とその支 援のあり方 一岩手県陸前高田市における調査を通して一
- 大震災時の復興過程における知的障害者に対するソー シャルワークの役割と課題
- 陸前高田市のフィールドワークを通して-
- 小地域福祉推進組織の主体形成過程におけるソーシャル ワーカーの関与についての研究 〜多摩地域をはじめとする大都市近郊をフィールドとして〜

人間社会研究科

臨床心理学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程15名程度

キャンパス

多摩

主な進路

国家公務員(法務省、厚生労働省)、地方公務員(心理職)、医療機関(心理職)、スクールカウンセラー、教育相談機関(心理職)、民間企業(心理職・総合職)など

 \Diamond

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



多彩な教授陣と実習現場を通して、 理論と実践を学ぶ

社会のさまざまな心理臨床の分野で活躍する高度専門職業人(公認心理師、臨床心理士)と、臨床心理学の実践と科学に関わる研究者の養成を目的としています。

専任教員は、心理臨床、カウンセリング、精神医学等の第一線で活躍中の専門家です。広範囲な理論と実習、研究倫理に基づく修士論文の指導体制が整っています。医療・発達・教育などに関わる豊富な実習現場と、学内の臨床心理相談室における実習教育にも特色があります。

大学院修了後に公認心理師試験(公認心理師施行規則が定める科目を修めた者)と臨床心理士試験(第一種指定校)が受験できます。修了生のほぼ全員が臨床心理士資格を取得し、臨床心理関係の専門職に就いて社会で活躍しています。また、博士後期課程(人間福祉専攻)への進学も可能です。

アドミッション・ ポリシー (学生受け入れ方針)

(子生支け入れ方針)

〈入学前に修得しているべき能力〉 【AP1知識】4年制大学の心理学 科卒業程度の臨床心理学領域を 中心とした心理学に関する知識を 有している

【AP2英文読解力】専門領域に関わる英語力を有している

【AP3表現力】問題状況に関する自身の見方を他者へ正確に伝達できる 【AP4思考・判断】研究テーマに関して、論理的に思考し、判断できる 【AP5意欲・関心】研究テーマへの強い研究意欲をもち、実践的な関心を有している

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

〈教育課程の編成方針〉

本専攻の学位授与方針を達成するために、 以下の通り教育課程を編成する。

修士(臨床心理学)

【CP1】DP1専門知識、DP2読解力を養成するため、コースワークとして、近年の臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に応じた臨床心理学の基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開する「専門展開科目」をおく

【CP2】DP3表現力、DP4実践能力、DP5研究力を養成するため、リサーチワークとして、臨床実践に関する「実習科目」と修士論文に収斂する「研究指導科目」をおく

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

臨床心理学専攻では、心のケアの専門家に必要とされる専門知識と研究方法を習得し、それらにもとづく基礎的な研究力を高度な職業活動や実践的な研究において生かすことが可能な、以下の知識と能力を有する院生に「修士(臨床心理学)」を授与する。

【DP1専門知識】臨床心理学に関する必要な専門知識を有する

【DP2読解力】内外の先行研究を正確に読み取る ことができる

【DP3表現力】文章および口頭により、自身の考え を他者に論理的に伝達できる

【DP4実践能力】 職業人もしくは研究者として必要とされる実践を行なえる

【DP5研究力】自発的に研究課題を設定し、研究を遂行できる

研究室紹介

認知行動療法に関連する理論と技法の研究



金築優 教授

科学的心理学の研究知見を心理臨床に活かす

不安や抑うつといった否定的な感情が、なぜ強まり、生活の質を低めるのか、そしてそれらの感情がどのように和らぐのかについて、認知行動療法の立場から研究しています。また、セルフケアとして、科学的心理学の技法を用いて、いかに健康を増進できるかにも関心があります。公認心理師と臨床心理士を目指す上で、他者のために役立ちたいという温かいスピリットと、常識的な考えを科学的かつ批判的に検討できる思考力を併せ持つことが重要であると考えています。臨床心理学専攻には、様々な学派のカウンセリング・心理療法、心理査定から基礎心理学まで、ヴァラエティ豊かな教員がいて、研究室の垣根を越えて指導を受けやすいことが特徴です。

学生・修了生の声

心理学のあらゆる領域の考え方を学び 価値観も視野も広がりました



森川 佳純 修士課程 在学中

価値観も視野も広がりました

私の研究

研究テーマ

親の養育態度と自意識が自己愛傾向に及ぼす影響について

臨床心理学専攻の教授陣にはあらゆる領域の専門家が揃っているため、どの領域においても専門的な物の考え方や深い知見を学ぶことができます。なかでも心理検査の授業が興味深く、学部時代には学ぶことが出来なかった深いところまでの知識を吸収することが出来ています。ゼミの先生をはじめ教授との距離が近く、的確なアドバイスをいただけることも魅力です。

変化したこと

社会の中で悩みを抱える大人や子どもたちの手助けがしたいと心理職をめざし、公認心理師・臨床心理士の受験資格が得られる本専攻を志望しました。他大学からの進学なので先生や友人など取り巻く環境が一変。今まで触れたことのない考えや価値観に出会い、多様性を受け入れる力がつくとともに視野が大きく広がりました。

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
小野 純平 教授	臨床心理学、発達臨床心理学、 心理査定	被虐待の心理援助、発達障害のアセスメントと支援、臨床心理アセスメント	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)、臨床心理査定演習Ⅱ、論文研究 指導
金築 優 教授	認知行動療法	認知行動療法の理論 (特に知覚制御理論) に関する研究	臨床心理学特論、臨床心理実習 (心理実践実習)、臨床心理実習 、心の健康教育に関する理論と実践、論文研究指導
久保田 幹子 教授	臨床心理学、心理療法 (森田療法、カウンセリングなど)、心理査定	不安症・強迫症に対する森田療法、女性の心理的危機と 援助、比較心理療法など	臨床心理基礎実習、医療心理学特論、論文研究 指導
末武 康弘 教授	臨床心理学、心理学的支援法、 カウンセリング・心理療法	クライアント中心療法 (パーソンセンタードセラピー)、フォーカシング指向療法の理論的・実践的研究	臨床心理基礎実習、臨床心理面接特論 I (心理 支援に関する理論と実践)、臨床心理面接特論 II、論文研究指導
関谷 秀子 教授	児童青年精神医学、精神分析学	思春期青年期の発達、精神分析的精神療法、親ガイダンス	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)、論文研究指導
長山 恵一 教授	比較精神療法、精神医学	内観療法・森田療法・精神分析の臨床と研究、ヴェーバー 社会学と精神科学の関連	臨床心理学研究法特論、比較心理療法特論、論文研究指導
丹羽 郁夫 教授	臨床心理学、コミュニティ心理 学、子どもの心理療法	子どもの心理療法、日本の遊戯療法、コンサルテーション、 移行対象	心理臨床演習、臨床心理実習 I (心理実践実習)、臨床心理実習 II、論文研究指導
服部 環 教授	教育心理測定学、心理データ解析	項目反応理論と心理データ解析に関する理論と応用	データ分析法、論文研究指導
望月 聡 教授	神経心理学、認知行動病理学	神経心理学的症状とその発生機序・影響についての基礎研究と応用研究、心理的障害やその傾向の発生や維持に 関連する機序・要因の実証的研究	認知心理学特論、教育心理学特論、論文研究指導
岩田 美香 兼担教授(科目担当	児童・家族福祉論、教育福祉論	子育ち・子育ての社会的困難に関する研究、貧困家族に 対するソーシャルワーク	児童福祉特論
中村 律子	高齢者福祉論、老いの比較文化論	高齢者施設処遇史研究、高齢者福祉制度の比較研究	高齢者福祉特論

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 臨床心理基礎実習(2)
- 臨床心理学特論(4)
- 臨床心理面接特論 | (心理支援に関する理論と実践)(2)
- 臨床心理面接特論 II (2)
- 臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論 と実践)(2)
- 臨床心理査定演習 II (2)
- 臨床心理実習 | (心理実践実習)(1)
- 臨床心理実習 II (1)
- 心理学研究法特論 (2)
- データ分析法 (2)
- 臨床心理学研究法特論(2)

- 認知心理学特論 (2)
- 教育心理学特論(2)
- 発達心理学特論(2)
- 家族心理学特論(2)
- 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開(2)
- 精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と 支援の展開)(2)
- 障害者 (児) 心理学特論 (福祉分野に関する理 論と支援の展開) (2)
- 産業・労働分野に関する理論と支援の展開(2)
- 児童福祉特論 (2)
- 高齢者福祉特論(2)

- 教育分野に関する理論と支援の展開(2)
- グループ・アプローチ特論(2)
- 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践(2)
- 投影法特論 (2)
- 心の健康教育に関する理論と実践 (2)
- 力動的心理療法特論 (2)
- 比較心理療法特論 (2)
- 心理臨床演習(2)
- 医療心理学特論(2)
- 論文研究指導(4)

- 在宅介護・看取りを行った家族の喪失体験の意味づけ 一在宅介護・看取りの経験が与える影響に着目して一
- ASD傾向、ADHD傾向を有する場合のストレス対処行動 及び愛着スタイルが精神健康度に与える影響について
- 内観療法における心理的変容のプロセス−愛着スタイルを中心に−
- 大学生アスリートにおける受傷体験と反すうの関連性
- マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果 -孤独に対する捉え方に着目して-
- 失恋からの回復過程の検討

- 大学生の恥意識についての研究 一対人恐怖心性と回避的傾向、及び心理的自立との関連から一
- 入院森田療法患者の体験分析
- 心理士の職業的発達に影響を及ぼす体験について ー自己変容との関連からー
- アタッチメントと長期恋愛経験からみる青年の自己愛的 脆弱性と自尊感情
 - 大学入学時からの変化に着目して-
- コラージュ場面における不快素材の用い方と防衛機制 およびコーピングの関連
- 心理学的ストレスプロセスにおけるレジリエンスが持つ 効果に関する研究
- twitter依存とメンタルヘルスとの関連について - 愛着と自己愛からの検討 -

人間社会研究科

詳細はこちら



募集人員

博士後期課程5名

キャンパス

多摩

主な進路

国立大学や私立大学の 教員・研究員、独立行政 法人研究員、医療機関 (福祉職)、公務員など

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



トータルな人間福祉を実現できる 理論的・実践的研究者へ

21世紀の人間福祉を総合的に実現するための理論的かつ実践的研究者を養成することが本専攻の目標です。その ため、人間の「生」(Life)をトータルに捉えられるカリキュラムを構成しています。選択・必修科目として、「福祉政策系」 「福祉社会系」「福祉臨床系」「地域・政策系」「地域・文化系」「臨床心理系」の多彩な特殊講義を設置しています。 また、1年次から3年次までの必修科目として「人間福祉特別演習」を設置し、指導教員のほかに副指導教員による 複数教員の論文指導を実施しています。

複合的な研究アプローチにより社会的に意義のある博士論文をまとめることを目指しており、開設以降、毎年課程 博士を輩出していることも特色の一つです。

アドミッション・ ポリシー

(学生受け入れ方針) _

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

〈入学前に修得しているべき 能力〉

【AP1知識】当研究科の福祉 社会専攻または臨床心理学 専攻の修了者あるいはそれと 同等の専門知識を有している 【AP2英文読解力】研究テー マに関して専門的な英語文 献を理解できる英語力を有し

【AP3思考・判断】研究テー マに関して、論理的に思考し、 判断できる

【AP4意欲・関心】研究テー マへの強い研究意欲をもち、 実践的な関心を有している 【AP5研究力】先端の研究 テーマを見出し、自らの研究 方法を持って、研究に取り組 める

授与方針を達成するために、以下の通 り教育課程を編成する。

博士(人間福祉)

【CP1】DP1専門知識、DP2読解力、 DP3表現力を養成するためコースワーク として、福祉系の科目「特殊講義」をおく 【CP2】DP3表現力、DP4 実践能力、 DP5研究力を養成するため、リサーチ ワークとして、論文指導に重点を置いた 特別演習を設ける

博十(学術)

【CP3】 DP6 専門知識、DP7 読解力、 DP8表現力を養成するためコースワーク として、地域系・臨床心理系の科目「特 殊講義」をおく

【CP4】DP8表現力、DP9実践能力、 DP10研究力を養成するため、リサーチ ワークとして、論文指導に重点を置いた 特別演習を設ける

〈教育課程の編成方針〉本専攻の学位 人間福祉専攻では、先端の研究課題を設定し、それに対して、創造的な 答えを導き出し、自立して研究を行なうことが可能な、以下の知識と能力 を有する院生に「博士(人間福祉)」あるいは「博士(学術)」を授与する。 博士(人間福祉)

【DP1専門知識】人間福祉分野の先端的研究に関する高度な専門知識 を有する

【DP2読解力】内外の先行研究を正確かつ批判的に読み取ることができる 【DP3表現力】文章および口頭により、自身の考えを他者に論理的に伝 達できる

【DP4実践能力】研究者として必要とされる高度な実践能力を有する 【DP5研究力】 先端の研究課題について、オリジナリティ豊かな結論を導 き出し、論証できる

博士(学術)

【DP6専門知識】臨床心理分野または地域づくり分野の先端的研究に 関する高度な専門知識を有する

【DP7読解力】内外の先行研究を正確かつ批判的に読み取ることができる 【DP8表現力】文章および口頭により、自身の考えを他者に論理的に伝 達できる

【DP9実践能力】研究者として必要とされる高度な実践能力を有する 【DP10研究力】 先端の研究課題について、オリジナリティ豊かな結論を 導き出し、論証できる

研究室紹介

障害者雇用を通じてインクルーシブな職場環境を考える



真保 智子 教授

現場での実践を論理的に考察し普遍性を見出す

大学院人間社会研究科 (人間福祉専攻) では毎年、国内外の学生が博士後期課程 を修了し、大学院での研究成果をいかして幅広い分野で活躍されています。博士後期 課程では、すでに修士課程で研究方法の原理と方法論を学んでいることを前提とし て、研究者として自立した研究活動を展開できるかが問われます。国内外をフィールド とした研究活動は、教員にとっても新しい知見をともに喜び楽しむ学びの場となってい ます。在学中は修士課程の院生へのチューターとして、留学生や障がいのある院生へ の支援にもご協力いただくなど専攻を超えた院生同士の交流も活発です。Well-being の実現に向けて、人間社会研究科の教育と研究の意義はますます重要になると考えて います。

■ 学生・修了生の声

日々変わりゆく福祉の課題を 研究を通して問い続けていく



安西 美咲 博士後期課程 在学中/ 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

専攻の魅力

研究テーマ

ソーシャルワーク実践における「自己決定」の支援の再考ー代理意 思決定支援をめぐるアドバンスケアプランニングの課題を中心に一

学部卒業後、自治体や社会福祉協議会など福祉の現場で働く中で、理論と実践の間にはさ まざまな課題があると痛感しています。その課題を研究という形で自分自身や社会に問い直 したいと本専攻を志望しました。ソーシャルワーク実践研究を進めるうえで、福祉だけでなく、 心理や地域づくり等、幅広く専門的な視点からご指導をいただける環境が魅力です。

将来の目標

学生時代から福祉を学んだ者としていま、「福祉の課題は日々変わっていき、実践者に はその変わりゆく課題に対応することが求められる」とあらためて感じています。先生方 の専門分野が多岐にわたる専攻の恵まれた特色を有意義に活用し、一つひとつの課題 をその変容も含めて問い続け、解決の糸口を追い求めていくことが将来の目標です。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
伊藤 正子	教授	社会福祉方法論、異なる民族・文化 的背景を持つ人々への社会福祉援助	社会的排除とソーシャルワーク、多文化ソーシャルワーク	福祉臨床系特殊講義 / 、人間福祉特別演習
岩崎 晋也	教授	社会福祉原論	社会福祉原理・思想	福祉社会系特殊講義1/II、人間福祉特別演習
岩田 美香	教授	児童・家族福祉論、教育福祉論	子育ち・子育ての社会的困難に関する研究、貧困家族に 対するソーシャルワーク	福祉臨床系特殊講義1/11、人間福祉特別演習
小野 純平	教授	臨床心理学、生涯発達心理学、心理 検査学、心身障害学	被虐待の心理援助、発達障害のアセスメントと支援、知能検査法	臨床心理系(病理・発達)特殊講義 I/II、人間 福祉特別演習
金築 優	教授	認知行動療法	認知行動療法の理論(特に知覚制御理論)に関する研究	臨床心理系(心理·地域)特殊講義 /Ⅱ、人間 福祉特別演習
久保田 幹子	教授	森田療法、比較心理療法、心理査定	不安症・強迫症に対する森田療法、女性の心理的危機、 比較心理療法など	臨床心理系(病理・発達)特殊講義 I/II、人間 福祉特別演習
髙良 麻子	教授	ソーシャルワーク論	ソーシャルアクション、地域包括ケア	福祉臨床系特殊講義1/11、人間福祉特別演習
佐藤 繭美	教授	ソーシャルワーク論(特に終末期ケアを中心として)、当事者および家族への支援	当事者・家族への支援、死別ケア	福祉臨床系特殊講義 / 、人間福祉特別演習
眞保 智子	教授	障害者福祉論、精神保健福祉、若者 支援、就労支援、障害者のキャリア デザイン	若者就労支援、障害者雇用、企業における精神科ソーシャルワーク	福祉社会系特殊講義 / 、人間福祉特別演習
末武 康弘	教授	臨床心理学、心理学的支援法、カウンセリング・心理療法	クライアント中心療法 (パーソンセンタードセラピー)、フォーカシング指向療法の理論的・実践的研究	臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義 I/Ⅱ、人間 福祉特別演習
図司 直也	教授	農業経済学、農山村政策論、地域資 源管理論	農山村における地域マネジメント論、外部人材と協働する 農山村の地域づくり	地域・政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ、人間福祉特別演習
関谷 秀子	教授	児童青年精神医学、精神分析学	思春期青年期の発達、精神分析的精神療法、親ガイダンス	臨床心理系(病理・発達)特殊講義 I/II、人間 福祉特別演習
土肥 将敦	教授	ソーシャルイノベーション、社会的企 業家、CSR	ソーシャルイノベーションの創出と普及、社会的企業家 研究、CSR研究	地域・政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ、人間福祉特別演習
中村 律子	教授	高齢者福祉論、老いの社会的・文 化的研究	高齢者施設処遇史研究、高齢者福祉制度の比較研究	福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ、人間福祉特別演習
長山 恵一	教授	比較精神療法、精神医学	内観療法・森田療法・精神分析の臨床と研究、ヴェーバー社会学と精神科学の関連	臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義 I/II、人間 福祉特別演習
丹羽 郁夫	教授	臨床心理学、コミュニティ心理学	子どもの心理療法、日本の遊戯療法、コンサルテーション、移行対象	臨床心理系(心理・地域)特殊講義 I/II、人間 福祉特別演習
服部 環	教授	教育心理測定学、心理データ解析	項目反応理論と心理データ解析に関する理論と応用	臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義 I/II、人間 福祉特別演習
布川 日佐史	教授	公的扶助論、雇用政策論	就労支援と生活保障の日独比較、生活保護自立支援プログラムの検証	福祉政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ、人間福祉特別演習
水野 雅男	教授	都市住宅政策論、市民活動運営論	地域木造住宅保全システム研究、被災地復興地域づく り研究、創造都市研究、医療経済研究	地域・文化系特殊講義 / 、人間福祉特別演習
宮城 孝	教授	コミュニティソーシャルワーク、地域 包括ケアなどの地域福祉方法論	コミュニティソーシャルワーク方法論、超高齢化地域に おける包括的な支援策	※今年度は、特定の科目を担当しません
望月 聡	教授	神経心理学、認知行動病理学	神経心理学的症状とその発生機序・影響についての基 礎研究と応用研究、心理的障害やその傾向の発生や維 持に関連する機序・要因の実証的研究	臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義 I・Ⅱ、人間福祉特別演習
保井 美樹	教授	都市・地域計画論、計画行政、自治システム研究	欧米の都市環境システム論、官民連携による地域再生研究、コミュニティ・イノベーション研究やエリアマネジメントに関する研究	地域・政策系特殊講義 / 、人間福祉特別演習
佐野 竜平	准教授	アジアの障害インクルーシブな国際 協力・開発	アジアにおける持続可能で循環・双方向型の国際協力・ 開発実践、障害者の暗黙知、障害者権利条約	地域・政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

博士後期課程

- 福祉政策系特殊講義 | / || (各2)
- 福祉社会系特殊講義 | / || (各2)
- 福祉臨床系特殊講義 | / || (各2)
- 地域·政策系特殊講義 I/II (各2)
- 地域·文化系特殊講義 I/II (各2)
- 臨床心理系 (心理·地域) 特殊講義 I/II (各2)
- 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義 I/II (各2)
- 人間福祉特別演習 | ~ ||| (各4)

- 教師のメンタルヘルス規定因とバーンアウトに関する多 角的研究
 - 教師Well-being 尺度の作成ー
- 構造拘束的な体験様式と心理的距離に関する研究
- ジェンドリンのプロセスモデルとその臨床的意義に関する研究
- ソーシャルワーカーの自己生成過程における専門的自己の構築と解体
 - 中動態から生起する臨床体験-

- 地域主義にもとづく文化財保存と活用に関する研究 一文化財を核としたコミュニティの生成と活動を視野に一
- 教育相談群と病院群の思春期の子どもと母親の比較 研究
 - 研究 -子どもの精神・行動症状と母親の対象関係を中心に一
- 地域特性に応じた介護保険事業の効率性についての 実証的研究
- 重度要介護高齢者における介護者の介護負担感および在宅介護の継続との関連要因に関する研究
- アメリカ大都市における包括的コミュニティ開発の形成と課題
- 日本における市民活動の形成と社会的位置に関する 研究
- 1970~80 年代より活動を続ける市民活動団体に 着目して-

政策創造研究科

政策創造専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程50名/ 博士後期課程10名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

会社員、企業経営者、公 務員、県市区議会議員・ 秘書、国公私立大学教職 員、経営コンサルタント、 社会保険労務士、公認会 計士、税理士、デザイナー など

> 長期履修制度有 (修士課程)

(*

夜間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



日本の活性化を担う政策デザイン能力を養成

高度知識社会においては、国際的な視野のもとで、多様な価値観、高度な専門的知識、幅広い教養、柔軟な創造力を持ち、具体的に課題解決する能力、すなわち政策を創造する能力が要求されます。とくに、グローバルに展開される地域間競争のもとでは、「地域イノベーション」に向け、知的資源を活用した、政策創造能力が問われます。個性的な文化の振興、競争力のある産業の振興、サステイナブルな生活環境への改善、自然・都市景観の保護、そして住民や観光客に魅力的な地域空間の形成をすることが必要となります。政策創造の課題は中山間地域、過疎地域、地方の中小都市だけの特別な施策ではなく、高齢化・集中化する大都市にも存在します。

本研究科のカリキュラムの中心は、これらの課題に対応する3つの創造群・9つのプログラムからなります。総合的かつ具体的な観点から、新たな政策創造を教育研究し、問題解決能力や政策デザイン能力の養成、新しい価値観の創出、世界に向けた情報発信を担う高度専門職業人及び研究者の育成を行います。そのため、「政策研究に不可欠な知識とスキルの教授」、「当該分野における創造的な発想の醸成」、そして「政策センスの錬磨と実務的な政策形成・実施能力の育成」という三位一体の教育研究を実施します。

■研究室紹介



高尾 真紀子 教授

介護・医療、幸福度、地域社会に関する学際的研究

実証研究をベースに社会課題の解決を目指す

少子高齢化の進む日本社会には、医療・福祉、教育などに関する様々な社会課題があります。当研究室では、どこに課題や問題があるのかを明らかにし、社会課題の解決に向けた政策を提言することを目指しています。研究室では、社会人を中心に多種多様なバックグラウンドを持つ学生たちが、仕事と介護の両立、介護職の労働環境、保育・幼児教育の日中比較、外国にルーツを持つ子どもたちの教育など、それぞれのテーマで質的・量的調査に取り組み、社会課題の解決に向けて日々、切磋琢磨しています。社会人の現場の経験に基づく漠然とした問題意識を明確化し、学問の理論や方法で一般化、体系化することで新たな知見が得られるものと考えています。

■学生・修了生の声



山原 一晃 博士後期課程 在学中

経済一辺倒ではなく環境も社会も豊かに。 観光における「SDGsへの貢献」を研究

専攻の魅力

研究テーマ

SDGsに貢献する観光の一考察

日本政府は地方創生の一環として、観光による地域活性化を推進しています。地域来訪者数の増加に伴い経済効果が上がる一方で、負の側面として地域や環境に好ましくない影響も見られるようになりました。しかしながらその対応は十分とは言えず、また未だに観光業界の具体的な取り組みも明らかでないことから、SDGs (持続可能な開発目標)に貢献する観光のあり方について研究したいと考えました。現職、旅行業の地域交流事業においては観光まちづくり等の政策提言に必要な調査・研究の力がますます求められるようになりましたが、政策創造専攻での学びが大いに活かせていると実感しております。

将来の目標

引き続き地方創生を念頭に置き、観光の力を活かして地域活性化に寄与していきます。また産官学のさまざまな現場において、「経済」だけではなく「環境」と「社会」の"トリプルボトムライン"を考慮できる観光人材の育成にも尽力していきたいと考えております。

● 文部科学省「職業実践力育成プログラム (BP)」

政策創造研究科修士課程は、平成28年度文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されました。

● 専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座

政策創造研究科修士課程は、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座に指定されています。入学1ヶ月前までにハローワークで支給申請手続きを行い、2年間で修了すれば、最大112万円の給付を受けることが可能です。

● 平日夜間と土曜日開講

社会人学生に配慮し、都心の市ケ谷キャンパスにおいて授業は平日夜間(18:35~)と土曜日に開講しており、仕事と学業との両立が可能です。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
石山 恒貴	教授	雇用政策論、人的資源管理論、 キャリア形成支援論	雇用の変化に伴う人的資源管理の方向性の研究、人材育成とキャリア形成支援の研究、越境的学習、タレントマネジメント、ジョブ・クラフティング等の研究	雇用政策研究(マクロ)、人材育成論、人的資源管理論、地域雇用政策事例研究、プログラム演習、雇用政策特殊研究1~III
井上 善海	教授	経営戦略論、中小企業経営論	企業の事業戦略、特に新事業創出やイノベーションに関する 研究	経営戦略論、新産業創出論、中小企業論、商店街活性化論、プログラム演習、企業経営特殊研究 I 〜III
梅溪 健児	教授	経済政策論、日本経済論	東京への一極集中及び東京からの地方移住に関する研究、 少子高齢化と日本経済に関する研究、地方経済再生につな がる経済政策の研究	経済政策論、日本経済論、実証分析入門、経済学、 英語論文文献講読、プログラム演習、経済政策特 殊研究 I~III
小方 信幸	教授	ESG投資、CSR、サステナビリ ティ経営	ESG要因と投資パフォーマンスの研究、企業が本業を通じて 社会価値と経済価値を実現する共通価値の創造(CSV)及 びサステナビリティ経営の研究	CSR論、ESG投資と企業経営、SDGsと企業経営、企業活動と社会Ⅰ、政策ワークショップ、プログラム演習、CSR特殊研究Ⅰ~Ⅲ
上山 肇	教授	都市政策、まちづくり、市民参加・協働	(地区・地域)まちづくりの理論と実践に関する研究、都市空間(親水空間など)が周辺の都市環境に及ぼす影響に関する研究	都市空間論、地域社会論、比較都市事例研究、まちづくり事例研究、研究法、フィールドワーク演習、プログラム演習、都市政策特殊研究 I ~III
須藤 廣	教授	観光社会学	観光地を一つのメディアと考え、ボストモダン社会における観 光のあり方、あるいは観光地の変容について、理論と実証を 結びつける研究	観光社会学、観光開発論、フィールドワーク論、 ニューツーリズム論、外国語文献講読、フィールド ワーク演習、プログラム演習
高尾 真紀子	教授	社会保障政策、地域福祉政策	地域政策と幸福度に関する研究、認知症の社会参加に関す る研究	調査法、地域活性化システム論、生活政策論、少子高齢化と社会保障、プログラム演習、地域社会政策特殊研究 I~III
真壁 昭夫	教授	行動経済、金融経済	経済活動を様々な視点から分析、人々の厚生に貢献するか の研究	行動経済学、応用行動経済学、地域産業論、地域経営戦略論、プログラム演習、産業政策特殊研究 I ~ III
増淵 敏之	教授	文化地理学	都市文化、食文化、コンテンツ産業、空間移動、文化の越境、 ポップカルチャーの生成過程	文化地理学、文化基盤形成論、都市文化論、コンテンツツーリズム論、合同ゼミ、フィールドワーク演習、プログラム演習、文化政策特殊研究 I~III

設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 政策分析の基礎(2) ■ 政策ワークショップ (2)
- ■調査・データ分析の基礎(2)■雇用政策研究(ミクロ)(2)■文化社会学(2)
- 調査法(2) ■ 研究法(2)
- 質的研究法(2)
- 日本経済論(2)
- 人的資源管理論(2)
- 地域活性化システム論(2)
- 文化地理学(2)
- 都市空間論 (2)
- 地域活性特論 I (2)
- 観光社会学(2) ■ 地域産業論(2)
- 中小企業論(2)
- CSR論(2)
- 少子高齢化と社会保障 (2) コミュニティーメディア論 (2) 商店街活性化論 (2)
- 実証分析入門(2)
- 経済政策論(2)
- 地方財政論(2)

- 公共選択論(2)
- 雇用政策研究 (マクロ) (2) 地域ブランド論 (2)
- キャリア政策研究(2)
- 地域雇用政策事例研究(2) 観光開発論(2)
- 人材育成論(2)
- 地域コミュニティ論 (2)
- 消費者政策・競争政策 (2) イベント・フェスティバル論 (2) 企業活動と社会 | (2)
- 生活政策論(2)
- 男女共同参画政策論(2) ■ 実践地方行政論(2)
- 地域社会論(2)
- 都市集積論(2)
- まちづくり事例研究(2)
- 比較都市事例研究(2) ■ 文化基盤形成論(2)
- 都市文化論(2)
- 観光文化政策論(2)
- ニューツーリズム論 (2)

- フィールドワーク演習 (2)

- コンテンツツーリズム論 (2) ESG投資と企業経営 (2)
- フィールドワーク論 (2)
- メディア産業論 (2)
- 観光マーケティング論 (2)
- 観光とメディア(2)
- 行動経済学(2)
- 応用行動経済学(2)
- 地域経営戦略論(2)
- ソーシャルキャピタル論(2)
- 地域イノベーション論 (2)
- 非営利組織特論(2)
- 新産業創出論(2)
- コミュニティービジネス論(2)
- アントレプレナーシップ論 (2)

- 財務戦略論(2)
- 事業承継論(2)
- 経営戦略論(2)
- SDGsと企業経営(2)
- ダイバーシティ経営(2)
- コーポレートガバナンス (2)
- 企業活動と社会II(2)
- 特別講義 | / || / |V (各2)
- 経済学(2)
- 社会学(2)
- レポートライティング (2)
- 英語論文文献講読(2)
- プログラム演習(2)

博士後期課程

- 研究法 (2)
- 外国語文献講読(2)
- 合同ゼミ(2)
- 経済政策特殊講義(2)
- 雇用政策特殊講義(2)
- CSR 特殊講義 (2)
- 企業経営特殊講義(2)
- ■都市政策特殊講義(2)
- 産業政策特殊講義(2)
- 文化政策特殊講義(2)
- 観光政策特殊講義(2)
- 地域社会政策特殊講義(2) ■ 経済政策特殊研究 | ~ || (各4)
- 雇用政策特殊研究 | ~|||(各4)
- CSR 特殊研究 I ~ III (各4)
- ■企業経営特殊研究 | ~ ||| (各4) ■都市政策特殊研究 | ~ ||| (各4)
- 産業政策特殊研究 | ~ ||| (各4)
- 文化政策特殊研究 | ~ ||| (各4)
- 地域社会政策特殊研究 | ~ ||| (各4) ■ 観光政策特殊研究 | ~ ||| (各4)

- 精密金型及び金属プレス加工業における労働生産性向上に関する研究 ~知識共有の観点から~
- 中国山西省太原市における持続可能なシェアサイクル事業のあり方に関する研究 - デジタル化社会と市民協働の視点から-
- 役職定年もしくは定年再雇用を経験したシニア社員のワークモチベーションにつ いて
- SDGsに貢献する観光の一考察 ~募集型企画旅行商品の課題~

- 在宅生活支援に従事する介護職の実践的専門性に関する研究
- ■中小企業経営における女性への事業承継に関する研究
- ~女性経営者の障壁克服を中心に~ ■ 新人看護師指導における先輩看護師の心理的変容プロセスの研究
- 副業を行う会社員に生じる仕事の意味付けの変容プロセスの研究
- ■介護労働の特性と介護人材マネジメント
 - 職場レベルのマネジメントと上司の関わりに着目して-
- 観光まちづくりにおけるリーダーの発達とその影響要因に関する研究

公共政策研究科

公共政策学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程25名/ 博士後期課程10名

キャンパス

市ケ谷

勤務先の特徴

民間企業、市民団体、 NPO、公益法人、国際 NGO、国際協力機関、地 方自治体、中央政府など

長期履修制度有 (修士•博士後期課程)

1+

夜間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



公共政策分野における

高度専門職業人・研究者的実務家を育成

「ガバメントからガバナンスへ」「新しい公共」などの言葉で語られるように、今日では、公共的課題の担い手の多様化、政府部門に限定されない社会的な課題解決の営みを総合的な観点から研究する必要性が高まっている。公共政策学専攻では、従来の学問的枠組みでは解決が難しい社会的課題を含めた公共政策領域の諸問題に対応するため、マネジメント、ガバナンスという語をキーワードとして、次に示す人材を育成する。

【修士課程】

- ・社会人を対象とする高度専門職業人として、公共政策に関する 高度の調査分析能力、高度な政策立案能力のある人材
- ・社会の公共課題の解決を追求する分野において、公共政策の研究、教育を担うことのできる人材

【博士後期課程】

・高度専門職業人としての知見や経験の裏づけに基づいて、実践 科学としての公共政策学の領域に関して高度な研究能力を備えた 人材

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

現代社会の抱える諸課題に対して適 切な解決手段を構想し実行できる政 策能力を持つ高度専門職業人を育 成することに関連し、下記の受け入 れ方針を採っている。

【修士課程】一般学生も含め主として次のような社会人に広く門戸を開く。(1)公共政策分野に関わる複雑な諸課題に対して政策を模索する意欲を強く持っていること(2)統合的、学際的な視点を重視しながら政策研究を行う意欲を強く持っていること(3)課題解決のための政策立案能力を獲得し、それを実務に生かす意欲を強く持っていること

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

【修士課程】2年間の学習・研究の期間を標準として、下記4種類の科目群を配置している。(1) 共通科目 (理論・研究基礎) 大学院における研究の出発点としての学習の始まりである理論や研究に関する基礎科目として、各コースごとに基礎科目を配置している(2) 共通科目(方法論・分析技法) 専門的手法を獲得するため、研究の方法論や分析に関連する法的な観点からの基礎的科目、社会調査に関する科目、政策評価・分析の科目、行政運営手法に関する科目、政策評価・分析の科目、修士論文作成のための実践的な科目を配置している(3) 専門科目修士論文を執筆するための専門分野における学習を進めるため、各コースの専門的科目を配置している(4) 研究指導科目 具体的かつ個別の論文指導によって、修士論文を完成させるため、1年次に履修する論文研究指導1と2年次に履修する論文研究指導2を配置する

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

【修士課程】所定の単位の修得により、以下に示す水準に達した学生に対して、修士(公共政策学)を授与する。(1) 高度な専門知識と領域を横断する柔軟性をもち、自らの専門分野を俯瞰的に捉え公共政策に関する諸課題を研究することができる(2)複雑多様化する諸問題の解決方法等を構想する論理的思考ができる(3)自ら課題を発見・設定し、その解決策を模索するなどの創造的思考ができる(4)戦略的な視野を持ちつつ高度な専門知識に裏打ちされた合理的意思決定ができる

※博士後期課程については、大学院 HP をご参照ください。

研究室紹介

国際社会と企業の国際ビジネス



多田 和美 准教授

国際社会の変化と課題に対応する 企業の国際ビジネスを探求

今日、国際社会のグローバル化はたしかに進展する一方で、各国や各地域(ローカル)ならではの特色も色濃く残っています。企業は、こうしたグローバルとローカルの両方の動きに対応しつつ、国際競争の中で生存していく必要があります。さらに、企業が社会へ及ぼす影響を考慮すると、こうした国際ビジネスには国際社会における諸課題に積極的にかかわり、かつ解決するような役割も期待されています。今後は、社会と企業がともに発展していくための国際ビジネスがいっそう望まれるでしょう。

研究室では、このような現代の国際社会における企業の国際ビジネスとその戦略を研究しています。理論研究と実証研究の両方を重視するスタイルで、日々研究に取り組んでいます。

学生・修了生の声

「災害とジェンダー」を一心に探究。 公共政策を考える上で不可欠な授業が豊富です



浅野 幸子

博士後期課程 在学中/減災 と男女共同参画 研修推進センター(共同代表)/

早稲田大学 地域社会と危 機管理研究所(招聘研究員)

専攻の志望理由

研究テーマ

災害とジェンダー(ジェンダー視点の災害対策の推進のため)

阪神・淡路大震災、東日本大震災をはじめとした被災地支援活動や、防災啓発の仕事に 従事。とりわけ全国でも専門家が少ない「災害とジェンダー」の領域から啓発活動を行い、 国や自治体の防災政策にも関わってきました。ところが、さらに状況を改善していく必要を 感じても、国内での研究蓄積が浅く、海外研究をそのまま応用することも難しいため大学 院の学びを決意しました。仕事の質を高めるため腰を据えて研究しています。

学んで良かった点

専門社会調査士の資格取得を前提に、あらためて社会調査の方法論を体系的に学んだことにより、自分の調査方法を見直すことができました。公共政策を考える上で重要な専門領域の授業が豊富にあり、院生も政策実務や市民活動の経験者が多いことが良い刺激です。

	専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
	杉崎 和久	教授	都市計画、まちづくり、市民参加	地域まちづくり、まちづくり支援システム、社会的合意形成 に向けたプロセスデザイン、まちづくりの現代史	市民参加の理論と実践、都市政策概論、都市政策事例研究、論文研究指導1A・B/2A・B
公共マネジメント	土山 希美枝	教授	公共政策学、自治体論、政治学	社会構造の変動と政治・政策 (<政策・制度>ネットワーク)の変容、自治体政策	行政学基礎、政策過程研究、地方自治論、論文研究指導1A·B/2A·B
	名和田 是彦	教授	公共哲学、コミュニティ論、法 社会学	コミュニティ政策論、日本とドイツの都市内分権制度、「市 民社会」の概念史、コミュニティ・ビジネスとコミュニティ・ カフェなど	公共哲学基礎、コミュニティ制度論、論文研究 指導1A・B/2A・B
コース	廣瀬 克哉	教授	行政学、公共政策学	自治体における政治・行政関係	論文研究指導1A・B/2A・B
	渕元 初姫	教授	比較政治学、コミュニティ政 策、福祉政策	ポスト福祉国家時代の市民社会論、地域社会における社 会的包摂、英国・スコットランドの地方自治・自治体内分離	政策学基礎、公共政策論文技法2、政策学研究、市民社会とコミュニティ、公共哲学研究、論文研究指導1A・B/2A・B
	池田 寛二	教授	環境社会学、国際環境政策 学、環境・エネルギー政策の国 際比較	気候変動政策、エネルギー政策、森林・林業政策の国際 比較	公共政策の社会理論、論文研究指導1A・B/2A・B
	加藤 寛之	教授	産業論、地域産業論	造船産業の産業集積、ハードディスク産業の産業集積、 アパレル産業の分業と産業集積	企業論、論文研究指導1A·B/2A·B
	白鳥 浩	教授	政治学、国際政治学	1.日本の現代政治、2.グローバリズムと国民国家の変容、 3.地方政治研究、4.政党に関する理論、5.現代政治のデ モクラシー	現代政治分析研究、公共政策とジャーナリズム、公共政策論文技法1、論文研究指導1A・B/2A・B
政策研究	関口 浩	教授	財政学、地方財政論、租税論、 教育·福祉政策	財政学研究指導(地方分権時代における税財政システム および教育・福祉政策の研究)	財政学基礎、費用便益分析、論文研究指導 1A·B/2A·B
	中筋 直哉	教授	地域社会学、都市社会学、社 会調査法	地域社会構造、近代都市空間と集合行動、コミュニティ の心情と論理	社会調査法2·6、論文研究指導1A·B/2A·B
	糸久 正人	准教授	イノベーションマネジメント	Webデータ解析と集合知、確率的シミュレーションモデル	イノベーション政策論、論文研究指導1A・B/2A・B
	多田 和美	准教授	国際経営論	日本企業の海外進出、国際的な製品開発戦略	グローバル企業戦略論、論文研究指導1A・ B/2A・B
	谷本 有美子	准教授	地方自治、行政学、市民自治	人口減少時代の自治体政策、国の自治体統制、市民自治	市民参加の理論と実践、自治体経営論、論文 研究指導1A・B/2A・B

設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

【2専攻共通科目】

- ●理論·研究基礎 ■ 政治理論(2)
- 行政学基礎(2)
- 比較行政研究(2)
- 公共哲学基礎(2)
- 政治制度研究(2)
- 政策学基礎(2)
- 現代政治分析研究(2)
- 公共政策とジャーナリズム(2)
- 公共政策の社会理論(2)
- 財政学基礎(2)
- 経済学基礎(2)
- 環境哲学・倫理学(2)
- 環境法基礎(2) ■ 地球環境学基礎(2)
- 国際政治学基礎(2)
- 国際協力論 (2)
- サステイナビリティ研究入門A/B 公務員制度研究 (2)
- SDGs への招待 (2)

- ●方法論・分析技法
- 政策法務論(2)
- 立法学研究(2)
- 社会調査法1~8(各2)
- 政策分析評価技法(2)
- 数理モデル概論(2)
- 地域コンサルティング論(2)
- ファシリテーション演習 (2)
- CSR論(2)
- 政策研究概論(外国語)(2)

【専門科目】

- 政策学研究(2)
- 自治制度研究(2)

- 都市政策概論(2)
- 都市政策事例研究(2)

- 政策評価論(2)

- 市民参加の理論と実践(2)

- 公共政策論文技法1/2(各2)

- 自治体研究(2)
- 自治体議会論(2)

- 政策過程研究(2)

- 自治体福祉政策論(2)
- 行政法事例研究(2)
- コミュニティ制度論(2)
- 日本政治史研究(2)
- 地方自治論(2) 自治体経営論(2)
- 比較公務員制度研究(2)
- 比較自治行政研究(2)
- 防災危機管理研究(2)
- 雇用労働政策研究(2)
- 政策過程事例研究(2)
- 政策開発実践論(2)
- 日本の政策決定過程(2)
- 自治体政策実践論1~3(各2)
- ガバナンス研究(2) ■ リージョナリズムと非政府組織(2)
- 企業論(2)
- グローバル企業戦略論(2)
- 市民社会ガバナンス論 (2)
- NPO 論(2)
- 非営利セクター研究 (2) ■ 市民社会論(2)

- 市民社会とコミュニティ(2) ■ 都市ガバナンス論(2)
- まちづくり研究(2)
- 文化政策研究(2)
- シンクタンク論(2) ■ 環境・開発制度研究(2)
- 環境自治体政策研究(2)
- 公共空間形成論(2)
- ジェンダー政策研究(2)
- 公共哲学研究(2)
- イノベーション政策論(2)
- 外交政策論(2) ■ 国際環境政策の社会学(2)
- 地球環境生態学(2) ■ 租税政策(2)
- 比較公共政策論(2)
- 費用便益分析(2)
- 経済政策(2)
- 【研究指導科目】 ■ 論文研究指導1 A·B/2 A·B(各2)

博士後期課程

- 公共政策学特殊研究
- 1 A/B~3 A/B(各2) ■ 公共政策ワークショップ (公共) 1 A/B~3 A/B (各1)
- 公共政策ワークショップ(政策研究) 1 A/B~3 A/B(各1)

- 修了生の研究テーマの例 ■ 現代中国におけるカザフ族地域の社会変容と生計戦略
- 新疆ウイグル自治区北部コクトカイ県を事例として-■ 東シナ海の海洋資源と日本の外交政策の変容
- 尖閣問題を中心に -■ 地域資源を活かした自治体電力事業の現状と可能性 - 北海道寿都町と福岡県みやま市の事例を中心とする 実証研究-
- 事故調査制度に関する研究
 - -刑事手続きとの関係からの考察-

- ■健康危機管理をめぐる行政組織の現状と課題 - 新型インフルエンザ発生時の対応方針決定過程に関 する事例分析ー
- ■自治体総合計画の意義と課題 - 基礎自治体(市区)における総合計画の位置づけの分
- 析を中心に一 ■ 戦後自治体選挙行政体制の成立と展開
- 建築確認の民間開放に伴う実務上の課題と対応策の提言 - 「一敷地一建築物の原則」の判断を例に-
- 地域社会における名望家的寄付行動の研究 - 茨城県古河地域を事例として-
- 国による電子申請推進政策と市区町村の対応 ~繰り返される政策が成果に繋がらない構造的要因~
- 空港騒音政策の複層性に関する実証的研究 - 周辺住民の受苦意識と法令における受忍限度論のね じれた関係性に着目して一

公共政策研究科

詳細はこちら



募集人員

修士課程15名/ 博士後期課程5名

キャンパス

市ケ谷

長期履修制度有 (修士・博士後期課程)

夜間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



サステイナブル社会の構築に貢献できる 高度専門職業人を養成

サステイナビリティ学は、世界が抱える複雑で長期的な 問題に対して俯瞰的・統合的にアプローチし、持続的 な人間活動のあり方を探求する新しい学術体系です。 本専攻では環境 (Ecology)・社会 (Society)・経済 (Economy) が三位一体となり、人間活動と資源・環境 が調和したSustainable Management体系の確立を 日指しています。現代社会が直面する課題へのソリュー ションを提供することを使命としています。諸問題の解 決プロセス等を構想する論理的思考力、新たな価値を 生み出す創造力、分野横断的に思考し社会にフィード バックできる実務能力を養います。本重政では次の5つ の中核分野に係る学問領域についての教育研究を行っ ています。

●サステイナブルマネジメント

(環境経営・環境会計など) ESG課題に対する最適ソリューションの探求

●グローバルパートナーシップ

(国際協力・社会開発など)サステイナブルな国際社会の実現に寄与

●ローカルサステイナビリティ

(地方自治・市民社会など)持続可能な地域社会の構築に寄与

●法と制度

(環境行政法・国際法など)人々の安心した営みを実現する社会システ ムの探求

●環境サイエンス

(エネルギー・公衆衛牛・防災など) 科学の視点から環境保全へ貢献

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

本専攻では、サステイナビリティにかか わる複雑な諸課題に対して適切な解決 手段を構想し実行できる政策能力を持 つ高度専門職業人を輩出することを目 的としている。そのような意欲と潜在能 力を持った方に広く門戸を開いている。 サステイナブル社会創造のための計 画、設計、運営、計測、管理、保全など にかかわる専門的知識の修得を目指す 者、人と自然、人と人との共生社会の 創生に関わる根源的な課題を多様な 観点から考察しようとする者などを対 象にしている。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

5つの中核分野に係る教育研究を行うために、 社会科学を基盤に自然科学および人文科学 を融合させた学際的なカリキュラムを展開して いる。次の4つの科目群を設定し、基礎の修得 から研究へ発展させるまでのプロセスを段階 的に学修することができる。(1) 共通科目(理 論・研究基礎) /基礎の修得と学際的研究の 意義等の理解、(2) 共通科目(方法論・分析 技法) /研究の方法論や分析に関する基礎の 修得。(3) 専門科日/5つの中核分野に関する 専門知識の修得、(4) 研究指導科目/研究を 遂行するための個別指導、である。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

修士課程では、例えば高度な専門知識と 学問領域を横断する柔軟性をもち、諸問 題の解決方法等を構想する論理的思考 ができると認められる者に対して修士の学 位を授与する。博士後期課程では、例えば 次の能力を有すると認められる者に対して 博士の学位を授与する。現代社会を取り 巻く諸問題を高度な手法によって分析・検 証することができ課題解決へ向けてより具 体的で適切な政策を立案できること。行政 部門、企業部門、国際機関、市民組織など の各現場において研究内容を実務に フィードバックできること。

研究室紹介

脱炭素をリードする「サステイナブル経営」の実践

長谷川 直哉 教授

企業価値にかかわるESG(非財務)評価モデルの構築

SDGsとパリ協定の登場によって、ビジネスの脱炭素化の流れが加速しており、日 本企業の競争優位を支えてきた資源エネルギー多消費型経営モデルは曲がり角 にきています。さらに、責任投資原則や責任銀行原則の発効によって企業評価の 基準が変わりつつあり、これまで重視されてきたROE (自己資本利益率) などの利 益の量的指標に加えて、E (環境)、S (社会)、G (ガバナンス) に代表される利益 の質的指標が企業価値の決定要因として注目されるようになりました。サステイナ ビリティ社会における「企業価値とは何か」や「優れた企業家資質とは何か」につ いて、実務家との協働による実証的アプローチによる研究を目指したいと考えてい

学生・修了生の声

サステイナビリティ学は懐の深い学問。 ODAと環境問題を総合的に研究できます



槇田 容子

博士後期課程 在学中/ 独立行政法人国際協力機構 (JICA)

専攻の志望理由

研究テーマ

日本の開発援助における適応主流化に関する研究

政府開発援助(ODA)に関する専門職に就くには、修士程度の知識があるほうが望まし いと考え、JICAへの転職と同時に大学院を探しました。研究と仕事が相乗効果をもたら す学びの環境を求めて出会ったのがこの専攻です。「サステイナビリティ学」の広範な学 びのなかで「ODA」と「環境」のどちらか1つではなく、総合的に研究できるのが大きな 魅力でした。

メッセージ

法政大学大学院は良い意味で自由な雰囲気。好きな研究に思いのまま専念できる 環境です。また長期履修制度が充実しているので、社会人でも仕事と両立しながら 自分のペースで研究を進めることができます。社会人の先輩は志の高い方ばかり で、私も刺激されて先行研究の調査はもちろん、仕事上のちょっとした疑問もすぐ に調べる習慣が身につきました。先生と院生の距離感も心地よく、的確な指導をい ただきつつ、社会人同士として対等な議論ができます。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
岡松 暁子	教授	国際法、海洋法、国際原子力法、国際環境法	国際法の履行確保、原子力の平和利用、海洋環境の保護	環境法基礎、国際環境法、論文研究指導1A/B
金藤 正直	教授	経営学、会計学、地域研究	企業や地域の持続的成長を支援するマネジメント手法	環境経営論、論文研究指導1A/B
北川 徹哉	教授	環境流体、気象社会論、流体関連振動	強風の社会への影響と対策、金融工学的手法によるリスク回避、数値流体解析	大気人間環境論、論文研究指導1A/B
小島 聡	教授	行政学、地方自治論、自治体政策論	自治体の環境政策統合と市民参加、都市の持続可能性、 域学連携とソーシャル・イノベーション	市民参加の理論と実践、論文研究指導1A/B
杉戸 信彦	教授	自然地理学、自然災害	変動地形、活断層、地震、土地条件	サステイナビリティ研究入門A/B、サステイナビリティ学事例研究II、論文研究指導1A/B
高田 雅之	教授	生物多様性、自然環境政策、自然再生、湿地生態系、景観生態学	湿地生態系、生態系サービス、生物多様性オフセット、ア ジアの生物多様性保全、生物地理	自然環境共生研究、論文研究指導1A/B
高橋 五月	教授	環境人類学、海洋人類学、災害人類 学、科学技術論、沿岸漁業、海洋保全	漁業政策と近代化、東日本大震災後の海洋文化、海洋 科学と未来論	論文研究指導1A/B
武貞 稔彦	教授	国際開発、途上国援助、環境と開発、 国際協力、開発倫理	開発協力を通じた社会変容、開発協力の自然環境・社会 環境へのインパクト	国際協力論、SDGsへの招待、国際協力フィール ドスタディ、論文研究指導1A/B
辻 英史	教授	ドイツ近現代史	ドイツ近現代の都市史、社会政策史、市民社会の歴史	論文研究指導1A/B
永野 秀雄	教授	日米比較法(環境法、防衛法、サイバーセキュリティ法)	環境監査と法、インテリジェンス法制、重要インフラのサイバーセキュリティ	環境法基礎、環境私法、論文研究指導1A/B
長谷川 直哉	教授	サステイナビリティ経営、CSR、企業 倫理、企業家史	企業価値の形成と非財務要素、ESG投資/SRI(社会的 責任投資)、企業倫理の形成と思想的要因	サステイナブル経営論、論文研究指導1A/B
藤倉良	教授	国際環境協力、環境システム科学、 開発援助、環境リスク、環境政策	ダム開発、住民移転、環境政策過程、開発途上国、政 府開発援助	地球環境学基礎、サステイナビリティ研究入門 A/B、国際環境協力論、環境工学の基礎、論 文研究指導1A/B
松本 倫明	教授	理論天文学、数值流体力学、宇宙 天気	星と惑星の誕生、太陽活動と地球環境の関係	数理モデル概論、論文研究指導1A/B
宮川 路子	教授	予防医学、公衆衛生学、産業保健、 分子整合栄養医学	就労者の健康問題、メンタルヘルスケア、栄養療法	公衆衛生研究、論文研究指導1A/B
湯澤 規子	教授	地域経済学、日本近現代史、人文地 理学	地域づくりの理論と実践、食と農の地域経済学、女性と 家族の近現代史	環境ガバナンスIII、論文研究指導1A/B
横内 恵	准教授	環境法、公法 (憲法・行政法)	環境リスクの法的制御、廃棄物処理法制	環境法基礎、環境ガバナンスII、論文研究指導 1A/B
吉永 明弘	教授	環境倫理学	都市環境の保全に関する倫理学的研究	環境哲学・倫理学、論文研究指導1A/B
渡邊 誠	教授	計算科学、物性論、非線形力学	カオス・フラクタルの数理と応用、環境問題の熱力学的 考察、集団運動と自己組織化現象	論文研究指導1A/B

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- [2專攻共涌科目] ●理論·研究基礎
- 行政学基礎(2)
- 比較行政研究(2)
- 公共哲学基礎(2) ■ 政策学基礎 (2)
- 現代政治分析研究 (2) ファシリテーション 演習 (2)
- 公共政策と ジャーナリズム (2)
- 公共政策の 社会理論(2)
- 財政学基礎 (2)
- 経済学基礎(2)環境哲学・倫理学(2)
- 環境法基礎 (2) 地球環境学基礎(2)
- 国際政治学基礎(2)
- 国際協力論 (2)
- サステイナビリティ 研究入門A/B (各2)
- SDGs への招待 (2)
- ●方法論・分析技法
- 政策法務論(2)
- 立法学研究(2)
- 政策評価論(2)
- 社会調査法1~8(各2)

- 市民参加の 理論と実践(2)
- 数理モデル概論(2)

- 政策研究概論
- 論文技法1/2(各2)
- [専門科目]
- ●法律・行政系科目

- 条例(2)
- 国際機構論(2)
- 外交政策論(2)
- 環境ガバナンス || (2)
- ●地域・社会系科目 ■ 環境社会論(2)

- 政策分析評価技法(2)■ 地域環境史研究(2)
 - 地域環境
- 地域 コンサルティング論(2)

- (外国語)(2)
- 公共政策

- 環境行政法(2)
- 環境私法(2)
- 環境政策法務と
- 国際環境法(2)

- 地域環境文化研究(2)

■ 国際協力

フィールドスタディ(2)

■ ヒューマン・エコロジー(2)

■ 国際環境政策の社会学(2)

■ 国際NGO·NPO論 (2)

社会起業家論(2)

●環境科学系科目

■ 環境工学の基礎(2)

■ 公衆衛生研究 (2)

■ 環境資源・ エネルギー政策論(2)

自然環境共生研究(2)

事例研究Ⅱ~Ⅲ(各2)

大気人間環境論(2)

- フィールドスタディ(2)
- サステイナブル 地域政策研究(2)
- 地域環境計画研究(2)
- サステイナビリティ学 事例研究 I (2)
- 環境ガバナンス1(2)
- ●経済・経営系科目 ■ 環境経営論(2)
- 現場性白間(と)サステイナビリティ・ レポーティング(2)
- 環境経済論(2)
- 環境と知的財産権(2)サステイナビリティ学
- サステイナビリティ・ コミュニケーション論 (2)■ 環境ガバナンスIII (2)
- 環境ガバナンスⅢ(2) [研究指導科目]
 グローバル環境経営論(2) 論決研究指導 1A・B/2 A・B (各2)
- ●国際協力系科目
- 開発経済論(2)
- 国際環境協力論(2) ■ 社会開発論(2)

博士後期課程

- 環境法基礎D(2)
- 地球環境学基礎D(2)
- 国際協力論D(2) 市民参加の理論と実践D(2)
- 数理モデル概論D(2)
- 環境社会論D(2)
- 環境経営論D(2)
- 環境行政法D(2)
- 環境私法D(2)
- 自然環境共生研究D(2)
- 地域環境フィールドスタディD(2)
- 大気人間環境論D(2)
- 環境工学の基礎D(2) ■ 自然災害と防災D(2)
- 自然災害と防災(2) ■ 環境経済論D(2)

- サステイナブル地域政策研究D(2)
- 公衆衛生研究D
- サステイナブル経営論D(2)
- 地域環境計画研究D(2)
- 国際環境法D(2)
- 国際環境協力論D(2)
- 国際協力フィールドスタディ D(2)
- ヒューマン・エコロジー D (2) ■ サステイナビリティ学事例研究D |~||
- 環境ガバナンスD | ~ || (各2)
- サステイナビリティ特殊研究 1 A・B (各2)
- サステイナビリティ特殊研究 2 A・B (各2) ■ サステイナビリティ特殊研究3A・B(各2)

Global Sustainability Program

博士後期課程において、海外からの留学生のほか、国内からも国際公 務員、国際NGO、企業、市民組織などからグローバルな諸問題の解決 を目指す方を受け入れ、論文指導から博士論文の作成に至る全てのカ リキュラムを英語で実施し、地球規模の課題の解決に貢献できる高度 専門職業人を育成する英語プログラムを提供しています。

教訓-

- ■「自治体城郭行政」の構造と運用に関する考察
- 「100名城」所在地の基礎自治体を事例として-■ 日本の開発援助における適応主流化に関する研究
- アラブ首長国連邦における「外国人労働者」の受け入れ
- 国際理解教育におけるワークショップの効果測定と教 材開発の研究
- サステイナビリティ推進部門における人的資本活用の実態
- 日本の京都議定書実施状況の評価 ーエネルギー起源二酸化炭素排出量の推移から得られる

キャリア デザイン学研究科

詳細はこちら



募集人員

修士課程20名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

企業人事担当者、人材ビ ジネス会社経営者、経営 コンサルタント、大学職員、 大学教員、キャリアコンサ ルタント (カウンセラー)、 高校教員、官庁職員、独 立行政法人職員 など

長期履修制度有

夜間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



キャリアデザイン学を体系的に学べる 日本初の大学院

企業や公共団体、NPO、大学、高校などの人事・教育・キャリア支援担当者、キャリアコンサルタントとしてより高 度な専門職を目指す方などを対象とした研究科です。経営学、教育学と、隣接する学問分野を背景に個人のキャ リアを学際的に解明します。授業は2時限連続で夜間と土曜日に開講します。

キャリア支援や生涯学習の視点を重視する「キャリア教育・発達プログラム」と、組織の中でのキャリア形成・支 援の視点を重視する「ビジネスキャリアプログラム」の2プログラムを設定。研究の基礎となる調査法を基礎科目で 修得し、心理学関連科目を中心とした共通科目を学んだ上で、プログラム科目と演習科目でそれぞれの領域の専 門性の涵養と研究の深化を目指します。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

の機関で人事・教育・キャリア支援など を担当する方や、キャリアコンサルタント として、より高度な専門職を目指している 方などを積極的に受け入れる。選抜は秋 季・春季1回ずつ合計2回、筆記試験な らびに口述試験による選抜試験を行って いる。口述試験では、「研究計画書」及び 「キャリアヒストリー報告書」に基づいて 丁寧な面接を行う。筆記試験ならびに口 述試験の結果に基づき、上記ポリシーに 即した人材の選抜を行っている。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

企業や公共団体、NPO、大学・高校など 基礎科目・共通科目をベースにキャリア プログラムの2分野のプログラムを設置 している。それぞれのプログラム科目に は、キャリア発達科目群、キャリア・プロ フェッショナル科目群、キャリア政策科目 群という、ミクロ・メゾ・マクロの3分野 からなる科目群を配置している。 それらの科目の履修の上で演習科目に

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

「経営学、教育学と隣接する学問分野をバッ 教育・発達プログラム、ビジネスキャリア クグラウンドにした個人のキャリアの学際的 な解明」、「企業、公共団体、NPO、大学・ 高校などでキャリア支援を担う高度職業人 の養成」という教育理念を踏まえ、所定の 単位を修得し、修士論文の審査に合格し、 以下に示す水準に達した学生に対し、「修士 (キャリアデザイン学)」を授与する。

> DP1. 学際的な専門知識を身につけている DP2. 自らの職業経験を生かした研究課題 を設定できる

> DP3 社会調査の手法を駆使した実証的 な研究を遂行できる

研究室紹介

キャリアとメンタルヘルスの統合的アプローチをめざす



廣川 進 教授

現場実践に活かせる 研究の問いを立てることから

おいて修士論文指導を行う。

私の専門はキャリアカウンセリングと臨床心理学。研究テーマは復職支援など産 業領域における心理的支援、メンタルヘルスとキャリアの統合、惨事ストレスなど です。担当授業の「キャリアカウンセリング論」では、スーパー、クランボルツ、サビ カスらの理論についてのテキストを院生が分担して発表し討議します。院生が社会 人である特色を活かして、それぞれの現場で起きている問題、事例検討を行い、 理論モデルと具体事例の間を往還しつつ、現場で役立つ実践的な知見を得られ るようにしています。修論についても、研究のための研究ではなく、自分の現場の 問題から問いを立て、問題解決への糸口が見つかるような研究計画をめざしてい ます。

学生・修了生の声

学問を仕事の場に応用・実践して 組織で働く個人のキャリアを支援



給木 久美子 修士課程 2019年度修了

専攻の魅力

長期雇用者と組織との心理的契約の変化に関する研究 一 同一企業の長期雇用者・離職者の事例から -

会社員が最後まで自律したキャリアを築くにはどうすればいいか。会社と個人の関係 性を理論立てて学びたいと本専攻を志望しました。会社と個人の関係性を「心理的 契約」や「組織コミットメント」といった概念に基づいて考え、調査・分析したことを通 じて、学問を仕事に応用、実践することの大切さを学びました。

今後の目標

社内の人材育成や後輩社員のキャリア形成を支援する場面で、専攻で学んだ理論 を引用するほか論理的に話を進められるようになりました。今後は会社員としての自 身のキャリアと大学院での学びを活かして、女性が考える理想のキャリアと組織の あり方を社会に提示するなど、組織で働く女性のキャリア支援をめざしています。

	専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
キャリア教育・	上西 充子	教授	労働問題、キャリア教育	学校から職業への移行過程と初期のキャリア形成、なら びに、それに関わる支援の在り方	キャリアデザイン学演習1/11、キャリア教育論
	児美川 孝一郎	教授	教育学	青年期教育、キャリア教育	キャリアデザイン学演習 / 、キャリアガイダンス論
	久井 英輔	教授	社会教育学	近現代社会教育史、社会教育と社会階層/共同性、生涯学習振興・社会教育行政(施設・職員)	キャリアデザイン学演習 / 、生涯学習論
発達プログラム	高野 良一	教授	教育行政学、学校改革論	学校イノベーションの日米比較	キャリアデザイン学演習 / 、教育経営論
グラム	筒井 美紀	教授	教育社会学、労働社会学	地域就労支援政策、高校生や大学生の進路・就職、労 働教育	キャリアデザイン学演習 / 、教育社会学
	田澤 実	教授	教育心理学、生涯発達心理学	キャリア教育の効果測定、包括的な若者支援	キャリアデザイン学演習 / 、教育心理学
	梅崎 修	教授	労働経済学、教育経済学、人 事組織経済学	人材マネジメントの分析、キャリア教育の効果測定、初期 キャリア形成の分析	キャリアデザイン学演習 / 、人事組織経済学
ビジュ	木村 琢磨	教授	組織行動論、経営組織論	企業における組織内政治とパワー、非公式リーダーシップ、組織の活性化	キャリアデザイン学演習 I/II、経営組織マネジメント論
ビジネスキャリ	坂爪 洋美	教授	産業・組織心理学	ダイバーシティが進む中での管理職の役割・女性のキャリア	キャリアデザイン学演習 / 、産業・組織心理学
アプロ	佐藤 厚	教授	産業社会学、人的資源管理 論、雇用政策論	ホワイトカラーの仕事とキャリア、労働時間管理とワークライフバランス、人材育成論	※ 今年度は、特定の科目を担当しません
グラム	武石 惠美子	教授	人的資源管理論、女性労働論	働き方の多様化と人材マネジメント、女性のキャリア形成	キャリアデザイン学演習 / 、キャリア開発論
	松浦 民恵	教授	人的資源管理論、労働政策	働き方改革、非正規社員のキャリア形成、女性や高齢者 の活躍推進、幹部候補の人材育成	キャリアデザイン学演習 / 、職業キャリア政策論
	齋藤 嘉孝	教授	社会学、社会調査、家族論	家族やそれを取り巻く社会環境と、関連する諸政策・制度	キャリアデザイン学演習 / 、量的調査法
	佐藤 恵	教授	社会学、社会調査	支援の社会学、社会問題の社会学、犯罪社会学	キャリアデザイン学演習 / 、質的調査法
プログラム共涌	田中 研之輔	教授	ライフキャリア論、社会調査、 エスノグラフィー	広く「社会集団」に関する理論的+ 経験的な社会学的 考察	キャリアデザイン学演習 / 、コミュニティと キャリア
ノム共通	廣川 進	教授	臨床心理学、キャリアカウンセ リング、産業心理学	メンタルとキャリアの統合	キャリアデザイン学演習 I / II、キャリアカウンセリング論
	安田 節之	教授	プログラム評価論、コミュニ ティ心理学	心理教育プログラムや社会サービスの評価研究、高齢 者のライフキャリア研究	キャリアデザイン学演習 / 、コミュニティと キャリア
	熊谷 智博	教授	社会心理学、グループダイナ ミックス	集団間紛争及びその解決・和解に関する心理過程研究	キャリアデザイン学演習 I/II、キャリア調査研究法基礎

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- キャリア調査研究法基礎 (2)
- 量的調査法 (2)
- 質的調査法 (2)
- 生涯発達心理学 (4)
- 教育心理学 (4)
- 産業・組織心理学(4)
- キャリアカウンセリング論 (4)
- コミュニティとキャリア (4)■ キャリアガイダンス論 (4)
- 教育経営論(4)
- キャリア教育論 (4)
- 教育社会学 (4)
- 生涯学習論 (4)
- キャリア開発論 (4)■ 人的資源管理論 (4)
- 経営組織マネジメント論 (4)
- 人事組織経済学(4)
- 職業キャリア政策論 (4)
- キャリアデザイン学演習 | / || (各2)

- 後継者のキャリア形成が承継後の企業パフォーマンス に与える影響
- 新入社員研修のエスノグラフィー
- 学生・教員・職員の協働によるキャリア教育のプログラム評価研究
- -B大学における全学教育コミュニティの事例に基づいて-
- ミドルマネジャーのリーダーシップが所属組織への満足 度に与える影響
- 大企業中堅社員のキャリア形成に関する一考察
- 公務員の効果的な人脈形成について

- 保育士を目指すノンストレーターとは何者か? ー子ども・自己・学校の「発見」ー
- 高校におけるキャリア教育の考察 -外部資源との連携に着目して-
- 食品メーカーA 社における再雇用管理職の現状と心理 的要因の分析
- 若者の学び直し・リチャレンジにおける専門家の支援 ~専門学校生の自己マネジメント能力育成の視点から~
- キャリアコンサルタントの継続的就労におけるネット ワークの役割についての実証的研究
- 長期雇用者と組織との心理的契約の変化に関する研究 ー同一企業の長期雇用者・離職者の事例からー
- 高齢雇用者の内的権威が内発的動機づけに及ぼす影響 ージョブクラフティングの媒介効果に着目して
- プロジェクト型業務従事者の組織内キャリア形成に関する研究
- ー I T系プロジェクトマネージャの役割コンフリクトに着目して一
- 成人中期の女性における労働者役割と母親役割に対する認識の変容

連帯社会 インスティテュート

詳細はこちら



墓集人員

修士課程10名程度

キャンパス

市ケ谷

入学後は政治学研究科 政治学専攻または公共 政策研究科公共政策学 専攻公共マネジメント コースのいずれかに在籍 することになります。

(*

夜間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



日本の活性化を担う政策デザイン能力を養成

今、世界では、グローバリゼーションやICT化などを背景として、 市場の失敗による貧困の増大、格差拡大が経済社会の持続可 能性を脅かしています。行き過ぎた市場主義的・競争経済的モ デルによって不確実・不安定が日常化された現代は、公益のた めに連帯する人々の智慧と力と行動がもっとも必要とされている 時代ともいえるのではないでしょうか。どのような資本主義である べきかが問われている一方で、「公」を担いうる連帯経済、社会的 経済、サードセクター(市民セクター)などの構想があり、また社 践を目指すNPO/NGOや社会的企業、さまざまな形の協同組合 会的排除の問題に取り組む社会的企業に大きな関心が寄せら れています。その根源は19世紀の産業革命の時代に見ることが できます。政治や経済によってもたらされた悲惨な生活を改善す るために、貧窮者などを救済してきた伝統的な教会や慈善組織 から非営利組織が生まれました。また労働者は労働組合や協同 組合などの連帯の組織を作りました。今に至っては、それぞれの 組織原理や手段には自助と共助、共益と公益、政治的行動と経

済的行動などの違いがありますが、連帯に基づく社会を目指して いる点は共涌しています。

グローバル化や競争激化の中で分断された個人や組織をつなぐ キーワードとして「連帯社会」の実現を掲げ、組織の壁を乗り越 えて大きな連帯を目指すため「連帯社会インスティテュート」を設 置しました。

本インスティテュートは、現代社会において連帯による公益の実 や労働組合などの活動を担いうる、政策構想力と実践力を兼ね 備えた連帯社会を築く人材の育成を重要な目標としています。

また、本インスティテュートの目指すところは、社会の多くの分野 での活躍を志す方々にも、等しく有益なものであると考えます。現 代社会における連帯と公益に関心を寄せる多くの方々に門戸を 開いたインスティテュートを目指しています。

アドミッション・ ポリシ-(学生受け入れ方針)

本インスティテュートは、 新たな公共の担い手とな る人材の育成を第一義 的な目的とし、そうした意 欲を強く持つ社会人であ り、また、潜在能力を持っ た人々に広く門戸を開く ことを基本方針とする。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

(1) 本インスティテュートが目指す人材の育成には、幅広い知 識が欠かせない。特に、いわゆる社会人入学に配慮し、社会 科学の幅広い知識を得るため、それぞれの概論 (入門講座) を専門基礎科目として配置する。

(2) NPO·社会的企業研究、協同組合研究、労働組合研究 の3つのプログラムを柱として、受講生の研究志向に応じた履 修モデルを提示し、幅広い専門科目から受講科目を選択する 際の一助とする。

(3) 学問的知見を踏まえつつ、プロフェッショナルとして実際の 公益に資する政策の形成・実施を担う人材を育成し、具体的 な運動論や手法に関する科目を配置するとともに、実際に社 会の最先端で活動する専門家と知的に交流する機会を作る。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

修士課程に2年以上在学し、36単位を修得 し、かつ修士論文の審査に合格した者に学 位を授与する。誰もが多様な働き方を通じて 社会参加し、自己実現可能な民主的社会と するために、NPO/NGOや社会的企業、協同 組合, 福祉事業団体, 労働組合などに求め られる社会的役割を認識し、解決すべき課 題の発見、必要な情報を収集・分析し、政策 を立案・発信する能力、それらを実現・解決 するための人的・組織的ネットワークを形成 する技能、そしてその基盤となる高い志を育 成することを目指す。

研究室紹介

NPO成立20年、民間公益活動の更なる発展に向けて

柏木宏教授

研究能力と組織運営、 他団体との連携を担う人材の必要性

特定非営利活動促進法 (NPO法) の成立から20年が経過し、NPO法人は、5万団体 を超え、日本社会で認知されるようになった。しかし、その多くが人的にも財政的にも 困難な状況にあり、民間公益活動の中心としての役割を担うという当初の期待に十分 応えられているとはいいがたい。この状況を突破するには、個々のNPO法人の経営力 に加え、政策の提案と実現に向けた能力の向上が求められる。さらに、協同組合や労 働組合などとの連携も必要になってくる。こうした観点に立ち、学生ひとりひとりの社会 人経験を活かし、アカデミックな調査研究能力に加え、組織運営や他団体との連携に 力を発揮できる、明日のNPO界を担う人材の育成を目指していきたい。

■ 学生・修了生の声

山口 宏一 修士課程 2019年度修了

社会的弱者の現状とその取り組みが 個人研究に大いに参考に

講義の魅力

サードセクターによる触法障害者の社会復帰支援

労働組合、協同組合、NPOの各プログラムでは、それぞれの立場や考え方を専門的かつ 横断的に学ぶことにより、問題を解決するための知識と論理的思考を養うことができまし た。また、オムニバス授業ではゲストスピーカーの生の声を通して、高齢者や経済困窮者、 障害者などに関する社会問題の現状を知りました。解決のための具体的な取り組みも、私 の関心のある課題や研究に得るところが大きかったです。理論はもとより、実践を学べる環 境が魅力です。

社会人として学ぶことの意義

企業で働くかたわら社会福祉士の職能団体に在籍しており、貧困からの社会的排除など 現場の問題にも取り組んでいます。企業人としても福祉に携わる者としても、自分の行動 や発言に根拠や説得力がなければ周りは動きません。そうした面で、大学院で吸収した 知識や論理的思考が役立っています。また限られた時間の中でコースワークを履修するこ とにより、効率的にタスクを達成する実務力や、タイムマネジメント能力が向上しました。

	専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
労働組合プログラム	中村 圭介	教授	労使関係論	労働組合の組織と活動、事業再編と労使関係	労働組合論 / 、労働組合特論演習 / 、連帯社会とサードセクター、地域社会運動論、産別機能研究、論文指導 /
協同組合プログラム	伊丹 謙太郎	教授	協同組合論、公共哲学	協同組合思想、協同組合運動史、デジタル経済と協同主義、非営利組織連携論、賀川豊彦研究	協同組合概論 / 、協同組合特論演習 / 、連帯社会とサードセクター、協同組合運動の理念と歴史、協同組織運営の論理と制度、論文指導 /
NPO プログラム	柏木 宏	教授	NPO論、NPOマネジメント	日米のNPO、社会運動	NPO論 (現状と課題) I/II、NPO特論演習I/II、 連帯社会とサードセクター、NPOとソーシャル チェンジ、サードセクター協働論、論文指導I/II
	新川 敏光	専担教授	比較政治学		※今年度は、特定の科目を担当しません
	長峰 登記夫	専担教授	労使関係論	環境と労働組合運動 (とくに豪州)、留学生の就職 問題他	国際労使関係論
	浜村 彰	専担教授	労働法		労使関係法概論
	渕元 初姫	専担教授	比較政治学、コミュニティ政 策、福祉政策		政策学基礎

設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

[3プログラム共通科目]

- ●基礎科目(必修)
- 労働組合論 I (2)
- 協同組合概論 L (2)
- NPO 論 (現状と課題) I (2)
- 連帯社会とサードセクター(※)(4) (※はオムニバス授業)
- ●選択必修
- 地域社会運動論(2)
- ユニオン・イノベーション(2)
- 産別機能研究(2)
- 比較社会労働運動史(2)
- ■協同組合運動の理念と歴史(2)
- 協同組合・NPO の会計 (2)
- ■協同組合のステークホルダー参加(2)

- 協同組織運営の論理と制度 (2)
- NPO とソーシャルチェンジ (2)
- NPO と事業創造 (2)
- NPO とヒューマンリソース (2)
- NPO の資金環境 (2)

●選択科目

- 政治学概論 (2)
- 社会調査法4(2)
- 社会調査法5(2)
- 政策学基礎(2)
- 行政学基礎 (2)
- 国際労使関係論 (2)
- 自治体論 (2)
- 雇用労働政策研究(2)
- 雇用労働以泉切九 (2)■ 労使関係法概論 (2)

- 労働契約法・労働基準法概論(2)
- 人事制度論 (4)
- 人的資源管理論(4)
- 経済学基礎A / B (各2)
- ジェンダー経済論A / B (各2)
- 公務員制度研究(2)
- 労働市場論 (4)
- 市民社会論 (2)
- 国際NGO·NPO 論 (2)
- シンクタンク論(2)
- CSR 論(2)
- サードセクター協働論 (2)

[労働組合プログラム]

●専門科目(必修) ■ 労働組合論||(2)

- 労働組合特論演習 |・|| (1年次)(各2)
- 論文指導I・II (2年次) (各2)

[協同組合プログラム]

- ●専門科目(必修)
- ■協同組合概論II(2)
- 協同組合特論演習Ⅰ・Ⅱ(1年次)(各2)
- 論文指導I・II (2年次) (各2)

[NPO プログラム]

- ●専門科目(必修)
- NPO 論 (現状と課題) II (2)
- NPO 特論演習 I・II (1年次) (各2)
- 論文指導I・II (2年次) (各2)

修了要件 36単位以上 基礎科目(必修) 10単位 専門科目(必修) 10単位

※所属するプログラムの 科目を履修 選択必修科目 4単位以上

(協同組合プログラムは 6単位以上) 学籍科目 4単位以上 (所属する専攻が

設置する科目)

選択科目 8単位以上 (協同組合プログラムは

6単位以上)

奨学金制度について -

本インスティテュートの学生を対象に、独自の奨学金を用意しています。

- (1)名 称 連帯社会奨学金
- (2)対 象 者 連帯社会インスティテュートの学生

(一般入試、社会人入試で合格した方)

(3) 給付の内容 給 付 額:1年につき約30万円を給付

奨学金の形式:1年毎に更新し最大2年間給付(原則として返還不要)

- 触法障害者の社会復帰に関する参与観察法による考察 サードセクター組織による入口支援と出口支援の実相と 課題改善への提言
- フードバンクの食料提供システムの現状と課題 ーフードバンクとデリバリー団体との関係に焦点をあててー
- 多文化共生社会の構築をめざして
- 官民双方の視点を中心に-
- 自然災害発生時における協同組織金融機関に求められる役割 一労働金庫を対象に一
- 生協宅配における小売ブランド価値
- ~年代別比較による若年層のブランド価値の特徴把握~
- ■買い物弱者支援における生協と営利企業、行政の協働の効果 ~生協とコンビニエンスストアによる一体型店舗からの考察~
- SDGsに向けた生協の取り組み:実態とその特徴
- 共助と他助ーチェンジリーダーに注目して
- 東京都人事委員会における公民給与比較方法の検証 ーラスパイレス比較の瑕疵ー
- 申 中国資本・台湾資本下の日本企業における人事管理・ 労使関係の変化について 一家電メーカーを中心に
- 高校生等に対する勤労に関する出前講座の現状と課題
- 共済協同組合の職員に対する理念教育のありかた

スポーツ 健康学研究科

スポーツ健康学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程10名/ 博士後期課程4名

キャンパス

多摩

主な進路

医療・健康関連産業、自 治体での地域スポーツ・ 生涯スポーツ指導者、中 学・高等学校の保健体育 科教員、大学・研究所など の教育研究機関、スポー ツジャーナリズム関連など

長期履修制度有(博士後期課程)

(

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



修士課程ではスポーツ健康学の修得を通した 高度専門的職業人、博士後期課程では 高度専門的職業人を支援できる研究者を養成する

「スポーツ健康学」とは、「健康であること」を基本かつ目標としたうえで、「スポーツ」を軸とした人間社会の充実と発展を為すための学問です。「スポーツ健康学」を追究するために、本研究科では「ヘルスプロモーション」「スポーツマネジメント」「スポーツコーチング」の3つの領域を重要な柱としています。「ヘルスプロモーション」では、人々の生涯を通じた積極的な健康づくりについて考究します。「スポーツマネジメント」では、スポーツに影響を与える社会的要因(政治、経済、産業等)を科学的に分析し、スポーツを健全に「マネジメント」するための原理と方法について考究します。そして「スポーツコーチング」では、パフォーマンス向上のためにスポーツを科学的に解明し、また、人間的成長を促すためのスポーツ指導・教育の在り方について考究します。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

修士課程

- 【AP1】人間性と社会性を支える教養を身につけている。 (知識・理解)
- 【AP2】「スポーツ」と「健康」に関する基礎的な知識と技能を有している。(知識・理解)
- 【AP3】自ら課題を発見することができる。(思考・判断・表現)
- 【AP4】自ら設定した課題について、わかりやすく他者 に伝えることができる。(思考・判断・表現)
- 【AP5】スポーツ健康学に関心があり、学ぶ意欲がある。 (関心・意欲・態度)
- 【AP6】スポーツと健康づくりに関わる各種の教育や 事業を計画・立案することができる。(技能)

博士後期課程

- 【AP1】豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身 につけている。(知識・理解)
- 【AP2】「スポーツ」と「健康」およびそれらをとりまく 「社会環境」(グローバル化を含む) について 体系的に理解している。(知識・理解)
- 【AP3】自ら設定した課題について、適切な研究方法 を用い、論理的に説明することができる。(思 考・判断・表現)
- 【AP4】「スポーツと健康」に関わる多様な実践的課題へ目を向け、それらの解決に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
- 【AP5】スポーツ健康学の探求を通して、社会に貢献 する意欲がある。(関心・意欲・態度)

カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)

スポーツ健康学に関する基礎的かつ俯瞰的な知識と思考力を修得するための「基礎科目」としての「スポーツ健康学特論」等および、修了後のキャリアを見据えた高度で専門的な知識と技能を修得するための「展開科目」としてのヘルスプロモーション科目群、スポーツマネジメント科目群によってカリキュラムを編成しています。

ディプロマ・ポリシー

- (学位授与の方針) 【DP1】豊かな人間性と社会性を支える広い
- 教養を身につけている。(知識・理解) 【DP2】「スポーツ」と「健康」およびそれらをとりまく「社会環境」について体系的に理解している。(知識・理解)
- 【DP3】高度で専門的な知識を有している。 (知識・理解)
- 【DP4】自ら設定した課題について、適切な研究方法を用いて考察することができる。 (思考・判断・表現)
- 【DP5】自ら設定した課題について、論理的 に説明することができる。(思考・判 断・表現)
- 【DP6】スポーツ健康学の知を探求し、社会 に貢献する意欲がある。(関心・意欲・ 態度)
- 【DP7】スポーツと健康づくりに関わる各種の 教育や事業を企画・立案、管理・運 営実践・指導、点検・評価することが できる。(技能)

研究室紹介

アスレティックトレーニングとは

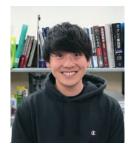
泉重樹教授

常にスポーツ現場のことを考え、研究に取り組む

私の専門分野は、スポーツ医学・アスレティックトレーニングです。アスレティックトレーニングとはアスレティックトレーナーがカバーする分野のすべてが研究領域になります。 スポーツ現場における外傷・障害の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション、コンディショニング、検査・測定評価など、領域は多岐にわたります。ですが最も大切なことは、アスリート達が大好きなスポーツを安全に行えること、そして最高のパフォーマンスを出すための準備に貢献することです。常にスポーツ現場のことを考えて研究に取り組む。そんな研究室です。

学生・修了生の声

実務を経験することで研究の重要性を知る。将来は実務と研究を両立させることが目標



犬走 渚 修士課程 2019年度修了 進学のきっかけ

「**究テーマ**「爆発的力発揮能力向上を目指したレジスタンストレーニング」

進学前からトレーナーとして活動していました。スポーツ現場では「エビデンス」を活用する能力を求められていると強く実感し、大学院で研究活動を行うことで知識の向上だけでなくエビデンス活用のトレーニングになればと進学を決意しました。

将来の目標

修士論文の研究テーマは「爆発的力発揮能力向上を目指したレジスタンストレーニング」です。修士課程修了後は博士課程に進学し、トレーニングについて中枢神経系に着目して研究を続けていきます。そしてスポーツ現場と研究活動、両方の面を熟知した研究者になることが目標です。

■ 専任教員一覧 [2021年度] ※年度により授業を持たない場合があります。希望指導教員として指名できるかは本学大学院ホームページで確認してください。

4 计正数只	見 1202	「一人」が一人にあり及来を別にない場合	100/878 WEIGHTOUNGTING A V V CER	0 (1/2 (0 %
専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
安藤 正志	教授	リハビリテーション医学、予防 医学 (筋骨格器系疾患)	運動学、運動療法、スポーツ外傷障害予防、徒手療法、疼痛制御、運動器疾患予防と治療	運動器疾患予防と対処特論、スポーツ健康 学演習 ・ ・ ・
泉重樹	教授	アスレティックトレーニング、ス ポーツ医学、鍼灸学	体幹 (腰部) の運動機能評価、スポーツ外傷・障害予防	アスレティックトレーニング特別演習、スポーツ健康学演習 ・ ・ ・ V
苅部 俊二	教授	スポーツコーチング学、スポー ツ心理学	身体運動と言語イメージ	スポーツコーチング学特論、スポーツ健康学演習 I・II・III・IV
鬼頭 英明	教授	学校保健、健康教育、公衆衛生	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、性教育、医薬品教育、健康教育	学校保健学特論、スポーツ健康学演習 ・ ・ ・ V
木下 訓光	教授	スポーツ医学、循環器病学	スポーツ心臓、エネルギー代謝、心肺運動負荷試験、生活習慣 病の運動療法	スポーツ健康学特論 (自然科学)、スポーツ健康学演習 ・ ・ ・
高見 京太	教授	発育発達学、運動生理学	子供の運動や生活習慣と体力・健康づくり、身体活動のエネル ギー消費量	発育発達学特論、スポーツ健康学演習 I・II・ III・IV
永木 耕介	教授	スポーツ教育学	教材文化論、武道教育論	スポーツ教育学特論、スポーツ健康学演習I・II・III・IV
中澤史	教授	スポーツ心理学	アスリートの心理サポート(スポーツメンタルトレーニング・スポーツカウンセリング)、体育授業・運動部活動の心理学	スポーツ健康学持論 I (心身科学)、スポーツメンタルトレーニング演習
平野 裕一	教授	スポーツバイオメカニクス、ト レーニング科学	投打動作の分析、瞬発的なパワー発揮を向上させるための筋力 トレーニング	スポーツ運動学特論、スポーツバイオメカニクス特論、スポーツ健康学演習 ・ ・ ・ V
山本 浩	教授	コミュニケーション論、ジャーナ リズム論	スポーツシーンのコミュニケーション、スポーツ実況論	スポーツ健康学特論III (人文社会科学)、スポーツジャーナリズム特論、スポーツ健康学演習I・II・III・IV
伊藤 真紀	准教授	スポーツマネジメント、女性ス ポーツ	スポーツにおけるリーダーシップ、アスリートのキャリア構築	スポーツ健康学特論III (人文社会科学)、スポーツ組織構造特論、スポーツフィールドスタディー演習、スポーツ健康学演習I・II・III・IV
井上 尊寛	准教授	スポーツ産業学、スポーツマー ケティング	スポーツ観戦者の観戦行動、プロ・スポーツクラブのマーケティング戦略	スポーツ健康学特論III (人文社会科学)、スポーツ産業学特論、スポーツマーケティングリサーチ演習、スポーツ健康学演習I・II・III・IV
越智 英輔	准教授	運動生理学、応用健康科学	運動や栄養介入による骨格筋・血管の応答・適応変化に関する研究	※ 今年度は、特定の科目を担当しません
島本 好平	准教授	ライフスキルコーチング、スポー ツ心理学	アスリート(個人)・チームを対象としたライフスキルコーチング に関する実践研究、ライフスキルに関する調査研究、心理尺度 開発	スポーツ健康学特論 I (心身科学)、健康心 理学特論
瀬戸 宏明	准教授	スポーツ医学、整形外科学	運動器損傷に対する予防と再生について	スポーツ健康学特論 II (自然科学)、スポーツ健康学演習 I・II・III・IV
林 容市	准教授	応用健康科学、生理心理学	身体活動・スポーツ動作の感覚認知と運動制御、生理的状態 と心理的情報との対応、種々の身体パフォーマンスに関する体 力の測定・評価	健康体力学特論、体力・機能測定評価演習、 スポーツ健康学演習I・II・III・IV
吉田 政幸	准教授	スポーツマーケティング、ス ポーツ消費者行動	スポーツファンのマーケティング、スポーツイベントを通じたソー シャルキャビタルの醸成、スポーツ消費者行動とウェルビーイング	スポーツマネジメント特論、スポーツ消費者 行動特論、スポーツ健康学演習 I・II・III・ IV
ネメシュ ローランド	専任講師	コーチング学、ハンドボール コーチング、体育学	GCA (Game Centered Approach)	スポーツトレーニング学特論、スポーツ健康 学演習I・II・III・IV

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- ●基礎科目
- 研究デザイン・フィロソフィー (2)
- スポーツ健康学特論| (心身科学)(2)
- ■スポーツ健康学特論Ⅱ (自然科学)(2)
- スポーツ健康学特論||| (人文社会科学)(2)
- ●展開科目
- [ヘルスプロモーション科目群]
- 健康体力学特論(2)
- ■健康心理学特論(2)
- 運動器疾患予防と対処特論(2)
- スポーツ栄養学特論 (2)
- 公衆衛生学特論(2) ■ 学校保健学特論(2)
- 運動疫学演習(2)
- 体力・機能測定評価演習(2)

- [スポーツマネジメント科目群]
- スポーツマネジメント特論 (2)
- スポーツ産業学特論 (2)
- スポーツメディア特論(2)
- スポーツ健康政策学特論(2)
- スポーツジャーナリズム特論(2)
- スポーツ組織構造特論 (2)
- スポーツ消費者行動特論(2)
- スポーツフィールドスタディー演習(2)
- スポーツマーケティングリサーチ演習(2) 「スポーツコーチング科目群]
- スポーツコーチング学特論 (2)
- スポーツ運動学特論 (2)
- スポーツバイオメカニクス特論 (2)
- スポーツトレーニング学特論 (2)
- 発育発達学特論(2)
- スポーツ教育学特論 (2)

博士後期課程

- アスレティックトレーニング特別演習(2) ●専門科目
- スポーツメンタルトレーニング演習(2) スポーツ健康学高度開発特論A(ヘルス領域)(2)
 - スポーツ健康学高度開発特論B(マネジメント領域)(2)
 - スポーツ健康学高度開発特論C(コーチング領域)(2)
 - ●演習科目
 - スポーツ健康学高度開発演習(実践研究/理論研究)(2)
 - ●研究指導科目
 - スポーツ健康学高度開発研究 I (2)
 - スポーツ健康学高度開発研究 II (2)
 - スポーツ健康学高度開発研究III (2)
 - スポーツ健康学高度開発研究IV (2)
 - スポーツ健康学高度開発研究V(2)
 - スポーツ健康学高度開発研究VI(2)

修了生の研究テーマの例

- 素早い筋収縮のレジスタンストレーニングが爆発的 筋力発揮特性に及ぼす影響
- 高校生ランナーにおける体脂肪率減少と月経周期
- ハードル走のインターバルにおいて4歩を意識する授 業の有効性に関する研究ー中学生を対象として一
- 育成年代のソフトテニス選手を対象としたサーブ 時のプレ・パフォーマンスルーティンの習得効果 に関する事例検討

■ チームビルディング演習 (2)

■ スポーツ健康学演習 I (2)

■ スポーツ健康学演習II(2)

■ スポーツ健康学演習III (2)

■ スポーツ健康学演習IV (2)

●研究指導科目

- 女子ソフトボール競技におけるトップ選手の運動 イメージの検討について一打撃局面に着目して一
- 体力トレーニングの実施がサッカー女子審判員の判定 位置および判定精度に及ぼす影響について
- 野球のトスバッティングの動作特性
- -異なるトス角度条件による比較

自然科学分野

Natural Science Field



大学院学生数/専門職大学院学生数

法政大学ホームページ:情報公開(修学上の情報) URL https://www.hosei.ac.jp/hosei/disclosure/acquire/

情報科学研究科

72 情報科学専攻

デザイン工学研究科

- 74 建築学専攻
- 76 都市環境デザイン工学専攻
- 78 システムデザイン専攻

理工学研究科

- 80 機械工学専攻
- 82 電気電子工学専攻
- 84 応用情報工学専攻
- 86 システム理工学専攻 創生科学系
- 88 システム理工学専攻 経営システム系
- 90 応用化学専攻
- 92 生命機能学専攻

総合理工学インスティテュート

94 総合理工学インスティテュート

※各専攻ページに掲載の「開講形態」は原則として修士課程に特化した内容です。

※各専攻の「アドミッション・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「ディプロマ・ポリシー」は要約したものです。年度により変更となる場合がありますので、最新の情報は大学院HPをご参照ください。



情報科学研究科

情報科学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程30名/ 博士後期課程5名

キャンパス

小金井

主な進路

NTTメディアインテリジェンス研究所、野村総合研究所、フジテレビジョン、ヤフー、NEC、富士通、NTTデータ、特許庁など

(

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



国際的に活躍できる創造性あふれる 専門技術者、研究者を育成

ディジタルメディア技術、ITソフトウェア技術によって、異なるハードウェア、文化、教育など社会のこれまでにあったさまざまな障壁を突き崩し、まさに国際化時代、ボーダーレスな競争化時代に突入した感があります。

このような時代では、自分で考えたアイデアをシステムの概念としてまとめ、実際に動くもの、見えるものにする実現技術まで、自己完結した高い専門能力・専門技術の修得が求められています。このような時代の変化に対応できる幅広い人材を育成するため、本研究科では専攻内に3つの研究領域(コンピュータ基礎、情報システム、メディア科学)を設けそれぞれに充実した教授陣を配置し、最先端の教育・研究体制を整えています。また、第4の研究領域として、国際化対応情報科学を設け、英語のみで修士・博士の学位が取得できる教育・研究環境を提供しています。留学生や国際化を意識する日本人学生からも高い評価を受けており、国際的に通用する優れた人材育成の一助になっています。2011年度から開始した中国模範的ソフトウェア学院連盟とのダブルディグリープログラム、2016年度から開始したIIST(理工系英語学位プログラム)なども順調に修了生を送り出すなど大きな成果を上げており、今後のさらなる発展が期待されています。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

修士課程では、情報科学分野を希望し、開講科目を受講するのに必要な知識を有する志願者を広く受け入れる。

博士後期課程では、修士課程に求める人材像に加えて、修士課程から現在に至る研究実績を持ち、博士後期課程の学生として相応しい研究遂行能力を有する志願者を受け入れる。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

修士課程では、専攻分野の周辺をカバーしつつ、国際 社会で通用する高度な知識・技術を獲得できるよう、 カリキュラムを編成する。具体的には以下の項目を考 慮してカリキュラムを編成する。

- 1.分野を複数の研究領域に分類し、それぞれの領域で 最新の教育が行われるようにカリキュラムを編成する。 2.研究タイプと開発タイプのそれぞれを目ます学生に 対して、適切な教育を提供できるようにカリキュラム
- るので、温がる状育を定めてきるので、カープラインを編成する。 3.学部課程で情報科学・技術を専門としていない入学者に対しては、情報科学・技術の主要な学部科目を履修できるよう柔軟なカリキュラムを編成する。
- 4.国際化に対応したカリキュラムを編成する。 博士後期課程では、情報科学の分野全般を網羅する 高度な知識・技術を獲得できるようコースワークを課 す。また、研究や開発のプロジェクトにおいて指導力を 発揮できる自立した研究者あるいは技術者としての資 質を養うため、特別研究・特別演習を通して博士論文 指選を実施する。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

修士課程では、所定の単位を修得し、修士論 文の審査に合格した者に「修士(理学)」を授 与する。この場合の審査は、独創性や創造性 を要求する研究タイプと、高度な情報科学技 術を駆使してプロジェケトを遂行できる能力を 要求する開発タイプの両素養を考慮する。研 究タイプは、新規性のある概念等を構成でき ることを基準とし、開発タイプは、既存の概念 を組み合わせて有用な成果物を生み出す技術 力を有することを基準とする。

博士後期課程では、所定の単位を修得し、博士論文の審査に合格した者に「博士(理学)」を授与する。審査にあたっては、上記の修士程の基準に加えて、情報科学の分野全般で高度な素養をもち、新しい研究領域あるいは新しい応用領域の開拓を行う能力を有すること、新しい手法を提案した実績、あるいは、従来の手法の性能を著しく高めた実績を有することを基準さする。

研究室紹介

日高 宗一郎 教授

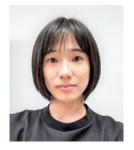
基盤ソフトウェア研究室

堅牢で効率的な基盤ソフトウェアの構築を目指します

情報システムでは、サブシステムに脆弱性対策等で更新があれば、全体の整合性を保つため他のサブシステムに伝播させる必要があります。当研究室では、このような伝播を担う双方向変換技術を中心に、基盤ソフトウェアの系統的構築法を研究し、プログラム内に自然発生する複製の柔軟な同期法等を提案してきました。その他、双方向変換の基礎から応用、セキュリティー要件の仕様記述への組み込みなどの研究を、プログラミング言語の意味論を通して進めています。当研究室では、今後もプログラミング言語を軸足とし、国内外のデータベースやモデル駆動工学などの研究拠点と連携しながら、より堅牢で効率のよいソフトウェアシステムの構築を目指します。

■ 学生・修了生の声

専門分野以外の知見も吸収しながら 問題を探究して解き明かす力を



中本 啓子 博士後期課程 在学中

専攻の魅力

研究テーマ CGにおい

CGにおいて不均質な半透明物体を写実的に描画するための 光のシミュレート方法の改良

情報科学研究科には多彩な領域の先生がおられるので、授業や研究発表において、 異なる専門分野の先生と話す機会がとても多いです。そのため、分野外の方に自身の 研究をわかりやすく伝えるにはどうすれば良いか考えるとともに、想定外の角度からア ドバイスをいただくことで刺激を受けています。

今後の目標

あらゆる仕事においてIT化が加速する現代、ITを駆使して人が複雑な課題を解くことが、新たな技術の誕生につながると考えています。本専攻の研究を通して問題を突き詰めて解決する力を養い、社会に出たときに物事を最後までやり遂げる職業人になることが目標です。

専任教員			研究テーマ	主な担当科目
赤石 美奈	教授	知能工学	物語構造に基づく情報編纂基盤技術、知識メディアの管理・	データマイニング特論、情報科学特別研究1A/
小石 天宗	(4) (2)		検索・視覚化技術、歴史知識学など	1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
伊藤 克亘	教授	音声認識、マルチモーダル対話 システム、音声インタフェース	音声認識、マルチモーダル対話システム、音声インタフェース、情報検索	音声・言語処理特論、情報科学特別研究1A/ 1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
内田 薫	教授	パターン・画像認識、機械学習 とその応用	バターン・画像認識、機械学習、バイオメトリクス、情報科学 による実世界イノベーション	グローバルCIS特別講義1/2/3/4、論文の書き方と発表技術、CISグローバルセミナー、情報科学特別研究1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
尾花	教授	暗号、情報セキュリティ	秘密分散法、秘匿計算などの暗号プロトコル	暗号理論、情報科学特別研究1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
小池 崇文	教授	三次元映像技術、コンピュータ グラフィックス、拡張現実感	実世界指向メディア、光線情報処理、フィジカルコンピューティング、リアルタイムレンダリング、コンピュテーショナルフォトグラフィ	3次元映像技術特論、情報科学特別研究1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
小西 克巳	教授	数理モデリング	スパースセンシング、データ駆動モデリング、信号修復、制御工学	線形システム特論、情報科学特別研究1A/1B/ 2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
佐々木 晃	教授	プログラミング言語処理系、ド メイン特化型言語、属性文法	プログラム言語処理系の実装技術や理論について	プログラミング言語処理系特論、情報科学特別研究 1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/ 2A/2B
佐藤 裕二	教授	インテリジェントコンピューティ ング、群知能	進化計算を用いた多目的最適化と並列高速化、群知能による多峰性問題の解法、インテリジェントコンピューティングによる強化学習	進化システム論、情報科学特別研究1A/1B/ 2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
善甫 康成	教授	計算材料科学、大規模並列計 算(HPC)	光学材料解析技術の開発、高効率大規模並列計算アルゴリ ズムの開発	科学技術シミュレーション、情報科学特別研究 1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
花泉 弘	教授	画像処理・認識、リモートセンシング、画像計測	リモートセンシング、医用画像処理、顔認識	多次元信号画像処理、情報科学特別研究1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
日高 宗一郎	教授	プログラミング言語、基盤ソフトウェア	プログラミング言語、プログラム変換、双方向変換とモデル 駆動工学への応用	データベースプログラミング言語、情報科学特別研究1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
廣津 登志夫	教授	インターネット、オペレーティングシステム、ユビキタスコン ピューティング	散仮想ルータのための動的中継点制御機構	インターネットアーキテクチャ、情報科学特別研究 1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
黄 潤和	教授	人工知能、携帯コンピューティング、ユビキタスシステムソフトウェア	Intelligence sharing in smart service systems,Empa- thetic healthcare service system, Individual human modeling	人工知能特論、情報科学特別研究1A/1B/ 2A/2B、 情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
藤田 悟	教授	XML高速処理、Webサービス、 サービス指向ソフトウェア	サービス戦略のモデリング、社会のシミュレーション分析、 サービス社会を支えるXMLやWebサービスの実行基盤技術	オブジェクト指 向 言 語、情 報 科 学 特 別 研 究 1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
細部 博史	教授	ユーザインタフェース、情報可 視化、制約プログラミング	数理的アプローチによる視覚的・対話的システムの構築法	可視化特論、情報科学特別研究1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
馬建華	教授	ユビキタスコンピューティング とスマートIoT	Smart Internet of Things, Wearable Computing, Emotion Recognition, Peronalized AI	先端網とコンピューティング、情報科学特別研究 1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
雪田 修一	教授	幾何学的・抽象的数学的概念 の可視化	ダイアグラムなどを用いた抽象概念の可視化	関数型言語と圏論、情報科学特別研究1A/1B/ 2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
李 亜民	教授	Computer Architecture, High-Performance CPU De- sign, Parallel and Distribut- ed Processing	Low-Cost High-Performance Interconnection Networks for Supercomputers	コンピュータアーキテクチャ特論、情報科学特別研究 1A/1B/2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
若原 徹	教授	文字・画像認識、パターン認識	情景内文字認識、ジェスチャ認識、移動物体追跡、ヒューマ ンインタラクション	パターン認識特論、情報科学特別研究1A/1B/ 2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
相島 健助	准教授	数値計算	数値シミュレーション、並列計算アルゴリズム、データ解析、 統計処理、信号処理、逆問題	数理モデリング特論、情報科学特別研究1A/1B/ 2A/2B、情報科学特別演習1A/1B/2A/2B
首藤 裕一	准教授	理論計算機科学	分散アルゴリズム、乱択アルゴリズム、自律適応型アルゴリズム、個体群プロトコル、モバイルエージェント、ブロックチェーン	情報科学特別研究1A/1B/2A/2B、情報科学特別 演習1A/1B/2A/2B

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 3次元映像技術特論(2)
- ビジネスアプリケーションシステム開発(2)
- Webシステム開発 (2)
- オブジェクト指向Web設計(2)
- インターネットアーキテクチャ(2)
- オブジェクト指向言語(2)
- コンピュータアーキテクチャ特論(2) ■ ソフトウェアプロセス及び品質保証(2)
- ソフトウェア技術者の為の
- 技術英語の書き方(2) ■ ソフトウェア要求仕様記述と 分析の技術(2)
- ディジタル情報の符号化と復号化(2)
- データベースプログラミング言語(2)
- データマイニング特論(2) ■ パターン認識特論(2)

- プログラミング言語処理系特論(2)
- 暗号理論(2)
- 音声・言語処理特論(2) ■ 可視化特論(2)
- 科学技術シミュレーション(2)
- 関数型言語と圏論(2)
- 企業システム構築のための ソフトウェア基盤(2)
- 高信頼ソフトウェア開発の 形式工学手法(2)
- 進化システム論 (2)
- 人工知能特論(2)
- 数理モデリング特論(2) ■ 線形システム特論 (2)
- 先端網とコンピューティング (2)
- 多次元信号画像処理(2)

- 日本語理解1(2)※
- 日本語理解2(2)※
- 論文の書き方と発表技術(2)
- 情報科学特別講義2 (画像認識特論)(2)
- 情報科学特別講義3 同報付子付加調報3 (オペレーティングシステム) (2) ■ IoTシステムとサイバーセキュリティ ■ 情報科学特別講義4
- (知能メディア処理)(2) ■ 情報科学特別講義5 (音声・音楽処理特論)(2)
- 情報科学特別講義6 (テキストマイニング特論)(2) 情報科学特別研究1A/2A(各1)
- 情報科学特別研究1B/2B(各2)

- 情報科学特別演習 1A/1B/2A/2B(各1)
- 情報科学 オープンセミナー 1/2 (各2)
- 情報科学特別講義1 オープンセミナー 1/2 (各2) (アルゴリズムとデータ構造) (2) CIS グローバルセミナー (2)

 - グローバルCIS 特別講義1/2/3/4(各2)
 - インターンシップ (2)

博士後期課程

- コンピュータ基礎プロジェクト(2)
- 情報システムプロジェクト(2)
- メディア科学プロジェクト(2) ■ 国際インターンシップ (2)
- コンピュータ基礎特別研究
- 1A/2A/3A(各1) コンピュータ基礎特別研究 1B/2B/3B(各2)
- コンピュータ基礎特別演習 1A/1B/2A/2B/3A/3B(各1)
- 情報システム特別研究1A/2A/3A(各1)
- 情報システム特別研究1B/2B/3B(各2)
- 情報システム特別演習 1A/1B/2A/2B/3A/3B(各1)
- メディア科学特別研究1A/2A/3A(各1) ■ メディア科学特別研究1B/2B/3B(各2)
- メディア科学特別演習 1A/1B/2A/2B/3A/3B(各1)

※日本語理解 1、2は原則留学生対象の授業です。また、日本語理解 1、2は修了単位(30単位)には含まれません。

- Matrix Completion Method for Acceleration of Q-learning Algorithm
- Personal Affective Trait Computing Using Physiological Data from Multiple Scenarios
- 不正検知可能な準最適 (2,2,n) ランプ型秘密分散
- 骨格データによる人間行動認識のための複数I STMオートエンコーダを用いたノイズの あるデータへの頑強性の検証
- 複数のウェアラブルデバイスから得られる慣性とコンテキストデータを用いた行動認識
- 不均質な半透明物体内部での光の散乱挙動の解析
- 球面調和関数展開に基づく近接音抽出を用いた時間-周波数マスク推定による近接/ 遠方音分離
- 制約付き多目的最適化問題のための異種交叉の適用法
- ■粒子法とBohm形式による電子状態計算のための数値解析技法の開発
- 積集合検索が可能な柔軟な動的検索可能暗号

デザイン工学 研究科

詳細はこちら



募集人員

修士課程55名/ 博士後期課程2名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

建設会社、設計事務所、 公務員、住宅建設·生産、 不動産・建物管理、建築 材料・設備機器メー カー、建築関係のソフト 開発・出版・広告各社、 研究所、博士後期課程進 学など

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



学際的視点に立った 建築と都市の総合デザインを追求

専門知識と先端技術をベースに、学際的視点による建築と都市の総合デザインを追究します。建築デザイン、建 築・都市史、建築構造、建築環境、建築構法、という5つの分野をバランス良く網羅しています。学部からの進学率 が高く、さらに他大学からの入学者が多いのも特徴の一つ。規模と実績のある専攻として、長年にわたり多くの人 材を社会に送り出しています。また2013年度には、UIA (国際建築家連合)が求める5~6年間の一貫した建築教 育に対応したJABEE (日本技術者教育認定機構) 建築系学士修士課程の認定を受けました。

本専攻では、建築と都市に関わる専門職業人(建築家・建築技術者)、教育者・指導者、研究者を養成するため、 次の7項目の学習・教育到達目標を掲げています。

1.総合デザイン (Holistic Design) 力 2.建築・都市に関する歴史・文化的知見 3.持続可能な社会を目指す 職業倫理 4.安心・安全・快適を実現する専門技術 5.技術と芸術を統合する視点 6.高度なIT能力 7.国 際的なコミュニケーション能力

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

専門分野に特化した人材、キャリア形成 による幅広い人材の育成と、社会人のリ カレント教育を重視。これらに対応して 修士課程に3コースを設け、それぞれに 相応しい人材を受け入れる。1.選抜1年 コース (実績・リカレント対応)、2.総合2 年コース (筆記重視型・作品評価型の 両入試方式による専門特化)、3.キャリ ア3年コース (非建築系卒業者対応)。 博士後期課程では学位論文作成に必要 な語学力と専門能力を有する適切な人 材を受け入れる。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

学生が自ら問題を見いだし、解決策を 探求、創造できるよう、以下のコースとカ リキュラムを編成。1.学部・大学院の教 育一貫性(学部先取り履修、大学院生 当)、2.修士3コースに2系のカリキュラム (技術者・研究者養成のラボ系、建築デ ザイナー養成のスタジオ系)、3.アーキテ クトマインドを育む充実したデザインスタ ジオ教育、4.豊富な学内外実習科目、 5.自主的活動に対する単位認定、6.博 十にコースワーク設定、7 成績評価の公 正化・公開制、8.海外交換プログラム。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

各課程において所定の単位とコースワーク を履修し、かつ必要な研究指導を受けた 上、論文の審査と最終試験に合格した者 に、修士課程では修士(工学)、博士後期課 学部履修、学部・大学院科目の連番配 程では博士(工学)の学位を授与する。これ により、修士課程では総合デザイン力を身に 付けた建築・都市デザインに関する高度な 専門職業人、博士後期課程ではさらに高度 な企画開発能力を有する教育者、研究者、 指導者(専門特化型人材)として相応しい 学識と人格が涵養されたことを証する。

研究室紹介

小堀 哲夫 教授

フィールドとプロジェクトとヒューマンをベースに考える

過去現在未来を通して、 都市や空間や人間の本質を探る

建築学は、数値やロジカルな理論構築による理工学的な要素と同時に、芸術や人 文科学的な要素も多く含む、大変興味深い分野です。周囲の環境を空間へと取り 込み、光や音や熱までも表現する建築は、人間の本質に訴えかけ、恩恵をもたらす 力を持っています。私の研究室では、三つの研究と学びを実践しています。一つ目 はフィールドワークを通して場や都市のコンテクストを読みとり、地域や環境の良 い面を建築計画という行為でトレースしたいと考えています。二つ目は建築設計の 実践を通して具体的に「建築とは何か」「何を建築で実現すべきなのか」を考えま す。三つ目は空間が人間に与える影響です。建築の中心は人間であり、深く人間の 本質について思考していきます。

■ 学生・修了生の声

マクロからミクロの視点で幅広く 建築のプロセスを総合的に体験



松本 和樹 修士課程 2017年度修了/ 川辺直哉建築設計事務所

現在の仕事

研究テーマ

地を這う複層連続体 都市における大地ー建築一人の関係性について

建築設計事務所で設計業務と現場監理を行っています。課題とは違い現実では建物を一 つ作るにも様々な制約や条件がありますが、それを一つひとつクリアするからこそ、建った建築 が社会の一部として位置付けられ、労力に勝る達成感を得られるのが醍醐味です。大学院で の建築理論の学びはその制約の中でも自身の意匠性を見失わない指針となっています。

専攻の思い出

デザインスタジオという設計課題を中心とした学生生活でした。町のサーベイから始 まり、最終的に選んだ敷地に建築を計画する授業です。都市というマクロから詳細 設計のミクロな視点まで綿密に多角的に建築を組み立てていくので、建築のアウト プットの中で自分がどの分野が得意なのかをしっかりと分析することができました。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
赤松 佳珠子	教授	建築設計、意匠	建築空間は、人々の活動を支えると同時に、さまざまな行為 を誘発する場でもあります。建築や都市空間をさまざまなフル イド(流動的要素)を通して捉え、新しい時代に向けての建 築空間の在り方を探ります。	デザインスタジオ3/8/11、デザインスタジオX、建築インターンシップ、海外研修プログラム1、建築学修士研修1/2、建築学修士プロジェクト1/2、建築学博士プロジェクト1/2/3、建築学博士研修1/2/3
網野 禎昭	教授	建築構法、木造デザイン	木材の創造的活用	デザインスタジオX、建築インターンシップ、海外研修 プログラム2、建築学修士研修1/2、建築学修士プロ ジェクト1/2、建築学博士プロジェクト1/2/3、建築 学博士研修1/2/3
安藤 直見	教授	建築計画、都市計画	さまざまな建築・都市 (例えば、広場とか街路とか) の形態と、 その形態が現象させる空間の特質・特性	空間解析特論、建築計画分野研究論考、デザインス タジオ11、建築のしくみ、デザインスタジオX、建築イ ンターンシップ、建築学修士研修1/2、建築学修士プ ロジェクト1/2、建築学博士プロジェクト1/2/3、建築 学博士研修1/2/3
岩佐 明彦	教授	建築計画	建築・都市空間の使われ方やそこでの人の振る舞いに着目 し、場所の持つ機能や魅力を高める手法を研究・実践する	建築計画学概論、デザインスタジオ3/4/9/11、デザインスタジオX、建築インターンシップ、建築学修士研修1/2、建築学修士プロジェクト1/2、建築学博士プロジェクト1/2/3、建築計画分野研究論考
川久保 俊	教授	建築環境工学、都市環境工学	サステナブル建築の普及促進方策の検討、公開統計情報に 基づく世界の都市の環境性能評価、SDGsに基づく持続可 能社会のデザイン	特殊環境特論、デザインスタジオX、建築インターンシップ、建築学修士研修1/2、建築学修士プロジェクト1/2、建築環境分野論考、建築学博士プロジェクト1/2/3、建築学博士研修1/2/3
小堀 哲夫	教授	建築設計、都市デザイン	地域に根ざした自然環境の一部である建築や都市を分析し、 普遍性を持った新しいユニバーサルスペースの研究と、建築 都市デザインの手法を、歴史とフィールドサーベイを通して探 求し、実践する。	デザインスタジオ8/11、デザインスタジオX、都市建築史スタジオ、建築インターンシップ、建築学修士研修1/2、建築学修士プロジェクト1/2
下吹越 武人	教授	建築設計、意匠	建築や都市に内在する人間的・文化的現象を解析し、未来 を指向する持続性を備えた建築デザインの研究	デザインスタジオ4/10/11、デザインスタジオX、建築 プロフェッショナル総合演習1/2、建築インターンシッ プ、海外研修プログラム1、建築学修士研修1/2、建 築学修士プロジェクト1/2、建築学博士プロジェクト 1/2/3、建築学博士研修1/2/3
高村 雅彦	教授	都市建築史	日本を含むアジアの都市史および建築史研究	建築史概論、都市形成史特論、建築史分野研究論 考、デザインスタジオ11、デザインスタジオX、建築・ ンターンシップ、建築学修士研修1/2、建築学修士プロジェクト1/2/3、建 築学博士研修1/2/3、都市建築史、日本建築史
出口清孝	教授	建築環境工学	ヴァナキュラー建築の環境工学的解析、エコロジカルな建築の創造	設備計画概論、建築設備特論、光・視環境、建築環境分野研究論者、サステイナブルデザインスチインデザインスタジオX、建築インターンシップ、建築学修士研修1/2、建築学修士プロジェクト1/2/3、建築学博士研修1/2/3
浜田 英明	教授	建築構造学、構造設計	包括的な構造設計手法や理念の探求	建築構造デザイン、デザインスタジオX、建築インターンシップ、海外研修プログラム2、建築学修士研修 1/2、建築学修士プロジェクト1/2、建築構造分野研究論考、建築学博士プロジェクト1/2/3、建築学博士研修1/2/3
宮田 雄二郎	准教授	建築構造	循環型社会を目指し、環境負荷低減と自然との共生を実現するため、木質構造を研究する。	部材の力学、材料のデザイン、建物の耐力、建築インターンシップ、デザインスタジオX、建築学修士プロジェクト1/2、建築学博士プロジェクト1/2/3、建築学博士研修1/2/3
山道 拓人	講師	建築設計、意匠、 ソーシャルテクトニクスデザイン	人々が生きる条件を自ら作っていける建築や社会を構想し、 現代における建築意匠の研究と設計を探求していきます。	デザインスタジオ9/11、デザインスタジオX、建築インターンシップ、海外研修プログラム1/2、建築学修士研修1/2、建築学修士プロジェクト1/2

設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 建築計画学概論(2)
- 近現代デザイン概論 (2)
- 環境工学概論(2)
- 景観デザイン概論 (2)
- 地域·都市再生概論(2)
- 環境技術英語(2)
- 知的財産権論(2)
- 現代産業論(2)
- 海外研修プログラム1(3)
- 設備計画概論(2)
- 建築史概論(2)
- 地震工学概論(2)
- 鉄筋コンクリート 構造概論(2)
- 建築構造力学特論(2)
- 曲面構造特論(2)
- 構造解析特論(2)
- 海外研修プログラム2 (3) 特殊環境特論 (2)
 - 建築設備特論(2)
 - 都市解読方法特論(2) 建築設計特論(2)
 - 建築思潮特論(2)
 - 空間解析特論(2)
 - 住宅計画特論(2)
 - 都市形成史特論(2)
 - デザインスタジオ8~11(各6)
- デザインスタジオX(2)
- 建築プロフェッショナル 総合演習1/2(各4)
- 建築インターンシップ (8)
- 建築構造デザイン (4)
- 建築学修士研修1/2(各2)
- 建築学修士 プロジェクト1/2 (各3)
- 特別研究(2)

博士後期課程

- 建築構造分野研究論考(2)
- 建築環境分野研究論考(2)
- 建築計画分野研究論考(2)
- 建築史分野研究論考(2)
- 建築学博士研修1/2 (各2)
- 建築学博士研修3(3)
- 建築学博士プロジェクト1/2 (各2)
- 建築学博士プロジェクト3(3)

※この他に、修士課程キャリア3年コースに学部合併科目20科目を設置。※デザインスタジオ11: 小野田泰明大学院客員教授が主に担当する修士設計のためのスタジオ系科目。

- 地の呼吸を頒つ -風穴を氷集落と移住者のための共有地へ更新する建築-
- 歩く都市横断 ーロングトレイルによる非効率的経験とその価値化ー
- ■ドーム状レシプロカル構造の地震力を考慮した構造形態創生
- 中国の伝統街区における〈コモンスペース〉の形成 一北京四合院住宅地の再編ー
- グルーベンマンの木橋架構思想の展開について
- New Collectives 欧州における新たな居住タイポロジーの研究

- 地震力に対するRCシェルの異方性CFRP帯板の最適補強配置
- 造船業からみた湊町 牛窓を中心とした瀬戸内テリトーリオー
- EBPM実現に向けたローカルSDGs指標の活用に関する研究
- 暑熱環境暴露時における人体の生理反応に関する研究
- 内部化された都市空間に関する研究 大手町・丸の内・有楽町のケーススタディとして-
- 台湾味ミリュー 一宜蘭の礁渓における共食景の提案ー

デザイン工学 研究科

工学専攻 都市環境デザイン

詳細はこちら



募集人員

修士課程25名/ 博士後期課程2名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

公務員(東京都など)、鉄 道建設・運輸施設整構、 以R都、東京都を送り、 道建機構、水資源機構、 首路、東日技術機高路、 京地下鉄、大成建設、 大成建設、大成業、東フィッシス ンサルタンツ、パシフ平ニン サルタンツ、メジニア グ、横河ブリッジなど

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



自然と共生する、 持続可能な都市をデザインする

近年、わが国では社会の基盤整備が進んできたとはいえ、大震災のような未曾有の災害に対するハード・ソフト面での バランスの取れた対応策はまだまだ不十分な段階にとどまっています。また、建設関連の分野で技術者として要求され る資質にも大きな変化が生じてきています。すなわち、地球規模の環境保全、自然や生態系と共生できる都市づくり、 循環型・低炭素かつレジリエントな社会の構築など、多面的な課題対応が求められているのです。

本専攻では、従来型の「ものつくり」の枠組みを超え、「総合デザイン力」に根ざした広い視野と豊かな感性による新しい時代の都市デザイン能力を養成します。専門領域を「都市プランニング」「環境システム」「施設デザイン」の3分野に大別し、さまざまな問題点を高い視点から捉えて解決する力を養うためのカリキュラムを準備し、国際性を身に付ける外国語系科目も重点的に配置しています。また、社会活動や設計・制作の実践力を高める「スタジオ科目」も用意しています。社会基盤などを設計・建設・整備・管理する最先端の手法を修得し、生活を守る防災技術や自然生態系などとの調和を図りながら環境を保全・再生していくことのできる技術者の養成を目指します。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

建設・環境分野の業態が多様化、国際化している現在、専門に特化した人材のみならず、幅広い能力を持つ人材が求められています。また、急速な技術革新に適応するためには社会人に対するリカレント教育も必要です。こうした要請に応えるため、修士課程に、一般入学制度のほか、一般推薦・社会人特別・外国人学生特別、さらにキャリア3年コースなどの多様な入学制度を設けています。博士後期課程では、学位論文作成に必要な語学力と専門能力を有していることを評価します。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

従来型の単なる「ものつくり」の能力という枠組みを超え、新しい時代にふさわしい都市をデザインする、広い視野と豊かな感性を備えた人材を養成することを目標とします。このためには、さまざまな問題点を高い視点から的確に捉え、解決する力が必要となるため、修士・博士後期課程とも、専門領域を「都市プランニング」「環境システム」「施設デザイン」の3分野に大別し、高度な能力を持つ技術者・研究者を育てるためのバランスに配慮したカリキュラムを配置しています。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

各課程において、所定の単位とプロジェクト科目を履修し、論文の審査ならびに最終試験に合格した者に、修士課程では修士(工学)、博士後期課程では博士(工学)の学位を授与します。修士課程では、社会基盤システムに係る分野の専門性と創造性、表現力を身に付けた「総合デザイン力」を審査の基準とし、博士後期課程では、社会基盤システムに係る分野の先端的な研究者あるいは高度な専門技術者としての自立性を審査の基準とします。

■研究室紹介



高見 公雄 教授

時代の要求と慎重に向かい合いながら日本の都市を美しく、ふさわしいものに変えていくための研究

人々の生活の場としての都市、その内容と姿はどのようにあるべきか。快適な都市づくりのための堅牢なデザインを追及する

都市に集中する人口の受け皿として、量的な充足に追われてきたまちづくりは、大きな変革点を迎えています。美しく快適な都市を造るための取り組みは全国の市町村などで続けられてきてはいますが、その目標や方法は未だ不透明と言えます。本研究室では、都市デザインを広い概念で捉え、気候風土や地域の持つ地形的要素等と都市基盤、土地利用の調和など、その場所にふさわしく、そして美しいまちづくりの内容と方法について研究しています。

■ 学生・修了生の声

都市や地域に興味を持つ仲間と都市デザインに ついて幅広く議論できます



劉 金燕博士後期課程 在学中

私の研究

研究テーマ

拠点開発手法としての「多目的広場」の生成課程と現状、その評価に 関する研究

国鉄改革により発生した空閑地開発手法として1985年に制度創設された「多目的 広場」について研究しています。母国中国での修士課程では、現代中国で整備された 大規模広場の環境や快適性に関する研究をしました。博士課程では現代日本で数 多く作られた多目的広場に着目し、市街地整備推進の課程におけるその意義と今後 の可能性についての研究を進めています。

大学院の魅力

市ケ谷という交通至便の場所で、東京という大都市に直接触れながら都市について考えられます。また少人数制のため学生同士の交流が深く、相互に刺激し合いながら学べる環境をとても魅力に感じています。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
今井 龍一	教授	都市交通計画、土木情報学	国土空間・都市活動を計測・分析する	都市環境デザイン工学基礎1、都市交通マネジメント、交通計画、測量学、都市環境デザイン工学研究 1/2/3/4
内田 大介	准教授	鋼構造、メンテナンス工学	鋼構造物の長寿命化と維持管理	都市環境デザイン工学基礎2、鋼構造の疲労、鋼構 造学及演習、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4
酒井 久和	教授	地盤地震工学、減災工学	実現可能な地震被害の軽減策を考える	都市環境デザイン工学基礎2、地震減災工学、地盤 環境工学、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、環 境システム論、都市環境デザイン工学特別研究 1/2/3/4/5/6
鈴木 善晴	教授	水文気象学、水文環境学	気象災害の軽減や環境問題の解決	都市環境デザイン工学基礎1、応用水文学、流域水文学、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、都市環境デザイン特別研究1/2/3/4/5/6
高見 公雄	教授	都市設計、都市デザイン	美しく、ふさわしいまちづくり	地域・都市再生概論、サステイナブル都市デザイン、 都市環境デザイン工学基礎2、国土・地域概論、デ ザインスタジオ、プロジェクトスタジオ、都市環境デザ イン工学研究1/2/3/4、都市プランニング論、都市環 境デザイン工学特別研究1/2/3/4/5/6
福井 恒明	教授	景観計画、社会基盤構造物・空間デザイン	良好な地域景観の創出・保全の考え方や手法の研究	景観デザイン概論、自然・環境デザイン、景観とデザイン、都市計画法と政策、デザインスタジオ(都市)。 都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、都市プランニング論、都市環境デザイン工学 特別研究 1/2/3/4/5/6
溝渕 利明	教授	コンクリート材料学、構造物診断技術	コンクリートの一生を考える	都市環境デザイン工学基礎1、耐久性力学、コンクリート工学及演習、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、施設デザイン論、都市環境デザイン工学特別研究1/2/3/4/5/6
道奥 康治	教授	環境水理学、河川工学	河川と流域の水質水理学	流域水マネジメント、河川環境工学、水理学2、都市 環境デザイン工学研究1/2/3/4、環境システム論、 都市環境デザイン工学特別研究1/2/3/4/5/6
山本 佳士	准教授	構造工学、計算工学	強靭 (レジリエント) なインフラ構造物の整備	複合材料構造解析、都市環境デザイン工学研究 1/2/3/4、都市環境デザイン工学特別研究 1/2/3/4/5/6
渡邉 竜一	専任講師	構造デザイン	公共空間・インフラストラクチャーのデザイン	空間情報デザイン、デザインスタジオ(都市)、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4

設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 建築計画学概論(2)
- 近現代デザイン概論 (2)
- 環境工学概論(2)
- 景観デザイン概論(2)
- 地域·都市再生概論 (2)
- ■環境技術英語(2)
- 知的財産権論(2)
- 現代産業論(2)
- 海外研修プログラム2(3)
- 都市環境デザイン 工学基礎1/2(各2)
- 災害リスクマネジメント概論(2)
- 沿岸防災工学(2)
- 材料科学概論 (2)

- 都市交通マネジメント(2)
- 空間情報デザイン(2)
- 比較都市環境デザイン (2)
- 自然・環境デザイン(2) ■ 流域水マネジメント(2)
- 水域環境の保全(2)
- 応用水文学 (2)
- 地震減災工学(2)
- 銅構造の疲労(2)
- 社会基盤施設の資産管理(2)
- 鋼橋の点検・診断・対策技術(2)
- 複合材料構造解析(2)
- ライフサイクルエンジニアリング(2)
- 耐久性力学(2)

- 計画の可視化(2)
- 河川環境工学(2)
- 国土・地域概論(2)
- コンクリート工学及演習 (2)
- 鋼構造学及演習(2) ■ RC構造学及演習(2)
- 構造力学2(2)
- 都市計画法と政策(2) ■ 交通計画(2)
- 地盤環境工学(2)
- 水理学2(2)
- 水資源工学(2)
- デザインスタジオ (都市) (各3)
- 耐震工学(2)

博士後期課程

- 都市プランニング論 (2)
- 環境システム論(2)
- 施設デザイン論(2)
- 都市環境デザイン工学 特別研究1/2(各2)
- 都市環境デザイン工学 特別研究3/4(各2)
- 都市環境デザイン工学 特別研究5/6(各3)

修了生の研究テーマの例

- 水害リスク地域における市街地展開の経緯と要因 -長野市北部地域を対象として-
- 赤外線画像を用いたコンクリート表層部の劣化状況把握に関する基礎的研究
- ■金属補修材と高力ボルトを用いた当て板補修部の引張強度に関する研究
- 強冷法・人工核法シーディングによる豪雨抑制効果と促進リスクに関する数値実 験的研究
- 石積み擁壁に対する大変形SPH-DEM解析法の開発
- 首都圏における近年の物流関連施設の立地動向に関する研究 -埼玉県を事例に-

■ プロジェクトスタジオ (2)

■ 有限要素法基礎(2)

■ 流域水文学 (2)

■ 測量学(2)

■ サステイナブル

都市デザイン(2)

■ 水環境デザイン(2)

■ 構造解析と設計(2)

工学研究1/2(各2)

工学研究3/4(各3)

■ 都市環境デザイン

■ 都市環境デザイン

■ 樹林化した河道が流れに及ぼす影響と抵抗特性に関する研究

デザイン工学 研究科

詳細はこちら



墓集 人 昌

修十課程30名/ 博士後期課程3名

キャンパス

市ケ谷

主な進路

東芝、トヨタ自動車、ヤク ルト本社、オリンパス、博 報堂、清水建設、三菱電 機、セイコーエプソン、大 日本印刷、富士ゼロック ス、伊藤忠テクノソリュー ションズ、デンソー、パナ ソニック、アズビル、キヤノ ン、ソフトバンク、LIXIL、イ トーキなど

♦ €

昼夜開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



モノづくり、システムづくりの 創生プロセスを総合研究

クリエーションとテクノロジー、マネジメントの融合を目指した新しい概念の創出を目的とした専攻です。工業製品のデ ザインや機能など、総合的なモノづくりやシステムづくりの創生プロセスを対象に、研究と教育を行っています。プロダク トデザイン、知能機械、シミュレーション、プロジェクトマネジメントなど、さまざまな側面から総合的にユーザビリティーを 追究します。新しい時代を切り開く分野を担っていくために、一つの専門に偏った研究者ではなく、複雑な社会に存在 する諸問題を、多面的に、俯瞰的に見ることのできる技術者や研究者を育成します。

修士課程にはプロジェクト・ベースド・ラーニング (PBL) 科目など、新しい教育方法を導入しています。また、高度職業 人の育成にも力を入れています。実務経験を持つ社会人が、その経験を生かして高度職業人としての高度な能力を身 に付けられるよう、夜間授業や土曜授業を開講し、社会に開かれた大学院を目指しています。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

人文科学・社会科学、自然科学、工学な どの知性に基づく合理と、人間の感性に 依拠した美との融合を目指す「総合デザ イン (Holistic Design)」を志向する人材 を幅広く求める。そのため、修士課程で は、一般入試、社会人入試、自己推薦入 試などによって、その適性、論文や作品の 作成能力を評価する。博士後期課程で は、学位論文作成に必要な語学力と専 門能力を有していることを評価する。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

「総合デザイン力」を身に付けた高度専 門職、研究者を養成するために、修士課 程では、共通基盤科目、基盤科目、専門 科目から構成する科目を配置し、幅広い 科目は、クリエーション、テクノロジー、マ ネジメント分野からなり、それぞれの特 徴に合わせた履修が可能。また、昼夜開 講の専攻として、夜間と十曜日での履修 に配慮。博士後期課程では、論文指導 目を配置し、幅広い視点での問題解決 能力の習得を目指す。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

修士課程では、所定の単位とプロジェクト 科目を履修し、論文の審査ならびに最終試 験に合格した者に、修士(工学)の学位を 授与する。システムデザイン分野の専門性と 知識の習得が可能である。修士の専門 創造性、表現力を身に付けた「総合デザイ ン力」を審査の基準とする。博士後期課程 では、 所定の 講義科目とプロジェクト科目を 履修し、論文の審査ならびに最終試験に合 格した者に、博士(工学)の学位を授与す る。システムデザイン分野の専門性、創造 や研究だけでなく、専門領域の講義科性、新規性を持った研究能力を審査の基準

研究室紹介

社会的文化的価値を持つデザインの研究と設計



安積 伸 教授

社会の問題を解決し、生活や文化にとって 新たな価値を創出するデザインの研究

生活に関わる器物や環境は、技術の進歩と社会構造の変化に呼応しながら急速 に進化しています。しかしそれらが我々にとって真に快適さをもたらす方向に進んで いるかは大いに疑問が持たれるところです。人間が持つ普遍性、歴史や文化に根 ざした価値観は急激な変化と反りの合わない部分もあり、無理に捻じ曲げようとす ると問題を露呈してしまいます。また今日では人間の多様性に向き合う事も重要な 課題となっています。生活を支えるあらゆる器物・環境を研究対象としながら、社 会や環境の問題を解決する方法、新たな価値の創出に寄与するアイデアをデザイ ンし実践的検証を行います。

※本専攻には、このほかにテクノロジーやマネジメントなどの分野を扱う、全部で8の研究室があります。

■ 学生・修了生の声

技術や知識の探求はもちろん、 業務を円滑に行うための手法も身につきました



近藤 瞳 修士課程 2012年度修了

学んだこと・身についたこと

研究テーマ

静圧空気軸受を用いた平面アクチュエータによる三脚パラレルメカニ ズムの特性評価

他大学との交流、学会参加を通して、他者とのコミュニケーションや自分の意見のま とめ方、伝え方が身につきました。特に教授からの論文の赤字添削やプレゼンテー ションのフィードバックは、現在の業務でもある複数部署との連携した議論やその準 備に活かされていると実感しています。技術や知識だけでなく業務を円滑に進める手 法を身につけられたことは良い経験だと感じています。

法政大学大学院を目指す方へのメッセージ

将来どのような人になりたいか、どのような仕事を行いたいかといった目標を持つこ とが大切です。私も研究がうまく進まないタイミングもありましたが、周りにいる教授 や研究室の仲間と意見を交換することで、新たな気づきにつながり、前に進むこと ができました。大学院での研究活動は知識の探求だけでなく、多くの方々と触れ合 いを通じて貴重な経験ができることが魅力ですよ。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
安積 伸	教授	インダストリアルデザイン	生活・文化に関する考察、分析を起点とし、社会 に新たな価値を問うデザインの研究	ヒューマニティデザイン論、システムデザインワークショップ (PBL)、システムデザイン修士研修1/2/3/4、システムデザイン修士プロジェクト1/4、システムデザイン修士プロジェクト2/3、システムデザイン博士研修1/2/3/4/5、システムデザイン博士プロジェクト1/2/3/4/5/6
岩月 正見	教授	スマートマシンデザイン	映像を利用した新しい機能をもつデバイスの設計に 関する研究	知能情報技術論、知能システムデザイン特論、システムデザイン修士研修1/2/3/4、システムデザイン修士プロジェクト1/4、システムデザイン修士プロジェクト2/3、システムデザイン博士研修1/2/3/4/5、システムデザイン博士プロジェクト1/2/3/4/5/6
竹内 則雄	教授	計算工学	人と環境にやさしく、安全な「もの」や「社会基盤 システム」をデザインするための新しい技術の研究	構造デザイン論、シミュレーションデザイン特論、システムデザイン修士研修1/2/3/4、システムデザイン修士プロジェクト1/4、システムデザイン修士プロジェクト2/3、システムデザイン博士研修1/2/3/4/5、システムデザイン博士プロジェクト1/2/3/4/5/6
田中 豊	教授	メカトロニクス	人や環境と調和した次世代の高機能なメカトロシステムをデザインするため、「人」と「もの」と「コンピュータ」を結びつけるメカニズムやアクチュエータに関する研究	知能機械デザイン論、システムデザイン特別講義、知能システムデザイン特論、システムデザイン修士研修1/2/3/4、システムデザイン修士プロジェクト1/4、システムデザイン修士プロジェクト2/3、システムデザイン博士研修1/2/3/4/5、システムデザイン博士プロジェクト1/2/3/4/5/6
土屋 雅人	教授	インタフェースデザイン	高度な感性価値の実現を目指す次世代ヒューマンインタフェースのデザイン研究	インタフェースデザイン論、デザイン創生学特論、システムデザイン修士研修1/2/3/4、システムデザイン修士プロジェクト1/4、システムデザイン修士プロジェクト2/3、システムデザイン博士研修1/2/3/4/5、システムデザイン博士プロジェクト1/2/3/4/5/6
西岡 靖之	教授	知識工学、情報工学、生産工学	製造業のIT利活用、生産計画や製品設計とスケジューリングを統合させるAPS(先進的計画スケジューリング)に関する研究	プロダクションデザイン論、システムデザインワークショップ (PBL)、システムマネジメント特論、システムデザイン修士研修 1/2/3/4、システムデザイン修士プロジェクト1/4、システムデザイン修士プロジェクト2/3、システムデザイン博士研修 1/2/3/4/5、システムデザイン博士プロジェクト1/2/3/4/5/6
野々部 宏司	教授	オペレーションズ・リサーチ、 組合せ最適化	問題解決のための最適化手法の開発とその応用に 関する研究	マネジメントサイエンス論、システムマネジメント特論、システムデザイン修士研修1/2/3/4、システムデザイン修士プロジェクト1/4、システムデザイン修士プロジェクト2/3、システムデザイン博士研修1/2/3/4/5、システムデザイン博士プロジェクト1/2/3/4/5/6
山田 泰之	准教授	メカニズム、デザインエンジニア リング	システム全体を調和して、多様性やロバスト性を 生むメカニズムの研究	メカニカルデザイン論、システムデザイン修士研修1/2/3/4、システムデザイン修士プロジェクト1/4、システムデザイン修士プロジェクト2/3

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 建築計画学概論(2)
- 近現代デザイン概論 (2)
- 環境工学概論 (2)
- 景観デザイン概論 (2)
- 地域·都市再生概論(2)
- 環境技術英語(2)
- 知的財産権論 (2)
- 現代産業論 (2)
- 海外研修プログラム2(3)
- 技術英語演習(3)
- テクニカルライティング (2)

- プレゼンテーション技法 (2)
- ヒューマンサイエンス論 (2)
- コンピュータサイエンス論 (2)
- グランド戦略とデザイン (2) ■ 身体表現論 (2)
- 另体衣呪誡 (Z)
- システムデザイン特別講義 (2)
- ソシオシステムデザイン論 (2)
- インダストリアルデザイン論(2)
- ヒューマニティデザイン論 (2)
- インタフェースデザイン論 (2)
- 製品デザイン原論 (2)

- マンマシンデザイン論 (2)
- 知能機械デザイン論 (2)
- 知能情報技術論(2)
- 構造デザイン論 (2)
- メカニカルデザイン論 (2)
- プロダクションデザイン論(2)
- マネジメントサイエンス論 (2)
- システム工学論 (2)
- 品質マネジメント論 (2)
- システムデザイン
- ワークショップ (PBL) (2)

博士後期課程

- デザイン創生学特論 (2)
- 知能システムデザイン特論 (2)
- シミュレーションデザイン特論 (2)
- システムマネジメント特論 (2)
- システムデザイン
- 博士研修1/2/3/4/5 (各1)
- システムデザイン博士プロジェクト 1/2/3/4/5/6 (各1)

修了生の研究テーマの例

- ■トラフィックを活用したキネティックアートの制作
- ■ペットボトルを用いた筋力トレーニング支援システムの研究
- 演奏環境の構築と収納の容易な音楽教育施設用家具の開発
- 顔動画像を用いたストレス値検出に関する実証的研究
- 避難所におけるダンボール間仕切りの遮音効果に関する基礎的研究
- 深層学習を用いたデッサン人形による人体ポーズ推定
- パラレルメカニズムを用いたパーソナルモビリティビークルに関する研究
- 小形ロボット搭載用ERブレーキに関する研究

■ システムデザイン

■ システムデザイン

■ システムデザイン

■ 修士論文 (SD)

修士研修1/2/3/4(各1)

修士プロジェクト1/4 (各2)

修士プロジェクト2/3 (各1)

- ■受注即応生産方式における中間在庫を考慮した納期回答システムの提案
- 日本プロ野球における数理的手法の適用: 試合日程の作成と観客動員数の要因分析・予測

理工学研究科

機械工学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程50名/ 博士後期課程2名

キャンパス

小金井

主な進路

トヨタ自動車、日本車両、 IHI、SUBARU、住友重機 械工業、川崎重工業、パ ナソニック、三菱電機、本 田技研工業、日産自動 車、日立製作所、オリンパ ス、キャノン、デンソー、 NTTなど

 \Diamond

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



いつの時代もキー・テクノロジーであり続ける 機械工学

今、産業界はめざましく変化しています。しかし、時代が変化しても、機械工学が産業を支えるキー・テクノロジーであり 続けることに変わりはありません。本専攻では、機械工学の柱となる材料力学、機械力学、熱力学、水力学などの専門科 目に加えて、機能性材料、宇宙工学、環境エネルギー工学などの先端的な講義や研究指導を行っています。また、時代 に対応して、常にカリキュラムを革新しています。

修士課程においては、高度な研究・開発を担うことのできる能力を、博士後期課程においては、独創的な研究能力を備え、より高度な研究・開発を担うことのできる能力を養成することが目標です。

幅広い視野を持ち、21世紀の産業と市民社会の期待に応え得る、技術のプロフェッショナルの育成を目指しています。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

機械工学に関する高度な専門知識を有し、かつ先端的、学際的な分野にも対応 し得る技術者および研究者の育成を目 的とする。そのため、自然科学の知識を 基礎にして、機械工学の専門分野を構成 する諸分野の基礎知識を全般的に習得 し、機械工学の発展に貢献することを強 く望む学生を受け入れている。また、特別 入試制度により、科学技術の急速な発展 に順応すべく再教育を望む社会人や、グ ローバル化の中で日本の先進技術の習 得を望む外国人も受け入れている。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

機械工学分野を構成する各専門分野の、高度で最先端の内容の講義科目を設置。さらに各分野で著名な学外からの講師の協力も得て、複数の専門分野を相互に応用した学際的領域の科目を多数用意している。これらの科目を修士課程(博士前期課程)で履修すると同時に、修士論文につながる専門性の高い研究に取り組む。また、博士後期課程では、機械工学分野の研究者として自立した環境の中で研究に取り組み、さらに学内外の研究活動を通じて豊かな学識を養う。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

機械工学分野を中心とした研究能力、また は高度の専門性を要する職業などに必要な 能力を身に付けた人材の養成を目的として いる。修士課程(博士前期課程)では、すべ てのものづくりの基盤となる機械工学に関す る高度な専門知識を有し、かつ先端的、学 際的な分野にも対応し得る柔軟で幅広い 視野を持った技術者を育成する。さらに博 士後期課程では、独創的な研究能力を備 え、高度な研究、開発を担うことのできる機 械技術者や研究者を養成する。

■研究室紹介

ターボ形流体機械の空気力学的性能の向上に関する研究



辻田 星歩 教授

航空用や発電用のガスタービンを構成する 翼列内の複雑な流れの挙動を解明

現代人の生活に欠かせない電気を作り出すガスタービンや、航空機の推進力を生むジェットエンジンは、化石燃料の枯渇化や二酸化炭素排出量削減などの環境問題に対処するために、さらなる性能の向上が急務とされています。当研究室では、これらを構成する圧縮機やタービン翼列の空気力学的性能の向上を目的に、その内部の複雑な流れの挙動を実験と数値解析により解明し、損失を低減させる方法を調査しています。また、自然災害時などの非常用電源や分散型発電システムとして、燃料多様性に富んだマイクロガスタービンは非常に有効であり、ガスタービンの小型化を目指した研究も行っています。

■ 学生・修了生の声

大学院で培った自主性と研究に対する責任感、 将来は世界のエネルギー産業の第一人者を目指す



西口 誠人

博士後期課程 2014年度修 了/千代田化工建設株式 会社

学んだこと・身についたこと

研究テーマ

小型軸流ファンの音質評価に関する研究

大学院では自由な時間が多くなり、学ぶゆとりと選択肢が多いことに魅力を感じました。私の例では先生にインターンシップ先を紹介していただき、実務を通してプレゼンテーション技術など仕事に必要になるスキルを習得したり、騒音関係の国家資格取得を通して専門性を身に付けることができました。その他にも海外留学などの選択肢もありますので、自身の目標に対し真っすぐに進める環境が整っているのが魅力です。

将来の目標

現在は千代田化工建設株式会社でエネルギーや化学関係のプラントを中心に振動問題のコンサルティングを仕事にしています。海外顧客を対象とすることも多く、文化や人間性の違いまで考慮して業務にあたることに苦労しますが、同時に世界中のエネルギー産業に大きく貢献できているやりがいも感じています。将来は世界中で仕事する技術コンサルタントになり、この業界の第一人者になりたいと考えています。

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
新井 和吉 教授	複合材料、宇宙構造材料、材料強度学、化学装置材料、数 值解析	耐スペースデブリ用軽量小型複合バンパの開発、 野球用ヘルメットとバットの耐衝撃性能	複合材料特論、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験 1/2
石井 千春 教授	制御工学、ロボット工学	内視鏡手術ロボットや筋電義手・パワーアシストスーツなどの医療・福祉工学に関連するロボットの研究・開発	機械力学特論、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験 1/2
川上 忠重 教授	燃焼工学、エネルギー変換工学	小型ディーゼル機関の植物油系混合燃料による 燃焼生成物低減に関する研究	燃焼工学特論、応用熱力学特論、環境エネルギー技術戦略特論、機械工学特別研究 1/2、機械工学特別実験 1/2
崎野 清憲 ^{教授}	材料強度学、衝擊工学、破壊力学、材料物性	構造材料の衝撃変形特性(金属、非金属の高速変形機構)、高分子系複合材料の衝撃損傷(損傷箇所の超音波深傷)	衝擊破壞工学特論、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験1/2
チャピ ゲンツィ 教授	制御工学、ロボット工学	人間支援ロボティクス、知的制御システムの研究・ 開発	制御工学特論、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験 1/2
塚本 英明 教授	耐熱材料、金属工学、マイクロ メカニックス	新構造・機能性材料の開発、傾斜機能材料、ヘテロ構造体の高温変形、マイクロメカニックスに基づく多相材料設計、塑性加工を活かした新材料開発	弾性学特論、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験1/2
辻田 星歩 教授	数值流体工学、流体機械	モデル流路によるターボ機械内部流れの損失生成 機構の解明、高負荷タービン翼列内の流れの解析、 遠心圧縮機羽根車内の流れの数値解析	流体力学特論1、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験 1/2
平野 利幸 教授	流体機械、流体工学	マイクロファンの内部流れおよび性能に関する研究、遠心圧縮機の内部流れと性能に関する研究、物体まわりの流れに関する研究	機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験1/2
平野 元久 教授	トライポロジー	ナノ摩擦系の理論・実験	摩擦の原子論特論、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験1/2
御法川 学 教授	音響工学、流体工学	小型ファンの静音化および音質向上、サイレンサ の性能向上、超小型ターボ機械の開発、小型航 空機に関する研究など	機械音響工学特論、航空機設計特論、機械工学特別研究 1/2、機械工学特別実験1/2
吉田 一朗 教授	設計工学、計測工学、トライボロジー、製品開発工学、生産技術、データサイエンス	表面性状・粗さ解析、精密計測ロボット、画像認識、画像処理、知能機械学、エモーショナルデザイン、生産管理に関する研究	精密工学特論、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験 1/2
相原 建人 准教授	機械力学、機構学	自動車用ねじり振動低減装置に関する研究、遊星歯車の高効率化・静粛化に関する研究、非線 形振動に対する理論解析法の構築	機械振動学特論、機械工学特別研究1/2、機械工学特別実験 1/2

設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 弾件学特論(2)
- 応力解析特論(2)
- 金属材料学特論(2)
- 耐熱材料特論(2)
- 応用塑性学特論(2)
- 材料強度学特論(2)
- 非金属材料特論(2)
- 複合材料特論(2)
- 精密機械特論(2)
- 制御工学特論 (2) ■機械音響工学特論(2)
- 熱動力特論 (2)
- 燃焼工学特論 (2)

- 伝熱工学特論 (2)
- 応用熱力学特論 (2)
- 流体力学特論1/2(各2)
- 流体機械特論1/2(各2) ■ 衝撃破壊工学特論 (2)
- 鉄鋼材料工学特論(2)
- ■機械技術英語特論(2)
- 人間・感性工学特論 (2) ■ 航空機設計特論(2)
- 宇宙飛行体特論(2)
- 資源環境物理学特論(2)
- ■極地環境学特論(2)
- 環境エネルギー技術戦略特論(2)

- 機械力学特論(2)
- 執・反応流体特論(2)
- 航空宇宙材料特論(2)
- 数値解析法特論(2)
- プロセス制御特論(2)
- 摩擦の原子論特論(2) ■機械振動学特論(2)
- 精密工学特論(2)
- 機械工学特別研究1/2(各3)
- 機械工学特別実験1/2(各2)

博士後期課程

- ヒューマンロボティクス 特別研究1/2/3(各3)
- ヒューマンロボティクス 特別実験1/2/3(各2)
- マテリアルプロセッシング
- 特別研究1/2/3(各3) ■ マテリアルプロセッシング
- 特別実験1/2/3(各2) ■ 環境・エネルギー
- 特別研究1/2/3(各3) ■ 環境・エネルギー
- 特別実験1/2/3(各2)

- 航空宇宙熱流体 特別研究1/2/3(各3)
- 航空宇宙熱流体 特別実験1/2/3(各2)
- 材料物性・強度 特別研究1/2/3(各3)
- 材料物性・強度 特別実験1/2/3(各2)
- デジタルエンジニアリング 特別研究1/2/3(各3)
- デジタルエンジニアリング特別実 験1/2/3(各2)
- 機械工学発展ゼミナール (2)

- 軽量金属製中空構造体のRB/GIFによる製作
- 静的引張りを付加した繰返しねじり下における環状切欠き材のひずみ集中評価法
- ■バードストライクにおける擬似鳥材料とCFRP損傷機構の検討
- HCCI機関の燃焼改善に関する研究-特に燃料性状の影響について-
- ■6自由度マニピュレータによる作業物体の3次元非把持搬送
- ■スモールファンの最適設計手法に関する研究
- SS400の高ひずみ速度域における変形応力のひずみ速度依存性
- 超高負荷タービン円環翼列の空力性能評価

理工学研究科

工学専攻電気電子

詳細はこちら



募集人員

修士課程50名/博士後期課程5名

キャンパス

小金井

主な進路

法政大学大学院博士課 程進学、ソニー、パナソ ニック、キヤノン、日立製 作所、三菱電機、NEC、 富士通、沖電気、ファナッ ク、オリンパス、京セラ、 ローム、日亜化学工業、 セイコーエプソン、TDK、 三菱ケミカル、NTTデー タ、NTTドコモ、KDDI、ソ フトバンク、トヨタ自動車、 本田技研工業、日産、ス バル、スズキ、ヤンマー、 東京電力、電源開発、JR 東日本、東武鉄道、JFEス チール、竹中工務店、野 村総研、スタンレー電気

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



現代の科学技術を支える先端技術を、 基礎から応用まで

マルチメディア、携帯端末、新世代コンピュータ、人工知能、ロボティクス、マイクロマシン、ナノエレクトロニクス、ニューマテリアル、地球にやさしいエネルギー、これらのキーワードはすべて電気電子工学と関連しています。本専攻では、回路、通信、エネルギー、制御、電子材料、電子物性などの電気電子工学分野に重点をおき、マイクロナノテクノロジー研究センターなどの最新設備を利用しながら、現代の科学技術を支える先端技術の基礎から応用までの研究教育を行っています。修士課程では、深い学識と、高度専門技術者に必要な能力を養うことを目標とし、社会に有益な先端技術として還元する能力を有する人材を育成します。博士後期課程では、豊かな学識を実際の研究成果に結実させることにより研究者養成を目標としています。毎年、国内外で数多くの論文を発表し、研究成果が社会に有益な技術として還元されることを目指しています。

■研究室紹介



鳥飼 弘幸 教授

生物模倣VLSIとその医療工学への応用に関する研究

生物が持つ高度な機能を再現する集積回路の設計と その医療工学への応用に取り組む

本研究室では、生物の高度な機能を再現できる大規模集積回路(VLSI)とその医療工学への応用に関する研究に取り組んでいます。例えば、生物の蜗牛は高度な非線形音声信号処理を行っていますが、本研究室では蝸牛の動作の仕組みを忠実に再現できるVLSIの開発に取り組んでおり、その人工内耳への応用を目指しています。また、生物の脳の高度な情報処理の仕組みを忠実に再現できるVLSIの開発に取り組んでおり、その神経補綴(機能を失った脳の一部の補完装置)への応用を目指しています。本研究室では、それらの先端的な研究テーマの推進も重視しますが、研究活動の経験を通して得られる理系人材としての基礎力の涵養も重視しています。

■ 学生・修了生の声



五味 頌子 修士課程 2020年度修了

医療や防犯などに応用が期待できる 人体に安全なテラヘルツ波を研究

私の研究

研究テーマ

テラヘルツ波帯における偏光子のシミュレーション研究

人体に安全なテラヘルツ波帯は、医療や防犯などの分野に応用が期待される 周波数帯です。テラヘルツ波帯の素子は温度によって出力の特性にばらつき が出るため、温度変化の影響を受けない偏光子の作製を目標に取り組んでい ます。またシミュレーションの解析時間が長くならないよう解析手法の開発も 進めています。

志望理由

幼少期から電子楽器を習っていたことから電子機器に興味があり、ハード・ソフト両面を学べる法政大学を選びました。学部の研究をもっと深めたいと思ったのが大学院の進学理由です。院に進んで大きく変わったのは、国内外を問わず学会参加の機会が増えたことです。発表資料の作成や実際の発表を通して、社会人としても通用する力が身についたと思います。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
伊藤 一之	教授	知覚情報処理・知能ロボティ クス、知能機械学・機械システ ム、システム工学	強化学習の汎化に関する研究、操作性を考慮したレスキューロボットの開発、生態心理学の自律ロボットへの応用	知能ロボット特論、知的制御特論、電気電子工学 特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2
岡本 吉史	教授	電気機器工学、電磁気工学	IPM モータの低損失・高出力化設計、各種モータの抜本的 構造最適化、強磁性体の磁気特性計測、永久磁石磁化分布 の非破壊逆推定、電磁気センシングを活用した電気自動車 の製作	電磁界数値解析特論、電気機器の数理最適化特論、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別映1/2
斎藤 利通	教授	非線形回路、ニューラルネット、群知能、パワーエレクトロニクス	動的パイナリーニューラルネットの解析とCPGへの応用、進 化的多目的最適化法のスイッチング電源回路への応用、スパ イキングニューラルネットによるリザーパコンピューティング	回路工学特論2、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2
柴山 純	教授	機能素子工学	テラヘルツデバイス、センサデバイスの開発、高効率差分時間領域法	情報通信工学特論、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2
鳥飼 弘幸	教授	複雑システム工学、知能システム工学	生物模倣ハードウェア、脳型コンピュータ、神経補綴デバイス、人工内耳デバイス、ゲノム医療支援用大規模シミュレータ	人工知能回路特論、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2
中村 俊博	教授	ナノ光物性工学	次世代発光デバイスへの応用に向けた半導体ナノ材料、半 導体ランダムレーザー、プラズモニクス発光制御、無機蛍光 体材料に関する研究	電子物性工学特論1/2、電気電子工学特別研究 1/2、電気電子工学特別実験1/2
安田彰	教授	電子回路工学、制御工学	通信・情報処理機能やインターフェイス機能等を半導体上に 集積するための基礎技術および応用技術についての研究、ス ビーカ、モータ等アクチュエータのデジタル直接駆動方式の 基礎技術および半導体を用いた実装技術の研究	回路工学特論1、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2
山内 潤治	教授	通信伝送工学、電磁波伝送工学	光波伝送工学、サブ波長光学素子の開発、表面波伝送素子の アンテナへの応用、光ナノアンテナ、メタサーフェスの電磁波通 信システムへの応用	通信伝送工学特論1/2、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2
笠原 崇史		ナノ・マイクロシステム工学	半導体微細加工・印刷技術を用いたマイクロ流体デバイスの 作製に関する研究、ウェアラブルディスプレイの創生に向けた 液体有機半導体・電気化学発光材料に関する研究	ナノマイクロシステム工学特論、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2
川口 悠子		米国現代史・日本現代史	第二次世界大戦 (特に広島の原爆被害)をめぐる歴史認識	科学技術文技法
中村 壮亮		知覚情報処理・知能ロボティ クス、無線送電・電力工学、シ ステム工学	人間拡張ロボティクスに関する研究 (VR身体への没入感向上、個人適合型のヘルスケア、ライフログによる知能増幅、科学的スポーツトレーニング)とその電源となる無線送電に関する研究(可変形コイル、漏洩磁界抑制、送電ロボット)	知能システム化技術特論、電気電子工学特別研究 1/2、電気電子工学特別実験1/2
西村 征也		プラズマ物理学、核融合工学	核融合プラズマにおける電磁流体力学的不安定性に関する研究、地球磁気圏におけるプラズマ波動とオーロラに関する研究	電磁力学特論、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2
佐々木 秀徳 専	壬講 師	電気機器設計最適化、機械学習、電磁界数値解析	機械学習を用いた電気機器設計技術に関する研究、トポロジー最適化を用いた設計自動化に関する研究、最適化探索アルゴリズムの高性能化に関する研究	電気機器の数理最適化特論、電気電子工学特別研究1/2、電気電子工学特別実験1/2

■ 設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 回路工学特論1/2(各2)
- 電磁波通信工学特論1/2(各2)
- 通信伝送工学特論1/2(各2)
- 電磁力学特論(2)■ 半導体デバイス工学特論1/2(各2)
- 電子材料工学特論1/2(各2)
- 電子物性工学特論1/2(各2)
- 知能ロボット特論 (2) 知的制御特論(2)
- 集積回路特論1/2(各2)
- 単導体工学特論(2)応用ナノマイクロデバイス特論(2)
- イオンビーム応用工学特論 (2) ■ 電力システム工学特論1/2(各2)
- パワーエレクトロニクス特論(2)
- 制御工学特論1/2(各2)
- 情報伝送工学特論1/2(各2)

- 応用数学特論(2)
- 生物模倣回路特論(2)
- 通信機器工学特論1/2(各2)
- 集積化光エレクトロニクス工学特論(2) オペレーティングシステム特論(2)
- マイクロ波トランジスタ工学特論 (2) 知能システム化技術特論(2)
- ロボティクス シミュレーション特論(2)
- 電気機器の数理最適化特論(2) ナノ材料工学特論(2)
- 機械学習特論(2)
- 光雷変換デバイス工学特論1(2)
- 電気化学エネルギー工学特論 (2)
- 生体センシング エレクトロニクス特論(2)
- マルチメディア通信特論 (2)

- 情報通信工学特論(2)
- 電子材料プロセシング (2)
- 電気電子工学特別研究1/2(各3)
- 電気電子工学特別実験1/2(各2)
- 人工知能回路特論(2) 電磁界数値解析特論(2)
- ナノマイクロシステム工学特論(2) ■ 知的情報処理特論1(2)
- ニューラルネットワークの 理論と応用(2)

博士後期課程

- 回路工学特別研究1/2/3(各3)
- 回路工学特別実験1/2/3(各2) ■ 通信工学特別研究1/2/3 (各3)
- 通信工学特別実験1/2/3 (各2)
- プラズマ工学特別研究1/2/3(各3)
- プラズマ工学特別実験1/2/3(各2)
- ナノマイクロシステム工学特別研究1/2/3(各3)
- ナノマイクロシステム工学特別実験1/2/3(各2) ■ 電子物性工学特別研究1/2/3 (各3)
- 電子物性工学特別実験1/2/3(各2)
- 制御工学特別研究1/2/3(各3)
- 制御工学特別実験1/2/3(各2)
- エネルギー工学特別研究1/2/3(各3)
- エネルギー工学特別実験1/2/3 (各2)

- 回路工学コアスタディ(2)
 - 通信工学コアスタディ(2)
 - マイクロ・ナノ工学コアスタディ(2)
 - エネルギー工学コアスタディ(2)
 - 制御工学コアスタディ(2) ■ プラズマ工学コアスタディ(2)

- Subgrid法を導入したFDTD法による光伝導アンテナの解析
- 三次元環境を移動可能な吸盤6脚ロボット
- ■デジタルスパイキングニューラルネットワークの同期現象と時系列近似
- 誘電体スロット導波路配列を利用した光学ミラー
- Motion-Less Virtual Reality における振動刺激による体性感覚フィードバック の有効性の検証
- 多孔質Siを原料としたSiナノ結晶コロイド粒子の高効率生成プロセスの開発
- ■温度計コード出力∆∑変調器による低ビット相互相関処理を用いた距離推定法
- 電磁気・構造連成トポロジー最適化による同期電動機の高トルク・高剛性化設 計に関する研究

詳細はこちら



募集人員

修十課程50名/ 博十後期課程4名

キャンパス

小金井

主な進路

トヨタ自動車、NTT東日 本、NEC、NTTコミュニ ケーションズ、リコー、 NTTデータ、ソフトバンク、 オリンパス、日本ヒューレッ ト・パッカード、セコム、 オービック、京セラなど

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



情報化社会の第一線を担う、 高度な技術者・研究者に

情報通信技術は、インターネットの爆発的な普及、それを支えるワイヤレス&ブロードバンドネットワークにより、急速に 発展し続けています。この技術は進歩が非常に速く、特に最近はクラウドコンピューティングによるイノベーション、デバ イスの高性能化、小型化によるIoT(Internet of Things)の普及、さらにはヒューマンインタフェースや画像処理応用技 術の高度化が急激に進行中です。本専攻はこのような技術を対象としており、「計算機工学」、「情報ネットワーク工学」 「情報処理工学」「人間情報工学」の4つの分野から構成されます。計算機工学」では、重要な基盤領域である計算機 の高速化、効率化、知能化を目指したアーキテクチャや、アルゴリズムおよびプログラミングが、「情報ネットワーク工学」 では、インターネットに代表される多数の計算機がネットワークを介して結合しWebなどを通じて情報処理を行う高度 なネットワーク技術が研究対象です。「情報処理工学」では、計算機やネットワークを利用した応用には欠かせない画 像処理や知能処理などの情報処理技術を、「人間情報工学」では、計算機をより使いやすく身近なものにするための人 間と計算をつなぐ技術を研究対象としています。本専攻では、応用情報工学分野の多彩な教授陣を有し、学会誌や国 際会議での論文発表なども活発です。昨今、マーケティング分野からの消費スタイルに合わせた場 (=コト) づくりの重 要性が指摘されています。「コトづくり」に適した「モノづくり」に携わるための幅広い専門基礎学力と独創的能力を持ち、 技術の発展に指導的役割を担う技術者・研究者の育成を目的としています。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

応用情報工学は、高度情報社会を支え る重要な基盤技術である。この基盤技術 の基礎を学んだ応用情報工学系の学部 卒業生、この分野で一定の勤務実績が ある社会人、および留学生などを受け入 れる。社会人、留学生に対しては特別入 学試験制度を設けている。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

研究分野は「計算機工学」「情報ネット ワーク工学」「情報処理工学」「人間情報 丁学」から構成されており、応用情報丁 学において実用的かつ高度なハードウェ アやシステムの開発の知識や技術を習得 し、研究能力を高められるように構成され ている。修士課程、博士後期課程ともに、 国内外の学会での研究発表、論文執筆 を積極的に奨励し、最先端かつ実践的 な活動を通じて指導を行っている。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

修士課程では、応用情報工学における学問 的な基礎だけでなく応用力やシステム開発 力を重視し、産業分野で実際に活用するた めの広い視野に立った学識と高い研究能力 を有することを基本方針としている。博士後 期課程では、自立して世界最先端かつ創造 的な研究活動を行うことができる高度な研 究能力と実践で通用する広い応用能力を有 することを学位授与の方針としている。

研究室紹介



平原 誠 准教授

脳の情報処理

工学的および心理学的アプローチによる 脳の情報処理の解明

歩行者や自動車が目の前を通過していくことは日常茶飯事です。その時、私たちの 脳は、目から入った情報をどのような仕組みで処理し、人や車の運動方向やスピー ド、位置を捉えたのでしょうか?目の前を通過した対象が人や車であると、どうやっ て認知したのでしょうか?見知らぬ人でも、最新の車であっても、脳は柔軟に処理す ることができます。このような、普段当たり前のようにして行われる高度で柔らかな情 報処理は、ロボットの脳であるコンピュータにとっては大変な難題です。本研究室で は、脳の情報処理の仕組みを工学的および心理学的なアプローチにより解明し、そ れに学んだ情報処理技術を開発することを目的とし、研究に取り組んでいます。

機械学習や画像処理などのAIを研究。 情報技術の可能性は無限大です



研究テーマ

機械学習によるメタヒューリスティクスのオンライン最適化

私はメタヒューリスティクスの1つであるレプリカ交換法のパラメータの逐次最適化に ついて研究しています。メタヒューリスティクスとは組み合わせ最適化問題において短 時間で良質の解を得る枠組みです。このような手法にはユーザが試行錯誤し設定しな ければならないパラメータの値が存在するため利用にはハードルがあります。そこで、 機械学習のアプローチからパラメータの値を逐次的に最適することを試みています。 解の探索をしながらパラメータの値を探索することで、アルゴリズムの利用障壁を下 げることが研究の狙いです。ゼミでは興味を持ったことに挑戦させてくれるため、同時 に複数の研究を進めることもあります。研究は発見が多く、楽しくてたまりません。

専攻の魅力

情報というとプログラミングをイメージしがちですが、脳の情報処理や人体通信、さ らにいま流行のAIまで多岐にわたる分野を学べることが専攻の特色です。私は機械 学習や最適化、画像処理などのAI領域を研究していますが、パソコンがあればどこ でも作業できる手軽さも魅力です。授業では実際に画像を使って課題や演習に取り 組みながら専門技術を養う科目もあり、充実しています。

■ 学生・修了生の声

土屋 遼太郎 修士課程 2020年度修了

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
赤松 茂	教授	画像認識・生成、感性情報学	画像認識・生成技術を応用したヒトに優しい ヒューマンインタフェースの開発、視覚に関わるヒトの感性情報処理の計測とモデル化によるヒューマンコミュニケーションメカニズムの解明、とくに、画像工学を応用してヒトによる顔認知のメカニズムを探る	感性情報処理システム特論1/2、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
彌冨 仁	教授	知的情報処理、機械学習、医用工学	人工知能技術および、その様々な領域への応用 (医療、農業、言語処理、エネルギーなど)	知的情報処理特論1/2、科学技術文技法、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
尾川 浩一	教授	画像工学	医学および工業への応用を目的としたトモグラフィー理論および画像工学理論の展開	画像工学特論1/2、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
金井 敦	教授	情報ネットワーク、セキュリティ	安心安全で便利なネットワークサービス技術の創 出を目的とした情報セキュリティ、ネットワークセ キュリティ、ネットワークサービス等の研究	通信ネットワーク特論1/2、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
品川 満	教授	情報通信工学、近距離通信	人にも地球環境にもやさしいIoTサービス実現に 向けた近距離通信技術の研究	無線ネットワーク特論1/2、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
藤井 章博	教授	分散システム設計論	電子商取引、Web知識処理、データ分析、サービスシステム工学	分散処理システム特論1/2、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
李磊	教授	コンピュータサイエンス	高速アルゴリズム、並列アルゴリズム、遺伝的アルゴ リズム、ニューロコンピューティング、強化学習アルゴ リズム等の設計、解析及び応用	離散アルゴリズム特論1/2、科学技術文技法、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
和田 幸一	教授	理論計算機科学	故障耐性の優れた並列分散システムの効率的設計、並列分散アルゴリズム、教育支援システム	計算機システム工学特論1/2、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
平原 誠	准教授	脳情報処理、視覚心理、最適化	運動視や記憶に関する工学的および心理学的研究、組合せ最適化 (メタヒューリスティクス)	脳情報処理特論1/2、応用情報工学特別研究1/2、応用情報工学特別実験1/2
周 金佳	准教授	画像処理、動画像圧縮、ハードウェア設計	リアルタイム低電力深層学習適用によるマルチメ ディアシステムの開発	デジタル画像と映像処理、符号化と情報理論、デジタルシステム設計、応用情報工学特別実験1、応用情報工学特別研究1、情報処理工学特別実験1、情報処理工学特別研究1

設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 離散アルゴリズム特論1(2)離散アルゴリズム特論2(2)
- 形式的設計特論1(2)
- 形式的設計特論2(2)
- 計算機システム工学特論1(2)
- 計算機システムエデ特論2(2) 計算機システム工学特論1(2) 通信ネットワーク特論1(2) 通信ネットワーク特論2(2) 分散処理システム特論1(2)

- 分散処理システム特論2(2)
- 無線ネットワーク特論1(2) 無線ネットワーク特論2(2)
- 情報信号処理工学特論1(2) 情報信号処理工学特論2(2)

- 画像工学特論1(2)
- 画像工学特論2(2)
- 知的情報処理特論1(2)
- 知的情報処理特論2(2) 感性情報処理システム特論1(2)
- 感性情報処理システム特論2(2)
- 脳情報処理特論1(2)
- 脳情報処理特論2(2)
- 画像解析特論(2) 応用信号処理特論(2)
- 学習アルゴリズム特論 (2)■ データマイニング特論 (2)
- 計算幾何学特論(2) ■ 自然言語処理特論 (2)

- プログラム意味論特論(2)
- Web サービス技術特論 (2)
- センサーネット特論 (2)インターネットとイノベーション特論 (2)
- 感覚・感性センシング特論(2)3次元モデリング特論(2)
- 視覚環境認識・理解特論 (2)
- ヒューマンインタラクション特論 (2)■ マルチモーダル情報処理特論 (2)
- 科学技術文技法 (2)ニューラルネットワークの理論と応用 (2)
- 深層学習の効果的処理 (2)
- 応用情報工学特別研究1/2(各3)
- 応用情報工学特別実験1/2(各2)

博士後期課程

- 計算機工学特別研究1/2/3(各3)
- 計算機工学特別実験1/2/3(各2)
- 情報ネットワーク 工学特別研究1/2/3 (各3)
- 情報ネットワーク 工学特別実験1/2/3(各2)
- 情報処理工学特別研究1/2/3(各3)
- 情報処理工学特別実験1/2/3(各2)
- 人間情報工学特別研究1/2/3(各3)
- 人間情報工学特別実験1/2/3(各2)
- 応用情報工学プロジェクト(2)

- 人体通信における歩行時過渡信号解析に関する研究
- Black-Scholes偏微分方程式の高速並列陰解法
- 表情表出に伴う顔の三次元形状の時系列データの分割と表情認識
- Research on Self-supervised Learning for Image/Video Compression
- 機械学習によるメタヒューリスティクスのオンライン最適化
- ■トピック分析を応用したブログ情報の解析とサービスへの応用に関する研究
- 深層学習技術を活用した植物病害自動診断

- AR環境におけるビジュアルプログラミングの研究
- 機械学習を用いたフォトンカウンティングCTにおける検出波形の歪み補正
- ■自律分散ロボット群に対するアルゴリズムに関する研究
- IoT環境における安全性を高めるセキュリティ制御の研究
- AR環境におけるビジュアルプログラミングの研究

専攻「創生科学系」システム理工学

詳細はこちら



募集人員

修士課程75名/ 博士後期課程4名 (創生科学・経営システム系の合計)

キャンパス

小金井

主な進路

パナソニック、三菱電機、 ニコン、富士ゼロックス、 横河電機、富士通、日立 製作所、大日本印刷、 KDDIなど

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



融合領域のシステムが未来を拓く

システム理工学専攻創生科学系には、物理科学、知能科学、人文社会科学の3つの科学系の最先端の領域、および各領域を体系的に関連付ける新たな枠組がある。創生科学系は理学、工学、人文社会科学の分野に貢献できる人材の育成を目的とする。学生は制御工学・通信工学・電気工学などの工学に基づいて科学技術原理を体系的に習得する。更に、数学・物理学・天文学等の理学的な視点、言語学・経済学・社会学・心理学等の人文社会学的な視点を有する。幅広い視点に基づいた問題解決型の技術者・研究者を育成する。物理科学系では宇宙や物質の普遍性を追求する電波天文学、重力波物理学、銀河天文学、原子物質物理学などを学ぶ。知能科学系では、理学と工学の研究成果を豊かな人間社会への還元を目的とする科学技術である人間工学、ソフトウエア工学、シミュレーション工学、ロボット工学、人工知能、情報工学、データ工学、ネットワーク工学などを習得する。更に、人間科学系では、人間を中心に据えた文系として科学する臨床心理学、応用経済学、文化人類学、言語学、英語教育法などを学ぶ。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

システム理工学専攻の修士課程においては、 理学、工学、人文社会科学など幅広い分野 の学識の習得を通じて、複雑な現象をシステムとして捉え、現実的な解を求める能力を 持った人材を育成することを目標としている。 そのため、数学、物理学、電気工学、情報学 など、広範な専門基礎学力の素養を備え、かつそれらを応用するシステム理工学分野、具体的には、物理科学、知能科学、人間科学などの分野で、未知の課題を積極的に解決できる専門的応用能力を有し、社会の発展および自然環境との共生を重視する高度な専門技術者・研究者を目指す学生を広く求める。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

システム理工学専攻創生科学系では、現象をシステムとして捉える能力を持つ技術者や研究者および社会などの現実の複雑な系を対象に、計算機の力を用いて現実的な解を求めることができる技術者や研究者の育成を目指している。そのために教育課程の編成には、物理科学、知能科学、人間科学に関して効果的に学べるようにカリキュラムを有機的に配置し、実施している。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

システム理工学専攻創生科学系では、修士 課程では、物理科学、知能科学、人間科学 などの幅広い分野の学識の習得を通じて、 複雑な現象をシステムとして捉え、現実的な 解を求める能力を持つ高度な職業人として の教養と専門応用能力を身に付けたと判断 できる者に対し、学位を授与する。また、博 士後期課程では、修士課程の能力に加え、 システム理工学的なアプローチで高度な研 究・開発を遂行できる能力および独創性を 持ち、研究者として自立して研究活動を行う 素養を持つと判断できる者に対し、学位を 授与する。

研究室紹介

数理論理学・形式言語理論と証明の形式化



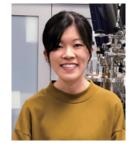
金沢 誠 教授

言語の数学から 証明プログラミングまで

数学の対象として抽象化された「言語」を研究する形式言語理論・数理論理学の分野を専門としています。これまで主に文法の数学的モデルや文法のアルゴリズム的学習の研究を行なって来ました。最近は、新しい数学の定理を証明するだけでなく、既存の離散数学の定理の証明をコンピュータで検証できる形に形式化する研究にも従事しています。証明の形式化は「証明プログラミング」とも呼ばれ、これを行うためのプログラミング言語が「証明支援系」です。証明支援系の設計は数学の基礎付けの問題と通じており、数理論理学の観点からも興味深い対象です。

学生・修了生の声

研究の最前線で学べる魅力 専門の枠を越えた知見も得られます



竹内 由衣花 修士課程 2020年度修了

現在の学び

研究テーマ 超流動へリウム中原子周囲に形成される バブルのダイナミクス

レーザーの光を用いて、目に見えない原子の物理を研究しています。所属する研究室は理化学研究所と共同研究を行っていて、最先端の研究現場で実際に手を動かしながら学べることが魅力です。学会や討論会などに参加する機会も多く、多くの人の意見や異なる視点を得られる発表の場があることに、研究に携わる者としてやりがいを感じています。

専攻の魅力

自然科学に加え、知能系や人文系といった幅広い研究室から興味のある講義を受講することができます。異分野の話に刺激を受けることも多く、専門の枠を越えてさまざまな知見が得られます。また、伝える相手や状況によって、自分の研究内容を的確に説明する力もつきました。後輩にも教える楽しさを感じています。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
伊藤 隆一	教授	パーソナリティ、産業心理学、 臨床心理学	投影法やビジネスゲームを用いたパーソナリティ、 職業適性の研究など	産業人間科学特論1/2
春日 隆	教授	電波天文学、高感度電磁波検 出技術の開発	電波や光による自然現象観測	電波計測光学特論1/2、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
金沢 誠	教授	数理論理学、形式言語理論	形式言語のアルゴリズム的学習の理論、非古典 論理、数理言語学、定理証明支援系による証明 の形式化	応用論理・数理言語学特論1/2、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
呉 暁林	教授	応用経済学、産業分析、デジタル経済(電子商取引ECなど)	産業発展の経路依存と経路変更、経済のサービス化・情報化に伴う生産・流通・販売の変化	産業経済分析特論
小林 一行	教授	センシング工学、センサ信号処理	屋外環境における環境認識、自律走行	知能化センシングシステム特論、センサ信号処理特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
佐藤 修一	教授	重力波物理学、相対論実験	レーザー干渉計、精密測距、重力波物理学、量子 光学	時空間物理学特論1/2、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
塩谷 勇	教授	グラフ文法、時系列処理、人 工知能	マルチエージェントの協調動作について	言語科学特論2、エージェント科学特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
鈴木 郁	教授	人間工学	センサーや機械学習を用いた見守り機器、生理指標による負担評価、高齢者向けの音声加工など	人間工学特論、生体情報信号処理特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
梨本 邦直	教授	言語学、アイルランド語	音響音声学、認知意味論、アイルランド語文学、アイルランド語歴史言語学	言語科学特論1
福澤 レベッカ	教授	文化人類学、教育社会学	教育と社会階層	フィールドワーク特論、科学技術英語表現
堀端 康善	教授	数値シミュレーション工学、数 値解析、非線形最適化	数値シミュレーション (差分法、格子ボルツマン法)、データ同化、非線形最適化	計算工学特論 1/2、システム理工学特別研究 1/2、システム理工学特別実験 1/2
松尾 由賀利	教授	レーザー分光、原子分子物理 学、量子エレクトロニクス	精密レーザー分光を用いた原子分子物理と原子 核への応用	量子エレクトロニクス特論、原子分子物理特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
三浦 孝夫	教授	データ工学	データベース理論、データマイニング、機械学習・ 知識獲得と知識処理	データサイエンス特論、システム理工学特別研究1/2、システム 理工学特別実験1/2
柴田 千尋 #	 主 教授	人工知能、深層学習、統計的 機械学習	深層学習の基礎と応用、自然言語処理、画像認識・生成、統計的機械学習、深層表現学習	システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
田中 幹人 #	 主 教授	観測的銀河考古学、天文文化論	すばる望遠鏡を用いた近傍銀河の構造と形成進 化の解明、天文学を軸にした福岡県八女市星野 村活性化プロジェクト	銀河考古学特論、天文文化特論、システム理工学特別研究 1/2、システム理工学特別実験 1/2
柳川浩三 #	 主 教授	応用言語学	第2言語リスニング分析、内容言語統合型指導法、タスク中心指導法と学習者心理	言語能力評価特論

設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 計算工学特論1(2)
- 計算工学特論2(2)
- 言語科学特論1(2) ■ 言語科学特論2(2)
- エージェント科学特論 (2)
- 分散システム特論1(2)
- 分散システム特論2(2)
- 応用論理·数理言語学特論1(2) 天文文化特論(2)
- 応用論理・数理言語学特論2(2)■ リスクマネジメント特論(2)
- データサイエンス特論(2) ■ 最適制御特論(2)
- システム・モデリング特論(2)
- 知能化センシングシステム特論 (2) 最適化特論1(2)
- センサ信号処理特論(2)
- 電波計測光学特論1(2)
- 電波計測光学特論2(2)
- 時空間物理学特論1(2)
- 時空間物理学特論2(2) 銀河考古学特論(2)

- 水環境特論(2)
- 量子エレクトロニクス特論 (2)
- 原子分子物理特論(2)

- 最適化特論2(2)
- 人間工学特論(2)
- 生体情報信号処理特論(2)
- 産業人間科学特論1(2)
- 産業人間科学特論2(2)
- 産業経済分析特論(2) ■ フィールドワーク特論(2)
- 言語能力評価特論(2)
- 科学技術英語表現(2)
- 知識獲得特論(2)
- インテリジェントセンシング (2)

- システム診断特論(2)
- 人工知能特論(2)
- 電子回路特論(2)
- 相対性理論(2)
- ■標準計測特論(2)
- 固体物性応用(2)
- 量子物性デバイス(2)
- 固体物理学特論(2)
- システム理工学特別研究1/2(各3)
- システム理工学特別実験1/2(各2)

博士後期課程

- 計測システム特別研究1/2/3(各3)
- 計測システム特別実験 1/2/3 (各2)
- 数理科学特別研究1/2/3 (各3)
- 数理科学特別実験1/2/3(各2) ■ 制御システム特別研究 1/2/3 (各3)
- 制御システム特別実験 1/2/3 (各2)
- 計算工学特別研究1/2/3(各3) ■ 計算工学特別実験1/2/3(各2)
- 物質科学特別研究1/2/3(各3) ■ 物質科学特別実験1/2/3 (各2)
- 水工学特別研究1/2/3 (各3) ■ 水工学特別実験1/2/3 (各2)
- 人間システム特別研究 1/2/3 (各3)
- 人間システム特別実験1/2/3(各2) ■ 応用統計工学特別研究1/2/3(各3)
- 応用統計工学特別実験1/2/3(各2)
- 創生科学博士プロジェクト(2)

- 新聞記事におけるトピック検出と局面追跡に関する研究
- A Reliable and Energy-Efficient One-to-one Ad-Hoc Routing Protocol
- IGVC Auto-Nav challengeのための全方位画像を用いた白線認識および Navigation用 ROS componentsの開発
- 小型のデプスカメラを用いた覚醒度低下検出

- 市販カメラを用いた、大気エアロゾルの光学的厚さ観測の可能性
- 超流動ヘリウム中Ag原子の超微細構造間隔測定
- ■確率的移動マルチエージェントの加速的協調について
- ■量子非破壊測定に向けたリング共振器型変位雑音フリー干渉計の開発
- ■1方程式SGSモデルを用いた格子ボルツマン法による乱流の数値シミュレーション

理工学研究科

経営システム系

詳細はこちら



募集人員

修十課程75名/ 博十後期課程4名 (創生科学・経営システム系の合計)

キャンパス

小金井

主な進路

アズビル、横河電機、三 菱自動車工業、パナソ ニック、日立製作所、ニコ ン、ソフトバンクグループ 通信など

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



ヒト・モノ・カネをつなぐ「システム」で、 無限の可能性を拓く

システム理工学専攻経営システム系では、社会のあらゆる組織の経営に必要とされる能力である、「現状を客 観的に理解し、常に新しい事業を計画立案し、実施する」ことができる人材の養成を目的としています。その ための基礎になる数理モデルの構成と適用と評価を、理工学的アプローチで研究します。

物事のメタなることを捉えるために、対象をシステム的に分析・理解し、さまざまな要素を結合し、今までにな かったシステムの構築方法を習得した研究者と、市民としての教養を身に付けた独創性に優れる技術者を養 成します。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

複雑なシステムを分析の対象とするため、 理学、工学、社会科学にわたる幅広い基 礎的知識を有する、あるいはそれらに興 味を持つ学生の入学が望ましい。急速に 変化、進歩する技術とその限界を理解 し、社会や企業の要請に応えられるプロ ジェクトを創り出し、その運営のシステム を構築し、最適なマネジメントを編み出す 能力も求められる。また、広範な人材の 確保という観点からも、社会人の特別入 学制度を設けている。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

複雑なシステムを数理的、工学的に分析 から最先端の応用に至る広範な内容を 取り扱う講義項目を設けている。博士後 期課程については、人間システム、応用 統計工学、応用数理工学、応用経済分 析の分野について高度な研究能力を養う ことを目的にカリキュラムを構成している。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

企業、社会などの複雑なシステムを対象に するため、修士課程では数学などの基礎 適切なマネジメントのあり方を探求する。そ のためには、システムの数理的構造を理解し た上でモデルを構築し、法や制度、財務など の諸制約のもとで最適な解を導くことが必 要となる。修士課程では、実際のシステムに 関する現実的な解を求めていくセンスを有 する管理技術者としての能力を得ているこ と、博士後期課程では、専門領域において 独創的な工夫と創造で解を求めることがで きる自立的な研究者となることを、学位授与 の基本方針とする。

研究室紹介

離散最適化における数理構造の解析とアルゴリズム設計



高澤 兼二郎 准教授

数理的な理論を現実の諸問題に適用する

離散最適化は、カーナビのルート探索や学生・研究室間のマッチングなど、日常 の中で自然と現れる問題である。本研究室では、見かけ上は異なる離散最適化問 題が共通して背景にもつ数理的な構造を見出すこと、および、その構造を用いて汎 用性が高く性質の良いアルゴリズムを設計することを研究テーマとしている。具体 的には、グラフ構造におけるマッチング、マトロイド、ポリマトロイド、離散凸解析に 関する理論を専門とする。さらに、これらの理論を、巡回セールスマン問題など応 用上重要な問題や、ゲーム理論などの近接分野に適用する研究も行っている。

学生・修了生の声

研究や国内外での学会発表を通じて 多くの新たな発見が得られます



佐藤 大地 修士課程 2019年度修了

私の研究

研究テーマ

フォワードパフォーマンス過程を用いた最適投資戦略

確率解析を用いた最適投資戦略に関する研究を行っています。最適投資戦略におけ る最適性の定義は一般に期待効用最大化理論を用いて議論されます。しかし、この 定義に対するアプローチにはいくつかの問題点があるとされています。そこで新たな 最適性の定義のもとでより実務に適したモデルを考え、最終的にそのモデルの特徴 や問題点を解明していきます。

大学院の魅力

大学院では研究がメインになるため、一つの問題を深く掘り下げて考えることがで きます。最新の動向を追って様々な論文を読み、どのように自分の研究に活かしてい くか試行錯誤を繰り返す中で多くの学びを得ました。また国内外での学会発表を経 験することもできます。他の研究者との意見交換を通じて新たな発見もでき、研究 のモチベーションにもつながります。

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
礒島 伸 救授	非線形可積分系	超離散化法を用いたセルオートマトンの研究	関数解析特論 1/2、システム理工学特別研究 1/2、システム理工学特別実験 1/2
木村 光宏 教授	信賴性工学、品質管理工学	依存故障解析に関する研究、信頼性解析に対する 機械学習アプローチ	信頼性工学特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
五島 洋行 教授	オペレーションズ・リサーチ、 経営数理工学	離散事象システムの最適制御とそのスケジューリング問題、時空間データの効率的な格納と計算	数値計算法特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
寺杣 友秀 教授	数論的代数幾何、ホッジ理論	代数幾何の不変量として現れる種々のコホモロ ジーの研究とその数論的応用	符号理論特論 1/2、システム理工学特別研究 1/2、システム理工学特別実験 1/2
中村 洋一 教授	経済工学	実証応用経済、国民経済計算	計量経済学特論、応用経済分析特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
宮越 龍義 教授	応用金融分析	金融システムのグローバル化と世界的金融危機	公共経済学特論、応用金融分析特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
髙澤 兼二郎 准教授	数理計画、離散最適化	離散最適化アルゴリズムの設計、離散システムに おける数理構造の解析	離散最適化特論1/2、システム理工学特別研究1/2、システム 理工学特別実験1/2
田村 信幸 准教授	確率システム解析、オペレー ションズ・リサーチ	マルコフ決定過程を用いた最適保全政策の解析、 劣化モデルの統計的推測	オペレーションズ・リサーチ特論1、確率システム解析特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
千葉 英史 准教授	オペレーションズ・リサーチ	Just-In-Timeスケジューリング、製造ラインの効率 化、施設配置問題に関する研究	オペレーションズ・リサーチ特論2、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2
安田 和弘 准教授	確率解析、数理ファイナンス	確率解析を用いた数理ファイナンスやその周辺に 関する研究	確率過程特論 1/2、システム理工学特別研究 1/2、システム理工学特別実験 1/2
作村 建紀 專任講師	社会システム工学・安全システム、統計科学	加速寿命試験データと蓄積疲労の数理モデル、 双方向性を持つ適応型CBTによる能力評価とそ の試験システムの実装	生産情報特論
林 俊介 教授	連続最適化、均衡問題	連続最適化アルゴリズムの設計、均衡問題に対する最適化アプローチ	最適化ファイナンス特論、システム理工学特別研究1/2、システム理工学特別実験1/2

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 関数解析特論1(2)
- 関数解析特論2(2)
- 確率過程特論1(2)
- 確率過程特論2(2)
- 数値計算法特論(2)
- ファイナンス理論特論 (2)
- デリバティブ理論特論(2)
- オペレーションズ・リサーチ特論1(2)
- オペレーションズ・リサーチ特論2(2)
- 計量経済学特論(2)
- 確率システム解析特論(2)
- 生産情報特論(2)
- 信頼性工学特論(2)
- 応用経済分析特論(2)符号理論特論1(2)
- 符号理論特論2(2)
- 公共経済学特論(2)
- ■応用金融分析特論(2)

■ 離散最適化特論1(2)

- 離散最適化特論2(2)
- 先端経営科学特論(2)
- システム理工学特別研究1(3)
- システム理工学特別研究2(3)
- システム理工学特別実験1(2)
- システム理工学特別実験2(2)

博士後期課程

- 数理科学特別研究1/2/3(各3)
- 数理科学特別実験1/2/3 (各2)
- 応用統計工学特別研究1/2/3(各3)
- 応用統計工学特別実験1/2/3(各2)
- 応用数理工学特別研究1/2/3(各3)
- 応用数理工学特別実験1/2/3 (各2)
- 応用経済分析特別研究1/2/3(各3)■ 応用経済分析特別実験1/2/3(各2)
- 経営システム工学コアスタディ(2)

- GMDHを用いたソフトウェアプロジェクトデータに関する予測
- HOGと深層学習を用いた名刺項目の識別
- ■ファン・デル・ポール方程式の符号付き超離散化について
- 整数計画を用いたパートタイム労働者のスケジューリング
- ディスカウントキャッシュフロー法によるCDSの信用評価調整
- 二項モデル下でのモデルリスクを考慮したDPとPFPPでの期待効用の比較

理工学研究科

応用化学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程30名/ 博士後期課程3名

キャンパス

小金井

主な進路

TDK、YKK、出光興産、エステー、オルガノ、京セラ、日産自動車、スズキ、大日本印刷、三井ホーム、三菱マテリアル、明電舎、ヤマザキナビスコ、産業技術総合研究所など

(

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



最先端化学を学び、持続的社会構築に 貢献できる研究開発者・技術者を育成する

現代における重要課題である環境問題の解決や新素材開発において、応用化学の果たす役割は大変重要性を増しています。地球環境における物質循環や生体への影響を俯瞰的に捉え、環境に関わる諸問題に対する化学的アプローチを習得し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材が求められています。

本専攻は、物質の持つさまざまな機能の探求と新規機能性物質の創製を目指す「物性化学分野」低環境負荷型機能性材料の開発を目指す「材料化学分野」環境に調和する化学プロセスの開発を目指す「化学工学分野」人間および地球環境の保全や地球資源の有効利用の観点から化学的解決を目指す「環境化学分野」の4研究分野を設置し、化学の諸問題について自ら課題を発見し解決する意欲のある人、化学に関する深い知識および応用技術を身に付け、持続的社会の構築に貢献することができる能力の習得を目指す人を求めています。修了後は、製造業を中心として幅広い産業界および研究機関等において化学の専門的な能力を生かして持続的社会の構築に貢献できる研究開発者技術者としての活躍が期待されます。

■研究室紹介



渡邊 雄二郎 教授

グリーンサステイナブルケミストリーに取り組む!

環境に優しい循環型高機能性材料の開発を目指して

本研究室では、先端化学を基礎として個々の環境問題を的確に把握すると 共に対象汚染物質の除去に適した環境に優しい高機能性材料の開発を 行っています。特に着目している材料がナノ細孔を有する無機イオン交換体 のゼオライト、層状複水酸化物、粘土鉱物です。これらの材料はケイ素、アル ミニウム、酸素、ナトリウム、マグネシウムなど地球表面に豊富に存在する無 害な元素から構成され、基本構造を保持したまま有害物質を除去できる循 環利用可能な材料です。現在、これらの材料の機能を十分に発揮できるよ う基本構造やイオン種の制御など材料物性に関わる基礎研究から機能性 材料とのナノ領域での複合化などの応用研究まで幅広く取り組んでいます。

■ 学生・修了生の声



山田 賢吾 修士課程 2020年度修了/ 野村マイクロ・サイエンス株式会社

化学を用いて社会に貢献する力を。 工学と医学の連携により選択肢も広がる

専攻の志望理由

研究テーマ

光酸発生剤を内包したpHに応答するハイドロゲルを用いた薬物の制御放出

化学工学をベースに有機化学や分析化学といった化学の専門性を高め、それらを応用・活用する力を修得するべく本専攻を志望。研究室では化学工学を生体系に応用する方法を学び、ハイドロゲルを用いた製剤の開発研究でも化学工学の視点でデータを解析しています。医学と工学を連携させることで新たな選択肢が増え、新しい発見を求めるなかで充実した研究室ライフを送りました。

メッセージ

化学にはさまざまな分野がありますが、本専攻では先生方の丁寧なサポートはもとより最先端の設備が整っており、どんな研究に打ち込むにも最高の環境です。学会発表の機会も多く、私も英語力やプレゼンテーション能力が格段に向上しました。何より化学を用いて社会に貢献する力が養われます。

専任教員		専攻	研究テーマ	主な担当科目
明石 孝也	教授	無機材料化学、固体電気化学	高温用構造材料の耐久性向上、レアメタルの分離・ 回収技術の開発、高温用強誘電体材料の開発	無機反応化学特論、応用化学特別研究1/2、応用化学特別実験1/2
石垣 隆正	教授	無機合成化学	プラズマ、超音波などの化学プロセスを利用したセラミックス・金属ナノ粒子の環境低負荷合成、ナノ粒子を分散した光・電子・磁性機能材料の作製	無機合成化学特論、高機能セラミックス特論、応用化学特別研究1/2、応用化学特別実験1/2
緒方 啓典	教授	物性化学、機械性材料化学	低環境負荷型高機能性ナノマテリアルの開発とデバイス応用、各種分光学的手法を用いた機能性物質の物性解明	固体分光学特論、先端材料物性特論、応用化学特別研究1/2、 応用化学特別実験1/2
河内 敦	教授	有機典型元素化学、有機金属 化学	主に1、2、13および14族を中心とした新規有機 典型元素化合物の合成、新規反応の開拓、機能 発現および有機合成化学的利用	有機化学反応特論、有機合成化学特論、応用化学特別研究 1/2、応用化学特別実験1/2
杉山 賢次	教授	高分子合成化学、有機合成化 学	環境応答性インテリジェント・マテリアルの開発、 リビング重合法による新規官能基化ポリマーの精 密合成	高分子合成化学特論、高分子設計特論、応用化学特別研究 1/2、応用化学特別実験1/2
髙井 和之	教授	物性物理化学	π共役物質と異種元素の間における界面相互作用を用いた環境・エネルギー材料の開拓、軽元素を用いた空間空隙制御による次世代型の磁性体・触媒の創製	分子シミュレーション特論、分子分光学特論、応用化学特別研究1/2、応用化学特別実験1/2
森 隆昌	教授	化学工学、粉体工学	新規スラリー評価技術の開発及び各種湿式成形 プロセスの最適化、粒子状物質の新規濡れ性評 価技術及び装置の開発、直流電場を利用した液 中粒子の凝集・分離技術及び装置の開発	化学装置物性特論、分離工学特論、応用化学特別研究1/2、 応用化学特別実験1/2
山下 明泰	教授	生体化学工学	物質移動論に基づく各種人工職器の設計、製作、 評価、膜透過理論に基づく新規ドラッグデリバリー システムの構築	物質移動特論、反応工学特論、応用化学特別研究1/2、応用 化学特別実験1/2
渡邊 雄二郎	教授	環境化学、環境材料化学	環境水の分析と資源循環型機能性材料による水 質浄化、無機複合体を用いた放射性物質の回収と 長期安定化システムの開発、ゼオライト等無機多孔 体を用いた環境保全型農業システムの開発	環境科学特論、水環境工学特論、応用化学特別研究1/2、応 用化学特別実験1/2
小鍋 哲	准教授	物性理論	ナノカーボン材料や原子層材料の電子・光物性 の解明、新規なエネルギー変換機構の開拓	フロンティア化学特論A/B

設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 分子シミュレーション特論 (2)
- 分子分光学特論(2)
- 固体分光学特論(2)
- 先端材料物性特論(2)
- 高分子物理化学特論(2)
- ■無機合成化学特論(2)
- 高機能セラミックス特論 (2)
- 有機化学反応特論(2)
- 有機合成化学特論 (2)
- 高エネルギー反応場特論 (2)
- ■無機反応化学特論(2)
- 高分子合成化学特論 (2)

- 高分子設計特論 (2)
- 化学装置物性特論(2)
- 反応工学特論 (2)
- 物質移動特論 (2)
- 分離工学特論 (2)
- 微粒子材料工学特論(2)
- 結晶化学工学特論 (2)
- 水環境工学特論(2)
- 環境計測特論 (2)
- 環境衛生学特論 (2)
- 環境科学特論 (2)
- 起業特論(2)

■ Conference presentation ■ 応用化学

- in Applied Chemistry (国際会議化学英語表現法) (2)
- フロンティア化学特論A (2)
- フロンティア化学特論B(2)
- コンピュータ利用化学特論 (2)
- 科学プレゼンテーション演習(2)
- サステイナビリティ研究入門A (2)
- サステイナビリティ研究入門B(2)■ 応用化学特別研究1/2(各3)
- 応用化学特別実験1/2 (各2)

博士後期課程

- 応用化学発展ゼミナール (2)
- 先端応用化学特別研究1/2/3(各3) ■ 先端応用化学特別実験1/2/3(各2)

- 直流電場による粒子凝集技術を用いた連続式固液分離装置の開発
- 自発分極方向の異なる酸化亜鉛/金属接合の作製とその評価
- [β-(tert-ブトキシ) ジシラニル] リチウムを用いた官能性オリゴシランの合成
- PCL・PLAを含む生分解性Architectural polymerの合成
- ■脱バインダー過程における昇温速度がBaTiO3スラリー成形体の焼結特性に及ぼす影響
- 腹膜透析を模倣した新規携帯型血液浄化デバイスの開発
- 酸化グラフェンの化学構造と触媒活性との相関
- ハロゲン化鉛ペロブスカイトナノ結晶薄膜を用いた太陽電池の作製と特性評価

生命機能学専攻

詳細はこちら



募集人員

修士課程40名/ 博士後期課程4名

キャンパス

小金井

主な進路

化学・食品・製薬・農薬 メーカー、造園会社、国家 公務員・研究員・技術員・ 科学ジャーナリストなど

(

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



理学と工学を融合した 最先端の生命科学を展開

ヒトを含めた様々な生物の全ゲノム構造の解明が進み、21世紀の生命科学はまさに新しい時代を迎えています。蓄積された膨大な知見の上に立った新しい発見が続き、医学・薬学・農学・工学分野との連携は大きく発展しつつあります。こうした時代においては、自ら課題を設定しそれを追求できる能力をもつ自立した人材が、以前にも増して必要とされています。

本専攻では、微生物・植物・動物の個々の分子や細胞のふるまいから高次の生命現象を理解する生命科学、「生命機能学」を学修するカリキュラムが設定されています。それらを基盤に、ゲノム機能・タンパク質機能・細胞機能・生命システム・基盤植物医科・実践植物医科という6つの分野を中心とする教育・研究を行います。これによって、高い専門性はもとより、広い視野と教養、学際的な知識、高度な技術を身に付けた研究者・職業人を養成し、最先端の生命科学研究を推進すること、大きな社会貢献を果たすことが目標です。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

修士課程では以下に示す学生を受け入れます。

- 1. 生命機能学研究に必要な基礎学力をもつもの
- 2. 当該専門分野における知識と技術を学ぶために、一定以上の英語および日本語の運用能力を有するもの
- 3. 高い志と粘り強さで高度な専門技術者や研究者を目 指す意欲あるもの

博士後期課程では以下に示す学生を受け入れます。

- 1. 生命科学・植物医科学全般の基礎学力を有するもの
- 2. 生命機能学の特定の専門領域における研究実績を有するもの
- 3. 当該分野の研究に必要な英語および日本語の運用能力を有するもの
- 4. 高い志と粘り強さで高度な専門技術者や研究者を目 指す意欲あるもの

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

基礎学力を習得することを目標とし た「基幹科目群」、専門知識と技術 を身につけるための「発展科目群」、 そして所属研究室における研究活 動や学会活動を通じて技術者・研 究者として積極的に社会参加する 能力を身につけるための「特別実 験」と「特別研究」によってディプロ マ・ポリシーを達成します。博士後 期課程では、複数の教員が提供す る課題への対応や研究課題に対す る質疑応答を行う「発展ゼミナー ル」、および学位論文の執筆とそれ につながる関係学会での研究成果 の対外発表を行う「発展特別実験」 「発展特別研究」によってディプロ マ・ポリシーを達成します。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

生命機能学の専門知識の習得専 攻分野に必要とされる専門知識と 技術を身につけていること、学位 論文執筆の過程を通じて研究内 容を自身の言葉で論理的に表現 できる能力を身につけていること、 所属研究室における研究活動や 学会活動を通じて技術者・研究 者として積極的に社会参加ができ ること、これらを満たす者に修士 (生命科学)を授与します。博士後 期課程では上記に加え、高度な研 究企画力を有すること、自立して 研究・開発を実践できること、高 度な技術者・研究者として国際社 会においても活動できること、これ らを満たす者に博士 (生命科学) を授与します。

研究室紹介

土着天敵や有用植物を活用した害虫管理の発展を目指す



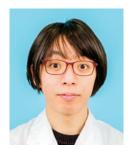
大井田 寛 教授

身近な生態系と植物の力を解明し 農業と食の未来に貢献

植食性の昆虫やダニ類は農作物の減収をもたらす大きな原因の一つであり、近年は物流のグローバル化による新害虫の侵入や温暖化による生息域の変化も頻発しています。一方、多くの場面では害虫の「根絶」は現実的ではなく、実害を回避しながら虫たちと共存できるような対策が求められます。我々は、その手段として有望視される「害虫の土着天敵」や、昆虫の活動に対して様々な形で作用する「有用植物」の特性や能力を明らかにし、それらの利用技術の開発、確立を目指した研究に取り組んでいます。未活用の土着天敵や有用植物の力を引き出し、これらを上手に取り入れた害虫管理の方法を見出して、農業と食の未来に貢献することが目標です。

学生・修了生の声

新薬開発を通して病に苦しむ患者と社会に貢献したい



江村 光司 修士課程 2020年度修了/ パレクセル・インターナショ

ナル株式会社

私の研究

研究テーマ

アガロース微細加工技術を用いた環状心筋細胞ネットワークによる 伝導異常モデルの構築

不整脈は心臓の電気信号の異常によって起こる致死的な病気の一つです。しかし異常発生の詳しい仕組みはまだ明らかになっていません。研究では実際の心臓を模した細胞ネットワークを作製し、生体内で起こる現象を細胞レベルで再現することによって、伝達異常や不整脈を引き起こす詳しいメカニズムの解明をめざしました。

将来の夢

新薬の開発を通して多くの患者さんや社会に貢献することです。その一歩として、医薬品の臨床開発に携わる企業で臨床開発職として働いています。専攻を志望したのは、より高度な研究活動や学会でのディスカッションを経験したいと考えたから。 培った論理的思考力や物事を多面的に見る力を新薬開発に役立てていきます。

+ 1/ +1- 1			TT ch =	2.6.10.10.10
専任教員			研究テーマ	主な担当科目
金子 智行	教授	生物物理学、細胞生物学	細胞間コミュニケーションと集団化効果および人工脂質膜小胞を用いた人工細胞の構成的構築に関する研究	細胞生物学特論、生命機能学演習1、生命機能学特別研究 1/2、生命機能学特別実験1/2
川岸 郁朗	教授	分子生物学、生物物理学	細菌の環境応答センサーが刺激を感知するメカニ ズム、およびセンサーを含む超分子システムによる 情報伝達のメカニズムを分子レベルで解明する	生命システム工学特論、生命機能学演習2、生命機能学特別研究1/2、生命機能学特別実験1/2
佐藤 勉	教授	分子生物学、ゲノム生物学	細菌の細胞分化におけるDNA再編成のメカニズムおよび細胞分化の遺伝子ネットワークの全体像を解明する	ゲノム科学特論、生命機能学演習1、生命機能学特別研究1/2、 生命機能学特別実験1/2
常重 アント	二才 教授	生物物理化学、蛋白質科学、 生体分子分光学	蛋白質問、蛋白質-低分子相互作用の熱力学。高 分子クラウディング環境における生体高分子の構 造-機能相関。蛋白質における水和、溶媒の影響	蛋白質工学特論、生命機能学演習2、生命機能学特別研究 1/2、生命機能学特別実験 1/2
廣野 雅文	教授	細胞生物学、分子生物学	中心子と繊毛がもつ普遍的構造の構築機構、中心子の細胞分裂における機能発現機構、繊毛の 運動発生機構の研究	生命システム科学特論、生命機能学演習1、生命機能学特別研究1/2、生命機能学特別実験1/2
水澤 直樹	教授	光合成生物学	酸素発生型光合成装置の構造と機能、光合成装 置の安定化・アセンブリーのメカニズムの分子レ ベルでの解明	細胞工学特論、生命機能学演習2、生命機能学特別研究1/2、 生命機能学特別実験1/2
山本 兼由	教授	分子生物学、ゲノム生物学	環境変化に伴った多様な細菌適応能力について、 ゲノム機能の発現ネットワークを中心にその仕組 みを解明する	ゲノム工学特論、生命機能学演習2、生命機能学特別研究 1/2、生命機能学特別実験1/2
曽和 義幸	教授	生物物理学	細菌運動に関わる生体分子モーターの構築機構、 力発生機構、高効率エネルギー変換機構の解明	蛋白質科学特論、生命機能学演習1、生命機能学特別研究1/2、生命機能学特別実験1/2
石川 成寿	教授	植物臨床医科学	植物病の診断技術を開発するとともに、有用微生物などの収集、評価を行い、環境に配慮した独創的な予防・治療技術開発に取り組む	植物総合診療科学特論、植物医科学演習1、植物医科学特別研究1/2、植物医科学特別実験1/2、応用生物生態特論
大井田 寛	教授	植物医科学、応用昆虫学	植物を加害する昆虫、ダニ類の診断技術開発や 生態解明、天敵の能力評価、環境保全型害虫管 理技術の開発などを通じ、現場への寄与を目指す	応用生物生態学特論、植物医科学演習1、植物医科学特別研究1/2、植物医科学特別実験1/2
大島 研郎	教授	植物ゲノム医科学	ゲノム解析やトランスクリプトーム解析などの最新技術を活用して病原体の感染メカニズムを解き明かし、植物を病気から守るための新たな分子基盤 を構築する	基礎植物医科学特論、植物免疫分子システム学特論、植物医科学演習1、植物医科学特別研究1/2、植物医科学特別実験1/2
佐野 俊夫	教授	植物栄養生理学	植物無機栄養素の吸収と代謝の分子メカニズム を研究し、植物生理障害の予防と診断技術、およ び食品機能面での有用作物を開発する	基礎植物医科学特論、生物アシミレーション科学特論、植物 医科学演習2、植物医科学特別研究1/2、植物医科学特別実験1/2
津田 新哉	教授	植物医科学、植物ウイルス学	植物病原体の伝染環で起こる生命現象を解明し、 その反応を制御する環境に優しい防除技術を開 発することで持続可能な農作物生産を支援する	応用植物医科学特論、植物医科学演習2、植物医科学特別研究1/2、植物医科学特別実験1/2
濱本 宏	教授	植物医科学、植物病理学	植物病の診断・治療・予防の基盤技術構築・先 端技術開発を行うとともに、パイオテクノロジーを 用いた植物病抵抗性育種に取り組む	生物アシミレーション科学特論、植物病先端研究特論、植物 医科学演習1、植物医科学特別研究1/2、植物医科学特別実験1/2
廣岡 裕吏	准教授	菌類学、森林病理学	顕微鏡観察や遺伝子解析等を用いて作物から樹木まで様々な植物に発生する病原菌類を理解し、 菌類病の診断や防除法の開発に貢献する	応用植物医科学特論、植物総合診療科学特論、植物医科学 演習2、植物医科学特別研究1/2、植物医科学特別実験1/2
鍵和田 聡	専任講師	植物病生理生態学	植物病の診断技術の開発と植物病原微生物の同 定法の確立、および微生物が植物に病気を生じさ せる際の分子レベルでのメカニズムの解明を行う	植物免疫分子システム学特論、植物病先端研究特論、植物医科学演習2

■ 設置科目 [2021年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

[基幹科目]

- ゲノム科学特論(2)
- 蛋白質科学特論(2)
- 細胞生物学特論(2)
- 生命システム科学特論 (2)
- ゲノム工学特論(2)
- 蛋白質工学特論(2) ■ 細胞工学特論(2)
- 生命システム工学特論(2)
- 基礎植物医科学特論(2)
- 応用植物医科学特論(2)
- 植物病先端研究特論(2)
- 植物総合診療科学特論(2)

[発展科目]

- バイオインフォマティクス特論(2)
- 生体超分子構造学特論(2) ■ 生体分子設計特論(2)
- 生体分子計測工学特論(2)
- 細胞操作工学特論(2)
- 細胞間コミュニケーション特論(2)
- 画像工学特論1/2(各2) ■ 分子シミュレーション特論 (2)
- 有機化学反応特論(2)
- 有機合成化学特論(2)
- 高分子物理化学特論(2)
- 反応工学特論(2)

- 環境科学特論(2)
- 水環境工学特論(2)
- 環境計測特論(2)
- 環境衛生学特論(2)
- 生物アシミレーション科学特論(2) 植物医科学特別実験1/2(各2)
- 植物免疫分子システム学特論(2) 応用生物生態学特論(2)
- 植物病原学特論(2)
- 植物薬学総合特論(2)
- 土壌環境ゲノム科学特論(2)
- 有用植物開発学特論(2)
- 生命機能学演習1/2 (各2)
- 植物医科学演習1/2(各2)

博士後期課程

- 生命機能学 発展特別研究1/2/3(各3)
- 生命機能学 発展特別実験1/2/3(各2)
- 植物医科学 発展特別研究1/2/3(各3)
- 植物医科学
- 発展特別実験1/2/3(各2)
- 生命機能学発展ゼミナール (2)
- 植物医科学発展ゼミナール(2)

修了生の研究テーマの例

- ライン状心筋細胞ネットワークの伝導と配向性に関する解析と心毒性検査への応用
- ■大腸菌細胞膜側面領域における走化性受容体クラスター形成
- 光操作による細菌べん毛モーターの回転速度制御
- ■遺伝子を分断する新規溶原性ファージの探索
- ■二成分制御系を介した大腸菌適応増殖に関する研究
- ■ポインセチアに感染するファイトプラズマの分泌タンパク質に関する研究
- ■サクラ類に感染するウイルスについての研究

[特別実験·特別研究]

■ 生命機能学特別研究1/2(各3)

牛命機能学特別実験1/2(各2)

■ 植物医科学特別研究1/2(各3)

- ■日本産ウメ輪紋ウイルスM系統の病原性解析および弱毒ウイルスの作出に関する 研究
- 野菜類軟腐病細菌 Pectobacterium carotovorum subsp. carotovorum にお けるカロトボリシン遺伝子パターンと細菌の拮抗に関する研究
- Species identification and pathogenicity study of Colletotrichum on tropical plants in Japan

総合理工学 インスティテュート

インスティテュート 総合理工学

詳細はこちら



募集人員

15名

キャンパス

小金井

入学後は理工学研究科または情報科学研究科のいずれかに在籍することになります。

(

昼間開講

修了要件・履修案内・ 時間割・シラバス



総合理工学を英語で学ぶ 横断型大学院プログラム

社会活動の急速な拡大とグローバル化が進む現在、諸活動のサステイナブルな発展をいかに担保するかが 重要な課題となっている。総合的な地球規模の問題解決には、科学的基盤に根差した高度なテクノロジー を駆使したデザインと実践が求められる。

IISTは大学院情報科学研究科と理工学研究科が協働し、理系専攻分野の先端的研究を遂行するとともに専攻横断的な研究分野を設けサステイナブルなグローバル社会の実現に向けた問題解決に取り組むことを目的に2016年9月に設立された。以下の6分野で構成される。

- ① 実世界を補完するサイバーワールドの効率的セキュアなシステム構築を研究するグローバル情報システム 分野 (Global Information Systems)
- ② ミクロなデバイスから宇宙通信まで広範囲に存在する通信技術を研究するユビキタス通信ネットワークシステム分野 (Ubiquitous Network and Communication Systems)
- ③ グローバル経営、イノベーションに欠かせない高度な数理分析手法を扱うグローバル経営情報分野 (Global Business Analyses and Innovation)
- ④ 様々なメディアやビッグデータ情報処理の手法を研究するメディア・情報処理分野 (Media and Information Processing)
- ⑤ 人口爆発、高齢化社会に対応する医療・健康・福祉理工学分野 (Medical and Health Care Systems Design)
- ⑥「生命」、「植物」、「物質」の側面から21世紀の諸問題を解決する先端化学・生命科学分野 (Advanced Bioscience and Chemical Engineering)

入学者は理系専攻領域の専門性を身につけた上で、これら横断的な教育研究プログラムにより社会的ニーズの高いグローバルな課題解決の実践的な知識と研究能力を身につけることができる。

※今後、分野は追加される予定である。

■研究室紹介



石川 成寿 教授

草本から木本までさまざまな植物病に関わる病原菌の生存戦略の解明

植物の病気の約70%を占める菌類病とその病原菌を理解することで、植物保護に貢献する

植物の病気の約70%は菌類が原因です。私たち研究室は、様々な植物に病気を起こす菌類を顕微鏡観察や遺伝子解析等を用いて特定し、その病原菌の植物に対する病原性や生態、他の生物との相互作用、さらにはゲノムなどを明らかにすることで、最終的に植物保護に貢献することを目指しています。そして、これら研究を通して、国内だけでなく国外の他大学や研究機関、企業等と共同研究を行うことで国際的にも植物医科学分野に貢献できる「植物の医師」になれるようサポートしています。

学生・修了生の声

Truong Hong Hanh

博士後期課程 2019年度修了

Study on tropical plant pathogenic fungi to contribute towards agriculture in Vietnam

Motivations for Further Studies

研究テーマ

Biology, Pathology and control of Colletotrichum species on Tropical Plants

When I was working at Vinh Long Province Department of Agriculture & Rural Development in Vietnam as a technical staff, I tried to control Colletotrichum diseases. However, I failed to do it and thought that I don't have enough knowledge about plant pathology. The best way for me and for farmer is to gain enlarge knowledge. Our department is unique as it focuses on Clinical Plant Science. I believe that I can improve my skills in this Department.

What I'm studying

The Colletotrichum, one of a genus of fungi, includes many plant pathogens. In Hosei University, I study morphological and molecularanalyses to identify species of Colletotrichum from symptoms on tropical plants. Also, I learn how to know about pathogenicity of the fungi. I have many friends in my lab and, they are very kind and friendly. They always try to communicate with me by English and give me assistance whenever I face experimental problems.

IISTは情報科学研究科と理工学研究科が協働する英語学位プログラムであり教学方針は 両研究科の3つのポリシーに加え、グローバル化への貢献を見据えた下記方針を定めている。

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れ方針)

グローバル社会において総合理工学分野のリーダーとして活躍する意欲に溢れる学生を広く受け入れる。英語による講義でプログラムが組まれているため日本語能力は要求しないが、日本語運用能力があればさらに幅広い学びが可能となる。入学者はあらかじめ受け入れ担当教員を決め研究計画を提出し、学識審査を経て入学が許可される。

カリキュラム・ポリシー

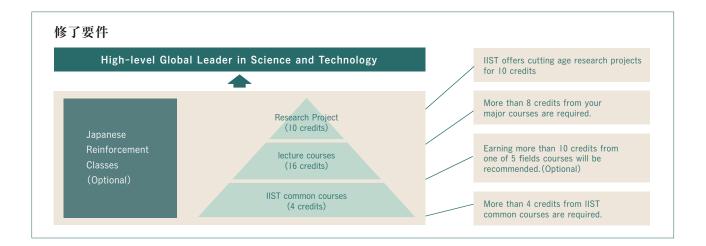
(教育課程の編成・実施方針)

理工系研究科 (情報科学または理工学) の各専攻専門領域の教育プログラムと研究科・専攻横断的なフィールドの教育プログラムを統合し、深い専門性と幅広い問題解決能力を身につけることを可能とするカリキュラムを提供する。グローバルな研究開発分野のニーズに対応する実践知の涵養を目指すとともに、ブリッジエンジニアに求められる日本語コミュニケーション能力の基礎を教授する。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

サステイナブルなグローバル社会を支える理工学分野の 実践知と実行力を有し、グローバル社会でリーダーとして 活躍できる高度技術者・研究者としてふさわしい人材に 学位を授与する。所定の単位を取得し、修士論文または 博士論文を提出、審査に合格することを修了要件とする。



■ 専任教員一覧 [2021年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
周 金佳 准教授	Applied Informatics	Low-power, high-performance, VLSI design, video coding, HEVC, H.264/AVC, compressive sensing, Intelligent Image/Video Processing	Coding and Information Theory, Digital Image and Video Processing, IIST Seminar, Technical Writing Workshop1/2 , Technical Presentation Workshop1/2 ,Machine Learning, Digital System Design

※上記の他、情報科学研究科と理工学研究科の各教員が担当する。詳細は http://iist.hosei.ac.jp/faculties/ を確認のこと。

設置科目 [2021 年度] ※開講科目は年度により異なります。() =単位数

修士課程

- 符号化と情報理論(2)
- デジタル画像と映像処理(2)
- 機械学習(2)
- 暗号とその応用(2)
- デジタルシステム設計(2)
- 先進総合理工学特論1 (無線センサーネットワーク入門)(2)
- 先進総合理工学特論2(先進生体工学)(2)

- バイオインフォマティックス入門(2)
- IIST セミナー (2)
- 先進経営科学特論 (2)
- ニューラルネットワーク理論と応用(2)
- 深層学習の効率的処理 (2)
- テクニカルライティングワークショップ1(2)
- テクニカルライティングワークショップ2(2)
- テクニカルプレゼンテーションワークショップ1(2)
- テクニカルプレゼンテーションワークショップ2(2)
- 日本語コミュニケーション1 (2)
- 日本語コミュニケーション2(2)
- 日本語コミュニケーション3(2)
- 日本語コミュニケーション4(2)

※上記以外の各専攻主催科目については、HPを参照のこと。 ※日本語コミュニケーション1/2/3/4は修了要件には含まれません。

- Deep Learning-based Luma and Chroma Fractional Interpolation in Video Coding
- Recognition of Partially Occluded Objects: A Faster R-CNN Approach
- Piezoelectricity of Nano-SiO2/ PVDF Composite Film
- An End-to-end Practical Plant Disease Diagnosis System for Wide-angle Cucumber Images
- A Ubiquitous Healthcare System with the Integration of Psychological and Physiological Indices

キャリア形成

法政大学大学院では、キャリアセンターを中心に、きめ細かなサポートを積極的に展開しています。 日常的な就職相談はもちろんのこと、さまざまな形で就職活動を支援する企画・イベントを用意。 学生の持っている資質・能力を最大限に引き出すことができるようなサポート体制をとっています。

キャリア





修了生インタビュー

仮説を立てて取材・調査し、結論を導く。 大学院の経験が記者の仕事に活きています



本脇 賢尚 社会学研究科社会学専攻 修士課程 2019年度修了 株式会社日本経済新聞社 証券部記者

文章を書くことや新しい知識を吸収することが 好きな私にとって、新聞記者はかねてから憧れ の職業でした。就職活動では最後のチャンスと 日本経済新聞社を受けて合格。現在は証券部 の記者として、企業や証券会社、投資家を中心 にお金の動きを取材しています。昨年はコロナ 禍で株式市場が大きく変動したこともあり、 刻々と変わる情勢を迅速に報道することに記者 としてやりがいを感じています。

私は他大学の出身ですが、学部生時代から続く「台湾のナショナリズム」についての研究をさらに深めるには理論面を強化する必要があると考え、最新の研究動向が学べる法政大学大学

院に進学しました。修得した知識は現在の業務に直結するものではありませんが、仮説を立てて取材・調査を行い、導いた結論を記事にするという記者の仕事は、突き詰めると研究における思考プロセスと同じです。大学院でその訓練を重ねたことにより、記者になっても仮説の精度や結論の導き方は難なくできていると思います。また日経新聞の記者は、政治、経済、文化などさまざまな部署を経験するのが一般的なので、いずれは台北支局に赴任し、大学院の研究テーマも含めて激動の台湾を取材することが将来の目標です。大学院での経験が人生の幅を広げてくれたと感謝しています。

キャリア形成 サポート 社会学研究科にはメディア研究者をはじめ、記者経験のある先生も多くいらっしゃるので就職にあたり有益なアドバイスをいただけました。キャリアセンターでは報道機関以外に私の志望にマッチする企業を紹介してもらいました。



修了生インタビュー

「生物と環境との関わり」をテーマに 研究者として実績を重ねていきたい



三宅 裕可里

理工学研究科 生命機能学専攻 博士後期課程 2019年度修了 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 研究職 学部生時代にウイルス感染の研究を行う中で、 単細胞生物である細菌が限られた遺伝子を通し て外環境シグナルを感知・応答することに強い 関心を抱き、この点を深く研究したいと大学院に 進学しました。院では大腸菌をモデルにゲノム科 学研究に従事し、大腸菌ゲノム上の複数遺伝子 を操作するゲノム編集技術を開発しました。幼い 頃から生物に興味があり、学びを深める過程で 見いだした「生物と環境との関わり」という命題 は、私にとってライフワークに値するものです。学 位取得後も関連研究ができる勤務先を探し、国 立遺伝学研究所の微生物機能研究室に辿りつ きました。現在は酵母の光や温度に対する細胞 応答の仕組みを明らかする研究に取り組んでい まま

博士後期課程では日本学術振興会の特別研究員に採用され、研究の計画や適切な運営管理といった、研究者に必要なスキルを実践的に学ぶことができました。また国内外での学会参加や研究発表を通して、研究課題をより深く理解・考察する力を得るなど、大学院の5年間で研究者としての基礎固めができました。絶え間なく変化する環境の中で生物がどのように生き延びて子孫を残すか。その適応応答を分子レベルで明らかにするという自身の興味を、生涯懸けて追究したいと思っています。

キャリア形成 サポート 就職先を探すにあたり指導教員に相談し、どんな研究室が私の興味に近い研究を行っているか役立つ情報をいただきました。学生と教員の距離が近く、研究や進路のことを相談しやすい環境が整っていることも魅力です。

キャリアセンターの主なサポートプログラム



専門スタッフによる就職個別相談

経験豊富なキャリアセンター職員、キャリアアドバイザーが親身になって、キャリアや就職活動について、1対1の個別相談を行っています。



他大学合同 模擬グループディスカッション

他大学の学生と合同で、グループディスカッションや グループ面接を体験できる、貴重な機会です。 法政 大学・青山学院大学・上智大学・中央大学・明治 大学などが参加しています。



学内企業説明会

有名企業や優良中堅企業など法政大学・大学院の 学生に対し採用意欲の高い企業が年間1,000社以 上参加しています。この説明会をきっかけに内定を得 た方も数多くいます。



模擬面接会

企業の採用試験で、最も重要視されている面接試験。 各業界約40社の人事採用担当者からご協力いただ き、実戦さながらの面接を行います。採用担当者から 直接講評をいただけるため、毎年人気のイベントです。



学内で行われる選考会

企業説明会と一次選考に、キャンパス内にて同日で 参加できる学内選考会を複数回行っています。開催 日時・参加企業などはキャリアセンター HPにて随時 告知をしています。



OB・OG、社会人との交流

「OB・OG 交流会」「OB・OG 座談会」など、卒業生と就活生との交流を促進しています。多くの社会人と接し、業界・企業情報や実際の業務内容、働く上での心得などを身近な距離で学ぶことができます。

▶法政企業人コミュニティ(法政BPC※)

本学卒業生による継続的なキャリア形成支援を 実現する独自のコミュニティを展開

法政BPCは、組織的・持続的な卒業生による学生へのキャリア形成支援を目的としたコミュニティとして2012年7月に発足しました。法政大学キャリアセンターと卒業生の代表が事務局を担い、各業界から参画する加盟企業90社の若手・中堅卒業生有志とともに、学生と現役社会人の交流の場を提供しています。

フリートーク形式でざっくばらんに仕事や就職について語り合う「プレOB・OG訪問体験会 in 学内」や、座談会形式で業界(企業)について語り合う「業界本音トーク」など、本学独自の学生サポート施策を継続的に実施しています。

※BPC は、Business Persons Community の頭文字です。

▶学校推薦(理系)

理系特有の学校推薦応募も実施

学校推薦は理系特有の応募方法です。企業から、研究科・専攻 単位で推薦依頼が来る場合があります。このような企業に対して は、研究科・専攻単位で選考会を行い、企業ごとに推薦者を決定 します。

理系 大学院進学のメリット

1 基礎学力・知的体力の向上

大学院での講義および研究を通して、基礎科目・関連科目の本質的な 理解や創造性が育成され、多角的な視野から専門分野の知識・理解が 深まり、技術者・研究者としての資質が向上します。

2 横断的な学問領域の把握によるエンジニア総合力向上

これからの持続可能で環境にやさしい国際的なエンジニアには、専門分野のみならず関連分野の知識や学問領域での実践的経験が必要であり、大学院での学びは必須です。

3 研究に関する専門的およびグローバルな体験

大学院における研究成果の専門・関連分野での国際会議、シンボジウムおよび交流会等でのポスターセッションやプレゼンテーション発表により、国際的な研究交流の体験が可能です。

4 職業選択自由度の向上

大学院での研究や講義による経験を生かすことにより、研究職や技術職へのキャリアパスのチャンスが広がり、専門分野を含む関連企業、各種研究所等、就職の幅が広がります。

研究成果の発表および修士・博士論文 執筆を通した、研究およびキャリアスキルの向上

論文投稿の準備や修士・博士論文作成により、研究力や問題点の把握能力が育成され、また、英語レベル、プレゼンテーション能力やリーダーシップ能力の向上により、就業スキルがアップします。

進路状況

文系就職状況

教育をはじめ、サービス、製造、公務員、情報通信・マスコミなど、進路・就職先業種は多種多様。

各業界の有名企業で活躍する修了生も数多く見られます。

社会人学生の多い本学大学院には、さまざまな環境や分野で経験を積んだ方々が集まり、お互いの知識や情報、意見を交換し合うことで、より高い専門性と広い視野を養っています。

▶ 就職内定先一覧 (過去4年間/2016~2019年度) ※名称等は変更になっている場合があります。

教育

愛知県教員、伊勢原市教育委員会、茨城県教員、茨城 県教育委員会、海城中学高等学校、(学) 亜細亜学園 亜細亜大学、(学) 成城学園 成城大学、(学) 藤村学園 東京女子体育大学、(学) 文化学園、(学) 法政大学、(株) トライグループ、(株) 学究社、(大) 山梨大学、(大) 鳥取大 学、(大) 東京学芸大学 教育学部自然科学系、埼玉県教 員、(学) 中央大学、東京都教員、(学)東京福祉大学、八 王子市教育センター、目黒区教育委員会、(大) 京都大学、 (大) 千葉大学、北海道教員、国立国会図書館 など

情報通信・マスコミ

NTT データグローバルソリューションズ、みずほ情報総研 (株)、楽天 (株)、(株) JTB パブリッシング、(株) ウェザーニューズ、(株) サーベイリサーチセンター、(株) ゼンリンデータコム、(株) パンダイナムコエンターテインメント、情報技術開発(株)、日本気象環境機関(合)、(株) 日立システムズエンジニアリングサービス、(株) 幻冬舎メディアコンサルティング、(株) 出版文化社、(株) 日本経済新聞社 など

公務•法務

愛知県庁、衆議院事務局、小田原市消防本部、川口市 役所、川崎市役所、相模原市役所、島根県庁、東京都教 育庁 都立学校教育部特別支援教育課、栃木県庁、内 閣府、南足柄市役所、富山県警察本部、防衛省、目黒区 役所、林野庁、海上保安庁、法務省、山口県庁 など

サービス

アクセンチュア(株)、エヌ・ティ・ティラーニングシステムズ(株)、セコム(株)、(株)、JTB国内旅行企画、(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、(株)ミキハウス、(株)青山財産ネットワークス、(株)千葉ロッテマリーンズ、川崎北公共職業安定所、NHK営業サービス(株)、オリエンタルダイニング、(株)星野リゾートなど

医療•福祉

オリックス・リビング(株)、(株)、ベネッセスタイルケア、(福) 東京都社会福祉協議会、千葉県中央障害者相談センター、川崎中部児童相談所、足立区こども支援センター げんき、(独)東京都健康長寿医療センター、(福)府中市 社会福祉協議会など

製造

パナソニックエコシステムズ(株)、マツダ(株)、(株)村田製作所、自動車部品工業(株)、新日鉄住金化学(株)、東芝三菱電機産業システム(株)など

卸•小売

イオンリテール(株)、(株)セプンーイレブン・ジャパン、(株)ビックカメラ、(株)ファーストリテイリング、(株)ファミリーマート、 (株)ジェイアール東日本商事、(合)西友、(株)ニトリ、(株) ユニクロ など

金融•保険

さわかみ投信(株)、セゾン自動車火災保険(株)、(株)セ ブン&アイ・ホールディングス、(株)横浜銀行、(株)秋田 銀行、九州労働金庫、城北信用金庫、三井住友信託銀行 (株)など

運輸・公益

ANA エアポートサービス(株)、(株)はとバス など

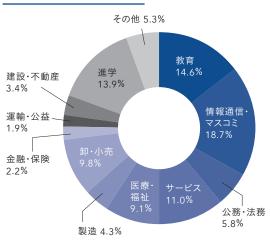
建設•不動産

ジョーンズラングラサール(株)、(株)ケーマックス、(株) ティーケーピー、(株)飯田産業、三井不動産リアルティ (株)、東急リバブル(株)など

その他

(財)世界自然保護基金ジャバン、三島市議会、参議院 事務局、小山市文書館、特定非営利法人原子力資料情 報室、野田市郷土博物館 市民会館、NPO日本地域福 祉研究所、日本年金機構など

就職内定者業種別割合



在籍者/勤務先

(株)IHI、(株)アサツーディ・ケイ、味の素(株)、アステラス製薬(株)、エーザイ(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、オリックス生命保険(株)、環境省、キッコーマン(株)、(学) 慶應義塾、経済産業省、警視庁、厚生労働省、(独) 国際協力機構(JICA)、(研) 国立がん研究センター、さいたま市役所、埼玉県庁、(財) 財務会計基準機構、サムスン電子ジャパン(株)、(株) 集英社、首都高速道路(株)、(財) 首都高速道路技術センター、(社) 全国労働金庫協会、全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)、全日本空輸(株)、総務省、ソニー(株)、ダイドードリンコ(株)、大日本印刷(株)、(学) 玉川学園 玉川大学、東海旅客鉄道(株) (JR東海)、(株) 東急エージェンシー、東京ガス(株)、国立大学法人東京大学、(福) 東京都社会福祉協議会、東京都庁、トヨタ自動車(株)、内閣府、(財) 日本消費者協会、(株) 日本経済研究所、日本コープ共済生活協同組合連合会、日本放送協会(NHK)、日本マイクロソフト(株)、パイオニア(株)、(株)パソナ、東日本旅客鉄道(株) (JR東日本)、(株)ピックカメラ、(株) 日立製作所、文京区役所、本田技研工業(株)、丸紅(株)、みずほ総合研究所(株)、(株) 三井住友銀行、(株) 三菱総合研究所、三菱UFJ信託銀行(株)、港区役所、文部科学省、ヤフー(株)、ヤマト運輸(株)、山崎製パン(株)、横浜市役所、(株) リクルートスタッフィング など

理工系就職状況

過去4年間で見ると半数弱が製造業に就職。

主に研究職や開発職などの専門職において、理系ならではの高度な専門知識・技術を発揮しています。

▶ 就職内定先一覧 (過去4年間/2016~2019年度) ※名称等は変更になっている場合があります。

教育

(学)神奈川大学、(学)法政大学、(株)栄光、(大)岡山県立大学、東京都教員、(大)京都大学など

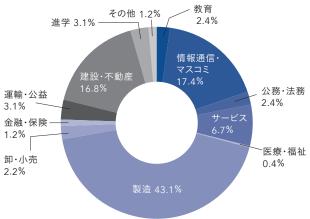
情報通信・マスコミ

GMOインターネット(株)、KDDI(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、NTTコムウェア(株)、かんぽシステムソリューションズ(株)、ソフトバンク(株)、パナソニックシステムデザイン(株)、フューチャーアーキテクト(株)、ヤフー(株)、(株) JR東日本情報システム、(株) NTTデータビジネスシステムズ、(株) インテック東京本社、(株)エヌ・ティ・ディ・データ、(株) カプコン、(株) コナミデジタルエンタテインメント、(株) スクウェア・エニックス、(株) ドワンゴ、(株) マイナビ、(株) 日立システムズ、(株) 日立ソリューションズ、(株) 野村総合研究所、三菱UFJインフォメーションテクノロジー(株)、鉄道情報システム(株)、東日本電信電話(株) (NTT東日本)、日本アイ・ビー・エム(株)、(株) サイバーエージェント、Sky(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、(株) NTTドコモ、日本放送協会(NHK) など

公務•法務

さいたま市役所、横浜市役所、群馬県庁、国土交通省、埼 玉県庁、渋谷区役所、神奈川県庁、杉並区役所、千葉県庁、 東京都庁、農林水産省など

就職内定者業種別割合



サービス

NECエンジニアリング(株)、NTTデータ先端技術(株)、アクセンチュア(株)、セコム(株)、(財)関東電気保安協会、(株) LIXILグループ、(株)博報堂アイ・スタジオ、綜合警備保障(株)、日本アイ・ビー・エム・サービス(株)、野村不動産パートナーズ(株)、パーソルキャリア(株)、(株)エヌ・ティ・ティエムイー(NTT – ME)、(株)電通パブリックリレーションズなど

医療•福祉

イーピーエス(株)、(株)アイコン・ジャパン、(株)新日本 科学 PPD など

卸・小売

シスコシステムズ合同会社、(株)サカタのタネ、富士エレクトロニクス(株)、シマダヤ(株)など

金融•保険

アメリカンファミリー生命保険会社(アメリカンファミリー ライフアシュランスカンパニーオプコロンバス)、(株)あおぞら銀行、三井住友カード(株)、三菱 UFJ 信託銀行(株)、 東京電力ホールディングス(株)、日本郵政(株)など

運輸・公益

Peach Aviation (株)、首都高速道路(株)、電源開発 (株)、東海旅客鉄道(株)(JR東海)、東京地下鉄(株)(東 京メトロ)、東日本高速道路(株)、東日本旅客鉄道(株) (JR東日本)、東京電力エナジーパートナー(株)、京王電 鉄(株) など

製造

NTT エレクトロニクス (株)、TOTO (株)、YKKAP (株)、 YKK(株)、いすゞ自動車(株)、エーザイ(株)、オリンパス (株)、カシオ計算機(株)、キヤノン(株)、コニカミノルタ (株)、シチズン時計(株)、シャープ(株)、スズキ(株)、セイ コーエプソン(株)、ソニー(株)、ダイキン工業(株)、トヨ タ自動車(株)、パイオニア(株)、パナソニック(株)、ファナッ ク(株)、ホーチキ(株)、ボッシュ(株)、マツダ(株)、ヤマハ (株)、ヤンマー(株)、ライオン(株)、ローム(株)、横河電機 (株)、横浜ゴム(株)、王子ホールディングス(株)、(株) IHI、(株)、JVCケンウッド、(株)SUBARU、(株)クボタ、(株) デンソーウェーブ (株)リコー (株)資生堂 (株)村田製 作所.(株)鳥津製作所.(株)東ハト.(株)東芝.(株)日 本製綱所.(株)日立製作所.(株)富十涌ゼネラル.(株) 武蔵野フーズ. (株) 明雷舎. 関西ペイント(株). 京セラ (株)、古河機械金属(株)、三井化学(株)、三井造船 (株)、三菱電機(株)、自動車部品工業(株)、住友重機 械工業(株)、曙ブレーキ工業(株)、小野薬品工業(株)、 森永乳業(株)、川崎重工業(株)、太平洋セメント(株)、 大日本印刷(株)、東芝テック(株)、東芝マテリアル(株)、 凸版印刷(株)、日産自動車(株)、日清食品(株)、日清紡 ホールディングス(株)、日本ヒューレット・パッカード(株)、 日本信号(株)、日本電気(株)(NEC)、日本電産(株)、日 本特殊陶業(株)、日本無線(株)、日野自動車(株)、富士 重工業(株)、富士通(株)、本田技研工業(株)、理想科 学工業(株)など

建設•不動産

アパマンション(株)、タマホーム(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、ミサワホーム(株)、旭化成ホームズ(株)、伊藤忠都市開発(株)、(株)熊谷組、(株)建設技術研究所、(株)首都圏総合計画研究所、(株)松田平田設計、(株)大林組、(株)竹中工務店、(株)長谷エコーボレーション、(株)日本設計、三菱ケミカルエンジニアリング(株)、鹿島建設(株)、住友林業(株)、小田急不動産(株)、清水建設(株)、西松建設(株)、大日本コンサルタント(株)、大和ハウス工業(株)、(行)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、(行)都市再生機構、野村不動産(株)、パナソニックホームズ(株)など

その他

(財)鉄道総合技術研究所、(行)情報処理推進機構、 (行)水資源機構、(研)新エネルギー・産業技術総合開 発機構、(行)東京都立産業技術研究センター など

科目等履修生

科目等履修制度は、本学大学院修士課程が開講する授業を1科目から履修できる制度です。

※一部履修できない科目があります。また、正規学生の履修に支障をきたす場合、履修ができません。

科目等履修生は、毎年7月下旬と3月中旬に募集しています。

科目等履修生のメリット

11 大学院進学の準備期間として活用

2年間通学できるか心配な方には、大学院通学の疑似体験としても利用できます。どのような授業が行われているか、通学に支障がないか、体験してみてください。

2 履修した科目は無駄にならない

科目等履修生として修得した単位のうち15単位(研究科により異なります)を上限に、正規学生に入学後、研究科教授会の許可を受けて修了に必要な単位として認められます。

POINT

単位

一年度 12単位以内 費用

<参考>文系4単位科目1科目の場合

登録料 10,000円 + 履修料 60,000円

合計7万円

本制度利用の目的はさまざまです! 例えば...

学部で学んだ内容を今一度確認し、 資料解釈の幅をさらに広げたい方

正来家として イノベーションを主導したい方

企業の海外戦略を 理論的・実践的に学びたい方

消費者のニーズを体系的に分析したい方

キャリアコンサルタント国家資格化に伴い、 専門性の深化した学びを必要としている方

- □ 史学専攻 [日本考古学特殊研究 | • ||]
- □ 経営学専攻[イノベーション・マネジメント概論]
- □ 経営学専攻[国際経営論]
- □ 経営学専攻[マーケティング・リサーチ論]
- □ キャリアデザイン学専攻 [キャリアカウンセリング論]

科目等履修生は、大学院における正規学生の授業に支障の ない範囲で授業担当者および当該研究科教授会承認を経て 許可されます。ただし、履修できる授業は、正規学生の登録 がある修士課程の科目に限ります。科目等履修生の募集受付 は、年2回。春学期(通年開講科目、春学期科目)と秋学期(秋 学期開講科目)となりますが、1年を通じ12単位までの受講 が可能です。「いずれ大学院に進学したいと思うが、今は通学 できる時間が十分確保できない」「週1回程度なら受講でき る」あるいは「大学院に進学したいと思っているが、研究テー マを絞り切れていない」「大学院の授業についていけるかどう か不安である」等々の理由で大学院進学の準備期間として本 制度を活用していただくことができます。本制度の申請受付 期間は、春学期は毎年前年度末の3月中旬、秋学期は7月下 旬~の1週間程度となります。応募資格、申請期間、登録料・ 受講料、提出書類など詳しい情報に関しては、募集要項にて 確認してください。

▶募集研究科·専攻

研究科名	専攻名
人文科学研究科	哲学専攻・日本文学専攻・英文学専攻・史学専攻・地理学専攻・ 心理学専攻・国際日本学インスティテュート
国際文化研究科	国際文化専攻
経済学研究科	経済学専攻
法学研究科	法律学専攻
政治学研究科	政治学専攻·国際政治学専攻
社会学研究科	社会学専攻
経営学研究科	経営学専攻
キャリアデザイン学研究科	キャリアデザイン学専攻
公共政策研究科	公共政策学専攻・サステイナビリティ学専攻
政治学研究科・公共政策研究科	連帯社会インスティテュート
理工学研究科	機械工学専攻・電気電子工学専攻・応用情報工学専攻・システム 理工学専攻・応用化学専攻・生命機能学専攻
デザイン工学研究科	建築学専攻・都市環境デザイン工学専攻・システムデザイン専攻
人間社会研究科	福祉社会専攻
政策創造研究科	政策創造専攻
スポーツ健康学研究科	スポーツ健康学専攻

※情報科学研究科 情報科学専攻、人間社会研究科 臨床心理学専攻は、科目等履修生を募集しません。

※経済学(昼間)、社会学、人間社会研究科の授業は、市ケ谷キャンパスおよび多摩キャンパスで行われますので、時間割に注意してください。 なお、理工学研究科の授業は小金井キャンパスで行われます。

▶ 履修できる科目

科目等履修生として履修することができるのは、正規学生の履修 登録がある修士課程の授業科目のみです。博士後期課程の授業 科目は履修できません。併せて、以下の点に注意してください。

- 修士論文の完成を目的とした「論文指導科目」や、在学生の研究成果発表を目的とした科目は履修できません。専攻によって、論文指導科目を「○○○演習」の名称で表現している場合があります。
- 科目の性質により、受講を認めない場合があります。出願する科目について不明な点がありましたら、担当窓口までお問い合わせください。
- 出願を受け付けた科目については、書類審査を経て受講許可・不許可の判断をいたします。必要に応じて面接を課す場合もあります。授業の性質により、担当教員が受講を許可しない場合がありますので、予めて了承ください。
- 受講許可となった科目でも、正規学生の履修登録がない科目については判明した時点で履修の継続ができません。

▶2021年度出願資格

- 1 大学を卒業した者
- 2 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与 された者
- 3 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修 することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- 5 文部科学大臣の指定した者
- 6 大学に3年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 15年の課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優れ た成績をもって修得したものと認めた者
- 7 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者 と同等以上の学力があると認めた者で、入学時点で22歳に達した者

※HPの募集要項で最新の出願資格を確認してください。
※出願資格の確認が必要な方は、事前に各研究料担当窓口にお問い合わせいただき、指定期日までに、本学所定の履歴書のほか、最終学歴の卒業証明書と成績証明書をご提出ください。なお、研究科によって追加書類の提出を求める場合があります。

▶公共政策研究科SDGs Plus履修証明プログラム

SUSTAINABLE GOALS DEVELOPMENT



















•

「公共政策研究科SDGs Plus履修証明プログラム」はSDGsをテーマとした 履修証明プログラムであり、大学に社会人を積極的に受け入れることにより、 大学の社会貢献を一層進めるために設けられた制度です。大学の学位(学 士や修士等)に比べ、より短期間に修得することが可能です。修了者には学 校教育法に基づき履修証明書が発行されます。

▶学費

登録料	10,000 円 ただし、同一年度内に本学大学院内(専門職課程含む)の科目等履修生の 登録料を納入済みの場合は不要です。
履修料	①人文科学研究科(国際日本学インスティテュートを含む)・ 国際文化研究科・経済学研究科・法学研究科・政治学研究科・ 社会学研究科・経営学研究科・マリアデザイン学研究科・ 公共政策研究科・連帯社会インスティテュート・人間社会研究科 (1)4単位科目1科目につき60,000円 (2)2単位科目1科目につき30,000円 ②理工学研究科・デザイン工学研究科 (1)4単位科目1科目につき94,000円 (2)2単位科目1科目につき47,000円 ③政策創造研究科 2単位科目1科目につき50,000円
その他	上記のほか、授業で利用する教材等で別途料金の負担が必要になることが あります。

【プログラムの概要】(予定)

履修期間	秋学期から開講する1年間のプログラムです。
開講時期	2021年9月
定員	15名
出願資格	募集要項をご確認ください。 ※出願資格を満たす方であれば、どなたでも出願できます。
受講料	122,000円(登録料10,000円、受講料112,000円)
出願期間	2021年6月中旬予定 ※詳細はHPをご確認ください。
開講科目	公共政策研究科開設科目のうち、SDGs17目標に合致する科目 ※「2021年度 SDGs Plus履修証明プログラム対象科目」を参照して ください。
履修科目数	10科目を上限とします。 ただし、公共政策研究科に入学した場合の単位認定は最大15単位とします。詳細はお問い合わせください。

▶2021年度時間割表・シラバス公開

各研究科HPで公開しています。

研究科名	時間割表・シラバスの公開					
人文科学研究科(国際日本学インスティテュートを含む)・国際文化研究科・ 経済学研究科・法学研究科・政治学研究科・社会学研究科・経営学研究科・ キャリアデザイン学研究科・公共政策研究科・連帯社会インスティテュート						
情報科学研究科・理工学研究科						
デザイン工学研究科	https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/yoken/					
人間社会研究科						
スポーツ健康学研究科						
政策創造研究科						

協定大学院・プログラム

教育・研究活動のさらなる充実を目的として、 学外のさまざまな大学院やプログラムと提携しています。 また、外国人学生の受け入れなどにより、学内でも多様な交流を推進しています。

協定大学院・プログラム

▶他大学院との単位互換について

本学大学院では、相互聴講に関する協定を他の大学院と締結しています。 英文学・地理学・経済学・政治学・社会学・経営学・福祉社会の各専攻 では、研究上の必要性により、他大学院の授業科目の聴講を希望する場 合、協定校の授業を10単位(経済学・経営学、経営学(夜間)専攻の協定 は8単位)まで受講することができます。また専攻の枠を超えて、他大学院 で履修できる「首都大学院コンソーシアム」制度を利用することもできます (専攻に限定あり)。他大学院で修得した単位は、一定限度内で本学大学 院の修了所要単位として認定されます。

▶上海外国語大学(中国)との ダブル・ディグリープログラム

人文科学研究科国際日本学インスティテュート(修士課程)では、上海外国語大学(中国)との間でダブル・ディグリープログラムに関する協定を締結し、2019年度からそれぞれの大学から派遣する学生が双方の課程を修了することにより、両者の修士学位を取得することが可能となりました。このプログラムは教育の国際的な展開を図り、本インスティテュートの教育・研究水準向上に寄与するものです。

▶海外大学院への留学制度について

【大学院学生海外留学制度】

本学と協定を有する外国の大学、または学生の申請に基づき本学が認めた大学、およびその研究機関への留学が可能です。所定の期間内に申請し、留学を許可された者のうち、審査のうえ若干名に補助金を交付します(この補助金は研究者養成のためのものであり、選考の上1名あたり上限200万円を支給)。留学した大学などで履修した科目のうち、専攻教授会が適当と認めた者については、本学大学院の課程修了に必要な単位として認定されます。ただし、認定単位は15単位以内です。

【派遣留学制度】

学業成績が優秀で高い外国語能力を持ち、かつ、留学に強い意志を持った学生を海外 (14カ国・地域) の協定大学へ派遣する制度です。派遣留学生に選ばれると、留学先大学での学費が免除されます。



▶ 2021年度 協定大学院一覧(国内)

●英文学専攻

青山学院大学大学院/上智大学大学院/明治大学大学院/明治学院大学大学院/日本女子大学大学院/立教 大学大学院/聖心女子大学大学院/東北学院大学大学 院/東京女子大学大学院/東洋大学大学院/津田塾大 学大学院

●地理学専攻

駒澤大学大学院/明治大学大学院/専修大学大学院/ 国士舘大学大学院/日本大学大学院

●経済学専攻

青山学院大学大学院/専修大学大学院/中央大学大学院/東洋大学大学院/日本大学大学院/明治学院大学 大学院/明治大学大学院/立教大学大学院

●経済学・経営学専攻

立教大学大学院/明治大学大学院/中央大学大学院/ 専修大学大学院

●政治学専攻

学習院大学大学院/成蹊大学大学院/中央大学大学院/ 日本大学大学院/明治大学大学院/立教大学大学院

●社会学専攻

茨城大学大学院/大妻女子大学大学院/駒澤大学大学院/场玉大学大学院/上智大学大学院/成蹊大学大学院/院/再修大学大学院/創価大学大学院/新留文科大学大学院/年葉大学大学院/常磐大学大学院/日本女子大学大学院/日本大学大学院/武蔵大学大学院/明治大学大学院/明治大学大学院/河下、学大学院/河流通経済大学大学院/可下大学大学院/流通経済大学大学院

●経営学専攻(夜間)

関西学院大学専門職大学院

●福祉社会専攻

上智大学大学院/明治学院大学大学院/日本女子大学 大学院/東洋大学大学院/淑徳大学大学院/日本社会 事業大学大学院/大正大学大学院/立正大学大学院/ ルーテル学院大学大学院/関東学院大学大学院/立教大 学大学院/日本大学大学院

●首都大学院コンソーシアム

順天堂大学大学院/専修大学大学院/中央大学大学院/東京電機大学大学院/東京理科大学大学院/東洋大学大学院/日本大学大学院/明治大学大学院/共立女 子大学大学院

●理工学研究科

総合研究大学院大学物理科学研究科

TOPICS

法政大学では全学的に 教育のグローバル化を 推進しています。

1 法政大学スーパーグローバル大学創成支援事業

法政大学は、文部科学省・平成26年度スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援 (タイプB: グローバル化牽引型)」に採択されました。この事業は、「大学改革」と「国際化」を断行し、国際通用性、ひいては国際競争力の強化に取り組む大学の教育環境の整備を目的として、国から重点的に財政支援されるものです。今回採択された本学の構想名は、「課題解決先進国日本からサステイナブル社会を構想するグローバル大学の創成」です。世界的な規模で多様な研究を本学に集結させ、自然環境のみならず、高度な教育を通じた安定的な経済社会の持続可能性や、長い歴史と多様な展開をしてきた文化の持続可能性を含め、日本だからこそなし得る「日本発」のサステイナブル教育の確立と発信を通じて、わが国社会のグローバル化を牽引する大学を目指します。

理工系の連携大学院

▶ JAXA 宇宙航空研究開発機構

本学とJAXAにて、これまで行ってきた教育研究協力の成果を踏まえ、2010年度に旧研究開発本部とスタートした連携大学院協定は、2014年度には旧航空本部、宇宙科学研究所との協定にも発展し、これまでの活動が実を結び、2019年度からは部門を指定しない「ALLJAXA」との協定となりました。JAXAの職員が客員教員として理工学研究科の学生の研究指導にあたる一方、理工学研究科に在籍する学生がJAXA内で研究指導を受けられるものです。協力体制の確立により、JAXAの優れた研究設備、人材、研究テーマなどを本学大学院研究に活用し、教育研究活動のより一層の充実を図るとともに、新しいミッションの実現を目指した技術開発と研究指導を行います。機構の研究活動を推進し、その成果・普及を更に促進することにより、わが国における宇宙科学、宇宙航空技術分野および宇宙理工学分野の発展に寄与することを目指します。



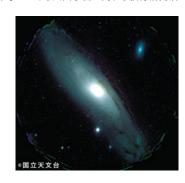


▶国立天文台 自然科学研究機構

2014年度より、本学と国立天文台は、連携大学院に関する協定を締結しました。

これまでも本学と国立天文台とは電波天文学、重力波天文学および光赤外線天文学分野で共同研究の実績がありましたが、協定の締結により、これらの3つの分野を中心に、そこに所属する優れた研究者を客員教員として招聘し、国立天文台が保有する最先端の研究設備を共同利用することができます。そこから得られるデータや経験を大学院での教育研究に活用することにより、本学における天文宇宙に関する教育研究活

動を一層充実させることが 可能となりました。具体的に は、すばる望遠鏡を用いた 銀河考古学研究や、天文文 化研究のフィールドワーク受 け入れ先として、学生が参加 する共同研究を構築し発展 させます。



▶ダブルディグリープログラム ― 中国模範的ソフトウェア学院とのダブルディグリープログラム―

情報科学研究科では、2011年度より中国教育部が所管する模範的ソフトウェア学院連盟(中国国家重点大学を中心にした37大学を統括)と情報科学系大学院生の共同学位プログラム(ダブルディグリープログラム)を継続しています。

本プログラムでは、双方の大学に1年ずつ在籍して英語による講義や研究指導を受けることで、履修単位の相互認定制度により両大学から修士の学位を取得できます。これまでに70名を超えるプログラム修了生がおり、国際会議での活躍、博士課程への進学など、教育・研究の両面において大きな成果を上げています。

本学としては、本制度による双方の学生による互いの大学院への留学を始め として、教育研究の両面で実りあるグローバルな学術交流を推進しています。



2 法政大学グローバルポリシー

本学は2014年7月「法政大学グローバルポリシー」を制定しました。2023年までの10年間をかけて、「世界に開かれた大学」「市民に開かれた大学」「多様な知に開かれた大学」を基本理念に据え、「持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学」を目指します。

3 海外との交流も推進

各研究科では外国人留学生に門戸を開いており、複数の専攻で外国人入試を 実施しています。また、本学と協定を結んでいる中国、ベトナム、ロシア、イタリア などの各大学・研究機関から研究員を受け入れ、学術交流を行っています。

スーパーグローバル大学としての取組み

[海外留学制度の拡充]

派遣留学制度、スタディ・アプロード(SA)制度を拡充し、単位修得を伴う留学を増加させます。

[海外協定校を250校に拡大]

海外協定校を250校に拡大します。

[海外オフィスの拡充(6拠点の整備)]

中国、台湾、ベトナム等に海外事務所を展開 します。

[外国人留学生3,000名の実現]

入試制度の多様化、英語による学位コースの新設等により 在留資格「留学」の留学生を2,000名に、短期実践日本語 研修・文化体験やフィールド体験学習プログラムの充実等 により在留資格「留学」以外の留学生を1,000名にします。

[国際学生寮等の整備]

国際学生寮(混住型宿舎)、短期研修専用の教育施設を 整備します。

[文理融合サステイナビリティ研究の推進]

文理融合型の「サステイナビリティ研究」を核にして世界水 準の研究成果を発信します。

研究所 · 図書館

附属研究施設

数々の実績を挙げている、高度な専門研究・調査機関

法政大学には、さまざまな分野にわたる附属研究施設があり、いずれも多くの実績を挙げています。研究・調査活動の成果は学会、シンポジウム、講演会などで発表されたり、報告書などの形で一般公開されています。

下記、学則附置11研究所の他、サステイナビリティ実践知研究機構に4研究センター(地域研究センター、エコ地域デザイン研究センター、マイクロ・ナノテクノロジー研究センター、江戸東京研究センター)があります(2021年4月現在)。

▶野上記念法政大学能楽研究所

本学元総長の野上豊一郎博士の功績を記念し、1952年に創設された、日本を代表する能楽の総合研究機関です。全国屈指の所蔵量を誇る能楽関係資料(重要文化財合む)は約4万点。能楽研究の発展と能楽の振興を目指し、さまざまな活動を展開しています。



▶法政大学沖縄文化研究所

琉球列島(奄美~宮古・八重山)とその周辺地域の文化・社会について総合的に研究を行う目的で1972年に設立されました。現在は、沖縄研究の世界的な広がりに応えて、国内外の研究者を結ぶ情報ネットワークセンターとしての役割を果たしています。



▶法政大学 大原社会問題研究所

社会労働問題に関する文書館・研究機関で、1919(大正8)年設立、約100年の歴史を誇る民間の社会科学分野では最も歴史がある研究所として知られています。

▶法政大学 スポーツ研究センター

体育・スポーツの調査および研究を主たる目的として設立。スポーツ科学における多様な分野からの研究成果に基づき、学生のスポーツ活動のサポートや健康維持の増進に向けた助言等を行っています。

▶法政大学 国際日本学研究所

日本初の「国際日本学の構築」を掲げて、世界各国の日本研究機関をつなぐ役割を担う研究組織として設立されました。現在は、法政大学のブランディング事業に協力しつつ、新しい国際日本学の展開を目指して活動中です。

▶法政大学 イオンビーム工学研究所

私立大学では数少ないイオン加速器を2台所有。 集積回路の製造技術や次世代通信機器などの研究 開発に利用しています。

▶法政大学 日本統計研究所

全国的にもユニークな統計の専門研究機関です。政府 統計の企画・設計に貢献するため、国際ワークショップ を開催するなど、海外の事情を調査しています。

▶ 法政大学イノベーション・ マネジメント研究センター

イノベーションをキーワードに産学官連携を図り、産業・経営に関する学術交流を行い、その研究成果を講演会、学術雑誌や叢書として公表しています。経済系資料では国内最大級の蔵書(約28万点)を公開。

▶法政大学情報メディア 教育研究センター

ITを駆使する計算科学およびデータサイエンスやAI を活用する教育システムなど、ITが関わる分野の研究および開発を行っています。

▶法政大学 比較経済研究所

国際比較の視点を重視しながら、わが国を中心とした国際経済関係の研究、調査を目的に1984年に発足しました。

▶法政大学ボアソナード記念 現代法研究所

日本近代法の父として知られ、草創期の法政大学に 多大な貢献をしたボアソナード博士に関する文献・ 資料を収集。従来の法律学では解決が困難な諸問 題を対象にプロジェクト研究を実施しています。

法政大学大学院特定課題研究所

大学院特定課題研究所は、本学専任教員が研究代表者となって、受託研究費などの学外資金により共同研究を行う場合に5年間を限度に設置できる時限的研究所です。既に設置された研究所は30を数え、大学院修了者が共同研究者となっている研究所もあります。大学院博士後期課程在籍者もり

サーチ・アシスタント (R・A) として参加することができるようになっており、大学院の研究機能の強化と併せて、大学院学生の研究能力の向上に資することが期待されています。

図書館

法政大学には、3キャンパスにそれぞれ図書館があります。学習用図書・学術図書・政府刊行物を合計で約176万冊所蔵しています。この他、新聞・雑誌・マイクロフィルムなどさまざまな資料があります。この中に、俳人・歌人である正岡子規や梅謙次郎、和辻哲郎、三木清、戸坂潤の蔵書など、貴重なものを多数含んでいます。平日の開館時間については、市ケ谷図書館は22時まで、多摩・小金井図書館は21時まで。土日祝日も含めて、年間約320日開館しています(開館日程・時間については、変更の可能性があるため、図書館HP(QRコード参照)をご覧ください)。通うキャンパスにかかわらず、いずれの図

書館も利用できます。また、他のキャンパスの図書館から資料を取り寄せて 貸出・返却することもでき、各種データベースや電子ジャーナルも利用できま

す。また、山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム の加盟大学図書館(青山学院、学習院、國學院、東洋、 明治、明治学院、立教) および関西大学と相互に利用 できる協定を結んでおり、学生証を持参すればこれら の大学図書館を利用できます。



図書館 HP



市ケ谷図書館

市ケ谷キャンパス「80年館」にあり、地下4階から地上2階までの6フロアで構成されています。また市ケ谷田町校舎に閲覧室、富士見坂校舎にラーニングコモンズがあります。和洋図書約760,000冊の他、和洋雑誌・新聞約9,800タイトルを所蔵しています。



多摩図書館

多摩キャンパスのほぼ中央に位置する図書館・研究 所棟の中にあります。地下2階から地上4階までの合計6フロアで構成されています。和洋図書約840,000 冊の他、和洋雑誌・新聞約10,700タイトルを所蔵しています。



小金井図書館

小金井キャンパス南館にあり、閲覧室・ラーニングコモンズ・メディアライブラリー・書庫で構成されています。 理系資料を中心に所蔵し、電子資料も積極的に収集しています。



net**ラウンジ (**大学院棟2F)

デスクに設置されたノートパソコンで ネットワークを利用できます。



キャリアセンター (外濠校舎2F)

就職活動やキャリア形成をサポート。 相談ブースや就職資料を閲覧できる コーナーがあります。



free**ラウンジ (**大学院棟13F)

高層階からの眺望が楽しめる開放的なスペースで、パソコンを利用し自習することができます。



グローバル教育センター (大内山校舎2F)

留学生の、各種奨学金の申し込みや 資格外活動、医療費補助の相談など のサポートを行っています。



ボアソナード・タワー

地上27階、地下4階の市ケ谷キャンパスのシンボル。最新設備の研究施設や教室、食堂などがあります。



スカイホール (ボアソナード・タワー 26F)

国際会議や学会・行事に利用される 多機能スペース。同時通訳システムや AVシステムなどの設備があります。



薩埵ホール (外濠校舎6F)

870名収容。省エネルギー ESCO事業 を導入し、講演会・セミナーや進学相 談会などが行われます。



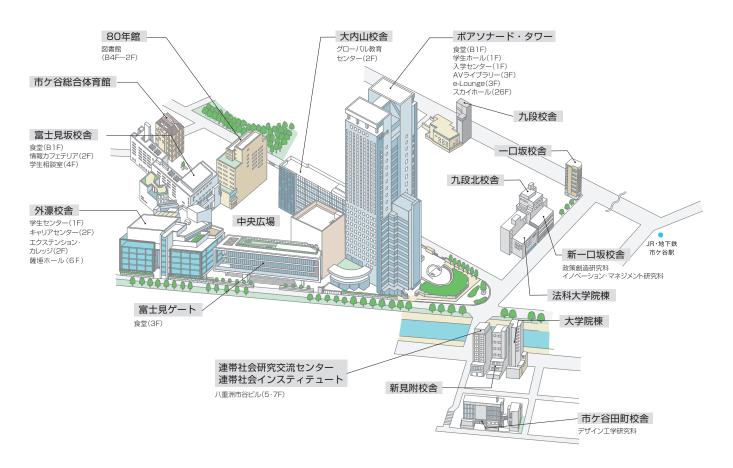
市ケ谷田町校舎

デザイン工学部、デザイン工学研究科 の授業が行われており、最新設備を備 えたスタジオなどが設置されています。

キャンパス・施設

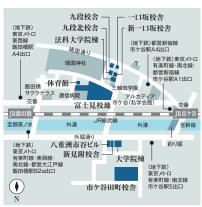
市ケ谷キャンパス

法政大学のシンボル「ボアソナード・タワー」をはじめ、大学院棟があります。



▶周辺地図

市ケ谷キャンパス



総武線: 市ケ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分 【地下鉄線】

都営新宿線: 市ケ谷駅下車徒歩10分

東京メトロ有楽町線: 市ケ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分

東京メトロ東西線:飯田橋駅下車徒歩10分 東京メトロ南北線:市ケ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分

都営大江戸線: 飯田橋駅下車徒歩10分

小金井キャンパス



中央線: 新宿駅から快速で21分、東小金井駅下車、

【バス】東小金井駅から「武蔵小金井駅行」に乗車、 「法政大学」下車

多摩キャンパス



【京王線】

新宿駅から特急で41分(準特急で49分)、 めじろ台駅下車、バスで約10分

【JR 線】

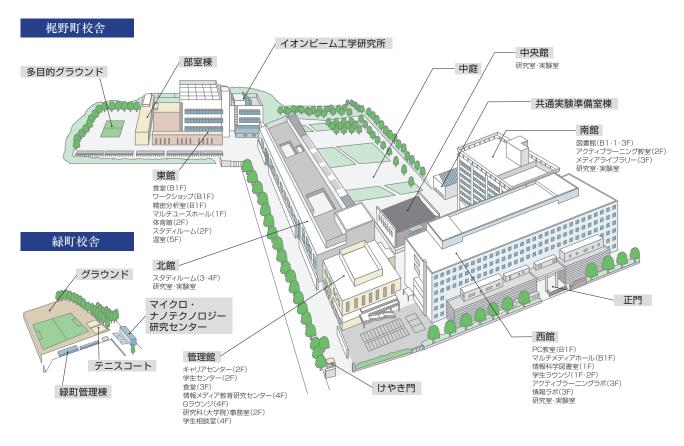
中央線: 新宿駅から快速で50分(特別快速で41分)、 西八王子駅下車、バスで約22分 横浜線:新横浜駅から快速で30分、

相原駅下車、バスで約13分 *上記各バスで「法政大学」下車

106

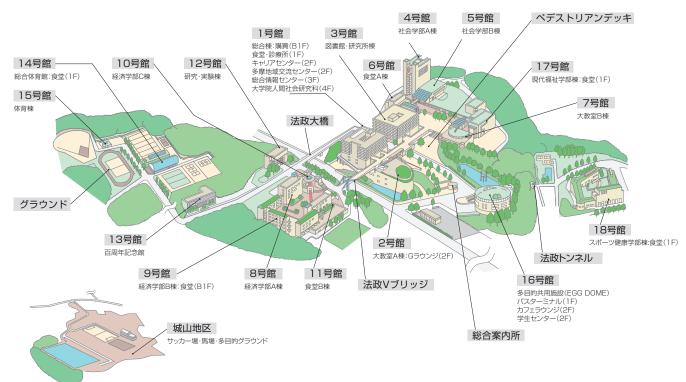
小金井キャンパス

自然環境と都心へのアクセスも軽快。最先端科学と技術を学ぶインテリジェント・キャンパス。



多摩キャンパス

自然と調和し、機能的にゾーニングされた開放的なキャンパス。



学費と各種助成金・奨学金制度

学費

学費・奨学金 ・研究助成



① 入学金

本学出身者は無料です。 (政策創造研究科 修士課程は除く)

② 授業料

各種助成金・奨学金制度を用意しています。 (下記参照)

円)

									(13)	
学費一覧 (2021年	覧(年額) 手度予定)	人文科学・国際文法学・政治学・社人間社会・公共は ザイン学研究科・ティテュート	政策・キャリアデ	スポーツ 研究科		情報科学・デ 理工学社 IIST(研究科・	政策創造研究科		
		修士	博士後期	修士	博士後期	修士	博士後期	修士	博士後期	
入学金	自校	_	_	_	_	_	_	135,000	_	
八子並	他校	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	270,000	270,000	
授美	業料	570,000	400,000	644,800	470,000	770,000	600,000	750,000	750,000	
教育3	充実費	80,000	60,000	100,000	100,000	100,000	100,000	135,000	135,000	
		心理学専攻 臨床心理学専攻 50,000				100	,000			
実験領	実習費			100,000	100,000	生命機能学専攻 域のみ1		_	_	

授業料等は第一期(春学期)(4月末日まで)・第二期(秋学期)(9月末日まで)の2回に分けて納入していただくことになります。 ただし、1年次(初年度)の第一期分は、入学手続時に納入していただくことになります。 ★詳細はお問い合わせください。

- ※上記のほかに専攻によって2,000~4,000円程度の諸費用が必要。
- ※年間休学在籍料100,000円。ただし春学期、秋学期休学については半分(2分の1)とする。
- ※自校とは、本学の学部卒業者または大学院修了者を指し、他校とはその他の者を指す。
- (注1)経済学研究科修士1年制コースの授業料は860,000円。入学金、教育充実費は上表のとおり。
- (注2)スポーツ健康学研究科のみ授業料には昼食代が含まれている。
- (注3)総合理工学インスティテュート(IIST)の授業料は880,000円(修士課程)、600,000円(博士後期課程)、入学金は200,000円(修士・博士後期課程)、教育充実費は100,000円(修士・博士後期課程)、実験実習費は80,000円(修士・博士後期課程。生命機能学専攻植物医科学領域のみ、140,000円)。

修学支援、留学•研究奨励制度

2021年度実施予定の制度です。制度の概要はP.6、7をご覧ください。

名 称	対象者 (応募資格)					
法政大学100周年記念大学院修士課程奨学金	修士課程在学生(標準修業年限内)					
法政大学大学院博士後期課程研究助成金	博士後期課程在学生 (標準修業年限内)					
法政大学大学院海外留学補助金	修士課程・博士後期課程在学生・入学予定者					
法政大学大学院学生論文掲載料補助						
法政大学大学院学会等発表補助金	修士課程・博士後期課程在学生					
法政大学大学院諸外国語による論文等校閲補助						
法政大学大学院現地調査実施費用補助	修士課程・博士後期課程在学生(市ケ谷、多摩キャンパスの研究科)					
法政大学大学院優秀博士論文出版助成金	博士後期課程修了生(修了後5年以內)					

※詳細は入学後、募集要項でご確認ください。

教育訓練給付制度(一般教育訓練給付)

右記の専攻は「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」の指定を受けています。この制度は、修了後、本人がハローワークへ申請することで、雇用保険の被保険者期間(3年以上または初めて教育訓練給付の支給を受ける方は1年以上)により、教育訓練経費(入学金と初年度授業料)の20%(上限額10万円)の教育訓練給付金が支給されるものです。

<修士課程>

- 国際文化専攻
- 経済学専攻
- 政治学専攻
- 国際政治学専攻
- 社会学専攻
- 経営学専攻(夜間)
- ●福祉社会専攻
- 公共政策学専攻
- サステイナビリティ学専攻
- キャリアデザイン学専攻
- サヤリアナリイン子専攻
- デザイン工学研究科 (全専攻)
- 理工学研究科(全専攻)

教育訓練給付制度(専門実践教育訓練給付)

政策創造研究科政策創造専攻(修士課程)は、「専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」の指定を受けています。本人が講座受講開始日の1ヵ月前までにハローワークに申請することで、雇用保険の被保険者期間(3年以上または初めて教育訓練給付金の支給を受ける方は2年以上)に

より、教育訓練経費(入学金と授業料)の50%(年間上限40万円)が2年間、2年間で修了した場合には追加給付として教育訓練経費(入学金と授業料)の20%が支給され、最大112万円の給付金が支給されます。

学外奨学金制度

▶地方公共団体・民間奨学財団奨学金

不定期でありますが、各種団体が奨学生を募集しています。 募集の都度、お知らせしています。

〔主な奨学金〕

- ·公益財団法人平和中島財団外国人留学生奨学生
- ・公益信託川嶋章司記念スカラーシップ基金奨学助成金
- ·公益財団法人綿貫国際奨学財団奨学生
- ·公益財団法人神林留学生奨学会私費外国人留学生奨学生
- ・公益財団法人日本国際教育支援協会JEESドコモ留学生奨学金
- ·一般財団法人守谷育英会

▶留学生対象の奨学金

文部科学省などの奨学金があります。

(主な奨学金)

- · 私費外国人留学生学習奨励費給付制度
- ・文部科学省スーパーグローバル大学創生支援事業 国費外国人留学生

▶日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の奨学金は貸与型です。返還の義務がありますので、 奨学金を希望する学生は、将来の返済を念頭において出願してください。

出願資格	修士・博士後期課程の在学生。 ただし、以下の方は資格外です。 (1)最短修業年限を超えた在学生 (2)外国人留学生 (3)収入基準額を超える者								
	第一種 奨学金	無利子							
種類	第二種 奨学金	①利率固定方式 ②利率見直し方式いずれかの選択 (いずれも利率は年3%上限)							
	<i>₩</i> 45	修士課程…50,000円または88,000円							
貸与月額	第一種 奨学金	博士後期課程80,000円または 122,000円							
	第二種 奨学金	5万・8万・10万・13万・15万円から選択							

(日本学生支援機構による)

ウェブサイトについて

法政大学大学院ウェブサイト



https://www.hosei.ac.jp/gs/





https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/

上記ページから、入学試験に関する情報を確認できます。

なお、年度の途中でも入試情報の追加や変更が生じる場合がありますので、ご出願の際は必ず最新の入試情報をご確認ください。

掲載情報の一例)

- ▶入試要項 ※入試過去問題はWEB上での公開をしておりません。
- ▶入試日程
- ▶入試結果
- ▶教員情報 ※教員の連絡先は公開しておりません。
- ▶入試に関する Q & A
- ▶進学相談会の詳細
- ▶履修案内、時間割、シラバス

110

入試結果

▶2021年度入試結果

注1:下段は外国籍の学生で、内数。 注2:博士後期課程の一般には学内入試・外国人入試を含む。 注3:協定による外国人入試および上海外国語大学とのダブル・ディグリー・プログラム、博士論文研究基礎力審査 (QE) による入学者は含まない。 注4:秋季入学者 (2020年9月入学) 向け入試を含む。 注5:総合理工学インスティテュート (IIST) の一般には指定校推薦入試を含む。

							修士課程									博士後期課程						
	研究科 専攻/		志願者					合格者					志願者 合格者									
			1 / ,	ヘ アイアニ	1-1	学内	一般	外国人	社会人	計	学内	一般	外国人	社会人	計	一般	社会人	計	一般	社会人	計	
			哲		学		5		1	6		1			1	3		3	1		1	
			日	本 文	学		(2)	34	6	(2) 49		5	8	3	16	3		3	2		2	
				少 又	<i>-</i>	5	5	(34)	(1) 3	(35) 13	5	2	(8)	2	(8)	(1)		(1)	(1)		(1)	
			英	文	学		(2)			(2)	- 3											
			史		学		9		1	10		6			6	•	3	3	<u> </u>	3	3	
人	文 科	学	地	理	学	2	2		4	8	2	2		4	8							
			心	理	学	1	(1)			(1) 17	1	(1)			(1)	4		4	1		1	
			<i>/</i> L/	生	于	8	(7) 46	34	15	(7) 103	8	(1) 20	8	9	(1) 45	13	3	16	7	3	10	
			小		計		(12)	(34)	(1)	(47)		(2)	(8)		(10)	(1)		(1)	(1)		(1)	
				際 日 本 スティテョ			5 (4)	68 (68)	5 (2)	78 (74)		4 (3)	26 (26)	1	31 (29)	1 (1)		1 (1)	(1)		(1)	
国	際文	化		際文		4	3	11	7	25	1	(0)	2	1	4	1		1	1		1	
		_				(2)	(1)	(11)	(2)	(16) 26	3	4	(2)	3	(2)	(1)	1	(1)	(1)	1	(1)	
経	済	学	経	済 ———	学	(2)	(5)	(14)	(1)	(22) 57	(2)	(4)	(8)	1	(14) 7	(1)		(1) 7	(1)		(1)	
法		学	法	律	学	1	10 (6)	44 (44)	(2)	(52)		1	4 (4)	(1)	(5)	7 (1)		(1)	5		5	
			政	治	学	3	4 (1)	(2)		9 (3)	1	2			3	2		2	2		2	
政	治	学	国	際 政 治	3 学		10	24	5	39		3	3		6							
			ds		=1	3	(5) 14	(24)	(2) 5	(31) 48	1	(1) 5	(3)		(4)	2		2	2		2	
			小		計	5	(6) 30	(26) 110	(2) 6	(34) 151	4	(1) 2	(3)		(4) 11	1		1				
社	会	学	社	会	学	(2)	(23)	(110)	(2)	(137)	(2)	(2)	(5)		(9)							
経	営	学	経	営	学	(1)	91 (85)	(3)	33 (3)	128 (92)		7 (7)		26 (1)	(8)	(1)	5	6 (1)	<u> </u>	3	3	
			福	祉 社	会	2	3	8	1	14	2	1	3	1	7							
			臨	床 心 珥		8	(1)	(8)		(9) 45	8	9	(3)		(3) 17							
人	間 社	会					(1)			(1)						4		4	3		3	
			人	間福	祉																	
			小		計	10	40 (2)	(8)	1	59 (10)	10	10	(3)	1	(3)	4		4	3		3	
政	策創	造	政	策 創	造		(32)		35 (5)	76 (37)		16 (9)		32 (4)	48 (13)		2	2	<u> </u>	1	1	
			公:	共 政 策	5 学		22		14	36		9		12	21	1	11	12	1	4	5	
1/1	共 政	*	#7	 イナビリテ	- / 学		(16)		(1) 12	(17) 18		(5)		(1)	(6)		4	4		3	3	
Δ.	共 以	來	9.4	1) = 9)	1 +		(3) 28		(1) 26	(4) 54		(1) 12		(1)	(2)	1	15	16	1	7	8	
			小		計		(19)		(2)	(21)		(6)		(2)	(8)							
++	キャリアデザイン学		キャ	リアデザイ	′ン学		49			49 (2)		16			16							
政公	治 共 政	学		帯 社 スティテョ					10	10				9	9							
	ポーツ健康					10	11			21	7	5			12	1	2	3	1	2	3	
						14	(5)	2		(5) 26	14	5	2		21		1	1		1	1	
育	報科	子	闸	報科	子	(1) 26	(4) 57	(2)		(7) 90	(1) 12	(2) 43	(2)		(5) 60	2	1	3	2	1	3	
			建	築	学	(2)	(14)	(7)		(23)	(1)	(8)	(5)		(14)	(2)		(2)	(2)		(2)	
デ	ザイ	ン		市 環 デイン コ		16	9	(4)	1	30 (4)	14	5	(3)	1	23	•		•				
ェ		学		テムデザ		9	13	()		22	7	9	(0)		16							
						51	(1) 79	11	1	(1) 142	33	57	8	1	99	2	1	3	2	1	3	
			小		計	(2) 20	(15) 33	(11)		(28) 53	(1) 20	(8) 27	(8)		(17) 47	(2)		(2)	(2)		(2)	
			機	械工	学		(2)			(2)												
			電気	電子	工学	39 (1)	(1)			63 (2)	39 (1)	22 (1)		<u> </u>	61 (2)				<u> </u>			
			応月	目情報 二	工学	24	19			43	24	16		1	40	1 (1)		1 (1)	1 (1)		1 (1)	
理	I	学	シフ	テム理:	丁学	(1)	(2)			(3) 37	(1)	(1) 10			(2)	(1)		(1)	(1)		(1)	
生	_	3-				11	11			22	11	7			18		2	2		2	2	
			応	用化	学												(1)	(1)		(1)	(1)	
			生	命機能	学	10	27			37	10	24		_	34				<u> </u>			
			小		計	127 (2)	128 (5)			255 (7)	127 (2)	106 (2)			233	1 (1)	2 (1)	3 (2)	1 (1)	2 (1)	3 (2)	
情	報 科			合理 エ		(4)	11			11	(4)	10			10	5	(1)	5	5	(1)	5	
理	П 25	学		スティテュ		237	(11) 601	331	150	(11) 1319	209	(10) 280	69	106	(10)	(5) 41	32	(5) 73	(5)	21	(5) 51	
全	研究	;	科	総	計	(12)	(237)	(331)	(22)	(602)	(8)	(56)	(69)	(8)	(141)	(14)	(1)	(15)	(12)	(1)	(13)	

進学相談会・公開セミナー

進学相談会

2021年度進学相談会は、2020年度に引き続き、HP上での動画、コンテンツ配信、リアルタイムオンラインによる相談会を行います。 詳細は6月以降大学院HPで発表いたします。 2020年度は以下の内容で実施いたしました。

▶動画配信

- 1 法政大学大学院について(2020年6月~)
- 2 政策創造研究科
 - 政策創造研究科のご案内-リーダーシップを発揮できる人材育成のために-(2020年6月~)
 - 専門実践教育訓練給付金と入学試験について(2020年6月~)
- 3 経済学研究科
 - 研究科からのご挨拶 (2020年11月~)

▶コンテンツ配信

- 1 経済学研究科
 - 経済学研究科を知ろう(2020年6月~)
 - 経済学研究科を知ろう-在学生&社会人学生の視点から(2020年11月~)

▶リアルタイムオンラインセミナー・進学相談会

- 1 政治学研究科
 - 政治学専攻・国際政治学専攻進学相談会 (2020年7月11日(土), 12日(日) Zoomでオンライン開催) ※時間は相談者の都合を勘案し設定しました。
- 2 経営学研究科
 - 進学相談会 (2020年7月11日(土) 16時~ Zoomでオンライン開催)
 - MBAセミナー・進学相談会 (2020年10月17日(土) 13時~Zoomでオンライン開催)
- 3 キャリアデザイン学研究科
 - セミナー・進学相談会 (10月17日(土) 13時30分~Zoomでオンライン開催)
 - 研究計画書に関する説明会 (12月12日(土) 13時~ Zoomでオンライン開催)

公開セミナー

知の社会還元および社会に開かれた大学院を目指して、毎年各種の公開講座・シンポジウム・セミナーなどを開催しています。 ※本年度の予定は順次HPに掲載いたしますのでご確認ください。皆様のご参加をお待ちしています。

まちづくりセミナー 2021 年度 10 月開催予定

1977年から40年以上にわたって続いている伝統あるセミナーです。地域の課題を地域で解決していく取り組みに焦点をあてた企画です。自治体関係者・大学院学生らの根強い支持があり、毎年多くの受講者を集めています。

- 2020年度:コロナ時代のまちづくり・都市政策(ミニセミナー、オンライン配信)
- 2019年度: (台風19号の影響により中止)
- 2018年度:縮退時代の都市空間 -ひとのつながりと居場所を問いなおす-
- 2017年度: 都市縮退時代の郊外を考える
- 2016年度:地域を経営する 多様な主体によるローカルガバナンスに向けて-

MBA セミナー

- ●キャリアに役立つ法政大学MBA
- ●私が法政大学MBA をオススメする理由
- HBS で何を学び、どう活かすか

キャリアデザイン学研究科セミナー

- ●デジタル革新世代の働き方とキャリア
- ●高校・大学・社会をつなぐ
- lacktriangleグローバル人事のフロンティア

Q&A

Q&A

以下はよくある質問の一例です。詳しくはこちらのURL から「大学院入試に関するQ&A」をご確認ください。 http://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/faq/

▶出願について

Q

出願にあたり「入学後の希望指導教員」やその他の教員に連絡をする必要がありますか。

A. 専攻により異なりますので、入試要項 (募集要項)をご確認ください。入試要項 に特段の記載がない場合は、事前の連絡や研究室訪問は必要ありません。なお、研究生や科目等履修生への出願を検討されている場合は別途、各研究科担当窓口へお問い合わせください。

▶ 入学試験について

Q

過去問題集はどのように入手できますか。

A. HP「資料請求」から請求、進学相談会の会場で入手、大学院の窓口で入手の 3つの方法で入手できます。専攻により過去問題集を作成していないものもありま す。なお、過去問題集は「受験者がいなかった場合」「口述試験のみで筆記試験が 実施されなかった場合」には、その問題が掲載されていませんのでご注意ください。

Q

秋季入試(もしくは第1回目入試)で不合格でした。 この場合、春季入試(もしくは第2回目入試)に出願はできますか。

A. 可能です。出願期間内に書類をご提出ください。

Q

秋季入試(もしくは第1回目入試)で多数の合格者がいた場合、 春季入試(もしくは第2回目入試)を実施しない可能性はありますか。

A. ありません。合格者数にかかわらず、予め定められた入試日程に則って 試験を実施します。なお、入試日ごとの募集定員や合格者数の速報値については 回答できかねますのでご了承ください。

▶ 学業・学生生活について

Q

授業はすべて日本語で行われますか。

A. 原則としてすべて日本語で行います。入学試験の際には日本語能力を示す証明書の提出、筆記試験、面接などで、日本語の能力を判断することがあります。

※サステイナビリティ学専攻博士後期課程Global Sustainability Program、情報科学研究科ダブルディグリープログラム、総合理工学インスティテュート (IIST)、専門職大学院イノベーション・マネジメント専攻Global MBA Programを除く。

Q

私は「留学」の在留資格をもっています。 この資格があればすべての専攻に出願が可能ですか。

A. 専攻により入学を認めていない場合があります。 詳しくは入試要項をご確認ください。

Q

口述試験とはどのようなものですか。 過去問題はありますか。

A. 口述試験の過去問題はありません。なお、口述試験の内容については、 各研究科・専攻によって異なります。

一人あたりの試験時間が約20分で面接委員が4~5名のケース、専攻の担当教員全員が出席するケース、グループ面接を実施するケース、プレゼンテーションを実施するケースなど、内容はさまざまです。

Q

研修生との併願制度とはどのようなものですか。

A. 修士課程入試で不合格になった方を対象に、修士課程入試結果を使って、同時に研修生としての合否判定を行う制度です (出願時の申請が必要です)。合格の場合、研修生として1年間、在籍することができます。

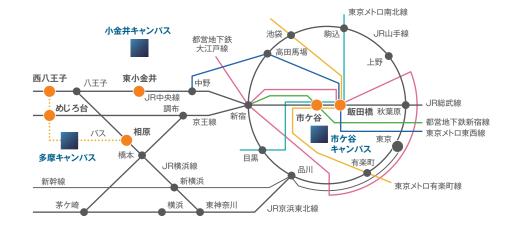
※志望する研究科・専攻に併願制度があるかどうかは、必ず入試要項をご確認ください(全専攻で実施しているわけではありません)。

Q

外国人ですが、「留学ビザ」の取得について 教えてください。

A. 入学試験に合格し入学手続が完了した方に、入学許可書を発行します。その後の「留学ビザ」取得手続きは原則としてすべて個人で行っていただきます。 詳細は出入国在留管理庁で確認してください。

キャンパス交通案内



最寄り駅のご案内

市ケ谷キャンパス

JR総武線・東京メトロ/ 市ケ谷駅または飯田橋駅から徒歩約10分

多摩キャンパス

京 王 線/めじろ台駅からバスで約10分 JR中央線/西八王子駅からバスで約22分 IR構浜線/相原駅からバスで約13分

小金井キャンパス

JR中央線/東小金井駅から徒歩約15分

資料請求・問い合わせ先

市ケ谷キャンパス

人文科学研究科・国際文化研究科・ 経済学研究科・法学研究科・ 政治学研究科・社会学研究科・ 経営学研究科・公共政策研究科・ キャリアデザイン学研究科・ 連帯社会インスティテュート

▶ 大学院事務部 大学院課

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-15-2 TEL:03-5228-0551 / FAX:03-5228-0555 E-mail:i.hgs@ml.hosei.ac.jp

政策創造研究科

▶ 大学院事務部 大学院課 政策創造研究科担当

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-3-9 TEL:03-3264-6630 / FAX:03-3264-3990 E-mail:rpd-j@hosei.ac.jp

デザイン工学研究科

▶ 大学院事務部 大学院課 デザイン工学研究科担当

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33 TEL:03-5228-1429 / FAX:03-5228-3491 E-mail:jsd@hosei.ac.jp

多摩キャンパス

人間社会研究科

▶ 多摩事務部 大学院課 人間社会研究科担当

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL:042-783-4047 / FAX:042-783-2808 E-mail:fukushi@hosei.ac.jp

スポーツ健康学研究科

▶ 多摩事務部 大学院課 スポーツ健康学研究科担当

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL:042-783-3003 / FAX:042-783-3009 E-mail:sports@hosei.ac.jp

小金井キャンパス

情報科学研究科・理工学研究科・ 総合理工学インスティテュート (IIST)

▶ 小金井事務部 大学院課

〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 TEL:042-387-6014 / FAX:042-387-6048 E-mail:hge@hosei.ac.jp

専門職大学院

上 法務研究科

▶ 大学院事務部 専門職大学院課 法科大学院担当

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-3-12 TEL:03-3264-9039 FAX:03-3264-9885 E-mail:lawschool@hosei.ac.jp

■ イノベーション・マネジメント研究科

▶ 大学院事務部 専門職大学院課 イノベーション・マネジメント専攻担当

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-3-9 TEL:03-3264-4341 / FAX:03-3264-3990 E-mail:innovation@hosei.ac.jp